



7型 / 8型ワイド VGA LED液晶
HDDナビゲーション

VIE-X08S/VIE-X088

取扱説明書



差分 マップ



いつも
NAVI



iPhone 3GS
16GB 32GB



iPhone 3G
8GB 16GB



iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB 64GB



iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB



はじめに

ナビゲーション

基本操作

ナビゲーション案内

ルートの確認・編集

地点の登録

いつも NAVI

ドライブインフォ

VICS 情報を見る (交通情報)

ハンズフリー電話を使う

情報の確認と更新

オプション機能

オーディオ・ビジュアル 基本操作

地上デジタルテレビ

ラジオ

DVD

CD/MP3/WMA/AAC

HDD AUDIO

SD メモリーカード

iPod/iPhone

USB メモリ

外部機器

設定・編集

その他 リモコン操作 (オプション)

その他

安全のためにならずお守りください

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 禁止	分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。	
	ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。	
 禁止	 強制	ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。
 禁止	 強制	音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。
 禁止	運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。	

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	ナビゲーションによるルート案内は、参考情報です。実際の交通規則を守って運転してください。
 禁止	車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。
 禁止	車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。
 禁止	ディスク挿入口、モニター開閉時のすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

- 本機側の雑音や誤動作の原因になったり、電話や無線機の正常な送受信ができなくなる場合があります。

電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

測位状態が安定してから走行する

- GPS を測位してから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自転車位置がずれる場合があります。

無理な力を加えない

- 製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

- 本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

- お手入れは乾いた布が堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

- 車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

可動部分の動作中は操作をしない

- ディスプレイ開閉、角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

- 可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

- 可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

ディスクについてのご注意

本機で再生できるディスクについて

● 再生できるディスク

本機では次のディスクが再生できます。

	マーク (ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVD オーディオ*		音声 + 映像 (動画)	12cm/8cm
DVD ビデオ		音声 + 映像 (動画)	12cm/8cm
音楽 CD**		音声	12cm/8cm (CD シングル)

* 48kHz 以上の周波数で録音されている DVD オーディオは、48kHz に変換して再生されます。

** ディスクレーベル面に上記マークの入ったものなど JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。

● 再生可能フォーマット一覧

本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応の圧縮フォーマットについて」(196 ページ) を参照してください。

	CD-R/CD-RW	DVD-R/DVD-RW	DVD+R/DVD+RW
CD フォーマット	○	—	—
MP3 フォーマット ("mp3")	○	○	○
WMA フォーマット ("wma")	○	○	○
AAC フォーマット ("m4a")	○	○	○
DVD ビデオフォーマット	—	○	○
DVD-VR フォーマット	—	○	—
MPEG4 AVC フォーマット	—	—	—

・ファイナライズ処理されていないディスクは再生されません。

再生できないディスク

- DVD-ROM、DVD-RAM、CD-ROM (MP3/WMA/AAC ファイルを除く)、ビデオ CD、フォト CD など。

DualDisc について

- 本機は、DualDisc には対応していません。ディスクの出し入れの際、ディスクに傷がついたり故障の原因になる場合もありますので使用しないでください。

DVD ディスク映像規格について

- 本機は NTSC カラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC 以外のカラーテレビ方式 (PAL、SECAM) 用のディスクは再生することができません。

DVD リージョン番号（再生可能な地域番号）について

- 本機のリージョン番号は 2 です。DVD ビデオディスクに表示されている地域番号が下記のようなリージョン番号を含んでいないまたは、が表示されていないディスクは再生できません。なお、リージョン番号の設定を変更することはできません。



DVD ディスクに表示されているマークについて

- DVD のディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。

マーク		意味
		再生できる言語の数を表します。
		字幕に表示できる言語の数を表します。
		アングルの数を表します。
		選択可能な画像の縦横の比率を表します。 ● 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面を表します。
		再生可能な地域番号を表します。 ● 「ALL」は全世界向け、数字は地域番号を表します（「2」は日本向け）。

コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）のご使用について

- CD 規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最適な音質の保証は致しかねます。また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用の CD-R（CD-Recordable）/CD-RW（CD-ReWritable）、MP3/WMA/AAC ファイル形式の CD-R/CD-RW の再生が可能です。

次のようなディスクは、再生できないことがあります。

指紋やキズが付いている / 車内や製品内に長時間放置した / データ書き込み状態が不安定 / データ書き込みに失敗し再録音した場合など。

MP3/WMA/AAC ファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは 196 ページを参照してください。

CD-R/CD-RW をご使用のお客様へ

- CD-R/CD-RW が再生できない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っているかどうか、確認してください。
- 行われていない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度お試しください。
- 同じディスクに音楽データ（CD-DA）と MP3/WMA データが混在する場合は、音楽データ（CD-DA）のファーストセッションのみが再生されます。
- マルチセッションには対応していません。"Track at once" で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ディスクのご使用について

- 本機は、DVD-Video モード、DVD-VR モード（DVD-R/DVD-RW ディスクのみ）で記録されたディスクに対応しております。
- ファイナライズ処理（再生専用 DVD プレーヤーで再生可能にするための処理）がされていないディスクは再生できませんのでご注意ください。
- ディスクの書き込みに使用した機器の仕様によっては再生できない場合があります。
- 本機には違法コピー検出機能を有しております。違法コピーを検出した際は再生を行いません。正しい方式で記録されない PC ソフトで記録した場合、本機では違法コピーと検出する場合があります。
- 録画に使用した DVD レコーダや DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ディスクの特性、傷、汚れ、または DVD プレーヤーのピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。
- DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上の注意を必ずお守りください。
- DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ディスクのレーベル面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ディスクは通常の DVD に比べ高温多湿環境や直射日光に弱く、一部のディスクや長時間車室内に放置したディスクは再生できない場合があります。
- ディスク本体の再生可能な温度範囲は、次の通りです。
DVD-R/DVD-RW : - 25 ~ + 70℃
DVD+R/DVD+RW : + 5 ~ + 55℃

取り扱い上のご注意（ディスク）

- 故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。
盤面にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルを貼らない / ホコリやごみが付いたら拭きとる / バリが無いことを確認する / 市販のアクセサリを使わない。
特に CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW は以下の点について十分に注意してください。
車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いので、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。
- 特殊な形状のディスクは使わない
必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。
- ディスクのお手入れ
柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。
- 新品のバリに注意
ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

レンズクリーナーについて

- レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用すると、レンズの破損や故障の原因となります。
- DVD メカニズムのピックアップレンズは長期間のご使用の間に汚れが付着し、読み取り精度が劣化する場合があります。レンズクリーナーによる定期的なクリーニングをお勧めします。

SD メモリーカードについてのご注意

再生できる SD メモリーカードについて

- SD メモリーカードは、SD メモリーカード規格に準拠した 2GB までのカードをご使用ください。
- SanDisk 製、Panasonic 製、東芝製の SD メモリーカードのご利用を推奨します。
- 高速タイプの SD メモリーカード（2GB まで）は、そのままではご使用になれません。本機で初期化してからご使用ください（「SD メモリーカードを初期化する」329 ページ参照）。
- 再生可能フォーマット一覧
本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応の圧縮フォーマットについて」（196 ページ）を参照してください。
 - ・ MP3 フォーマット ("mp3")
 - ・ WMA フォーマット ("wma")
 - ・ AAC フォーマット ("m4a")
 - ・ BMP フォーマット ("bmp")
 - ・ JPEG フォーマット ("jpg")（プログレッシブ JPEG は非対応）
 - ・ PNG フォーマット ("png")
 - ・ GIF フォーマット ("gif")
- SDHC メモリーカードはサポート対象外です。

取り扱い上のご注意（SD メモリーカード）

- 大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをお勧めします。
- SD メモリーカードの動作保証はしておりません。ご使用の際には、SD メモリーカードの使用条件内でのご利用をお願いいたします。
- SD メモリーカードは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- SD メモリーカードで作成した地点登録ファイルは個人として利用するなどのほか、権利者に無断で使用できません。
- 故障や動作不良をおこさないために次の点を守ってお使いください。また、SD メモリーカードの取扱説明書もよくお読みください。
端子部には手や金属で触れない / 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしない / 分解したり、改造したりしない / 水にぬらさない
- また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - ・ 高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
 - ・ 直射日光のあたる場所
 - ・ 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所特に以下の点について十分に注意してください。
車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いので、SD メモリーカードが劣化し再生不能となる場合があります。
- miniSD メモリーカード / microSD メモリーカードを本機で使用する際は、必ずカードに付属されている専用のアダプターを使用してください。また、miniSD メモリーカード / microSD メモリーカードを取り出す時はアダプターごと取り出し、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

誤消去防止スイッチについて

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。

結露にご注意

- 寒い車内を急に暖めると、本体内部に露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほど SD メモリーカードを取り出しておくと正常に動作します。

USB メモリについてのご注意

再生できる USB メモリについて

- 本機は USB Mass Storage Class 対応の USB メモリを操作できます。
- USB メモリは、USB メモリ規格に準拠したメモリをご使用ください。
- 対応 USB 規格
USB 1.1 / 2.0
- 対応ファイルシステム
FAT 12/16/32
- 供給電圧
500mA
- 再生可能フォーマット一覧
本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応の圧縮フォーマットについて」(196 ページ)を参照してください。
 - ・ MP3 フォーマット ("mp3")
 - ・ WMA フォーマット ("wma")
 - ・ AAC フォーマット ("m4a")
 - ・ BMP フォーマット ("bmp")
 - ・ JPEG フォーマット ("jpg") (プログレッシブ JPEG は非対応)
 - ・ PNG フォーマット ("png")
 - ・ GIF フォーマット ("gif")

再生できない USB メモリ

- ハブ付 USB メモリは再生できません。また、USB ハブも接続対象外です。

取り扱い上のご注意

- USB メモリの動作保証はしておりません。ご使用の際には、USB メモリの使用条件内でのご利用をお願いいたします。USB メモリの取扱説明書もよくお読みください。
- また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - ・ 高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
 - ・ 直射日光のあたる場所
 - ・ 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

特に以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、USB メモリが劣化し再生不能となる場合があります。

- USB メモリは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- USB メモリは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- USB メモリ規格に準拠した USB メモリを使用しても、USB メモリの種類や状態により正常に動作できない場合があります。
- USB メモリの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。

- コピープロテクト（著作権保護）されたファイルは再生できません。
- 複数のパーティションを持つ USB メモリはサポート対象外です。
- セキュリティ機能を持つ USB メモリはサポート対象外です。
- 大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをお勧めします。

ハードディスクについてのご注意

磁力を持つ製品を近づけない

- ハードディスク（HDD）は強磁界に弱いため、ナビゲーションにスピーカーや GPS アンテナなどの磁力を持つ製品を近づけないでください。HDD 内のデータが消去される場合があります。

ハードディスクカバーを開けない / ハードディスクを取り外さない

- ハードディスクカバーを開けないでください。お客様ご自身がハードディスクカバーを開けて故障した場合は、一切保障いたしかねます。

iPod/iPhone についてのご注意

再生できる iPod/iPhone について

- 本機で対応している iPod は次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証および性能保証は致しかねます。

iPod touch (Late 2009)	: Ver.3.1.3
iPod nano (5th generation)	: Ver.1.0.2
iPod classic (Late 2009)	: Ver.2.0.4
iPod touch (2nd generation)	: Ver.3.1.3
iPod nano (4th generation)	: Ver.1.0.3
iPod classic (120GB)	: Ver.2.0.1
iPod touch (1st generation)	: Ver.3.1.3
iPod nano (3rd generation)	: Ver.1.1.3
iPod classic (80GB, 160GB)	: Ver.1.1.2
iPod nano (2nd generation)	: Ver.1.1.3
iPod with video	: Ver.1.3
iPod nano (1st generation)	: Ver.1.3.1

- 本機で対応している iPhone は次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証および性能保証は致しかねます。

iPhone 3GS	: Ver.3.1.3
iPhone 3G	: Ver.3.1.3

ご使用の iPod 製品名を確認するには、アップルのホームページをご覧ください。

取り扱い上のご注意

- iPod/iPhone の機能については、iPod/iPhone ユーザーズガイドを参照してください。
- 車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときに iPod/iPhone を車内に放置すると、iPod/iPhone 故障の原因になります。
- 本製品を使用中に iPod/iPhone のデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

お読みください

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 当該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分もアルパイン株式会社の書面による事前の許可無しには、いかなる条件下でも、また電子的、機械的、録音、その他のいかなる手段によっても、コピー、検索システムの記憶、または転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的にしており、予告無しに変更されることがあります。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。

モニターのお手入れ

- モニターが汚れたら柔らかい布（シリコンクロスなど）でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。
液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニターは傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったり、物をぶつけたり、強い力で押したりしないでください。
- ベンジン、アルコール、シンナーは使用しないでください。変色、変質の原因になります。

注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。



ご使用前にお読みください

- 本機には、交通規制データが収録されておりますが、運転に際しては、必ず現場の交通規制標識・掲示板等を確認し、もしデータと違うときには、現場の標識、掲示板等に従ってください。
- 運転中の操作は大変危険です。必ず停車中に操作してください。
- 情報の最終更新年月が地域によって格差がある為、ある特定地域での道路の整備状況によって、未収録や更新されていない場合があります。
天変地異による規制には対応しておりません。該当する周辺を走行する際には、警察・交通情報センター等へご確認ください。
- 本機を使用したことにより発生したお客様本人及び第三者のいかなる損害についても、弊社はその責任を一切負いかねます。
- 本機収録の内容に誤字・脱字・位置ずれ等の表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 本機収録の内容は予告なく変更されることがあります。
- 本機に含まれる機能がお客様の特定目的に適合する事を、弊社は保証するものではありません。

本書の見かた

● 本説明書は VIE-X08S のイラスト / 画面を例に説明しています。VIE-X088 も操作は同じです。

1. 項目タイトル
項目ごとにタイトルがつけられています。

2. 操作タイトル
操作目的ごとにタイトルがつけられています。

3. 操作手順
操作の手順を示しています。

4. 操作画面
操作を行う前の画面を示しています。

5. 結果文
操作を行ったあとの状態を示しています。

● 駐車場情報を見る

VICS と提携している駐車場をリスト表示し、現在の混み具合のほか、地図や詳細情報を確認することができます。



▶ 走行中は安全のため、表示が制限されます。

● 駐車場リスト画面を表示する

付近の駐車場の情報を確認することができます。

▶ 走行中は安全のため、駐車場リスト画面は2行のみ表示されます。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **交通情報** タブにタッチし、**VICS 駐車場情報** にタッチします。

■ 駐車場アイコン表示

状況	マーク	内容
空車	空 (青)	利用可能な状態
満車	満 (赤)	ほぼ満車の状態
混雑	混 (橙)	利用率が高い状態
不明	不明 (黒)	駐車場情報がない状態

▶ 地図上に表示される駐車場アイコンについての説明は、135 ページを参照してください。



142

■ 本書でのスイッチ表記について

- 本体スイッチは、**〇〇〇** でスイッチ名称 (**メニュー** など) を表示しています。
- 画面のタッチスイッチは、**〇〇〇** またはアイコンでスイッチ名称 (**行き先**、**戻る** など) を表示しています。

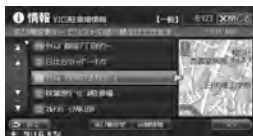
【並び順変更】……………①

一般駐車場 / SA・PA 情報を
切りかえる

一般駐車場のリストを表示させるか、サービスエリア (SA) / パーキングエリア (PA) のリストを表示させるかを選ぶことができます。

1 並び順変更 にタッチします。
リストの種類が切りかわります。

<一般駐車場リスト表示例>



並び順変更 にタッチ

< SA/PA リスト表示例>



【詳細情報】……………②

駐車場の詳しい情報を見る

1 詳細情報 にタッチします。
駐車場の詳細情報が表示されます。

完了 にタッチすると、駐車場周辺の地図が表示されます。

▶ 地図上の駐車場マークにタッチして情報を表示させることもできます。



- 情報 にタッチすると、駐車場の詳細情報が表示されます。
- 拡大 にタッチすると、近くの駐車場を選択します。

【完了】……………③
駐車場の地図を見る1 完了 にタッチします。
駐車場の地図が表示されます。

- リスト上の駐車場名称に再度タッチする、または地図表示にタッチしても検索を開始します。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください (検索・スクロール後の画面) 41 ページ参照。

6. アドバイス

知っておくと便利な情報や、関連する参照先などを示しています。

注意

制限事項や注意事項など重要な説明をしています。必ずお読みください。

7. セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

8. タッチスイッチイラスト・番号

そのタッチスイッチをタッチした場合の操作を説明します。

9. 補足

手順や結果に対する補足説明をしています。

VICS 情報を見る (交通情報)

■ 本書の操作方法説明について

本書は本体スイッチとタッチスイッチを使って操作方法を説明しています。

リモコンを使用しての操作方法については、「リモコン操作 (オプション)」(375 ページ) を参照してください。

目次

▶ はじめに

安全のためにかならず お守りください	2
本書の見かた	12
目次	14
準備	22
各部の名称と操作	22
最初に設定すると便利な機能	26
電源の ON/OFF	27
リセットする	27
ディスプレイの角度を調整する	27
音量を調整する	28
DVD、CD、SDメモリーカードの 出し入れ	28
iPod/iPhoneの接続	29
USBメモリの接続	30
マルチゲート画面の操作	31
マルチゲート画面を表示する	31
各モードに切りかえる	31
マルチゲート画面の配置を変更する	32
マルチゲート・メイン画面を操作する	32
メニュー画面、リスト画面の操作	35
メニュー画面の切りかえ方	35
リスト画面の切りかえ方	35
文字・数字の入力方法	36
文字を入力する	36
文節区切りを変更する	37
検索履歴を使用する	37
数字を入力する	37

▶ ナビゲーション

基本操作

ナビ基本操作	40
画面の見かた	40
ナビゲーション画面を表示する	43
地図をスクロールする	43
ナビ操作 / オーディオ操作 切りかえスイッチ	44
自宅を登録する	45
ルートを引く	46
地図表示を切りかえる	49
縮尺を切りかえる	49
方位を切りかえる	50
地図表示を切りかえる	51
地図表示を設定する	53
地図情報を見る	57
ランドマーク情報を見る	57
建物情報を見る	58

ナビゲーション案内

目的地設定・ルート探索について	60
行き先を決める	61
行き先画面を表示する	62
施設を名称で探す	62
施設をジャンルで探す	63
電話番号から探す	65
現在地周辺の施設を探す	65
登録地点から探す	67
目的地履歴から探す	67
住所リストから探す	68
路線別で探す	69
自宅へ帰る	69
よく行く地点を設定する	70
案内地周辺から探す	70
ルート周辺から探す	71
郵便番号から探す	72
住所を 50音で探す	73

マップコードから探す	74
緯度経度から探す	74
目的地を設定してルートを探索する ... 75	
目的地を設定する	75
ルートの探索結果画面	76
経由地を設定する	77
目的地案内方法 78	
案内表示	78
音声案内	80
フェリー航路の案内	81
到着情報の表示	81
料金案内	82
英語案内	82
踏み切り、合流案内	82
事故多発地点案内	82
ルートの確認・編集	
案内中のルートを確認する 84	
ルート画面を表示する	84
ルート情報(案内道路情報)を表示する ... 84	
ルートブラウザ機能	85
全ルートを表示する	86
探索したルートを確認する(デモ走行) ... 86	
案内中のルートを変更する 87	
ルート画面を表示する	87
経由地を変更する	87
条件を変更する	89
迂回する	89
5ルートから選択する	90
ルートを再探索する	90
ルートを消去する	90
最適ルートに変更する 91	
アクティブルートサーチ	91
抜け道ルート探索	92

地点の登録

地点を登録する 94	
地点登録画面を表示する	95
地点を登録する	95
カメラ表示地点を登録する	95
自転車位置を修正する	96
迂回地点を登録する	96
特別地点を登録する	97
自転車位置を地点登録する	97
地点情報を確認・変更する 98	
地点情報画面を表示する	98
地点情報画面を操作する	98

いつも NAVI

いつも NAVI について 104	
いつも NAVI とは	104
認証情報を入力する	105
おすすめスポット案内 107	
おすすめスポットの自動取得	107
おすすめスポットを手動で取得する ... 107	
おすすめスポットを自動で表示する ... 110	
おすすめスポットを手動で表示する ... 111	
接続を切断する	113

厳選ジャンル検索 114

現在地周辺の厳選ジャンルを検索する ... 114	
選んだ地点周辺の 厳選ジャンルを検索する	115

ドライブプラン 116

ドライブプランをサーバーに登録する ... 116	
ドライブプランを取得する	116
ドライブプランを利用してルートを引く ... 117	

お知らせ・特集 119

お知らせ・特集を取得する	119
お知らせ・特集を表示する	119
他モードでのお知らせ・特集表示	120

天気情報 121

現在地、目的地、経由地周辺の 天気情報を見る	121
選んだ地点周辺の天気情報を見る ... 121	
天気情報履歴	122

ドライブインフォ

ドライブインフォ画面を

表示する	124
------------	-----

ドライブインフォ画面の操作

交通情報 / いつも NAVI情報を見る	125
カメラ映像を見る	125
GPS受信状況の表示	126
燃費情報を見る	126
エコガイドの表示	128
エコ判定・標高のグラフ表示	128
行程ガイド表示	128
標高表示	128
ナビ画面表示	129
車速・横加速度表示	129

VICS 情報を見る (交通情報)

VICS ってこんなこと

利用できる情報	134
---------------	-----

受信局を検索する

自動的に受信局を検索する	137
地域で放送局を選ぶ	137

FM 多重情報を見る

VICS 情報を見る

VICS 割り込み情報を見る

割り込み情報を呼び出す	140
-------------------	-----

駐車場情報を見る

駐車場リスト画面を表示する	142
一般駐車場 / SA・PA情報を切りかえる	143
駐車場の詳しい情報を見る	143
駐車場の地図を見る	143

VICS に関する補足事項

VICS道路交通情報マーク一覧	145
-----------------------	-----

ハンズフリー電話を使う

ハンズフリー電話について

携帯電話を接続する

通信ケーブルで携帯電話を接続する	149
BLUETOOTHで携帯電話を接続する	150

電話を受ける

電話を切る

電話をかける

電話画面の表示	154
着信履歴から電話をかける	154
発信履歴から電話をかける	155
番号を入力して電話をかける	155
電話帳から電話をかける	155
短縮ダイヤルから電話をかける	157
直前にかけた電話番号に電話をかける	158
他モード画面から電話をかける	158

通話中の操作

通話全画面を表示する	159
通話音量を調整する	159
音声を切りかえる	160
トーン発信機能	160

着信履歴機能

着信履歴を消去する	161
-----------------	-----

発信履歴機能

発信履歴を消去する	162
-----------------	-----

電話帳機能

電話帳画面を表示する	163
電話帳を消去する	163
電話帳の並び順を変更する	163
短縮ダイヤルに登録する	164
画像に登録する	164
電話帳の画像を 本機 HDDにコピーする	165

情報の確認と更新

本機情報の確認

本機情報を表示する	168
-----------------	-----

地図データの更新

地図ディスクで全国地図データを 更新する	171
SDメモリーカード / USBメモリで 路線別データを更新する	173
本機にダウンロードして 路線別データを更新する	175
更新状況を確認する	176
認証情報を確認する	177
路線別データを取得する	178

オプション機能

ETCについて	180
ETCの料金表示について	180
ETC料金履歴を見る	180
ETCユーザー情報を見る	181
カメラ操作	182
リアカメラの映像	182
リアカメラ操作	183
リアカメラガイドについて	184
フロントカメラの映像	186
フロントカメラ操作	187
フロントカメラガイドについて	188
ルームカメラ / サイドカメラの映像	188
ルームカメラ / サイドカメラ操作	189
リアビジョンについて	190
リアビジョン連動機能	190

▶ オーディオ・ビジュアル

基本操作

オーディオ・ビジュアルソース

基本操作	194
オーディオ・ビジュアルソースを 切りかえる	194
オーディオ・ビジュアルソース メイン画面を表示する	194
オーディオ・ビジュアルソースを OFFにする	195
オーディオ音量の調整	195
一時的に音量を下げる(ミュート)	195

本機対応の圧縮フォーマットに

ついて	196
MP3/WMA/AACについて	196

地上デジタルテレビ

ご使用になる前に	200
B-CAS(ビーキャスト) カードを 挿入する	200
初期設定を行う	201
画面の見かた	202
操作画面を表示する	202

基本操作 203

地上デジタルテレビを表示する	203
手動で放送局を選ぶ	203
自動で放送局を選ぶ	203
ホームモード / お出かけモードを 切りかえる	204
チャンネルを自動で記憶する (お出かけスキャン)	204
地上デジタル放送とワンセグ放送を 切りかえる	204
プリセット操作	204
放送局を切りかえる	205
操作スイッチを切りかえる	205
モードを切りかえる	206
サービスを切りかえる	207
番組詳細情報を見る	207

データ放送を見る 208

データ放送画面を表示する	208
データ放送画面を操作する	208

番組表を操作する 209

番組表を表示する	209
前日の番組表を表示する	210
翌日の番組表を表示する	210
地上デジタル放送とワンセグの 番組表を切りかえる	210
詳細情報を見る	210
サービス一覧を表示する	210
放送局を切りかえる	210

地上デジタルテレビ設定 211

設定画面1を表示する	211
文字スーパーを表示する	211
緊急警報放送(EWS)を受信する	212
地上デジタル放送 / ワンセグ 自動切りかえ	212
放送局自動選局の設定	212
自動お出かけスキャンを設定する	213
ホームモードスキャンを実行する	213
設定内容を初期化する	213
設定画面2を表示する	214
ホームの地域を設定する	214
ホームの県域を設定する	215
ホームの郵便番号を設定する	215
B-CAS(ビーキャスト) カードの 情報を見る	215

ラジオ

画面の見かた	218
ラジオ操作	219
ラジオを聴く	219
バンドを切りかえる	219
放送局を探す	220
シークモードを選ぶ	220
自動で放送局を記憶する (オートメモリー)	220
プリセットモードを切りかえる	220
放送局にタイトルをつける	221
放送局を手動で記憶する	221
プリセットスイッチから放送局を選ぶ	221
交通情報を受信する	222

DVD

ご使用になる前に	224
DVDの機能	224
画面の見かた	225
操作画面を表示する	225
DVD情報表示の ON/OFF	225
操作画面の見かた	226
基本操作	228
再生する	228
チャプター / トラックの頭出しをする	229
早送り・早戻しする	229
静止(一時停止) する	230
コマ送り再生する	230
スローモーション再生する	230
再生中止(PRE STOP) する	231
再生停止する	231
メニュー画面を操作する	231
操作スイッチを切りかえる	232
繰り返し見る(リピート)	233
10キー画面を表示する	234
メニューを表示する	234
トップメニューを表示する	234
視聴制限した DVDを再生する	235

見たい映像を探す 236

チャプター / トラック番号から探す	236
タイトル / グループ / プログラム / プレイリスト番号から探す	237
プレイリストサーチ	237
プログラムサーチ	237
ページ送り / 戻し	238
グループを選ぶ	238
プログラム / プレイリストを選ぶ	238

DVD 設定 239

モード切換画面を表示する	240
音声 / 字幕切換画面を表示する	240
音声言語の切りかえ	240
サブタイトル(字幕言語) の切りかえ	241
アングルの切りかえ	241
DVD初期設定画面 1 を表示する	242
メニューの言語を切りかえる	242
優先する音声を切りかえる	242
字幕の言語を切りかえる	243
カントリーコード設定を変更する	243
視聴制限を設定する	244
DVD初期設定画面 2 を表示する	245
ダウンミックスを設定する	245
画面サイズを切りかえる	245
ボーナスグループを再生する	246
DVDオーディオ再生モードを 設定する	246
初期値に戻す	246

CD/MP3/WMA/AAC

画面の見かた	248
基本操作	249
再生する	250
聴きたい曲(ファイル) を選ぶ	250
早送り・早戻しする	251
一時停止する	251
繰り返し聴く(リピート)	251
曲順を変えて聴く(ミックス)	251
曲のイントロだけを聴く(スキャン)	252
操作スイッチを切りかえる (MP3/WMA/AAC)	252

聴きたい曲を探す 253

- 再生リストサーチ 253
- フォルダを選ぶ(MP3/WMA/AAC) ... 253
- ファイルサーチ(MP3/WMA/AAC) ... 254

HDD AUDIO**HDD をご使用になる前に 256**

- HDDについて 256
- データベースについて 256
- Gracenote®エンドユーザー
使用許諾契約書 256
- 録音について 258

HDD へ録音する 259

- 自動で録音する 259
- 手動で録音する 259

画面の見かた 260**基本操作 261**

- 再生する 261
- 聴きたい曲(ファイル) を選ぶ 261
- 早送り・早戻しする 262
- 一時停止する 262
- 操作スイッチを切りかえる 262
- 繰り返し聴く(リピート) 263
- 曲順を変えて聴く(ミックス) 263
- 曲のイントロだけを聴く(スキャン) ... 263

聴きたい曲を探す 264

- サーチ画面を表示する 265
- ジャンルから検索する 265
- アーティストから検索する 265
- アルバムから検索する 265
- 曲を検索する 266
- プレイリストを検索する 266
- ダイレクトサーチ機能 266
- ダイレクトアップ / ダウン機能 267
- 再生リストサーチ 267

録音曲編集 268

- 録音曲編集画面を表示する 268
- 録音曲を消去する 269
- 演奏順を変更する 269
- タイトル情報を取得する 269
- 録音曲の名称を変更する 270

プレイリスト編集 273

- プレイリスト編集画面を表示する 273
- プレイリスト名称を変更する 274
- プレイリストを編集する 274
- HDDの曲をプレイリストに登録する ... 275

SD メモリーカード**SD メモリーカードの操作 278**

- 再生する 278

iPod/iPhone**画面の見かた 280****基本操作 281**

- 再生する 281
- 聴きたい曲 / 見たい映像を選ぶ 282
- 早送り・早戻しする 282
- 一時停止する 282
- 操作スイッチを切りかえる 282
- 繰り返し再生する(リピート) 283
- 曲順を変えて再生する シャッフル
(M.I.X.) 283
- 全ての曲をミックス再生する シャッフル
(M.I.X.) 283

聴きたい曲を探す 284

- サーチ画面を表示する 285
- プレイリストを検索する 285
- ジャンルから検索する 285
- アーティストから検索する 287
- アルバムから検索する 287
- 曲を検索する 287
- Podcastを検索する 287
- オーディオブックを検索する 288
- 作曲者から検索する 288
- ビデオファイルサーチモードに
切りかえる 289
- ダイレクトサーチ機能 289
- ダイレクトアップ / ダウン機能 290
- 再生リストサーチ 290

見たい映像を探す 291

- ビデオファイルを検索する 291
- 音楽ファイルサーチモードに
切りかえる 291

USB メモリ

USB メモリの操作 294

再生する 294

外部機器

外部機器操作 296

外部入力モードにする 296

▶ 設定・編集

設定・編集 (ナビ・オーディオ編)

設定・編集 298

設定・編集操作を行う 298

各種設定 299

各種設定操作 299

地図表示設定 301

案内誘導設定 306

経路設定 309

VICS設定 311

AV設定 312

その他設定 313

地点編集 321

地点編集画面を表示する 322

登録地点編集 322

特別地点編集 323

迂回地点編集 324

カメラ表示地点編集 325

メディア編集 326

メディア編集画面を表示する 327

画像ファイルをコピーする 327

登録地点をメディアへコピーする 328

登録地点をメディアからコピーする 329

メディア情報を見る 329

SDメモリーカードを初期化する 329

画質調整 330

画質調整操作 330

音量調整 333

音量調整操作 333

音質調整 334

基本設定 336

車種専用サウンドセットアップ

EASY SETUP 337

MXモードの設定 340

イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶ

BASS MAX EQ 341

イコライザーカーブの設定

Parametric EQ 341

タイムコレクションの設定 342

X-OVERの設定 346

Dolby Pro Logic IIを使う

(Dolby設定) 348

音像を調整する BI-PHANTOM

(Dolby設定) 349

迫力のある大音量再生を楽しむ

(リスニングモード) (Dolby設定) ... 349

スピーカーを設定する 350

スピーカー出力レベルを設定する 351

ソース間の音量レベルを調整する 351

画像ビューアー機能 352

壁紙を表示する 352

画像ビューアー操作 353

設定・編集 (通信編)

電話設定 358

電話接続方法を設定する 358

BLUETOOTH携帯電話を

本機に登録する 358

BLUETOOTH機器の設定 360

通信機能の設定 363

接続先詳細設定 365

電話設定操作 367

電話設定 367

いつも NAVI 設定 369

いつも NAVI 設定操作 369

いつも NAVI 設定 370

▶ その他

リモコン操作（オプション）

リモコンを使いこなす 376

切りかえスイッチについて 376

ジョイスティックの倒し方 376

ジョイスティックの押し方 376

電池の出し入れ 377

リモコン操作 378

基本操作例 378

ナビゲーション操作 380

ナビゲーションのリモコン操作例 381

電話操作 386

地上デジタルテレビ操作 387

DVD操作 388

オーディオ操作 389

その他

知っておきたい豆知識 392

地上デジタル放送について 392

周波数帯域と音質について 393

用語説明 394

Q&A 396

故障かな？と思ったら 404

地図マーク一覧 412

施設ジャンル一覧 413

言語コード一覧 415

VICS 情報有料放送サービス

契約約款 416

マイクロソフトからの

使用許諾契約書 418

路線別データ使用規約 419

交通事故防止等安全確保のために

必ずお守りください 420

⚠ 電波に関する注意事項 421

地図データについて 422

保証について / 規格 423

お問い合わせ窓口 426

設定項目一覧 427

ドライブインフォ / EASY SETUP

車種一覧 430

目的別索引 431

共通 431

ナビゲーション関係 431

オーディオ・ビジュアル関係 434

索引 437

五十音順 437

アルファベット / 数字 443

地図画面の見かた 451

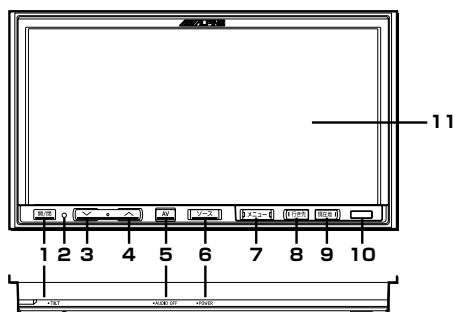
準備

各部の名称と操作

本機は本体スイッチを押したり、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）に直接タッチして操作します。別売リモコンからの操作については、「リモコン操作（オプション）」を参照してください。

▶ 本説明書は VIE-X0BS のイラスト / 画面を例に説明しています。VIE-X0BS も操作は同じです。

本体スイッチ



1. 開 / 閉 / TILT スイッチ

ディスプレイを開閉します。2 秒以上押すと角度調整画面を表示します。

2. リセットスイッチ

本機をリセットします。



AV ソースの音量を小さくするときに押します。



AV ソースの音量を大きくするときに押します。

5. AV / AUDIO OFF スイッチ

AV メイン画面を表示します。2 秒以上押すとオーディオ・ビジュアルソースの ON/OFF を切りかえます。

6. ソース / POWER スイッチ

AV ソースメニュー画面を表示します。2 秒以上押すと、本機の電源を OFF にします。

7. メニュー スイッチ

メニュー画面を表示します。

8. 行き先 スイッチ

行き先メニュー画面を表示します

9. 現在地 スイッチ

現在地画面を表示します。

自車位置画面を押すと音声案内の出力を行います（ルート案内中のみ）。また、現在地表示方法の切りかえを行います。

短押し：インジケータバーの現在地表示方法を一時的に切りかえます（路線名→地名、または地名→路線名）。

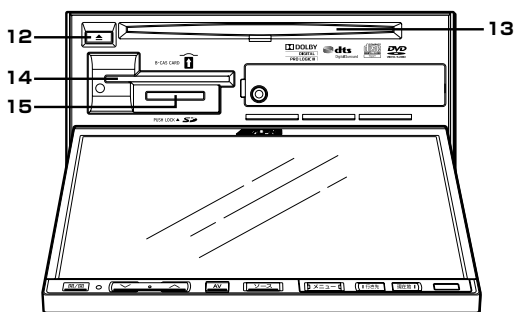
長押し：インジケータバーに表示される現在地表示方法の切りかえを行います。

10. リモコンセンサー / 調光センサー

別売リモコンで操作するときは、リモコンセンサーに向けて 2m 以内で使用します。また、周囲の明るさを感知します。

11. 画面

地図やメニューなどが表示されます。



12. ディスクイジェクトスイッチ

ディスクを取り出します。ディスクが挿入されている時は点灯します。噛み込みなどディスクが取り出せない時は、5 秒以上押すとディスクが押し出されます。

13. DVD/CD 挿入口

DVD や CD を挿入します。

14. B-CAS カード挿入口

B-CAS カードを挿入します。

15. SD メモリーカード挿入口

SD メモリーカードを挿入します。

タッチスイッチ

本体スイッチを押したときには、下記画面が表示されます。本機のような機能は、主に下記の画面をタッチして操作することができます。

■ AV / AUDIO OFF スイッチを押します。

現在の AV メイン画面が表示されます。各オーディオソースはメイン画面にタッチして操作を行います。

<表示例>



■ ソース / POWER スイッチを押します。

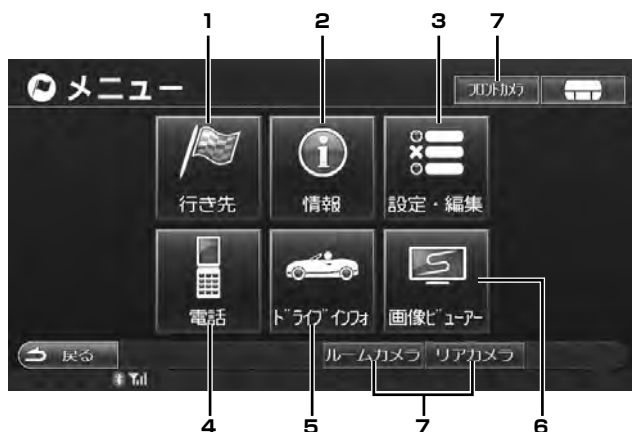
AV ソースメニュー画面を表示します。オーディオ・ビジュアルのソースを切りかえます。それぞれのソースについて詳しくは、各操作ページを参照してください。



- | | |
|---|---|
| 1. 「DVD」(223 ページ) または「CD/MP3/WMA/AAC」(247 ページ) 参照 | 6. 「地上デジタルテレビ」(199 ページ) 参照 |
| 2. 「HDD AUDIO」(255 ページ) 参照 | 7. 「ラジオ」(217 ページ) 参照 |
| 3. 「SD メモリーカード」(277 ページ) 参照 | 8. 「交通情報を受信する」(222 ページ) 参照 |
| 4. 「USB メモリ」(293 ページ) 参照 | 9. 「外部機器」(295 ページ) 参照 |
| または「iPod/iPhone」(279 ページ) 参照 | 10. 「オーディオ・ビジュアルソースを OFF にする」(195 ページ) 参照 |
| 5. 「音質調整」(334 ページ) 参照 | 11. 「カメラ操作」(182 ページ) 参照 |

■ メニュー スイッチを押します。

メニュー画面を表示します。行き先検索などナビゲーションで使用する操作、情報・通信に関する操作、本機の設定などを行うことができます。



1. 「行き先を決める」(61 ページ) 参照
2. 「いつも NAVI」(103 ページ)、
「VICS 情報を見る (交通情報)」(131 ページ)、
「ETC について」(180 ページ)、
「本機情報の確認」(168 ページ) 参照
3. 「設定・編集」(297 ページ) 参照
4. 「ハンズフリー電話を使う」(147 ページ) 参照
5. 「ドライブインフォ」(123 ページ) 参照
6. 「画像ビューアー機能」(352 ページ) 参照
7. 「カメラ操作」(182 ページ) 参照

■ 行き先 スイッチを押します。

行き先画面が表示されます。地点を検索することができます。



1. 「行き先を決める」(61 ページ) 参照

■ **現在地** スイッチを押します。

現在地画面を表示します。



1

1. 「ナビ基本操作」(40 ページ) 参照

■ 各画面共通タッチスイッチ

-  : マルチゲート画面を表示します。
-  : 現在の画面を終了し、元のモード (ナビゲーション、オーディオ・ビジュアルなど) に戻ります。
-  : 前の画面に戻ります。機能によっては、タッチした画面で行った操作がキャンセルされる場合があります。

● タッチスイッチの操作について

- タッチスイッチは操作音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。また、スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが橙色になるものもあります。
- 「地図にタッチ」は、直接地図 (タッチスイッチ以外の場所) をタッチすることを示しています。
- タッチスイッチの反応が悪いときは、タッチパネル補正 (「タッチパネルの調整」314 ページ参照) を行ってください。
- 操作音の音量を設定することができます (「操作音を調整する」333 ページ参照)。

注意

- 画面のよれは、柔らかい布 (シリコンクロスなど) で軽く拭き取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してありますので、ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

最初に設定すると便利な機能

下記項目を最初に設定すると、快適にお使いいただくことができます。

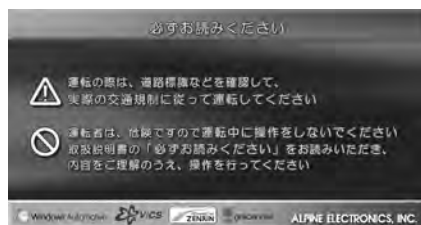
	項目	内容	参照ページ
1	EASY SETUP の設定	本機データベースにお客様の車室内環境に合わせた最適な音響空間を再現します。 あらかじめ本機データベースに登録された車種を選ぶ、またはスピーカーの有無やシートの種類などを選ぶことで設定します。	337 ページ
2	自宅を登録する	自宅を登録しておく、帰宅ルートを探すときに便利です。	45 ページ
3	よく行く地点を設定する	よく行く地点を登録することができます。よく行く地点を登録すると、簡単に地図を呼び出すことができます。	70 ページ
4	地図の文字サイズを設定する	地図上に表示される文字サイズを大きくすることができます（文字サイズの初期設定は「小」）。	306 ページ
5	スマート IC を利用する	スマートインターチェンジを利用したルートを引くことができます。	310 ページ
6	車両情報を設定する	駐車場検索や、料金を計算する際の基準とするために、お車の種別や車両寸法を設定します。	308 ページ
7	リアカメラのガイドを調整する	別売リアカメラ接続時、車幅や距離間隔を補うガイドを表示します。また、ガイドをお車に合わせて調整することもできます。	318 ページ
8	初期設定を行う（地上デジタルテレビ）	お住まいの地域を設定し、受信できるチャンネルを自動的に記憶します。	201 ページ
9	放送局を記憶する（オートメモリー）（ラジオ）	受信できる放送局を記憶します。	220 ページ
10	電話接続方法を設定する	本機に携帯電話を接続し、ハンズフリー電話として利用することができます。	358 ページ

電源の ON/OFF

1 イグニッションキーを ACC または ON にします。

本機の電源が自動的に入ります。電源が入るとオープニング画面、「必ずお読みください」画面に続いてモード画面（地図画面や CD 画面など）が表示されます。

表示されるモード画面はイグニッションキーを OFF にする前のモード画面を表示します。例えば、ナビゲーションモードでイグニッションキーを OFF から ON にすると、ナビゲーションモードで立ち上がります。



2 電源を切るには ソース / POWER スイッチを 2 秒以上押します。

本機の電源が OFF になります。

電源を入れるには、再度 **ソース / POWER** を押します。

- ▶ **開 / 閉 / TILT** スイッチ、**▲** スイッチ、リセットスイッチ以外のどのスイッチを押しても電源が入ります。
- ▶ 電源を入れた直後は、画面が暗く見にくいときがありますが、数分たちますと正常表示になります。また画面（液晶パネル）は、全有効画素中に微少の画素欠や常時点灯画素がある場合がありますが故障ではありません。

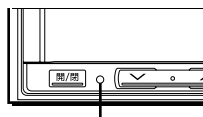
注意

- 動きのない画面を長時間表示させないでください。同じ画像を長時間表示しているとその画像が画面に残ってしまふことがあります。

リセットする

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度イグニッションキーを ON/OFF してください。それでも正常動作しない場合は、本機をリセットしてください。

1 リセットスイッチをペン先などで押します。



リセットスイッチ

本機のシステムがリセットされ、再起動します。

- ▶ リセットを行っても、地点情報や設定などが消えることはありません。

ディスプレイの角度を調整する

ディスプレイの角度を 6 段階で調整できます。画面が最も見やすい角度に調整してください。

1 開 / 閉 / TILT スイッチを 2 秒以上押します。

角度調整画面が表示されます。



2 UP または DOWN にタッチして、お好みの角度に調整します。

ディスプレイの角度がスライドします。

- ▶ 角度をつけたままでも **開 / 閉 / TILT** スイッチを押すとディスプレイは開きます。ディスプレイを閉じると調整した角度に戻ります。
- ▶ 角度調整画面表示時に **戻る** または **閉じる** にタッチすると、元の画面に戻ります。

音量を調整する

本体スイッチまたは設定画面から行います。

オーディオ音量を調整する

1 ▲ または ▼ を押します。

詳しくは「オーディオ音量の調整」(195 ページ) を参照してください。

ナビゲーション音声案内音量を調整する

設定画面で調整を行います。「音量調整」(333 ページ) を参照してください。

本機操作音の音量を調整する

設定画面で調整を行います。「音量調整」(333 ページ) を参照してください。

- ▶ 携帯電話接続時の各種音量も調整できます。「音量調整」(333 ページ) を参照してください。

DVD、CD、SD メモリーカードの出し入れ

各メディアの取り扱いについては、3 ～ 11 ページ「取り扱い上のご注意」を参照してください。

注意

- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。
- ▶ ディスプレイの角度をつけているときは、ディスプレイを閉じると調整した角度に戻ります。
- ▶ DVD/CD/SD メモリーカードの場合、メディアのチェックやファイル形式を読み込むまで、再生に時間がかかる場合があります。
- ▶ DVD/CD が取り出せないとき(噛み込みなど)は、▲ スイッチを 5 秒以上押してください。ディスクが押し出されます。

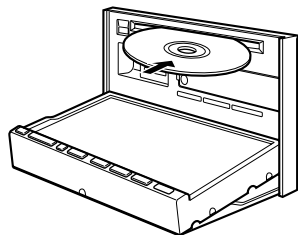
DVD/CD を入れる

注意

- ディスクを挿入する前に必ずディスクが入っていない事を確認してください。ディスクが入っているときは、ディスクジェクトスイッチが点灯しています。

1 開 / 閉 / ・TILT スイッチを押します。 ディスプレイが開きます。

2 レーベル面を上にして DVD/CD 挿入口にディスクを挿入します。



途中で挿入すると、ディスクが自動的に引き込まれます。

ディスクが挿入されると、ディスプレイが自動的に閉まり再生が始まります。

DVD/CD を取り出す

1 開 / 閉 / ・TILT スイッチを押します。 ディスプレイが開きます。

2 ▲ を押します。 ディスクが排出されます。

- ディスクが排出されるまで少し時間がかかります。

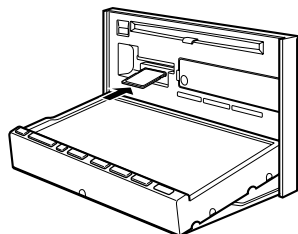
3 ディスクを取り出します。 ディスクは必ず取り出してください。

4 開 / 閉 / ・TILT スイッチを押します。 ディスプレイが閉じます。

SD メモリーカードを入れる

1 開 / 閉 / ・TILT スイッチを押します。 ディスプレイが開きます。

2 レーベル面を上にして SD メモリーカード挿入口に SD メモリーカードを挿入します。



- “カチッ” と音がするまで差し込んでください。

- 3** 開 / 閉 / ・TILT スイッチを押します。
ディスプレイが閉じます。

SD メモリーカードを取り出す

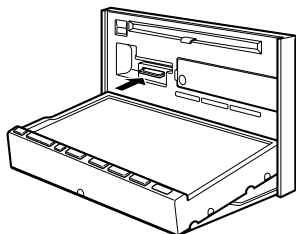
注意

- 開 / 閉 / ・TILT スイッチを押してディスプレイを開くと、SD メモリーカードへのアクセスが中断されますのでご注意ください。

- 1** 開 / 閉 / ・TILT スイッチを押します。
ディスプレイが開き、SD メモリーカードの再生を行っていた場合は停止されます。

- 2** 挿入されている SD メモリーカードを押します。

SD メモリーカードが押し出されます。



- 3** SD メモリーカードを取り出します。
SD メモリーカードは必ず取り出してください。

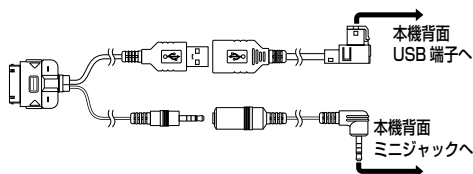
- 4** 開 / 閉 / ・TILT スイッチを押します。
ディスプレイが閉じます。

iPod/iPhone の接続

別売キット KCU-450iV が必要です。

iPod/iPhone を接続する

- 1** iPod 接続ケーブルを接続します。



- 2** iPod 接続ケーブルに iPod/iPhone を接続します。

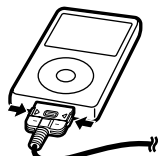


- ▶ 取付説明書もあわせてご覧ください。
- ▶ 運転中は iPod/iPhone を接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- ▶ 運転中は iPod/iPhone のイヤホンを使用しないでください。事故・ケガの原因になります。
- ▶ 再生中の iPod/iPhone を本機に接続すると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。
- ▶ iPod/iPhone を接続しても音が出ないときや、iPod/iPhone を認識できない場合は、一度 iPod/iPhone を外して再接続するか、iPod/iPhone のリセットを行ってください。
- ▶ 本機に iPod/iPhone を接続する前に、iPod/iPhone の EQ 機能を「オフ」に設定することをお勧めします。
- ▶ iPod/iPhone と USB メモリを同時に接続することはできません。

iPod/iPhone を外す

iPod/iPhone 再生中でも iPod を外すことができます。

- 1** iPod 接続ケーブルから iPod/iPhone を外します。



- ▶ 運転中は iPod/iPhone を外さないでください。事故・ケガの原因になります。

USB メモリの接続

別売キット KCU-450iV が必要です。

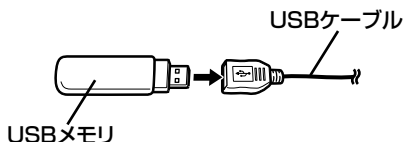
- ▶ USB メモリ接続には、KCU-450iV の USB ケーブルのみ使用します。iPod 接続ケーブルは外してご使用ください。

USB メモリを接続する

1 USB ケーブルを接続します。



2 USB ケーブルに USB メモリを接続します。



- ▶ 取付説明書もあわせてご覧ください。
- ▶ 運転中は USB メモリを接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- ▶ USB メモリを接続しても音が出ないときや USB メモリを認識しない場合は、一度 USB メモリを外して再接続してください。
- ▶ USB メモリと iPod/iPhone を同時に接続することはできません。
- ▶ ミニジャックにポータブルオーディオなどを接続してもご使用になれません。

USB メモリを外す

1 **メニュー** スイッチまたは **ソース / POWER** スイッチを押します。

2 **USB 解除** にタッチします。



3 USB ケーブルから USB メモリを外します。

- ▶ 運転中は USB メモリを外さないでください。事故・ケガの原因になります。
- ▶ USB メモリを取り外す時には、USB メモリを真っ直ぐ引き抜いてください。
- ▶ **USB 解除** は USB メモリ接続時のみ表示されます。

マルチゲート画面の操作

マルチゲート画面は、ナビゲーション / オーディオ・ビジュアル / ドライブインフォ / コミュニケーションの4つの画面を同時に表示します。それぞれのモードへ簡単に切りかえることができ、各モードからも簡単にマルチゲート画面に切りかえることができます。

＜表示例＞



マルチゲート画面を表示する

- 1  にタッチします。

＜画面表示例＞



タッチする

各モードに切りかえる

- 1 画面にタッチします。
タッチしたモード (ナビゲーション / オーディオ・ビジュアル / ドライブインフォ / コミュニケーション) に切りかわります。

タッチする



マルチゲート画面に切りかわります。

マルチゲート画面の配置を変更する

マルチゲート画面の配置を変更することができます。
画面配置の変更方法は2種類あります。

ドラッグ&ドロップで移動する

- 1 移動させたい画面にタッチし、タッチしたまま希望の場所まで動かします。



- 2 指を画面から離します。
画面が入れかわります。



Layout Change スイッチで移動する

- 1 **Layout Change** にタッチします。



タッチするごとに全体が回転して時計回りに入れかわります。

マルチゲート・メイン画面を操作する

メイン画面に表示されているソースの簡易操作を行うことができます。操作について詳しくは、それぞれのモードの操作ページを参照してください。

ナビゲーション画面



1. **方位切りかえスイッチ**
地図の方向が切りかわります。「方位を切りかえる」(50 ページ) を参照してください。
2. **地図縮尺切りかえスイッチ**
地図の縮尺が切りかわります。「縮尺を切りかえる」(49 ページ) を参照してください。

<ルート案内時表示例>



1. 交差点名称
2. 進行方向
3. 交差点までの距離

ドライブインフォ画面



- ドライブインフォ画面の見かたについては、「ドライブインフォ」(123 ページ) を参照してください。

オーディオ・ビジュアル画面

<ラジオモード画面表示例>



<iPod/iPhone モード画面表示例>



1. 情報アイコン表示

2. ソース切りかえスイッチ

現在のソースを表示します。タッチするとオーディオ・ビジュアルソースを切りかえます。

3. 情報表示

各ソースのメイン画面と同様に表示されます。

4. UP/DOWN スイッチ

ソースによって、UP/DOWN スイッチの表示、動作は異なります。

<UP/DOWN スイッチ動作一覧>

	タッチする	長くタッチする
DVD/CD/HDD/SD/USB	トラック / ファイル / チャプター切りかえ	- 音楽ソース：早送り / 早戻し - 映像ソース：－
iPod/iPhone	ファイル切りかえ	早送り / 早戻し
地上デジタルテレビ	プリセット切りかえ	連続プリセット切りかえ
ラジオ	- ディスタンスモード / ローカルモード：自動選局 - マニュアルモード：チャンネル切りかえ	- ディスタンスモード / ローカルモード：自動選局 - マニュアルモード：連続チャンネル切りかえ
交通情報	1620kHz / 1629kHz 切りかえ	－

5. 再生経過時間表示

6. イメージ表示

▶ 情報アイコンについて詳しくは、「情報アイコン表示について」(194 ページ) を参照してください。

コミュニケーション画面



1. 着信履歴、発信履歴表示
2. 着信履歴画面表示スイッチ
「着信履歴機能」(161 ページ) を参照してください。
3. 発信履歴画面表示スイッチ
「発信履歴機能」(162 ページ) を参照してください。
4. イメージ表示
5. 電波レベル表示

<いつも NAVI 接続時画面表示例>



1. おすすめスポット名称
2. 方向、距離
3. お知らせ・特集表示
4. 着信履歴

メニュー画面、リスト画面の操作

メニュー画面、リスト画面の画面切りかえの方法について説明します。

メニュー画面の切りかえ方

<メニュー画面表示例>



1. マルチゲート画面に切りかえます。
2. 次の階層が表示されます。
3. 前の画面に戻ります。



4. メニュー画面を終了し、元のモード(ナビゲーション、オーディオ・ビジュアルなど)に戻ります。
 5. タブにタッチすると、メニュー画面が切りかわります。
- トーンダウンしているメニューは操作できません。

リスト画面の切りかえ方

<リスト画面表示例>



1. リスト画面を終了し、元のモード(ナビゲーション、オーディオ・ビジュアルなど)に戻ります。
2. 選択中の項目のリスト内の順番 / リストの総数
3. タブにタッチすると、リスト画面が切りかわります。

タブには、以下のような項目が表示されます。

• 50 音の場合

あ か さ た な は ま や ら わ

• 地方名の場合

北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国
四国 九州

• ジャンル名の場合

食事 買物 車 交通 観光宿泊...など

4. ▲ または ▼ にタッチすると 1 項目ずつ上下にスクロールします。
△ または ▽ にタッチすると、1 画面ずつ上下にスクロールします。
5. 前の画面に戻ります。

はじめに

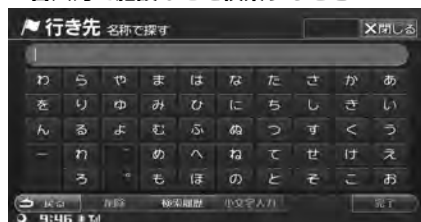
文字・数字の入力方法

文字の入力は、登録操作や場所の検索などが必要になります。使用する機能によって表示される画面や手順が多少異なりますが、基本的な入力方法は以下のとおりです。

■ 登録地点の名称を入力するとき



■ 50音入力で施設などを検索するとき



文字を入力する

ここでは、登録地点の名称を入力する操作を例に説明します。

1 入力したい文字の種類にタッチします。



選択した文字種の入力画面が表示されます。

- 選択できる文字種は **かな カナ 英数 記号 1 記号 2** です。さらに英数字、記号の場合は、**半角** を選択できます。
- 拗音(ょ)や促音(っ)などを入力するときは、**小文字** にタッチします。
- トーンダウンしているスイッチは操作できません。

2 入力したい文字や記号にタッチします。



- 間違えて入力した場合は、**削除** にタッチして入力し直します。
- **削除** にタッチするたびに、カーソルの左側から 1 文字ずつ文字が削除されます。
- **削除** にタッチし続けると、入力したすべての文字が削除されます。
- カーソルは、**◀ ▶ ▼ ▲** にタッチして移動します。

3 漢字に変換する場合は、**変換** にタッチし、目的の漢字を表示させます。



- 漢字変換しない場合は、手順 4へ進んでください。
- 変換前の状態に戻すには、**削除** にタッチします。
- 別の漢字に変換するには、もう一度 **変換** にタッチします。
- 1つ前の漢字に戻すには、**前変換** にタッチします。
- 文節区切りを変更するには、**◀ ▶** にタッチします(「文節区切りを変更する」37ページ参照)。

4 **確定** にタッチします。

漢字が確定されます。

- 確定したあとで修正する場合は、**削除** にタッチして文字を削除の後、入力し直します。
- **削除** にタッチするたびに、カーソルの左側から 1 文字ずつ文字が削除されます。
- **削除** にタッチし続けると、入力したすべての文字が削除されます。

- 5 **完了** にタッチします。
文字入力を終了し、元の画面に戻ります。

文節区切りを変更する

変換後（確定前）に ◀ ▶ にタッチすると、変換対象とする文節の区切りを変更できます。

- 1 ◀ ▶ にタッチして区切り位置を変更します。



▶ にタッチ



- ◀ ▶ にタッチするたびに、文節の長さが1文字ずつ増減します。
- 以降の操作は、36 ページ「文字を入力する」の手順 3 に戻ります。

検索履歴を使用する

以前入力した文字列を利用して入力することができず。

- 1 **検索履歴** にタッチします。
以前入力した文字列がリスト表示されます。
- 2 リストから希望の名称にタッチします。



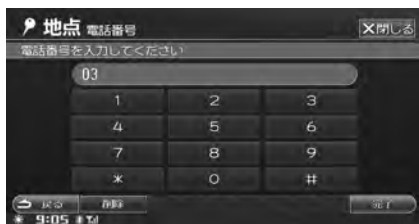
- 3 **完了** にタッチします。
選んだ文字列が入力されている状態で、文字入力画面に戻ります。

- ▶ 20 件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- ▶ 選択した検索履歴を消去するには **消去** にタッチします。
すべての検索履歴を消去するには **消去** にタッチし続けます。メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。

数字を入力する

ここでは、電話番号を入力する操作を説明します。

- 1 入力したい数字にタッチします。



- 間違えて入力した場合は、**削除** にタッチして入力し直します。
削除 にタッチするたびに、カーソルの左側から1文字ずつ数字が削除されます。
削除 にタッチし続けると、入力したすべての数字が削除されます。
- 無効な数字や入力可能文字数以上を入力しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

- 2 **完了** にタッチします。
数字入力を終了します。

[illegible]

基本操作

❖ ナビ基本操作	40
画面の見かた.....	40
ナビゲーション画面を表示する.....	43
地図をスクロールする.....	43
ナビ操作 / オーディオ操作切りかえスイッチ.....	44
自宅を登録する.....	45
ルートを引く.....	46
❖ 地図表示を切りかえる	49
縮尺を切りかえる.....	49
方位を切りかえる.....	50
地図表示を切りかえる.....	51
地図表示を設定する.....	53
❖ 地図情報を見る	57
ランドマーク情報を見る.....	57
建物情報を見る.....	58

ナビ基本操作

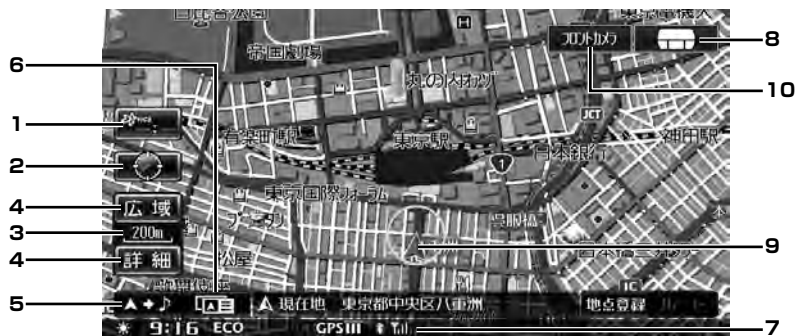
画面の見かた

ナビゲーションの地図表示には現在地を表示した画面と、検索やスクロールによって表示させた画面があります。

▶ 「地図画面の見かた」(451 ページ) も参照してください。

現在地画面

現在地画面は、自転車位置とその周辺を示した地図です。地図上に表示される情報は、ルート案内中かどうかによって異なります。



1. VICS タイムスタンプ

VICS 情報が発信されている地域で、VICS レベル 3 情報が提供された時刻が表示されます。
VICS 情報については、「VICS 情報を見る (交通情報)」(131 ページ) を参照してください。

2. 方位マーク

地図の方角が表示されます。タッチするたびに地図の方向が切りかわります。地図方向の切りかえについては、「方位を切りかえる」(50 ページ) を参照してください。

3. スケール表示

表示している地図の縮尺が表示され、 の長さがこの場合は 200m を示しています。

4. 縮尺切りかえスイッチ

地図の縮尺を切りかえます。「縮尺を切りかえる」(49 ページ) を参照してください。

5. ナビ操作 / オーディオ操作切りかえスイッチ

タッチすることにより、ナビ操作スイッチ、オーディオ操作スイッチ、スイッチ表示 OFF を切りかえます。「ナビ操作 / オーディオ操作切りかえスイッチ」(44 ページ) を参照してください。

6. 地図表示切換スイッチ

地図切換画面が表示されます。詳しくは、「地図表示を切りかえる」(51 ページ) を参照してください。

7. インジケーター

詳しくは、「インジケーター表示について」(53 ページ) を参照してください。

8.

タッチするとマルチゲート画面に切りかわります。詳しくは、「マルチゲート画面の操作」(31 ページ) を参照してください。

9. 自転車位置マーク

現在地と車が向いている方向が表示されます。

10. フロントカメラ

フロントカメラ接続時のみ表示されます。タッチするとフロントカメラ画面に切りかえます。



携帯電話通話中のみ表示されます。タッチすると通話画面を表示します。

- 通話中アイコンは交差点拡大図のような割り込み画面など、他の画面上でも表示されます。

▶ 地図上のマークについては、「地図マーカー一覧」(412 ページ) を参照してください。

▶ ナビゲーションシステムが作動してからしばらくの間は、電波を受信しやすい場所においても測位できません。
また、ナビゲーションシステムが作動したあとすぐに走行すると、GPS が測位するまでの時間が長くなります。
GPS 信号を受信してから走行することをおすすめします。

▶ バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなどは、GPS が測位するまでの時間が長くなる場合があります。

- ▶ 一般道路と高速道路、走行中と停車中、それぞれ地図の情報表示量が見やすく切りかわります。一般道路走行中は一般道路を強調した表示、高速道路走行中は高速道路を強調した表示になります。また、走行中は建物を省略して道路を見やすく表示し、停車中は現在地を確認しやすいように建物を強調して表示します。

<走行中>



<停車中>



- ▶ 市街地図では、都道府県や市区町村などの境ごとで塗り分けして地図を見やすく表示します。

検索・スクロール後の画面

地図の検索やスクロールをしたあとの画面には、カーソルや以下の情報が表示されます。地図の検索については「行き先を決める」(61 ページ)、スクロールについては「地図をスクロールする」(43 ページ)を参照してください。



1. カーソルマーク

十字カーソルマークが表示されます。カーソル地点の詳細情報を見たり、その地点を目的地や経由地に登録することができます。

建物情報やランドマーク情報など情報がある地点に合わせて、**情報** スイッチが表示されます。詳しくは、「ランドマーク情報を見る」(57 ページ)を参照してください。

2. 現在地からの距離

現在地からカーソル位置(十字の中央)までの距離が表示されます。

3. 戻るスイッチ

1 つ前の画面に戻ります。

4. 最寄り検索

表示した地図の十字カーソルの周辺施設を検索することができます。案内地点周辺と同様の操作で検索することができます。「案内地周辺から探す」(70 ページ)を参照してください。

5. 建物情報

市街地図で、情報のある建物にカーソルを合わせると表示されます。

6. 登録

十字カーソル位置の地点情報を登録します。詳しくは「地点の登録」(93 ページ)を参照してください。

7. 経由地

目的地がすでに設定されている場合に表示されます。十字カーソルの地点を経由地に設定します。

8. 目的地

十字カーソルの地点を目的地に設定します。

9. 閉じる

自車位置画面に戻ります。

10. いつも NAVI

いつも NAVI 接続時のみ表示されます。タッチするといつも NAVI 画面を表示します。

- ▶ 現在地画面に戻すには、**現在地** スイッチを押します。



1. 到着情報表示

目的地案内中に、通過点（目的地、経由地など）までの残距離や到着予想時刻などが表示されます。

詳しくは、「到着情報の表示」（81 ページ）を参照してください。

2. ルート表示

目的地案内中に、目的地までのルートが一般道はピンク、高速・有料道路は紫色で表示されます。

案内が行われるのは、ピンク・紫色のライン上に自車位置マークがあるときのみです。**ルート** にタッチすると、ルートに関する情報の確認や変更ができます。詳しくは、「ルートの確認・編集」（83 ページ）を参照してください。

3. レーン（車線）表示

レーン情報のある交差点の手前では、走行する交差点までの距離とレーン図が表示されます。

詳しくは、「レーン（車線）ガイド表示」（79 ページ）を参照してください。

4. 警告アイコン

踏切、合流地点、事故多発地点ではアイコンが表示されます。

詳しくは、「踏み切り、合流案内」「事故多発地点案内」（82 ページ）を参照してください。

5. 案内ポイント

目的地案内中に、交差点案内（レーン（車線）情報表示・交差点案内画面など）が表示される交差点に表示されます。レーン情報がある直進の交差点では「**●**」が、右左折の交差点では「**○**」が表示されます。交差点案内については、「交差点・高速分岐案内」（78 ページ）を参照してください。

6. 直線誘導線

目的地案内中に、現在地から見た目的地の方向を直線で示します。

直線誘導線表示については、「方向誘導線表示」（80 ページ）を参照してください。

7. ルート

ルート画面を表示します。

ナビゲーション画面を表示する

ナビゲーション画面を表示するには、本機の電源が ON のときに、下記のいずれかの操作を行います。

現在地画面を表示する

- 1 **△/ 現在地** スイッチを押します。
現在地画面が表示されます。

- ▶ 表示された自車位置がズレている場合、しばらく走行していると GPS 機能によって自動的に修正されます（場合によっては数分かかることがあります）。それでも正しい位置に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地を指定してください（「自車位置を修正する」96 ページ参照）。
- ▶ シフトレバーをバックギアに入れたときのカメラ画面、VICS 緊急・注意警戒画面表示中は現在地画面に戻りません。

マルチゲート画面から現在地を表示する

- 1 マルチゲート画面で、ナビゲーション表示部にタッチします。
マルチゲート画面については「マルチゲート画面の操作」（31 ページ）を参照してください。



現在地画面に切りかわります。

行き先画面を表示する

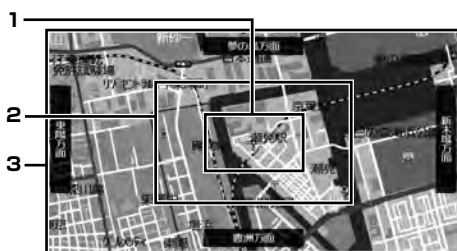
- 1 **行き先** スイッチを押します。
または、**メニュー** スイッチを押した後、**行き先** にタッチします。



行き先画面が表示され、地点の検索を行うことができます。

地図をスクロールする

地図のタッチスイッチ以外の位置にタッチすると、タッチした位置を中心として地図がスクロールされます。スクロールしたあとは、地図画面に十字カーソルと現在地からの距離が表示されます。また、画面にタッチし続けると、その方向に一気にスクロールされます。手を離すとスクロールが止まります。タッチし続けるエリアによってスクロールする速さが変わります。



1. **エリア 1**
ゆっくりスクロールします。
2. **エリア 2**
3 段階でスクロールが速くなります。
3. **エリア 3**
速くスクロールします。

- ▶ 走行中は安全のため、連続スクロールはできません。
- ▶ 現在地の地図に戻すには **現在地** スイッチを押します。
- ▶ スクロールすると、自動的に平面・1画面表示に切りかわります。
- ▶ スクロールする方面の地名を、地図上に表示することができます。「地図スクロール時の地名表示設定」306ページ参照。

ナビ操作 / オーディオ操作 切りかえスイッチ

現在地画面上の操作スイッチを、ナビ操作モードかオーディオ操作モードに切りかえることができます。また、スイッチを非表示にすることもできます。



切りかえスイッチ

- 1 現在地画面上の切りかえスイッチにタッチします。

タッチすることによりモードが切りかわります。

▲▶ → ◀◀ → ▶▶ → ▲▶ → …

■ ナビ操作モード時

地図画面切りかえ、地点登録、ルート編集を行うそれぞれの画面の表示を行うことができます。



1. **地図表示切替スイッチ**
地図切替画面を表示します。「地図表示を切りかえる」(51 ページ) を参照してください。
2. **現在地 / 路線名表示**
3. **地点登録スイッチ**
自車位置を地点登録します。「自車位置を地点登録する」(97 ページ) を参照してください。
4. **ルートスイッチ**
ルート画面を表示します。「ルートの確認・編集」(83 ページ) を参照してください。

■ オーディオ操作モード時

現在のオーディオソースの簡易操作を行うことができます。



1. **MUTE スイッチ**
タッチすると瞬時に音量が下がります。ミュート中は音量表示が点滅します。
2. **トラック No./ ファイル No./ チャプター No./ 受信チャンネル / 受信周波数表示**
3. **タイトル表示**
4. **UP/DOWN スイッチ**
ソースによって、UP/DOWN スイッチの表示、動作は異なります。

< UP/DOWN スイッチ動作一覧 >

	タッチする	長くタッチする
DVD/CD/ HDD/SD/ USB	トラック / ファイル / チャプター切りかえ	・音楽ソース： 早送り / 早戻し ・映像ソース：－
iPod/ iPhone	ファイル切りかえ	早送り / 早戻し
地上デジタルテレビ	プリセット切りかえ	連続プリセット切りかえ
ラジオ	・ディスタンスモード / ローカルモード：自動選局 ・マニュアルモード：チャンネル切りかえ	・ディスタンスモード / ローカルモード：自動選局 ・マニュアルモード：連続チャンネル切りかえ
交通情報	1620kHz/ 1629kHz 切りかえ	－

自宅を登録する

自宅を登録しておけば、簡単な操作で呼び出せるようになります。帰宅ルートを探すときに便利です。

自宅以外の地点を登録する方法は、「地点を登録する」(94 ページ) を参照してください。

1 地図をスクロールして自宅に十字カーソルを合わせます。

- 電話番号や住所などで検索した地図で登録することもできます。「行き先を決める」(61 ページ) を参照してください。



2 登録 にタッチします。



3 特別地点 にタッチします。

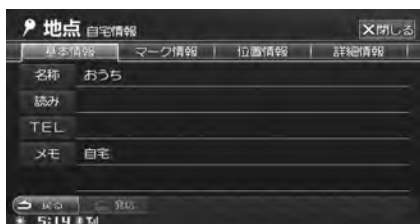


4 自宅 にタッチします。



自宅が登録され、自宅情報画面が表示されます。

5 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。



- 情報を変更する場合は、「地点情報画面を操作する」(98 ページ) を参照してください。

6 現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。

- ▶ 精度の高い案内ができるよう、できるだけ詳細な地図で自宅を探してください。
- ▶ 登録した自宅を呼び出すには、「自宅へ帰る」(69 ページ) を参照してください。

ルートを引く

ナビ案内を利用するには、自車位置画面を出す→場所を探す→ルートを引く→ルートを確認する、の手順を踏みます。説明を一通り読んでから操作に入りましょう。

行き先を決める

今いるところからルートを決めます。目的地はさまざまな方法で探し出せますが、ここではジャンル検索を使って「横浜の山下公園」に行ってみましょう！

1 行き先 スイッチを押します。

行き先画面が表示されます。

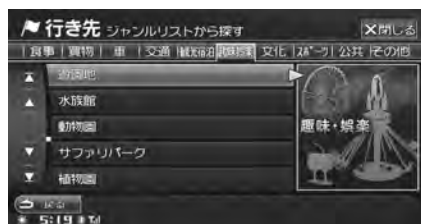
- ・メニュー スイッチを押した後 **行き先** にタッチしても、行き先画面が表示されます。

2 ジャンル にタッチします。

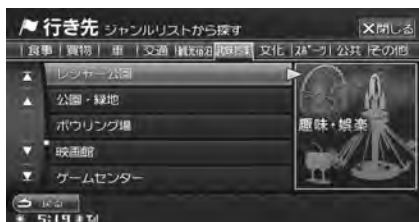


施設を探す画面が表示されます。

3 趣味 娯楽 タブにタッチします。



4 レジャー公園 にタッチして画面をスクロールし、レジャー公園 を表示させタッチします。



都道府県リストが表示されます。

5 関東 タブにタッチした後、神奈川 にタッチします。



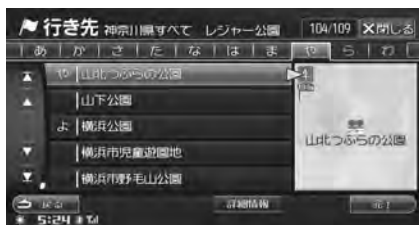
市区町村リストが表示されます。

6 神奈川県すべて にタッチします。



レジャー公園リストが表示されます。

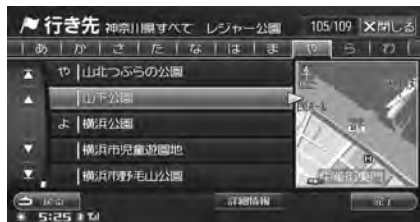
7 や 行 タブにタッチした後、山下公園 にタッチします。



画面右側に山下公園の地図が表示されます。

8 完了 にタッチします。または画面右側の地図にタッチするか、**山下公園** に再度タッチします。

- **詳細情報** にタッチすると、施設の情報を見ることができます。詳細情報画面については、「詳細情報画面の操作」(64 ページ) を参照してください。



地点が検索され、山下公園付近の地図が表示されます。

9 **目的地** にタッチします。



ナビゲーションが自動的にルート探索を行います。

10 探索終了後、探索結果画面が表示されます。

5 つのルートが表示され、それぞれ目的地までの時間と料金が表示されます。希望のルートを選択することができます。



5 ルート

1. **推奨**
VICS 情報、VICS 統計情報(渋滞予測)、ルート学習情報、渋滞学習情報を利用して、目的地まで最短の時間で行ける代表的なルート
2. **一般**
一般道路を優先して通る代表的なルート
3. **距離**
最短の距離を通る代表的なルート
4. **道幅**
道幅の広い道路を通る代表的なルート
5. **別ルート**
上記 4 つのルートを通らないルート
 - 推奨以外のルートを選択するには、そのルートにタッチします。
 - **案内開始**
現在地画面に戻り、選択されたルートで目的地案内を開始します(「目的地案内を開始する」76 ページ参照)。
 - **IC 変更**
利用するインターチェンジ(IC)を指定することができます(「インターチェンジ(IC)を指定する」77 ページ参照)。

11 走行するか **案内開始** にタッチすると、**自転車位置画面**を表示し、**ルート案内**を開始します。

再度ルートを確認するには、「案内中のルートを確認する」(84 ページ) を参照してください。

- ▶ 5 ルートの中には同じルートが検索される場合があります。
- ▶ 本機に収録された VICS 統計情報を使用するため、ピーコン情報を受信しなくても時間帯によって異なる渋滞回避ルート探索を行うことができます。
- ▶ 「距離」…条件によって最短ルートを表示しない場合があります。
- ▶ 「一般」…自転車位置が有料道路にある場合など有料道路を通ったほうが良いと判断される場合は、有料道路を通るルートを表示することがあります。
- ▶ 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります(「車両情報を設定する」308 ページ参照)。
- ▶ 所要時間は設定した車速(「車速を設定する」307 ページ参照)や VICS 旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ▶ ルート探索中に、ほかの画面に切りかえると、選択中のルートで案内を開始します。

- ▶ 高速道路や有料道路のインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（90 ページ参照）を行ってください。
- ▶ 登録した迂回地点（「迂回地点を登録する」96 ページ参照）が目的地または現在地から離れている場合、迂回エリアを通るルートを探してしまうことがあります。その時はメッセージが表示されます。「迂回エリア考慮」を「しない」に設定しているときは、メッセージは表示されません。（「迂回地点を回避する」310 ページ参照）
- ▶ 有料道付近の施設に目的地／経由地を設定しても、一般道に設定される場合があります。目的地／経由地を有料道に設定する場合は、地点の条件変更を行ってください（「地点に属性（一般道路／有料道路）を設定する」89 ページ参照）。

地図表示を切りかえる

縮尺を切りかえる

地図を拡大したり、縮小することができます。広範囲の地図を見たいときは縮小し、詳しく見たいときは拡大します。縮尺は 1/2560 万～ 1/1000 の範囲で設定でき、画面にはスケールが表示されます（初期設定値は「100m」）。

たとえば、500m スケール図では、スケールバーの長さが実際には 500m であることを示しています。

縮尺によって、地図に示される情報の種類が異なります。たとえば、ランドマークは地図のスケールが 200m 以下の詳細な地図で表示されます。

縮尺	スケール表示	スイッチ
1/2560 万	300km	広域 ↑ ↓ 詳細
1/640 万	50km	
1/160 万	20km	
1/80 万	10km	
1/40 万	5km	
1/20 万	2km	
1/10 万	1km	
1/5 万	500m	
1/2 万	200m	
1/1 万	100m	
1/5 千	50m 市街地図	詳細
1/2 千 5 百	25m 市街地図	
1/ 千	10m 市街地図	

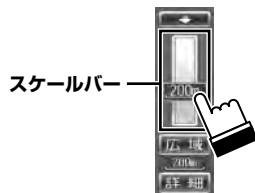
1 広域 または 詳細 にタッチします。



縮尺表示

スケールバーが表示されます。

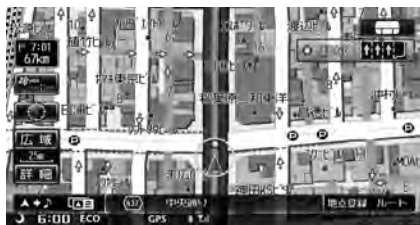
2 広域 または 詳細 にタッチするか、スケールバーの希望の縮尺の箇所にタッチします。



- **広域** または **詳細** にタッチし続けると無段階で縮尺を切りかえます。
- 何も操作しなければ、約 6 秒後にスケールバーが消えて通常表示に戻ります。すぐにスケールバーを消すには、 にタッチするか **現在地** スイッチを押します。

市街地図について

市街地図が収録されている都市では、「50m」「25m」「10m」スケール図にすると市街地図を表示し、さらに詳細な道路、建物形状、建物名称などが表示されます。都市部の住宅密集地域などでも迷うことなく目的地まで正確に案内できます。



- ▶ 市街地図を表示しているときに時速 80Km 以上で走行すると、100m スケールの地図に切りかわります。そのまま縮尺を切りかえないで時速 60Km 以下の走行になると、再び市街地図表示に戻ります。3D 市街地図表示時も同様に走行速度で地図が切りかわりますが、この時、市街地図表示と一緒に 3D 表示も解除されます。
- ▶ ドライブインフォ画面でも、走行速度による地図切りかえが行われます。

方位を切りかえる

方角と進行方向のどちらを固定するかによって、地図の向きを変更できます。常に北方向を上にして表示する地図（ノースアップ）と、進む方向を上にした地図（ヘディングアップ）があります。また、立体的な地図（3D マップ）に切りかえることもできます。

1 方位マークにタッチします。



方位マーク

- タッチするたびに、ヘディングアップ→3D マップ→ノースアップの順に方位が切りかわります。

■ ノースアップ

北方向が画面の上になるよう固定します。自車マークの方向は進行方向によってかわります。



■ ヘディングアップ

常に進行方向が画面の上になるよう、自車方向を固定します。方位マークの方向は進行方向によってかわります。



■ 3D マップ表示

ヘディングアップの状態です立体的な地図（3D マップ）を表示します。角度をかえることもできます（「3D の角度を変更する」50 ページ参照）。



3D の角度を変更する

立体的な地図（3D マップ）を表示しているときの視点の角度をかえることができます。

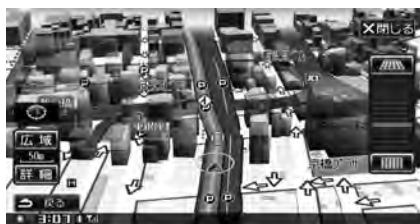
1 現在地画面で にタッチします。

-  が表示されていない時は << または >> にタッチして表示させてください。

2 3D 角度調整 にタッチします。



3 または にタッチして表示角度を調整します。



-  にタッチするたびに立体的になり、
 にタッチするたびに平面に近づきます。
• 13 段階で調整できます。

4 にタッチすると元の画面に戻ります。

- ▶ クルージングマップでは 3D 角度の変更を行うことはできません。

地図表示を切りかえる

地図の表示のしかたを、1 画面、2 画面、クルージングマップ、行程ガイドから選択できます。

1 現在地画面で **地図** にタッチします。



- **地図** が表示されていない時は **<<** または **>>** にタッチして表示させてください。

2 **1 画面 2 画面 クルージングマップ 行程ガイド** のいずれかにタッチします。



タッチした画面表示に切りかわります。

■ 1 画面表示



■ 2 画面表示

画面を左右に分割します。

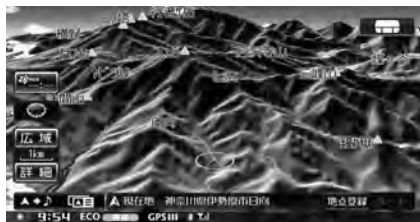
左右の画面に別々の縮尺や方位を指定できます。



- ▶ 縮尺を変更して詳細スケールと広域スケールの2画面を表示させたり、3D市街地図とノースアップ地図とを組み合わせることなどができます。
- ▶ 2画面表示のときに左右の自車位置が若干ずれることがあります。これは左右別々に描画しているため故障ではありません。
- ▶ 2画面表示時、両画面で3Dマップ表示を行うことはできません。
- ▶ 高速/有料道路モード地図は左画面にのみ表示されます(「高速/有料道路モード地図設定」306ページ参照)。

■ クルージングマップ表示

山並みを立体的に表示することができます。



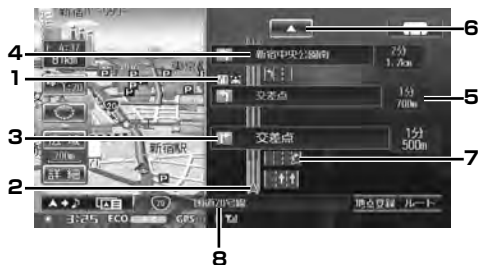
- ▶ クルージングマップでの縮尺切りかえは500m～10kmの範囲で行うことができます。
- ▶ 方位は3Dマップ表示のみにになります。また、3D角度の変更を行うことはできません。
- ▶ 迂回地点の表示を行うことはできません。
- ▶ 自動ハイウェイモードに切りかわった場合(「ハイウェイモード表示」80ページ参照)、地図は3Dマップ表示になります。

■ 行程ガイド表示

目的地案内中に、走行中のルートを簡易な行程図で示したものです。行程ガイド画面では、交差点や高速道路のインターチェンジ、SA/PAなどが現在地に近いほうから表示されます(「行程ガイド画面について」52ページ参照)。



行程ガイド画面について



1. VICS 情報

VICS 規制マークを表示します。また、渋滞・混雑情報を色別表示します（「渋滞・混雑 / 空き道表示」135 ページ、「規制マーク表示」136 ページ参照）。

2. 現在地

3. マーク

交差点やインターチェンジ、SA/PA などを識別するためのマークが表示されます。

地点	マーク
現在地	▲
目的地	📍
経由地	📍1~15
高速道路入り口	IN
高速道路降り口	OUT
料金所	¥
インターチェンジ (IC)	IC
サービスエリア (SA)	SA
パーキングエリア (PA)	PA
ジャンクション (JCT)	JCT
案内交差点	📍
フェリー乗り場	🚢

4. 地点名称

5. 所要予測時間と距離

6. スクロールスイッチ (▲ ▼)

行程ガイドをスクロールするときにタッチします。

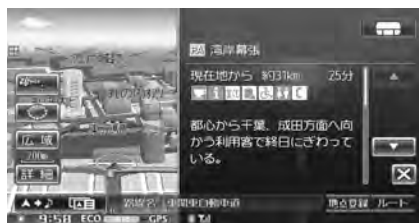
▲ にタッチすると先の行程を表示し、▼ にタッチすると手前の行程を表示することができます。タッチし続けると連続で行程ガイドをスクロールします。行程ガイドを現在の位置に戻すには **現在地** スイッチを押します。

7. レーン (車線) ガイド表示

8. 路線名表示

1 番下に表示されている地点の路線名または現在地名を表示します。

- ▶ 交差点に表示されるマークは、曲がる方向によってかわります。
- ▶ SA/PA 情報が表示されます。SA/PA 内の施設がマークで表示され、**i** にタッチすると詳細情報が表示されます。



- 詳細情報を表示するには **i** にタッチしてください。SA/PA/IC 名称部分はタッチスイッチではないので、タッチしても反応しません。
- **▲ ▼** にタッチすると詳細情報の表示をスクロールします。
- **✕** にタッチすると詳細情報を終了します。

- ▶ 料金所では、料金も表示されます。ただし、ETC が利用可能な時には料金は表示されません。
- ▶ 目的地へ到着すると行程ガイド表示を終了し、2 画面表示に切りかわります。ただし、地図切換モードは行程ガイドのままです。
- ▶ 行程ガイド表示中に案内ルートを外れると、一時的に 2 画面表示に切りかわります。再び案内ルート上を走行すると行程ガイド表示に戻ります。
- ▶ 「自動ハイウェイモードの設定」(306 ページ) が「する」設定時には、高速道路を走行すると自動的に行程ガイド表示に切りかわります。
- ▶ 一般道路走行時、目的地を設定していない場合は行程ガイドを表示できません。
- ▶ クルージングマップ中に自動ハイウェイモードに切りかわった場合、地図は 3D マップ表示になります。この時、方位は 3D マップ表示のみになります。また縮尺切りかえは 500m ~ 10km の範囲で行うことができます。

●施設マーク一覧

マーク	内容
	ガソリンスタンド
	レストラン
	コーヒー / 軽食
	インフォメーション / ハイウェイ情報ターミナル
	キャッシュコーナー
	宝くじ
	ドラッグ
	お風呂
	コイン洗車
	コインランドリー
	コインシャワー
	休憩所
	ベビーベッド
	ベッド
	ポスト
	FAX
	名産 (ショッピングセンター)
	障害者施設
	公衆電話
	トイレ

- ガソリンスタンドはブランド別のアイコンになります。

インジケーター表示について

画面下のインジケーターバーには、現在時刻、GPS 受信感度など様々な情報が表示されます。

4:00 :

GPS で受信した現在の時刻が表示されます。時刻によってアイコンが変わります。

🕒 18:00 ~ 5:59 (PM6:00 ~ AM5:59)

⚙️ 6:00 ~ 17:59 (AM6:00 ~ PM5:59)

- 「時計表示の設定」(313 ページ) で設定された表示方法 (12 時間 / 24 時間表示) になります。

: エコドライブインジケーター
良好 / 普通 / 悪いの 3 段階で判定されます。

: GPS の測位状態を表示します。

三次元測位

二次元測位

非測位

:
電話接続が、BLUETOOTH 接続に設定されている場合に表示されます。再接続中などは点滅表示します。

:

携帯電話電界強度が表示されます。電界強度はレベル 0 ~ 3 の順に強くなります。

圏外

電界強度レベル 0

電界強度レベル 1

電界強度レベル 2

電界強度レベル 3

圏内 圏内でレベル不明時

: ETC ユニット接続時に表示されます。

REC :

HDD へ録音中に表示されます。

UPDATE :

地図データ更新中に表示されます。

COPY :

画像ファイルコピー中に表示されます。

: 通信中のみ表示されます。

Vol.30 :

オーディオ・ビジュアルソースボリューム

または を押すと表示されます。

地図表示を設定する

地図表示に関する設定を行います。

左画面 (1 画面) と右画面、それぞれ設定を行うことができます。

設定操作

次の手順 1 ~ 5 は、設定の共通操作になります。
本機は設定に関する説明が画面に表示されます。下記に説明するように、画面表示に従って設定を行ってください。また、各項目について詳しくは該当ページを参照してください。

1 現在地画面で にタッチします。



地図切換画面が表示されます。

- が表示されていない時は または にタッチして表示させてください。

2 地図表示設定 にタッチします。



設定・編集画面が表示されます。

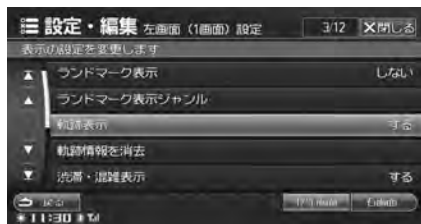
3 1/左画面 または 右画面 にタッチします。



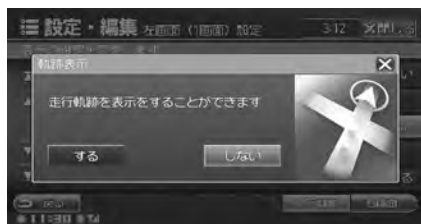
左画面（1画面）設定画面、または右画面設定画面が表示されます。

- ▶ 例えば **1/左画面** を選択して行った設定は、右画面設定には反映されません。

4 設定したい項目にタッチします。



5 画面説明を読んで設定を行います。



- **[X]** にタッチすると、手順 **4** の画面に戻ります。

6 設定が終了したら、**[X閉じる]** にタッチします。

- ▶ 地図表示設定は **各種設定** の中の **地図表示** から設定することができます (301 ~ 306 ページ参照)。

[1/左画面] から設定を行った場合：

1/ 左画面と右画面、それぞれに別の設定値を設定することができます。

各種設定 から設定を行った場合：

1 画面 / 左画面 / 右画面全て同じ設定値が適用されます。

ランドマーク表示を設定する

コンビニ・ガソリンスタンド…お好みの施設のランドマークを地図上に表示します（初期設定値は「する」）。

設定項目：ランドマーク表示

設定値：する / しない

する：地図上にランドマークを表示します。

しない：地図上にランドマーク表示を行いません。

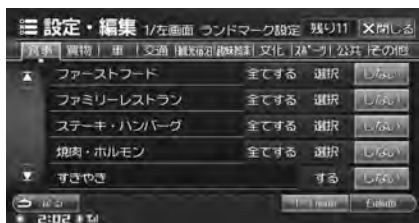
- ▶ ランドマークは 200m スケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。
- ▶ 本設定に関わらず、細街路オートスケールで右画面に表示される市街地図では、ランドマークが表示されます。

ランドマーク表示ジャンルを設定する

「ランドマーク表示」を「する」設定時に、ランドマークごとに表示する施設を選択できます。

1 ランドマーク表示ジャンル にタッチします。

2 各ランドマークの 選択 にタッチします。



施設選択画面が表示されます。

- すべての施設を表示するには **全てする** にタッチします。

- ▶ 最大 20 種類のランドマークを選択することができます。

3 各施設の **する** または **しない** にタッチします。



- ▶ 1つのランドマークに設定できる施設は最大5つです。6つ以上設定するときは、「全てする」に設定してください。

軌跡表示を設定する

走行した道に沿って「点（黒色）」を残し、どのような道を走行したか知ることができます。表示可能な距離（100km）を超えると古い点から消えていきます（初期設定値は「しない」）。

設定項目：軌跡表示

設定値：する / しない

する：地図上に軌跡を表示します。

しない：地図上に軌跡表示を行いません。

軌跡を消去する

地図上の軌跡を消去することができます。

1 軌跡情報を消去 にタッチします。

2 メッセージが現れたら、**はい** にタッチします。

軌跡情報が消去されます。

渋滞・混雑表示を設定する

VICS 渋滞情報を地図上に表示します。渋滞している箇所がわかるように、渋滞線を矢印で表示することができます（渋滞：赤実線矢印、混雑：橙実線矢印）（初期設定値は「する」）。

設定項目：渋滞・混雑表示

設定値：する / しない

する：地図上に渋滞・混雑の情報表示を矢印（赤 / 橙実線）の表示で行います。

しない：渋滞・混雑情報表示を行いません。



- ▶ 渋滞線は縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。
- ▶ 高速・有料道路では縁取りのある矢印、一般道路では縁取りなしの矢印になります。

空き道表示を設定する

VICS 渋滞情報を地図上に表示します。「する」に設定すると、渋滞が発生していない道路に緑実線矢印を表示します（初期設定値は「する」）。

設定項目：空き道表示

設定値：する / しない

する：地図上に空き道情報の表示を矢印（緑実線）表示で行います。

しない：空き道情報表示を行いません。

- ▶ 空き道表示は縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。
- ▶ 高速・有料道路では縁取りのある矢印、一般道路では縁取りなしの矢印になります。

渋滞推測表示（渋滞・混雑）

渋滞統計、渋滞学習情報を基に、渋滞が予想される箇所を地図に破線で表示することができます（渋滞：赤破線矢印、混雑：橙破線矢印）（初期設定値は「する」）。

設定項目：渋滞推測（渋滞・混雑）表示

設定値：する / しない

する：地図上に破線（渋滞・混雑）を表示します。

しない：渋滞推測（渋滞・混雑）表示を行いません。



- ▶ 実線矢印で表示される VICS 情報と破線表示の渋滞推測が両方ある場合は、VICS 情報が優先して表示されます。
- ▶ 渋滞推測線（渋滞・混雑）は縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。

渋滞推測機能について

- ▶ 本機能は JARTIC/VICS センターから提供された、現状情報を元に、NTT データが独自に作成した渋滞推測データを利用しています。
- ▶ 渋滞推測は現況の渋滞情報を考慮したものではありません。

渋滞推測表示（空き道）

渋滞統計、渋滞学習情報を基に、渋滞が発生しないと予想される箇所を緑破線矢印で表示することができます（初期設定値は「しない」）。

設定項目：渋滞推測（空き道）表示

設定値：する / しない

する：地図上に破線（空き道）を表示します。

しない：渋滞推測（空き道）表示を行いません。

- ▶ 実線矢印で表示される VICS 情報と破線表示の渋滞推測が両方ある場合は、VICS 情報が優先して表示されます。
- ▶ 渋滞推測線（空き道）は縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。

駐車場マークを表示する

VICS 提携駐車場のマークを案内画面に表示することができます（初期設定値は「しない」）。

設定項目：VICS 駐車場マーク表示

設定値：する / しない

する：地図上に VICS 提携駐車場マークを表示します。

しない：駐車場マークの表示を行いません。



- ▶ 駐車場マークは 1km スケール図よりも詳細な地図で表示させることができます。

規制マークを表示する

規制区間のマーク（136 ページ参照）を案内画面に表示することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：規制マーク表示

設定値：する / しない

する：地図上に VICS 規制マークを表示します。

しない：規制マークの表示を行いません。



- ▶ 規制マークは縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。ただし、通行止め、入り口閉鎖、オフランプ閉鎖に関連する事象も含めて 20km スケールの地図まで表示します。

VICS 情報提供道路の設定

VICS 情報を提供する道路を全道路、高速道、一般道から選択することができます（初期設定値は「全道路」）。

設定項目：VICS 提供道路

設定値：全道路 / 高速 / 一般

全道路：情報のある全ての道路で VICS 情報を表示します。

高速：高速・有料道路のみ VICS 情報が表示されます。

一般：一般道路のみ VICS 情報が表示されます。

路上駐車場マークを表示する

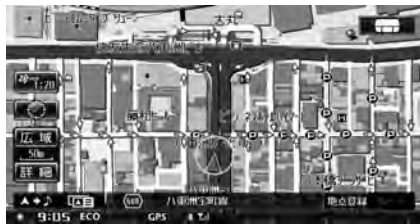
路上駐車場のマークを案内画面に表示することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：路上駐車場マーク表示

設定値：する / しない

する：地図上に路上駐車場マークを表示します。

しない：路上駐車場マークの表示を行いません。



- ▶ 路上駐車場マークは市街地図で表示されます。

地図情報を見る

ランドマークや建物の詳細情報を見ることができます。

ランドマーク情報を見る

地図上のランドマークや VICS マークにタッチすると、施設の名称などの情報が表示されます。

1 地図上のランドマークにタッチします。



施設の名称が表示されます。

2 さらに詳しく知りたい場合は **情報** にタッチします。



詳細情報が表示されます。



- ランドマークが隣接している場合は、**次へ** にタッチしてランドマークを切りかえます。

3 **X** にタッチします。 詳細情報が閉じます。

4 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

- ▶ ランドマークによっては、詳細情報がない場合があります。
- ▶ ランドマークを表示するには、「ランドマーク表示を設定する」(54 ページ、301 ページ) を参照してください。

建物情報を見る

市街地図（49 ページ参照）を表示しているときは、建物のフロア案内などを見ることができます。

1 市街地図画面で情報を見たい建物にタッチします。

2 **建物情報** にタッチします。



建物のフロア案内が表示されます。

3 フロアの施設名称にタッチし、**詳細情報** にタッチします。



詳細情報が表示されます。



4 **現在地** スイッチを押して現在地画面に戻します。

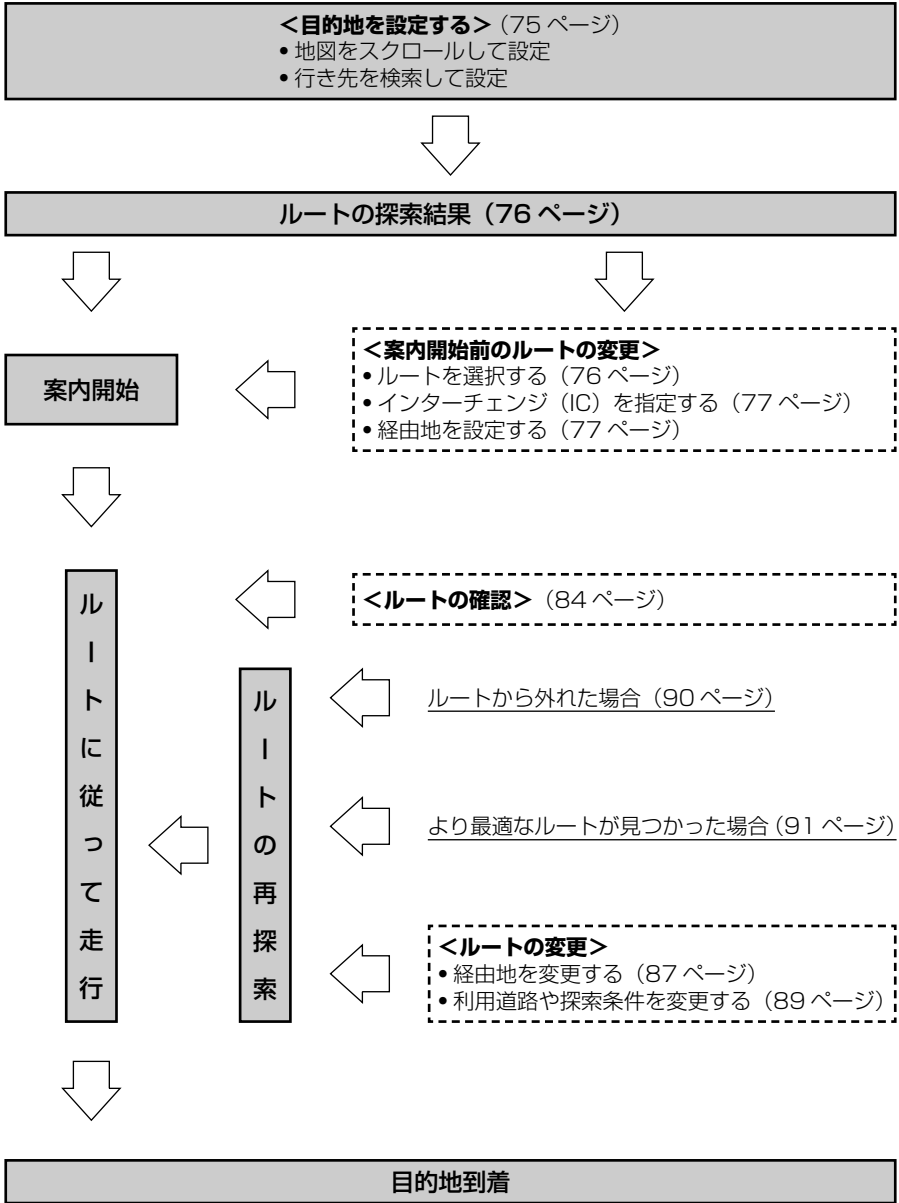
- ▶ 建物によってはフロア案内が表示されない場合があります。その場合は、建物（施設）名称のみが表示されます。
- ▶ 詳細情報で QR コード（64 ページ参照）を利用することができます。

ナビゲーション案内

❖ 目的地設定・ルート探索について	60
❖ 行き先を決める	61
行き先画面を表示する	62
施設を名称で探す	62
施設をジャンルで探す	63
電話番号から探す	65
現在地周辺の施設を探す	65
登録地点から探す	67
目的地履歴から探す	67
住所リストから探す	68
路線別で探す	69
自宅へ帰る	69
よく行く地点を設定する	70
案内地周辺から探す	70
ルート周辺から探す	71
郵便番号から探す	72
住所を 50 音で探す	73
マップコードから探す	74
緯度経度から探す	74
❖ 目的地を設定してルートを探索する	75
目的地を設定する	75
ルートの探索結果画面	76
経由地を設定する	77
❖ 目的地案内方法	78
案内表示	78
音声案内	80
フェリー航路の案内	81
到着情報の表示	81
料金案内	82
英語案内	82
踏み切り、合流案内	82
事故多発地点案内	82

目的地設定・ルート探索について

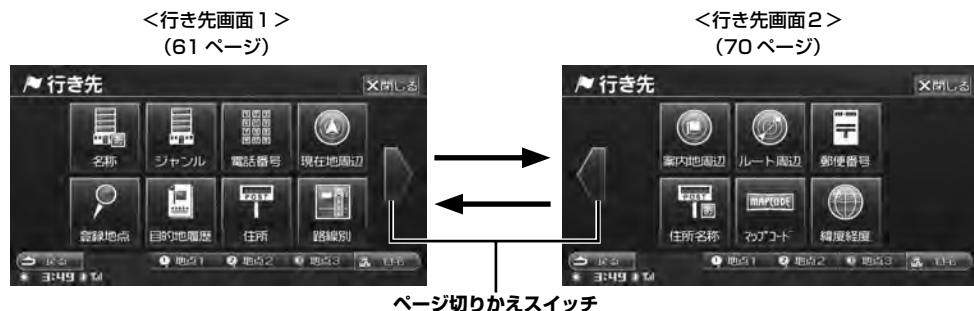
目的地や経由地の追加、ルート探索の条件を設定して目的地へ案内するまでの流れを説明します。



行き先を決める

ナビゲーション案内を行うときは、まず行き先を決める必要があります。行き先を決めるには、行き先メニュー画面から操作を行います。

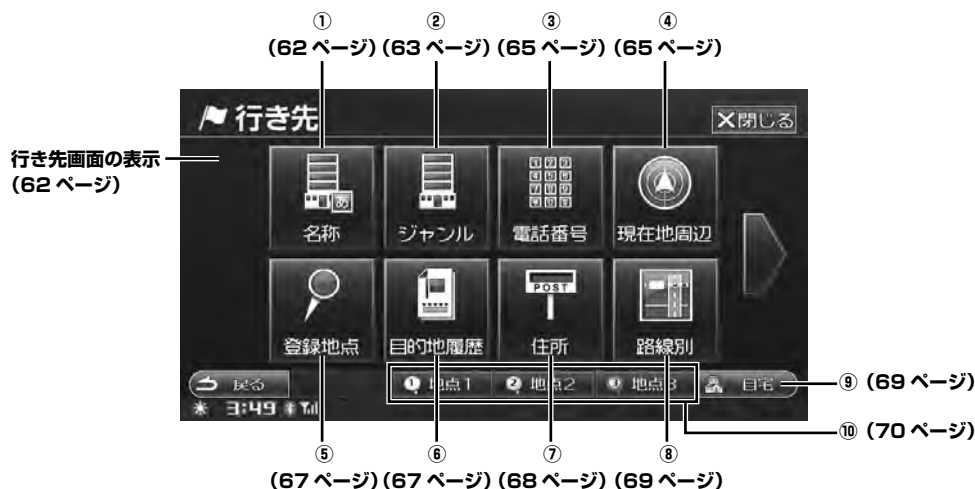
行き先画面のタッチスイッチにタッチして、行き先を決める方法を選びます。



行き先画面1については61ページ、行き先画面2については70ページを参照してください。それぞれの画面のタッチスイッチ（検索方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

▶ 走行中は安全のため、行き先を探す操作はできません。特別地点と自宅のみ、行き先に設定することができます。

<行き先画面1>



行き先画面を表示する

次の2通りの方法で行き先メニュー画面を表示することができます。

本体スイッチを押して表示する

- 1 **行き先** スイッチを押します。
行き先メニュー画面が表示されます。

メニュー画面から表示する

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **行き先** にタッチします。



行き先メニュー画面が表示されます。

【名称】 ①

施設を名称で探す

施設の名称を50音入力し、ジャンル・地域や市区町村名などで候補を絞り込んで施設を探し出すことができます。

- 行き先画面から操作を行います。
(61～62ページ参照)

- 1 **名称** にタッチします。
- 2 施設名称の読みを入力します。



- 施設名の頭文字や最初の数文字だけを入力して検索することもできます。

- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても入力できません。
- 1文字タッチするたびに、該当する施設名称の件数が表示されます。
- 数字や英字も読みで入力します(例:「1」→「いち」、「Z」→「ゼット」)。
- 濁点、半濁点、長音を省略しても、小文字を大文字で入力しても検索ができます。

- 3 **完了** にタッチします。
検索された施設リストが表示されます。

- 4 リストから施設を選んで、施設名称にタッチします。



- ジャンル、地域、キーワードで絞り込むことができます。
- **詳細情報** にタッチした場合の操作については、「詳細情報画面の操作」(64ページ)を参照してください。

- 5 **完了** にタッチします。
検索した地点の地図が表示されます。

- リスト上の施設名称に再度タッチする、または画面右側の地図にタッチしても検索を開始します。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください(「検索・スクロール後の画面」41ページ参照)。

- ▶ 施設を検索するために使用する名称や、絞り込むために使用するキーワードは、どのワードを先に使用して検索するかで検索結果は異なります。
- ▶ 入力中に検索先の候補が絞り込まれたときは、自動的に検索された施設名称のリスト画面が表示される場合があります。
- ▶ 入力した施設名称で検索できない場合、施設の正式名称を入力して再度お試しください。

ジャンルを絞り込む

- 1 **ジャンル** にタッチします。
- 2 ジャンルタブにタッチし、施設のジャンルにタッチします。



該当する施設が表示されます。

- さらに地域、キーワードで絞り込むこともできます。

地域を絞り込む

- 1 **地域** にタッチします。
- 2 地方名タブにタッチし、都道府県にタッチします。



該当する施設が表示されます。

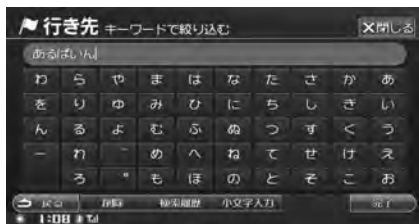
- さらにジャンル、キーワードで絞り込むこともできます。

キーワードで絞り込む

施設の「読み」の一部を、キーワードとして絞り込むことができます。

- 1 **キーワード** にタッチします。

- 2 キーワードを入力し、**完了** にタッチします。



該当する施設が表示されます。

- さらにジャンル、地域で絞り込むこともできます。

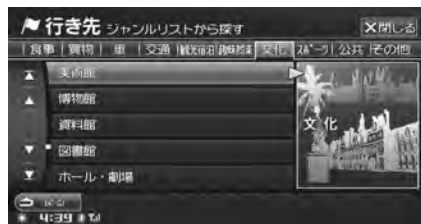
【ジャンル】 ②

施設をジャンルで探す

ジャンルと都道府県名を指定して、施設を探し出すことができます。施設の具体的な検索例は「ルートを引く」(46～48ページ)を参照してください。選択できるジャンル一覧については、「施設ジャンル一覧」(413ページ)を参照してください。

- 行き先画面から操作を行います。(61～62ページ参照)

- 1 **ジャンル** にタッチします。
- 2 希望する施設ジャンルや地域にタッチしていきます。



- 施設によっては、施設入り口リストから行き先を選ぶことができます。
- 詳細情報** にタッチした場合の操作については、「詳細情報画面の操作」(64 ページ) を参照してください。
- 駐車場を検索した場合は **車両情報考慮** が表示されます。**車両情報考慮** にタッチすると、お車の条件に合う駐車場のリストが表示されます。お車の条件は「車両情報を設定する」(308 ページ) で設定してください。

3 希望する施設にタッチします。

4 完了 にタッチします。

検索した地点の地図が表示されます。

- リスト上の施設名称に再度タッチする、または画面右側の地図にタッチしても地点の地図が表示されます。
 - 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください(「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照)。
- ▶ 全国の駅など、使用頻度の高い場所のスポットをジャンル別に収録。豊富なデータで、素早く、簡単に検索できます。
- ▶ 収録されている施設ジャンルは NTT タウンページ登録時のジャンルとなるため、実際と異なる場合があります。
- ▶ **「道の駅」とは**
一般道路にある施設で自由に立ち寄り、利用できる快適な休憩のための空間。
- 施設内容
- 休憩目的の利用者が無料で利用できる十分な容量の駐車場
 - 清潔なトイレ
 - 道路や地域の情報を提供する施設
 - さまざまなサービス施設

詳細情報画面の操作

1 **詳細情報** にタッチします。 施設の詳細情報が表示されます。



- 詳細情報を表示すると以下の操作ができます。

- 1) **電話**
携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
- 2) **提携駐車場**
施設と提携している駐車場を指定することができます。
- 3) **画像**
施設に画像情報がある場合は、画像を表示することができます。
- 4) **QR コード**
画面をスクロールして表示します。
QR コードを携帯電話で読み取ると、地図情報などをインターネットに接続して取得することができます。



- ▶ 詳細情報画面によっては、行えない操作もあります。

QR コードについて

- 本サービスは、株式会社ゼンリンデータコムが提供する携帯電話向け地図情報サービスを利用しております。
- QR コードをご利用いただくには、QR コード読み取り機能を搭載した、インターネット接続可能な携帯電話が必要です。
- 携帯電話を WEB 接続する際の通話費及び拡張機能の利用費は、お客様負担になります。
- 本サービスの利用により、トラブル・損害が生じましても弊社は一切の責任を負いかねますので、ご承知ください。

【電話番号】…………… ③

電話番号から探す

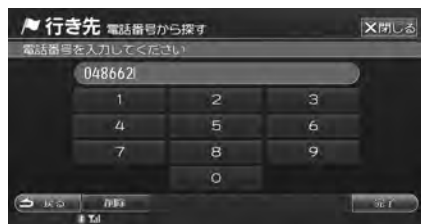
電話番号がわかっている場合、目的地をすばやく探し出すことができます。また、地点登録されている地点に電話番号が設定してある場合（「地点情報を確認・変更する」98ページ参照）は、登録されている地点が呼び出されます。

- 行き先画面から操作を行います。
（61～62ページ参照）

- ▶ 市外局番から入力してください。
- ▶ 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で探してください。

1 電話番号 にタッチします。

2 電話番号を入力し、完了 にタッチします。



- 「市外局番」と「市内局番」は必ず入力してください。
- 市内局番までで検索する場合は、6桁入力します。5桁の場合は検索できません。
入力した電話番号が検索されます。

■「施設」の電話番号を入力した場合

- 検索の結果が1件の場合は、地点の名称と周辺地図が表示されます。
- 検索の結果が複数力所の場合は、候補地がリスト表示されます。リストから希望の施設名称にタッチすると、検索された地図が表示されます。

■ 個人の電話番号を入力した場合

- 検索の結果が個人宅の場合は、名前入力画面が表示されます。「名字」を入力後、完了 にタッチしてください。



- 該当箇所が見つからなかった場合は、加入者番号の近い番号を検索して地図を表示しますので、電話番号の付近にならない場合があります。

【現在地周辺】…………… ④

現在地周辺の施設を探す

現在地周辺にある施設を検索して、ジャンルで絞り込むことができます。

- 行き先画面から操作を行います。
（61～62ページ参照）
- ▶ 検索結果は最大で40件まで表示され、現在地から近い順に表示されます。

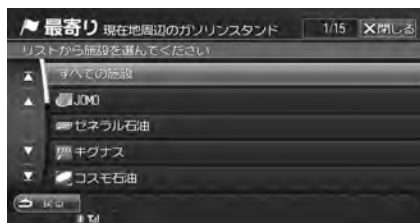
1 現在地周辺 にタッチします。

2 希望のジャンルにタッチします。



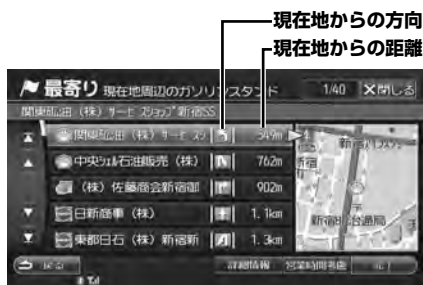
- その他ジャンル にタッチすると、施設一覧から選択できます。

3 ブランド名称にタッチします。



- ジャンルによってはブランド名を指定できない場合があります。
- **すべての施設** にタッチすると全ての施設を対象にします。

4 リストから施設を選んで、施設名称にタッチします。



- **詳細情報** にタッチした場合の操作については、「詳細情報画面の操作」(64 ページ) を参照してください。
- コンビニ、デパート、ガソリンスタンドを選んだ場合は **営業時間考慮** が表示されます。**営業時間考慮** にタッチした場合の操作については、「店の営業時間を考慮して探す」(66 ページ) を参照してください。
- 駐車場を検索した場合は **車両情報考慮** が表示されます。**車両情報考慮** にタッチすると、お車の条件に合う駐車場のリストが表示されます。お車の条件は「車両情報を設定する」(308 ページ) で設定してください。

5 **完了** にタッチします。

検索した地点の地図が表示されます。

- リスト上の施設名称に再度タッチする、または画面右側の地図にタッチしても地点の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください(「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照)。

店の営業時間を考慮して探す

コンビニ、デパート、ガソリンスタンドを探す場合、店が営業しているかどうかを表示することができます。

1 **営業時間考慮** にタッチします。

2 ◀ または ▶ にタッチして、営業しているかどうか知りたい時刻を入力します。



3 **完了** にタッチします。

営業時間外の店には「閉」、営業時間が不明の店には「？」マークが表示されます。



【登録地点】…………… ⑤

登録地点から探す

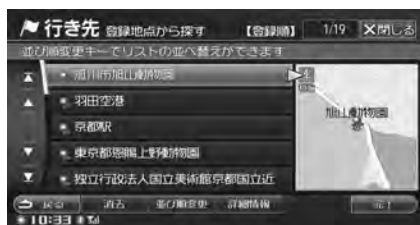
登録されている地点のリストから目的地を探し出すことができます。

- 行き先画面から操作を行います。
(61～62ページ参照)

- ▶ あらかじめ地点を登録しておく必要があります（「地点を登録する」94ページ参照）。

- 1 **登録地点** にタッチします。
登録地点リストが表示されます。

- 2 登録地点リストから地点を選んでタッチします。



- **並び順変更** にタッチするたびに登録地点リストが登録順、マーク順、距離順に並べかえられます。
登録順 : 新しく登録した順。
マーク順 : マークの種類ごと。
距離順 : 現在地点から距離が近い順。
- **詳細情報** にタッチした場合の操作については、「詳細情報画面の操作」(64ページ)を参照してください。

- 3 **完了** にタッチします。

検索した地点の地図が表示されます。

- リスト上の地点名称に再度タッチする、または画面右側の地図にタッチしても地点の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください（「検索・スクロール後の画面」41ページ参照）。

- ▶ 選択した登録地点を消去するには **消去** にタッチします。
すべての登録地点を消去するには **消去** にタッチし続けます。

【目的地履歴】…………… ⑥

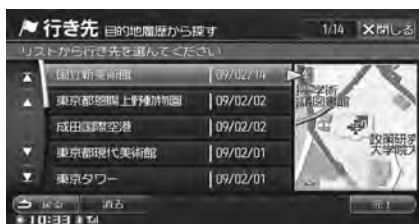
目的地履歴から探す

以前目的地に設定した地点（200件まで）をリストから選択することができます。

- 行き先画面から操作を行います。
(61～62ページ参照)

- 1 **目的地履歴** にタッチします。
目的地履歴が新しいものから順にリスト表示されます。

- 2 目的地履歴から地点を選んでタッチします。



- 3 **完了** にタッチします。
検索した地点の地図が表示されます。

- リスト上の履歴に再度タッチする、または画面右側の地図にタッチしても地点の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください（「検索・スクロール後の画面」41ページ参照）。

- ▶ 200件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- ▶ 目的地履歴の地点を目的地に設定した場合は、古い履歴を消去して新しいものだけを記憶します。
- ▶ 履歴には、目的地に設定したときの日付が表示されます。
- ▶ 選択した目的地履歴を消去するには **消去** にタッチします。すべての目的地履歴を消去するには **消去** にタッチし続けます。メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。

【住所】 ⑦

住所リストから探す

住所がわかっている場合は、都道府県名から順に住所を絞り込んでいくことができます。

- 行き先画面から操作を行います。
(61～62ページ参照)

▶ 住所の絞り込みは、都道府県名→市区町村名→大字→丁目・字→番地→戸番の順に行われます。

1 **住所** にタッチします。

2 地方名タブにタッチし、都道府県名にタッチします。



3 50音タブにタッチし、市区町村名にタッチします。



さらに詳しい住所が表示されます。

4 町名、丁目、番地などを順に指定します。



検索した住所周辺の地図が画面右側に表示されます。

- **数字入力** にタッチすると、番地を直接入力することができます。「数字で番地を入力する」68ページ参照。

5 **完了** にタッチします。

検索した地点の地図が表示されます。

- リスト上の住所に再度タッチする、または画面右側の地図にタッチしても地点の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください。「検索・スクロール後の画面」41ページ参照。

数字で番地を入力する

1 番地を入力します。



- 丁目、番地、戸番の間には「-」（ハイフン）を入力します。
- **リスト** にタッチすると、入力した番地のリスト画面に戻ります。
- 入力が終わったら **完了** にタッチします。

▶ 住所の整備状況により検索できない場合があります。その際はエラーメッセージが表示されます。→戻る にタッチしたあと、**完了** にタッチして周辺地図を表示させ、位置を指定してください。

【路線別】…………… ⑧

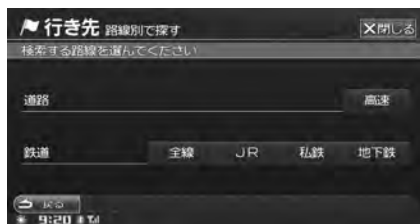
路線別で探す

高速道路、有料道路などのインターチェンジ（IC）または鉄道の駅を、地域と路線を指定して探し出すことができます。

- 行き先画面から操作を行います。
(61～62 ページ参照)

1 路線別 にタッチします。

2 「道路」の「高速」または「鉄道」の「全線」「JR」「私鉄」「地下鉄」のいずれかにタッチします。



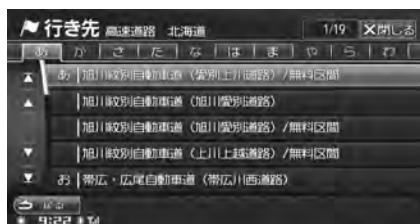
地域メニューが表示されます。

3 地域にタッチします。



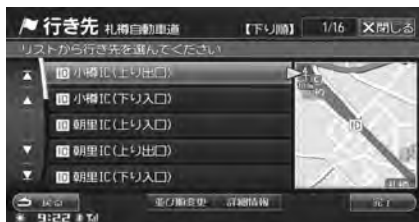
高速道路 / 有料道路路線リストまたは鉄道路線リストが表示されます。

4 50音タブにタッチし、路線名にタッチします。



インターチェンジリストまたは駅名リストが表示されます。

5 インターチェンジ名または駅名を選んでタッチします。



- **並び順変更** にタッチして、上り順または下り順に並び替えることもできます。
- **詳細情報** にタッチした場合の操作については、「詳細情報画面の操作」(64 ページ)を参照してください。

6 完了 にタッチします。

検索した地点の地図が表示されます。

- リスト上のインターチェンジ名・駅名に再度タッチする、または画面右側の地図にタッチしても地点の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください(「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照)。

【自宅】…………… ⑨

自宅へ帰る

自宅が登録されていれば、簡単な操作で自宅を目的地に設定することができます。

- ▶ あらかじめ自宅が登録されている必要があります。自宅を登録する方法については、「自宅を登録する」(45 ページ)を参照してください。

1 自宅 にタッチします。



目的地が設定され、現在地から自宅までのルートが探索されます(「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照)。

- ▶ 自宅が登録されていない場合は、自宅設定画面になります。自宅の位置に十字カーソルを合わせ **登録** にタッチしてください。

【 ① 地点1 ~ ③ 地点3 】 …… ⑩

よく行く地点を設定する

よく行く地点が登録されていれば、簡単な操作で目的地に設定することができます。

- 行き先画面から操作を行います。
(61 ~ 62 ページ参照)

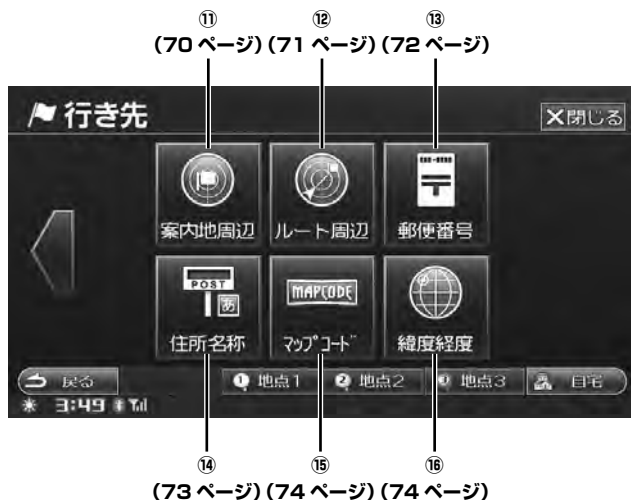
- ▶ あらかじめよく行く地点が登録されていることが必要です。よく行く地点を登録する方法については、「特別地点を登録する」(97 ページ) を参照してください。

1 ① 地点1 ② 地点2 ③ 地点3 のいずれかにタッチします。

目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます (「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照)。

- ▶ 選択した地点番号に地点が登録されていない場合は、地点設定画面になります。登録したい地点に十字カーソルを合わせ、登録 にタッチしてください。

<行き先画面2>



【 案内地周辺 】 …… ⑪

案内地周辺から探す

ルート設定時、目的地または経由地周辺にある施設を検索して、ジャンルで絞り込むことができます。

- 行き先画面から操作を行います。
(61 ~ 62 ページ参照)

1 案内地周辺 にタッチします。
目的地・経由地リストが表示されます。

2 周辺施設を探したい目的地または経由地にタッチします。

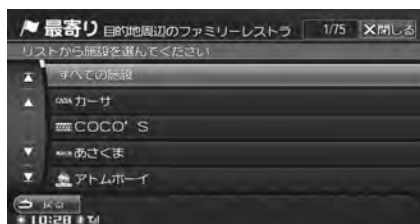


3 希望のジャンルにタッチします。



- **その他ジャンル** にタッチすると、施設一覧から選択できます。

4 ブランド名称にタッチします。



- ジャンルによってはブランド名を指定できない場合があります。
- **すべての施設** にタッチすると全てのブランド名を対象にします。

5 施設名称にタッチします。

- **詳細情報** にタッチした場合の操作については、「詳細情報画面の操作」(64 ページ) を参照してください。
- 駐車場を選んだ場合は **車両情報考慮** が表示されます。**車両情報考慮** にタッチすると、お車の条件に合う駐車場のリストが表示されます。お車の条件は「車両情報を設定する」(308 ページ) で設定してください。

6 完了 にタッチします。

検索した地点の地図が表示されます。

- リスト上の施設名称に再度タッチする、または画面右側の地図にタッチしても地点の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください(「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照)。

【ルート周辺】…………… ⑫

ルート周辺から探す

目的地が設定されている場合は、ルートの周辺にある施設を検索して、ジャンルで絞り込むことができます。

- 行き先画面から操作を行います。
(61 ～ 62 ページ参照)

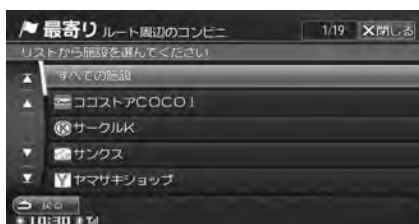
1 ルート周辺 にタッチします。

2 希望のジャンルにタッチします。



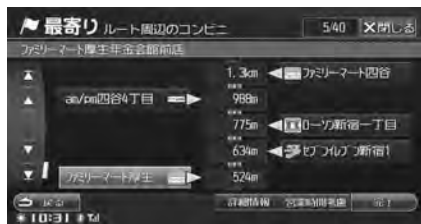
- **その他ジャンル** にタッチすると、施設一覧から選択できます。

3 ブランド名称にタッチします。



- ジャンルによってはブランド名を指定できない場合があります。
- **すべての施設** にタッチすると全てのブランド名を対象にします。

4 リストから施設を選んで、施設名称にタッチします。



ルートの進行方向に向かって位置（左右）と距離が表示されます。

- **詳細情報** にタッチした場合の操作については、「詳細情報画面の操作」（64 ページ）を参照してください。
- コンビニ、デパート、ガソリンスタンドを選んだ場合は **営業時間考慮** が表示されます。**営業時間考慮** にタッチした場合の操作については、「店の営業時間を考慮して探す」（66 ページ）を参照してください。
- 駐車場を検索した場合は **車両情報考慮** が表示されます。**車両情報考慮** にタッチすると、お車の条件に合う駐車場のリストが表示されます。お車の条件は「車両情報を設定する」（308 ページ）で設定してください。

5 **完了** にタッチします。

検索した地点の地図が表示されます。

- リスト上の施設名称に再度タッチする、または画面右側の地図にタッチしても地点の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください（「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照）。

【郵便番号】 ⑬

郵便番号から探す

郵便番号がわかっている場合は、郵便番号から目的地を探し出すことができます。

- 行き先画面から操作を行います。（61 ～ 62 ページ参照）

1 **郵便番号** にタッチします。

2 郵便番号を入力し、**完了** にタッチします。



- 郵便番号の 7 桁をすべて入力してください。
- 先頭の 3 桁まで入力すると、自動的に「一」が表示されます。

入力した郵便番号で検索されます。

- 検索の結果が 1 件の場合は、代表地点の名称と周辺地図が表示されます。



- 検索の結果が複数力所の場合は、候補地がリスト表示されます。リストから地点名称にタッチしてください。
- 該当箇所が見つからなかった場合は、メッセージが表示されます。もう一度、正しい郵便番号を入力してください。
- **住所検索** にタッチすると、続けて住所で検索することができます（「住所で検索する」73 ページ参照）。

指定した場所の周辺地図が表示されます。

- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください（「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照）。

▶ 企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。

住所で検索する

1 **住所検索** にタッチします。
郵便番号から該当する住所を検索し、リスト表示します。

2 リストから住所を選び、タッチします。

- **数字入力** にタッチすると、数字で番地を入力できます。「数字で番地を入力する」(68 ページ)を参照してください。

検索した地点の地図が表示されます。

- リスト上の住所に再度タッチする、または画面右側の地図にタッチしても地点の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください(「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照)。

【住所名称】…………… ⑭

住所を 50 音で探す

地名を 50 音入力して探し出すことができます。

- 行き先画面から操作を行います。
(61 ～ 62 ページ参照)

1 **住所名称** にタッチします。

2 地名の読みを入力します。



- 住所の頭文字や最初の数文字だけを入力して検索することもできます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても入力できません。
- 1 文字タッチするたびに、該当する住所の件数が表示されます。
- 数字や英字も読みで入力します(例:「1」→「いち」、「Z」→「ぜっと」)。
- 濁点、半濁点、長音を省略しても、小文字を大文字で入力しても検索ができます。

3 **完了** にタッチします。
検索された住所がリスト表示されます。

4 住所にタッチします。



5 **完了** にタッチします。
検索した地点の地図が表示されます。

- リスト上の住所に再度タッチする、または画面右側の地図にタッチしても地点の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください(「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照)。

【 マップコード 】…………… ⑮

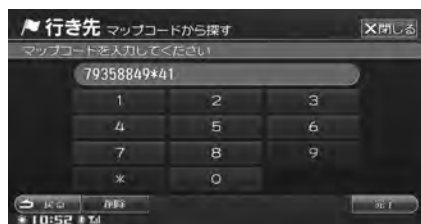
マップコードから探す

マップコードから目的地を探し出すことができます。

- 行き先画面から操作を行います。
(61 ～ 62 ページ参照)

1 **マップコード** にタッチします。

2 マップコードを入力し、**完了** にタッチします。



- 10 桁までの標準マップコードに加え、「*」のあとに 2 桁まで追加することで高度な検索ができます。

指定した場所の周辺地図が表示されます。

- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください（「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照）。

- ▶ マップコードとは、日本全国のあらゆる位置を数字としてコード化し、6 ～ 10 桁の番号（標準マップコードの場合）でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところ（川や渓谷などの景勝地、友人との待ち合わせ場所など）もマップコードで位置を特定できるようになります。
- ▶ マップコードについては、インターネットでもご覧いただけます。（<http://guide2.e-mapcode.com>）
- ▶ マップコードは、登録地点の位置情報に登録されています。詳しくは、「地点情報を確認・変更する」（98 ページ）を参照してください。
- ▶ 10 桁までの標準マップコードに加え、「*」を使用したマップコード HR（高分解能）に対応しています。
- ▶ マップコードについては、株式会社 昭文社から出版されている「スキーマップル」「どこでもアウトドア」「家族でお出かけ」シリーズなどを参照してください。

【 緯度経度 】…………… ⑯

緯度経度から探す

地点の「緯度（北緯）、経度（東経）」がわかっている場合、その数値を入力して探し出します。

- 行き先画面から操作を行います。
(61 ～ 62 ページ参照)

1 **緯度経度** にタッチします。

2 北緯と東経を入力し、**完了** にタッチします。



- 1 桁の数字を入力するときは頭に「0」を付けてください。

指定した位置の周辺地図が表示されます。

- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください（「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照）。

目的地を設定してルートを探索する

目的地案内（ルート案内）を行うには、目的地を設定することから始めます。

目的地を設定するには以下の方法があります。

項目	設定方法
地図から設定	地図をスクロールして 目的地 にタッチして設定します（「地図から設定する」75ページ参照）。
行き先を検索して設定	「行き先」メニューを利用して、さまざまな方法で目的地を検索して設定します（「行き先を検索して設定する」75ページ参照）。

目的地を設定すると、自動的にルートの探索が始まります。探索された推奨ルート以外のルートを選択したり、経由地やインターチェンジなどを指定して再探索することもできます。

- ▶ 目的地を設定した地点は、自動的に記憶（最大200カ所まで）され、目的地の設定のときなどに、履歴から呼び出すことができます。200カ所を超えたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は消去することもできます（「目的地履歴から探す」67ページ参照）。
- ▶ 経由地の設定は目的地と同じ手順で行えます。

目的地を設定する

地図から設定する

地図をスクロールして目的地にしたい地点を表示し、目的地に設定することができます。

- 1 目的地にしたい地点に十字カーソルを合わせます。
 - 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」（43ページ）を参照してください。

- 2 **目的地** にタッチします。



目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます（「ルートの探索結果画面」76ページ参照）。

- ▶ イグニッションキーをOFFにしても目的地（ルート）は消去されません。
- ▶ 有料道付近の施設に目的地 / 経由地を設定しても、一般道に設定される場合があります。目的地 / 経由地を有料道に設定する場合は、地点の条件変更を行ってください（「地点に属性（一般道路 / 有料道路）を設定する」89ページ参照）。

行き先を検索して設定する

施設や住所などから行き先を探し出して目的地に設定します。

- 1 **行き先** スイッチを押します。
行き先画面が表示されます。
 - **メニュー** スイッチを押した後 **行き先** にタッチしても、行き先画面が表示されます。

- 2 行き先を検索します。

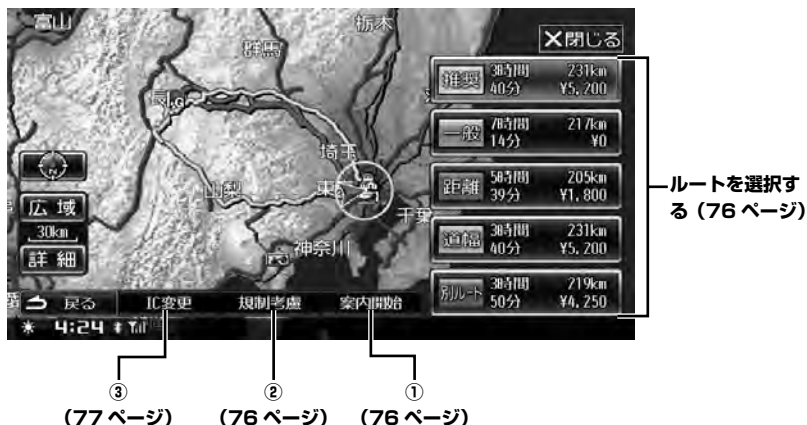


- 検索方法については、「行き先を決める」（61ページ）を参照してください。

- 3 **目的地** にタッチします。
目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます（「ルートの探索結果画面」76ページ参照）。
 - 自宅と特別地点1～3を選んだ場合は、手順3の操作は不要です。

ルートの探索結果画面

目的地を設定すると自動でルートの探索が始まり、現在地から目的地までの全ルートが地図に表示されます。探索結果画面には、以下の5つのルートが表示され、それぞれ目的地までの時間と料金が表示されます。それぞれのタッチスイッチについて詳しくは、該当ページを参照してください。



ルートを選択する

初期設定のルートは推奨になっていますが、他のルートを選ぶことができます。

- 1 選択したいルートにタッチします。
 - 5ルートについて詳しくは「ルートを引く」(46 ページ)を参照してください。

【案内開始】…………… ① 目的地案内を開始する

- 1 **案内開始** にタッチします。
現在地画面に戻り、選択されたルートで目的地案内を開始します。

【規制考慮】…………… ②

冬期閉鎖区間を回避する

探索されたルート上に冬期に通行できなくなる区間が含まれる場合は、探索画面にメッセージが表示されます。冬期閉鎖区間を自動回避しない設定になっているとき(「冬期閉鎖区間を考慮する」310 ページ参照)は、以下のように操作します。

- 1 メッセージが表示されたあと、回避する場合は、**規制考慮** にタッチします。
冬期閉鎖区間を通らないルートが再探索されます。
 - 規制区間を回避しない場合は、**案内開始** にタッチします。目的地案内が開始され、案内が開始されます。

▶ **規制考慮** にタッチして目的地案内を開始すると、「冬期閉鎖区間を考慮する」(310 ページ) 設定が自動的に「する」に変更されます。

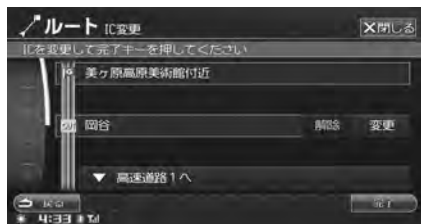
【 IC 変更 】 ③

インターチェンジ (IC) を指定する

利用するインターチェンジ (IC) を指定します。

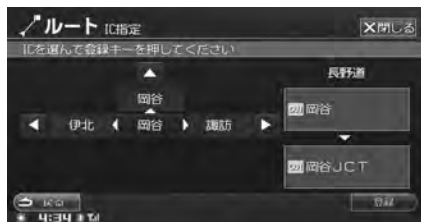
- 1 **IC 変更** にタッチします。
利用予定のインターチェンジが表示されます。

- 2 変更したいインターチェンジの **変更** にタッチします。



選択されているインターチェンジの前後のインターチェンジが表示されます。

- 3 ▲ ▼ ◀ ▶ にタッチして利用したいインターチェンジを表示させます。



- ジャンクションでは、分岐先のインターチェンジも表示されます。

- 4 **登録** または利用したいインターチェンジ名称にタッチします。

- **解除** にタッチすると、指定したインターチェンジを解除し元のインターチェンジに戻ります。

- 5 **完了** にタッチします。
ルートが再探索され、案内が開始されます。

- ▶ インターチェンジを変更すると、入口 / 出口インターチェンジが経由地として設定されます。経由地削除を行うと、インターチェンジの変更も解除されます。

経由地を設定する

目的地に向かう途中で経由したい地点を設定します。
経由地は最大で 5 カ所設定できます。

設定した経由地の変更や順番を入れかえたり、削除することもできます (「経由地を変更する」 87 ページ参照)。

- ▶ 目的地の設定と同様にさまざまな条件を指定して経由地を検索することができます (「行き先を決める」 61 ページ参照)。その場合は、検索した場所の地図を表示させ、**経由地** にタッチします。
- ▶ ルート編集画面からも経由地を追加することができます。「経由地を追加する」 (88 ページ) を参照してください。

- 1 経由地にしたい地点に十字カーソルを合わせます。

- 「行き先を決める」メニューで経由地を検索した場合は、**完了** にタッチして周辺地図を表示します。

- 2 **経由地** にタッチします。



経由地リストが表示されます。

- 3 **未登録** にタッチするか、経由地を追加したい区間の **追加** にタッチします。



- 経由地が何も設定されていない場合、または 5 カ所すべて設定されている場合は、**追加** は表示されません。
- すでにセットされている経由地にタッチすると、新たに指定した経由地が上書きされます。
ルートが再探索され、案内が開始されます。

- ▶ 経由地を追加すると、経由地追加前のルート探索条件が適用されます。

目的地案内方法

目的地までのルート走行中に、さまざまな表示や音声によって案内をします。

案内表示

交差点・高速分岐案内

目的地案内中に案内ポイントが表示されている交差点が近づくと、交差点案内が行われます。



1. 距離メーター

交差点までの距離が表示されます。

2. レーン（車線）表示

通過・分岐する交差点の車線が表示されます。

3. 交差点名称表示

通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

- ▶ 交差点拡大図画面を解除するには、 にタッチします。解除した交差点拡大図画面を表示するには **現在地** スイッチを押します。
- ▶ 詳細な交差点・高速入口案内を行うかどうかを設定できます（「詳細案内図表示を設定する」307 ページ参照）。以下の項目が設定できます。
 - デフォルメ 3D 交差点拡大図
 - リアル 3D 交差点拡大図
 - 高速入口案内図
- ▶ 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示はされません。
- ▶ 交差点名称表示・車線表示が実際の交差点と異なることがあります。
- ▶ 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われないことがあります。
- ▶ 交差点案内は、遅れたり早くなることがあります。
- ▶ 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図案内画面が表示されます。
- ▶ 交差点拡大図案内画面が表示されているとき、交差点名称表示・車線表示は分岐する交差点のものが表示されます。
- ▶ 拡大図表示中も左画面の操作を行うことができます。
- ▶ ドライブインフォ画面、マルチゲート画面では拡大図表示は行われません。

- ▶ 交差点案内は約 700m 手前から行われます。高速分岐案内は約 2000m 手前から行われます。

■ デフォルメ 3D 交差点拡大図（詳細案内図）

3D イラスト情報のある交差点が近づくと、デフォルメしたイラストで拡大図が表示されます。



■ リアル 3D 交差点拡大図（詳細案内図）

リアル 3D 交差点情報のある交差点が近づくと、よりリアルな拡大図を表示します。



■ 高速入口案内図（詳細案内図）

情報のある都市高速のインターチェンジ（IC）入口が近づくと、入口の案内図が表示されます。



■ 高速分岐案内

有料道路や高速道路を走行しているとき、情報がある分岐点（JCT）が近づくと、高速分岐案内画面が表示されます。



1. 分岐点名称

ジャンクション（JCT）の名称が表示されます。

2. 方面名称

レーンごとの方面名称が表示されます。

■ リアルジャンクションガイド表示

動画データのある交差点では、実際の見え方と同じようにに交差点拡大図がアニメ表示されます。



- ▶ リアルジャンクションガイド表示を消すには [X] にタッチします。
- ▶ クルー징マップ表示中はリアルジャンクションガイドは表示されません。
- ▶ リアルジャンクションガイドを表示するかどうか設定できます（「リアルジャンクションガイドを設定する」307ページ参照）。
- ▶ リアルジャンクションガイドで表示されているルートはレーン（車線）案内には行いません。常に道路中央に表示されます。

ETC レーン表示

ETC レーン情報のある料金所が近づくと、ETC レーン案内図が表示されます。



- ▶ ETC 車載器（別売）を装着してあり ETC カードが挿入されている場合は、ETC レーンに矢印が表示されます。
- ▶ ETC レーンは、実際のレーンと異なる場合があります。
- ▶ ETC レーン表示を消すには [X] にタッチします。
- ▶ ETC レーン案内をするかどうかを設定できます（「料金所ゲート案内を設定する」308ページ参照）。

レーン（車線）ガイド表示

レーン情報のある分岐交差点の手前（約 10km 以内）では、走行する交差点までの距離、およびレーン図が表示されます。



1. レーン情報



- ▶ レーン情報がある直進の交差点では「●」が、右左折の交差点では「□」が表示されます。
- ▶ レーン情報のない交差点では、交差点での進行方向（直進を除く）が矢印で表示されます。
- ▶ レーンガイドを表示するかどうかを設定できます「レーンガイドを表示する」308ページ参照）。

方面看板の表示

方面看板情報のある交差点の手前（約 500m 手前）では、方面看板が表示されます。



- ▶ 方面看板表示を消すには **[X]** にタッチします。
- ▶ 方面看板を表示するかどうかを設定できます（「方面看板を表示する」308 ページ参照）。

ハイウェイモード表示

ハイウェイモードでは IC（インターチェンジ）や JCT（ジャンクション）の他に、SA（サービスエリア）や PA（パーキングエリア）の案内も行います。



- ▶ 自動でハイウェイモードを表示するかどうか設定することができます（「自動ハイウェイモードの設定」306 ページ）。
- ▶ ハイウェイモードを解除するには **[H/W]** にタッチして地図切換画面を表示し、**行程ガイド** 以外の地図表示を選択してください。

方向誘導線表示

自転車位置から目的地・経由地の方向を示す直線が表示されます。



- ▶ 方向誘導線を表示するかどうかを設定できます（「誘導方向を表示する」304 ページ参照）。

音声案内

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ（IC）の入口／出口、ジャンクション、到着案内などが自動的に音声案内されます。音声案内は PCM 音声（肉声）で案内します。

- ▶ 「音声案内例」は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が行われることがあります。音声案内はあくまでも参考としてください。
- ▶ 案内音声の音量を調整することができます（「案内音量を調整する」333 ページ参照）。
- ▶ 自転車位置と案内地点までの距離が近いときは、音声案内が行われなかったり、遅れたり、誤った音声案内が行われることがあります。

音声案内の確認

音声案内を聞きのがしてしまったときなどに、任意のタイミングで直近の情報を音声で確認することができます。

1 現在地画面で **現在地** スイッチを押します。

- ▶ 案内音量を OFF にしているときは、音声案内を確認することができません。
- ▶ たとえば「およそ 700m 先左方向です。」の音声案内のあと、しばらく走行してから **現在地** スイッチを押すと、「およそ 600m 先左方向です。」というように案内内容が状況に合わせて変化します。

目的地案内中の音声案内の例

■ 一般道音声機能

交差点などで交差点名や残りの距離、方向を案内します。また、登録地点が近づいたことも音声案内します。

【音声案内例】

- おおよそ 500m 先、〇〇交差点を右折です。
 - まもなく、〇〇です。
 - まもなく、右折です。
- ▶ 登録地点に接近音を設定する方法については、「接近音を変更する」(101 ページ) を参照してください。

■ 高速分岐音声案内

高速道路をルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。

【音声案内例】

- おおよそ〇〇 km 先、〇〇方向、〇〇方面です。

■ 高速料金音声案内

ルート走行中に高速道路料金所手前で高速道路の料金を案内します。

【音声案内例】

- この先料金所です。料金は〇〇です。

目的地、経由地に到着したときの 音声案内の例

【音声案内例】

- この先、目的地です。
- この先、経由地です。

フェリー航路の案内

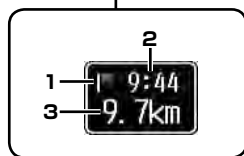
フェリーの航路は――（破線）で表示され、フェリーターミナルまで音声案内が行われます。フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。



- ▶ ルート探索でフェリーを使用するかどうかを設定できます（「フェリー航路を含むルートを探る」310 ページ参照）。
- ▶ 画面にフェリー航路が点線で表示されていても、ルート検索の対象外航路場合があります。
- ▶ ルート検索対象のフェリー航路は青色で表示されます。ルート検索外の航路は、地図色の設定が「標準」の時は灰色、「道路強調」の時は白色で表示されます。

到着情報の表示

目的地案内中は通過点（目的地、経由地、フェリー乗り場）の到着予想時刻と残距離が表示されます。



1. 案内地点マーク
2. 到着予想時刻表示
3. 残距離

- ▶ 経由地 / フェリー航路が設定されている場合は、タッチすることに目的地 / 経由地 / フェリー乗り場に表示が切りかわります。目的地のみ設定されている場合は、トーンダウンしてタッチすることはできません。
- ▶ 到着予想時刻は設定した車速（「車速を設定する」307 ページ参照）や VICS 旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ▶ ルートから外れると、到着情報が消えます。
- ▶ 案内地点マークについては 84 ページを参照してください。
- ▶ 到着予想時刻を音声で案内することができます（「到着予想時刻を音声案内する」307 ページ参照）。

料金案内

目的地案内中は、有料道路や高速道路の料金所の手前で、地図右上に料金が表示され、音声で案内されます。



- ▶ 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります（「車両情報を設定する」308 ページ参照）。
- ▶ 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。
- ▶ 地図データに情報のない料金所では、料金案内は表示されません。
- ▶ 料金が前納の出口料金所または ETC 車載器（別売）を装着している場合、料金案内は表示されません。
- ▶ ETC 車載器を接続している場合の料金案内表示については、「ETC の料金表示について」（180 ページ）を参照してください。

英語案内

本機の案内を英語で行うことができます。地図表示と音声案内を英語に設定することができます。



- ▶ 英語案内を行うかどうかを設定できます（「英語で表示・案内する」309 ページ参照）。
- ▶ 英語案内は簡易的な案内になります。

踏み切り、合流案内

ルート案内中、踏み切り地点を事前に音声とアイコンで案内します。

また、ルート走行中に合流点がある場合、音声とアイコンにて合流を知らせます。

【音声案内例】

- この先、踏み切りです。
- この先、右からの合流があります。

【アイコン例】

形状	警告アイコン
踏切	
合流道路	

- ▶ それぞれ案内するかどうかを設定できます（「踏み切り案内を設定する」307 ページ、「合流案内を設定する」306 ページ参照）。
- ▶ 細小路走行中は、踏み切り案内は行われません。

事故多発地点案内

一般道または高速道路をルート走行中、事故多発地点を事前に音声とアイコンで案内します。

【音声案内例】

- この先、事故多発地点です。ご注意ください。
- この先、事故多発区間です。ご注意ください。

【アイコン例】

	警告アイコン
事故多発地点	

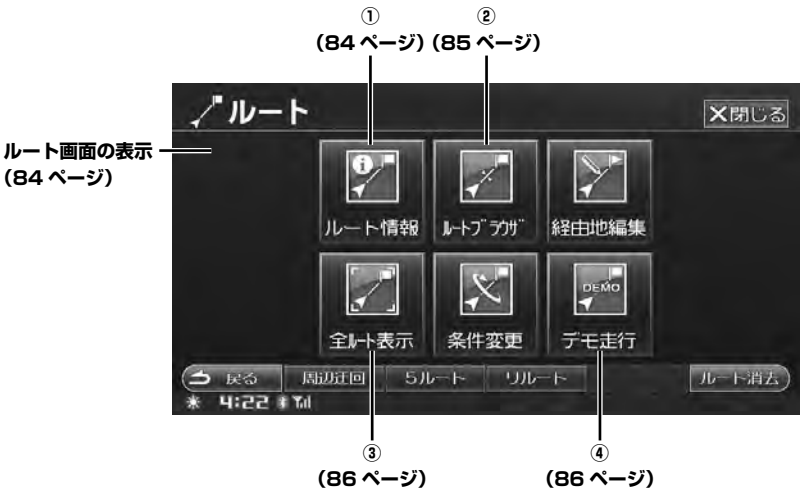
- ▶ 事故多発地点案内をするかどうかを設定できます（「交通事故多発区間警告」307 ページ参照）。
- ▶ 「事故多発地点」と「踏み切り、合流地点」が同じ場合は、踏み切り、合流地点音声案内が優先されます。

ルートの確認・編集

❖ 案内中のルートを確認する	84
ルート画面を表示する	84
ルート情報（案内道路情報）を表示する	84
ルートブラウザ機能	85
全ルートを表示する	86
探索したルートを確認する（デモ走行）	86
❖ 案内中のルートを変更する	87
ルート画面を表示する	87
経由地を変更する	87
条件を変更する	89
迂回する	89
5 ルートから選択する	90
ルートを再探索する	90
ルートを消去する	90
❖ 最適ルートに変更する	91
アクティブルートサーチ	91
抜け道ルート探索	92

案内中のルートを確認する

目的地案内中に、ルート画面からルートの確認やルートの編集を行うことができます。
ここではルートの確認に関する操作の説明を行います。それぞれのタッチスイッチについて詳しくは、該当ページを参照してください。



- ▶ 走行中は安全のため「ルート情報」、「ルートブラウザ」、「デモ走行」はタッチできません。安全な場所に停車してから操作してください。

ルート画面を表示する

ルート画面を表示して、ルートに関するさまざまな操作を行います。

- 1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。
ルート画面が表示されます。

【 ルート情報 】 ① ルート情報（案内道路情報）を表示する

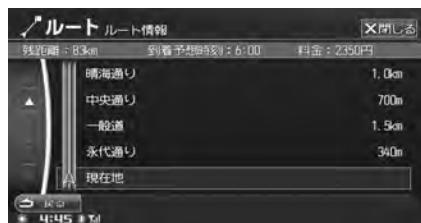
目的地までの全ルートは高速道路のインターチェンジや経由地などで分割し、区間の距離、高速道路などの料金またはインターチェンジの通過予想時刻を一覧で表示することができます。
ルート情報で確認できる情報は次の通りです。

案内地点マーク

地点	マーク
目的地	
経由地	
フェリー乗り場	
料金所	
JCT	
高速道路入口	
高速道路出口	
現在地	

- ▶ 料金は、道路によって表示されない場合があります。
- ▶ 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- ▶ 到着予想時刻は設定した車速（「車速を設定する」307ページ参照）や VICS 旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、誤差が生じることがあります。

- 1 **ルート情報** にタッチします。
区間ごとのルート情報が表示されます。
- 2 **▲ ▼** にタッチしてルート情報をスクロールします。



- **▲ ▼** にタッチし続けると連続でスクロールします。

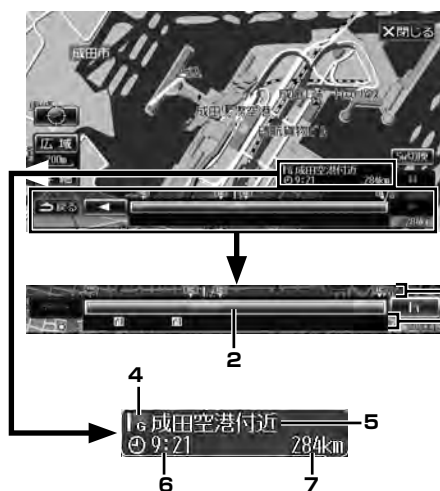
- 3 **X閉じる** にタッチすると元の画面に戻ります。

【ルートブラウザ】…………… ②

ルートブラウザ機能

ルートブラウザを操作すると、ルートに沿って地図を目的地までスクロールすることができます。

- 1 **ルートブラウザ** にタッチします。
ルートブラウザが表示されます。

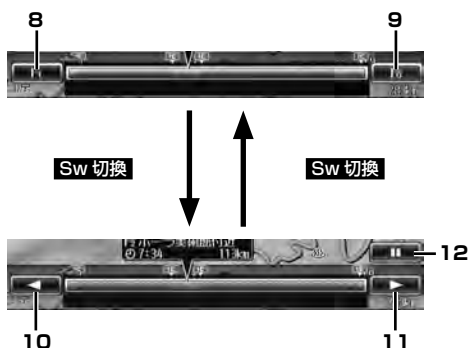


1. ルート行程表示

現在地、経由地、目的地、乗り降りインターチェンジ、フェリー乗り場をマークで表示します。

2. **ルート情報表示**
ルート行程を高速 / 有料道路は緑色、一般道路は青色のバーで表示します。バーの任意の場所にタッチすると、タッチした箇所に相当する地点の地図が表示されます。
3. **VICS 規制情報表示**
VICS 規制情報を、現在地から近い順に3つまでマークで表示します。VICS 交通情報マークは 145 ページを参照してください。
4. **案内地点 (目的地・経由地) マーク**
案内地点マークについては 84 ページを参照してください。
5. **案内地点名称**
6. **案内地点到着予想時刻**
7. **現在地から案内地点までの距離**

- 2 **Sw 切換** にタッチします。
スクロール方法が切りかわります。



8. **現在地方向スキップスイッチ**
タッチすると現在地方向への案内地点にスキップし、その地点の地図を表示します。
9. **目的地方向スキップスイッチ**
タッチすると目的地方向への案内地点にスキップし、その地点の地図を表示します。
10. **▶**
現在地方向に自動的に地図がスクロールします。タッチすることによってスクロールの速度が変化します。*
11. **▶**
目的地方向に自動的に地図がスクロールします。タッチすることによってスクロールの速度が変化します。*
12. **スクロール停止スイッチ**
タッチするとスクロールが停止します。

※ スクロール速度

▶	→	▶	→	▶	→	▶
停止	↔	低速	↔	中速	↔	高速
◀	←	◀	←	◀	←	◀

3 ◀ / ▶ にタッチします。または案内地点スキップスイッチにタッチします。

◀ / ▶ にタッチすると次の案内地点まで、自動的にスクロールが開始されます。案内地点スキップスイッチにタッチすると、タッチした案内地点の地図が表示されます。

- スクロールを停止するには II にタッチします。

【全ルート表示】…………… ③

全ルートを表示する

画面にルート全体（全ルート）を表示させます。

1 全ルート表示 にタッチします。
現在地から目的地までのルートが表示され、乗り降りするインターチェンジと料金が表示されます。



- 全ルート表示では、スクロール、方位変更、縮尺変更が行えます。

2 X閉じる にタッチすると元の画面に戻ります。

- ▶ 3D マップへの切りかえはできません。
- ▶ ルートの一部が画面に表示されない場合があります。

【デモ走行】…………… ④

探索したルートを確認する (デモ走行)

ルート探索後、目的地案内が開始される前に目的地案内のデモを見ることができます。また音声案内の内容を確認することができます。

1 デモ走行 にタッチします。

デモ走行を開始します。

- デモ走行画面で方位や縮尺、地図表示方法を変更することができます。

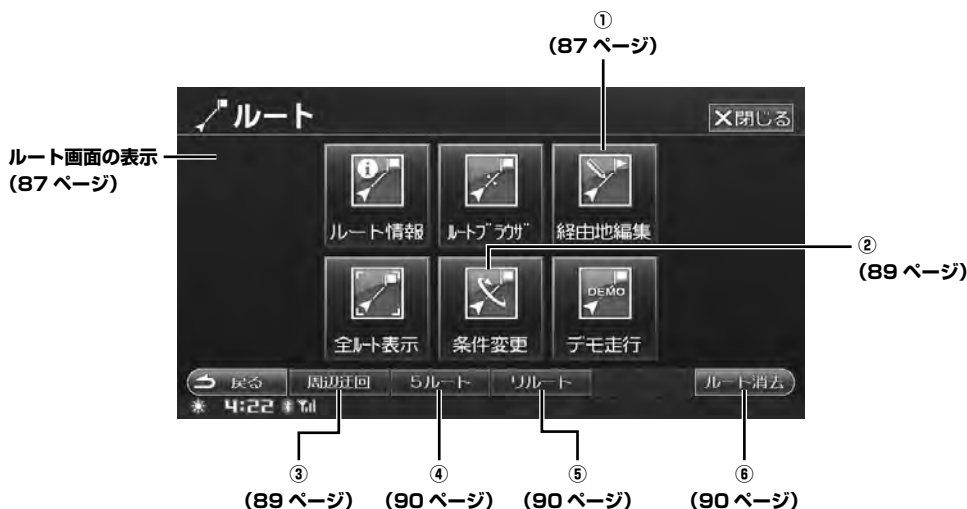
2 メニュー ソース / POWER または 行き先 スイッチを押すと、デモ走行を終了します。

- ▶ クルージングマップ表示時はデモ走行を行うことはできません。

案内中のルートを変更する

目的地案内中に、ルート画面からルートの確認やルートの編集を行うことができます。

ここではルートの編集に関する操作の説明を行います。それぞれのタッチスイッチについて詳しくは該当ページを参照してください。



▶ 走行中は安全のため **5ルート** にタッチすることはできません。

ルート画面を表示する

ルート画面を表示して、ルートに関するさまざまな操作を行います。

- 1 ルート案内中の地図画面で **ルート** にタッチします。
ルート画面が表示されます。

【 **経路地編集** 】…………… ①

経路地を変更する

経路地に関する操作は、経路地編集画面で行うことができます。



経路地を消去する

- 1 **経路地編集** にタッチします。
経路地編集画面が表示されます。
- 2 消去したい経路地にタッチして選択した後、**経路地消去** にタッチします。
経路地が消去されます。
• 続けて経路地を消去するには、手順 2 を繰り返します。
- 3 **完了** にタッチします。
ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

- ▶ 走行中に経路地を消去すると、自動的にルートの再探索が行われます。
- ▶ 経路地を削除すると、削除された経路地までの検索条件が新しい区間に適用されます。

経由地の順番を入れかえる

- 1 **経由地編集** にタッチします。
- 2 入れかえる経由地にタッチします。
 - 通過済みの経由地には、「通過」と表示されます。
- 3 **上へ移動** または **下へ移動** にタッチします。



タッチするたびに経由地の順番が入れかわります。

- 続けて経由地の順番を入れかえるには、手順 2～3 を繰り返します。

- 4 **完了** にタッチします。
ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

- ▶ 走行中に経由地の順番を入れかえると、自動的にルートの再探索が行われます。

経由地を追加する

経由地は最大 5 カ所まで設定できます。5 カ所未満の場合は、経由地を追加することができます。

- 1 **経由地編集** にタッチします。
経由地編集画面が表示されます。
- 2 追加したい経由地番号にタッチして選択した後、**探して登録** にタッチします。
- 3 経由地を検索します。
 - 検索方法については、「行き先を決める」(61 ページ) を参照してください。

- 4 **登録** にタッチします。



経由地が設定されます。

- 続けて経由地を追加する場合は、手順 2～4 を繰り返します。

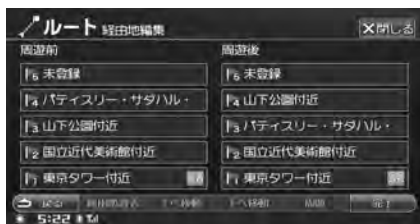
- 5 **完了** にタッチします。
ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

- ▶ 走行中は安全のため、経由地を追加することはできません。
- ▶ 経由地を追加すると、設定されているルート検索条件が新しい経由地の前後にも適用されます(「条件を変更する」89 ページ参照)。

経由地を自動で並べかえる

経由地の順序を、現在地から近い順に自動で並べかえることができます。経由地が 2 箇所以上設定されているときに操作することができます。

- 1 **経由地編集** にタッチします。
- 2 **周遊** にタッチします。
周遊前と周遊後の経由地順序が表示されます。



- 通過済みの経由地には、「通過」と表示されます。

- 3 **完了** にタッチします。
ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

- ▶ 走行中に **周遊** にタッチすると、自動的にルートの再探索が行われます。

【条件変更】…………… ②

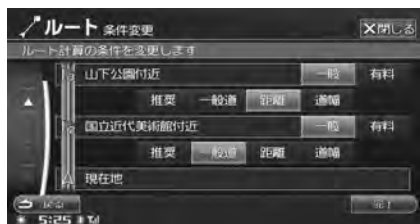
条件を変更する

探索条件を変更する

探索条件を変更します。経由地を設定した場合は、経由地までの区間ごとに探索条件を変更することができます。

1 **条件変更** にタッチします。

2 変更したい区間の **推奨** **一般道** **距離** **道幅** のいずれかにタッチします。



- すでに通過した区間は表示されません。

3 **完了** にタッチします。
ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

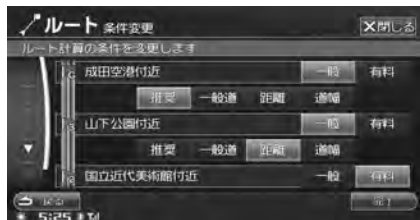
- ▶ 走行中は安全のため、条件変更画面をスクロールできません。

地点に属性（一般道路 / 有料道路）を設定する

地点が一般道路（付近）にあるのか、または有料道路にあるのかを設定することができます。

1 **条件変更** にタッチします。

2 設定したい地点の **一般** または **有料** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。
ルートが再探索され、目的地案内が開始されます。

- ▶ 一般道路 / 有料道路が登録地点の近くにあつて、地点を目的地 / 経由地に設定する場合に本設定が利用されます。目的地 / 経由地が一般道路路上に設定されるか、有料道路路上に設定されるかを決定します。

【周辺迂回】…………… ③

迂回する

自転車位置から一定の距離を迂回するルートを探します。前方の道路が工事などで通行できないときに利用します。

- ▶ 迂回地点をあらかじめ登録しておくこともできます（「迂回地点を登録する」96ページ参照）。
- ▶ 迂回する距離を設定できます（「迂回距離の設定」310ページ参照）。
- ▶ 案内中のルートから外れている場合は、迂回ルートは探索できません。
- ▶ 周辺の道路によっては、迂回できない場合があります。

1 **周辺迂回** にタッチします。
ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

【 5 ルート 】 ④

5 ルートから選択する

5 つのルート候補をもう一度探索し、他のルートに切りかえます。

- 1 **5 ルート** にタッチします。
5 つのルートが表示されます。
 - 各ルートについては、「ルートを引く」(46 ページ)を参照してください。
- 2 お好みのルートにタッチします。



- 3 **案内開始** にタッチします。
目的地案内が再開されます。

- ▶ 経由地がセットされている場合は、5 ルートの再探索はできません。
- ▶ 走行中は安全のため **5 ルート** にタッチすることはできません。

【 リルート 】 ⑤

ルートを再探索する

目的地案内中にルートから外れると、その位置から目的地までのルートが自動的に再探索されます。自動で再探索されないときは、下記の操作を行ってください。

- 1 **リルート** にタッチします。
ルートが再探索され、目的地案内が開始されます。

【 ルート消去 】 ⑥

ルートを消去する

現在のルート、目的地、経由地を消去します。

- 1 **ルート消去** にタッチします。
ルートの消去を確認するメッセージが表示されます。
- 2 **はい** にタッチします。
ルート、目的地、経由地が消去され現在地画面に戻ります。

- ▶ 目的地に近づくと「到着した」と判断して、ルート案内を終了します。近づき加減が不足しているときなどは「到着した」と判断できず、いつまでも目的地への案内を繰り返します。そのようなときは、ルートを消去してください。

最適ルートに変更する

アクティブルートサーチ

本機には、目的地までのルートを走行中に最新情報に基づいて最適ルートを探し出す機能「アクティブルートサーチ」があります。最適ルートが見つかった場合は音声案内とメッセージを表示してお知らせし、自動的に最適ルートに切りかわります。アクティブルートサーチは、以下の情報を基に行われます。

- 時間曜日規制情報
- VICS 規制情報（通行止め、インターチェンジの閉鎖など）
- 迂回地点
- VICS ビーコンユニット（別売）による渋滞情報
- スマートインターチェンジの時間曜日規制
- より短距離ルートの発見

<表示例>



■ 時間短縮ルートが見つかったら

時間短縮ルートが見つかった場合は、新ルートと現ルートを同時に表示したアクティブルート画面が表示されます。

<表示例>



1. 分岐交差点
2. 合流交差点
3. 短縮時間
4. 短縮距離

- 新ルートを走行した場合や何もしない状態で10秒間経過すると、新ルートが決定されます。
- 現ルートを走行した場合、**戻る**にタッチした場合、**現在地**スイッチを押した場合は現ルートに決定されます。

- ▶ 新ルートは現ルートに比べて距離が増加する場合があります。
- ▶ アクティブルート画面は、ノースアップ画面で表示されます。
- ▶ アクティブルート画面表示中に新ルートまたは現ルート以外のルートを走行した場合は、アクティブルート画面を終了し、ルートを変更します。
- ▶ 現在地から次の分岐交差点までの距離が50kmを超える場合は、アクティブルート画面は表示せずにメッセージの表示と案内を行います。
- ▶ アクティブルートサーチ機能を有効にするかどうか、また、到着時刻が何分以上縮まる場合にルート変更するか（5分～30分）などを設定できます（「アクティブルートサーチを実行する」309ページ参照）。
- ▶ 表示される区間通過の短縮時間はあくまで目安であり、走行速度、交通状況により短縮時間は異なる場合があります。
- ▶ 「アクティブルートサーチ」での「交通状況の考慮」および「回避ルート探索（渋滞考慮案内）」は通行止め等の交通規則が発生した場合等、距離、時間ともに増加するルートを表示する場合があります。また、常に渋滞からの回避が行えるわけではありません。
- ▶ VICS 情報を利用した渋滞回避を行うには、別売の VICS 光・電波ビーコンが必要となります。

抜け道ルート探索

本機には、抜け道ルート探索機能があります。「抜け道探索」を「する」に設定している場合、自動的に抜け道ルートを探します。

■ 抜け道ルートが見つかったと

抜け道ルートが見つかった場合は、新ルートと現ルートを同時に表示した抜け道発見画面が表示されます。

<表示例>



1. 分岐交差点

2. 合流交差点

- 新ルートを走行した場合や何もしない状態で10秒間経過すると、新ルートが決定されます。
 - 現ルートを走行した場合、**戻る**にタッチした場合、**現在地**スイッチを押した場合は現ルートに決定されます。
- ▶ 抜け道発見画面は、ノースアップ画面で表示されます。
- ▶ 抜け道発見画面表示中に新ルートまたは現ルート以外のルートを走行した場合は、抜け道発見画面を終了し、ルートを変更します。
- ▶ 抜け道探索機能を有効にするかどうかを設定することができます（「抜け道を探索する」309ページ参照）。
- ▶ 「アクティブルートサーチを実行する」（309ページ）が「しない」に設定されている場合は、「抜け道探索」を「する」に設定することはできません。
- ▶ 抜け道ルートの場合、細街路を通るルートを探することがあります。その場合は音声案内は行われません。

地点の登録

❖ 地点を登録する	94
地点登録画面を表示する	95
地点を登録する	95
カメラ表示地点を登録する	95
自車位置を修正する	96
迂回地点を登録する	96
特別地点を登録する	97
自車位置を地点登録する	97
❖ 地点情報を確認・変更する	98
地点情報画面を表示する	98
地点情報画面を操作する	98

地点を登録する

よく利用する地点を最大で 700 ヶ所登録することができます。

地点を登録しておく、以下の利点があります。

- 目的地や経由地を決めるときに、登録されている地点のリストから探し出すことができます。
- 地図にマークが表示されます。
- 近づいたときに音声案内を流すことができます。

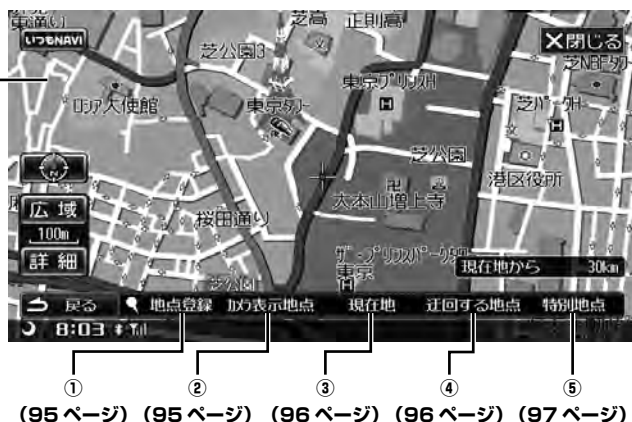
また、自宅や特別地点を登録しておく、さらに簡単に行き先に設定することができます。

- ▶ 700 ヶ所を超えて登録するときは、先に不要な地点を消去してください。
- ▶ 地点を登録すると、地点の名称のほか、地図にデータが存在する場合は電話番号や住所も自動的に登録されます。
- ▶ 「読み」に記号が混在して表示される場合がありますが、これはマーク読み出し時にアクセントをつけるための記号です。
- ▶ 同じ地点を登録すると、上書きされずに新しく登録されます。

地点の登録は、自転車位置を登録するか、または地図上の地点登録画面から行います。自転車位置の登録方法については、「自転車位置を地点登録する」(97 ページ)を参照してください。

地点登録画面からは、地点登録、迂回地点登録、カメラ表示地点登録、自転車位置の修正を行うことができます。それぞれのタッチスイッチについて詳しくは該当ページを参照してください。

地点登録画面の
表示 (95 ページ)



① (95 ページ) ② (95 ページ) ③ (96 ページ) ④ (96 ページ) ⑤ (97 ページ)

地点登録画面を表示する

地図上に地点登録画面を表示して、地点の登録を行います。
自車位置の登録方法については、「自車位置を地点登録する」(97 ページ) を参照してください。

- 1 **登録したい地点に十字カーソルを合わせます。**
 - 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(43 ページ) を参照してください。
 - 施設や住所などから地図を検索する方法については、「行き先を決める」(61 ページ) を参照してください。

- 2 **登録** にタッチします。

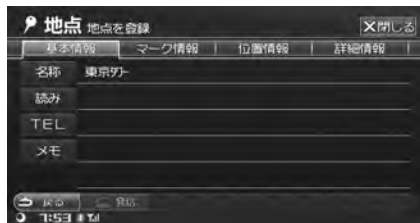


地点登録画面が表示されます。

【 地点登録 】 …………… ①

地点を登録する

- 1 **地点登録** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。
- 2 **表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。**



地点情報画面の操作については、「地点情報画面を操作する」(98 ページ) を参照してください。

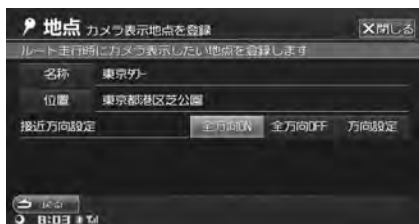
【 カメラ表示地点 】 …………… ②

カメラ表示地点を登録する

自宅駐車場や見通しの悪い交差点など、フロントカメラ映像を表示したい地点をあらかじめ登録することができます。登録した地点で、自動的にフロントカメラ映像を表示します。

カメラ表示地点は 50 ヶ所登録することができます。

- 1 **カメラ表示地点** にタッチします。
カメラ表示地点情報画面が表示されます。
- 2 **表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。**



- 名称と位置情報の変更については、「地点情報画面を操作する」(98 ページ) を参照してください。接近方向設定は「カメラを表示する範囲を設定する」(次項目) を参照してください。

- ▶ フロントカメラ機能は、フロントカメラ接続が「あり」設定時のみ利用することができます。「フロントカメラを接続する」(316 ページ) を参照してください。

カメラを表示する範囲を設定する

設定した地点に、どの方向から近づけばカメラ映像を表示するか設定します。

- 1 **「接近方向設定」の 全方向 ON 全方向 OFF 方向設定 のいずれかにタッチします。**

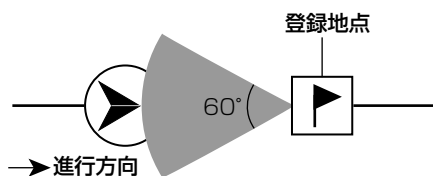
- **全方向 ON** にタッチするとすべての方向に設定され、**全方向 OFF** にタッチするとすべての方向でカメラ映像は表示されません。また、以降の操作は必要ありません。
- **方向設定** にタッチした場合は、方向を設定する地図画面がノースアップで表示されます。手順 2 にお進みください。

- 2  または  にタッチして方向を指定します。



- 3 **完了** にタッチします。

- ▶ 方向を指定したときは、指定した方向に向かって 60° の範囲が対象となります。



例えば、指定した方向に 60° の範囲から登録地点に接近したときはカメラ映像が表示されますが、それ以外の方向から接近したときはカメラ映像が表示されません。

- ▶ カメラ映像を表示するのは、登録地点の半径 50m 以内になります。

【 現在地 】 ③

自車位置を修正する

GPS 受信状況の変化により、実際の車の向きと画面上の自車マークの位置・方向が異なったときに修正することができます。ただし、修正しなくても走行を続ければ、情報が補正され正しい位置・方位になります。

- 1 **現在地** にタッチします。
方向を設定する地図画面がノースアップで表示されます。

- 2 地図をスクロールして自車位置を修正します。

- 3  または  にタッチして自車マークの向きを修正します。



- 4 **登録** にタッチします。
自車位置が設定されます。

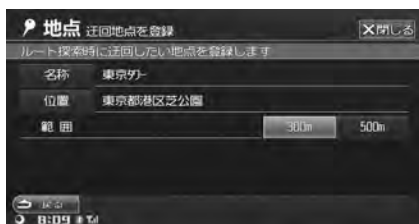
【 迂回する地点 】 ④

迂回地点を登録する

迂回地点は、地図に最大 10 カ所まで登録することができます。迂回地点を登録しておく、ルートを探求するときに登録したエリアを迂回させることができます。工事や事故による通行止め・渋滞地点があらかじめわかっているときなどに便利です。

- 1 **迂回する地点** にタッチします。
迂回地点情報画面が表示されます。

- 2 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。



- 名称と位置情報の変更については、「地点情報画面を操作する」(98 ページ) を参照してください。迂回範囲の設定は「迂回エリアの範囲を設定する」(次項目) を参照してください。

<迂回エリア表示例>



迂回エリアの範囲を設定する

迂回地点を中心として、何 m 四方のエリアを迂回するのかが設定することができます。

- 1 「範囲」の **300m** **500m** のいずれかにタッチします。

【特別地点】…………… ⑤

特別地点を登録する

自宅を1ヶ所、特別地点を3ヶ所登録することができます。特別地点を登録しておくことで、簡単にその地点の地図を表示させることができます。

- 1 **特別地点** にタッチします。
- 2 **地点1** **地点2** **地点3** **自宅** のいずれかにタッチします。



- 3 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。

- 地点情報画面の操作については、「地点情報画面を操作する」(98 ページ) を参照してください。

- ▶ すでに自宅または地点1～3が登録されている場合、同じタッチスイッチに登録しようとすると上書きを確認する画面が表示されます。
- ▶ 「自宅を登録する」(45 ページ) も参照してください。
- ▶ 自宅と特別地点がまだ設定されていない場合、行き先画面から設定することもできます。「自宅へ帰る」(69 ページ)、「よく行く地点を設定する」(70 ページ) を参照してください。
- ▶ 地点編集画面からも自宅と特別地点を設定することができます。「特別地点編集」(323 ページ) を参照してください。

自転車位置を地点登録する

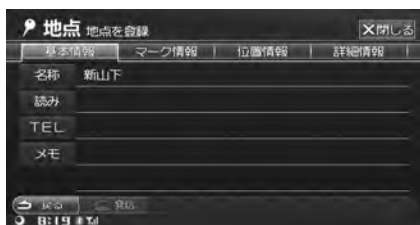
自転車位置を地点登録します。

- 1 現在地画面で **地点登録** にタッチします。



地点情報画面が表示されます。

- 2 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。



- 地点情報画面の操作については、「地点情報画面を操作する」(98 ページ) を参照してください。

地点情報を確認・変更する

特別地点や登録地点の情報を確認したり、変更・消去することができます。

地点情報画面を表示する

地点登録時の表示

地点を登録したときには、登録した地点の情報画面が自動的に表示されます。「地点を登録する」(94 ページ)を参照してください。

登録地点リストから表示する

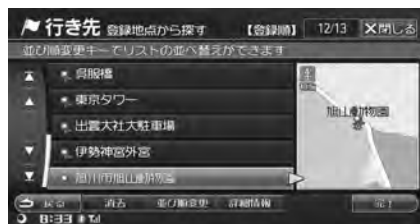
- 1 **行き先** スイッチを押します。
 - または、**メニュー** スイッチを押した後、**行き先** にタッチします。

- 2 **登録地点** にタッチします。



登録地点リストが表示されます。

- 3 地点情報を確認・変更したい地点にタッチして選択します。



- 4 **詳細情報** にタッチします。
地点情報画面が表示されます。

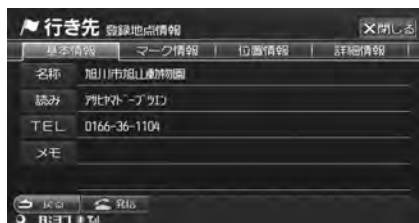
設定画面から表示する

設定・編集画面から地点の編集を行うことができます。「地点編集」(321 ページ)を参照してください。

地点情報画面を操作する

地点情報画面には4つのタブがあり、タブにタッチすると画面を切りかえることができます。それぞれの画面については、該当ページを参照してください。

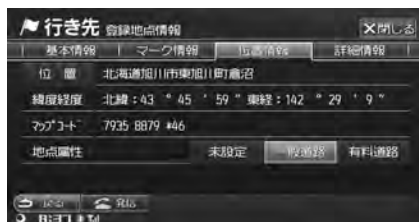
■ 基本情報画面→ 99 ページ参照



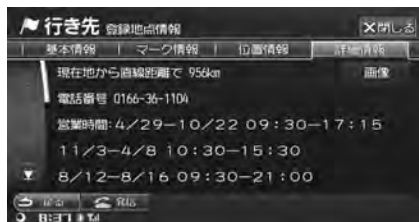
■ マーク情報画面→ 100 ページ参照



■ 位置情報画面→ 102 ページ参照



■ 詳細情報画面→ 102 ページ参照

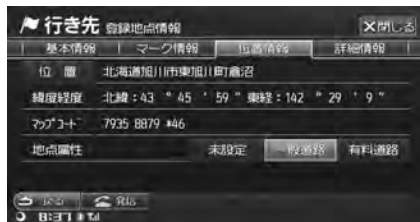


共通操作

◇ 電話をかける

携帯電話が接続されている場合、電話をかけることができます。

1 にタッチします。

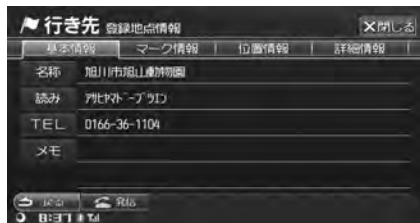


登録されている電話番号に電話をかけます。

基本情報画面表示例

この画面では、登録地点の基本情報を確認・変更することができます。

情報を変更する場合は、「文字・数字の入力方法」(36ページ)を参照してください。



◇ 基本情報画面を表示する

1 **基本情報** タブにタッチします。 基本情報画面が表示されます。

◇ 地点の名称を変更する

画面に表示される地点の名称を変更します。

1 **名称** にタッチします。 2 名称を入力します。



• 入力できる文字数は最大で 35 文字です。

3 **完了** にタッチします。

◇ 地点の読みを変更する

1 **読み** にタッチします。 2 読みを入力します。



• 入力できる読みは、最大で半角カタカナ 35 文字です。

3 **完了** にタッチします。

◇ 地点の電話番号を変更する

登録地点に電話番号を入力しておくと、「電話番号」から地点を探し出すことができます。

1 **TEL** にタッチします。

2 電話番号を入力します。



- ・市外局番から入力します。
- ・携帯電話番号、個人宅の電話番号にも対応しています。
- ・最大 15 桁まで入力可能です。

3 **完了** にタッチします。

◇ メモを入力する

コメントなどを入力します。

1 **メモ** にタッチします。

2 メモの内容を入力します。



- ・入力できるメモは最大で 50 文字です。

3 **完了** にタッチします。

マーク情報画面表示例



◇ マーク情報画面を表示する

1 **マーク情報** タブにタッチします。
マーク情報画面が表示されます。



◇ マークを変更する

地図に表示させるマークの種類を変更します。あらかじめ用意されているマークの中から好きなマークを選択できます。

1 **マーク** にタッチします。

2 登録したいマークにタッチします。



- ・マークが変更され、地点情報画面に戻ります。

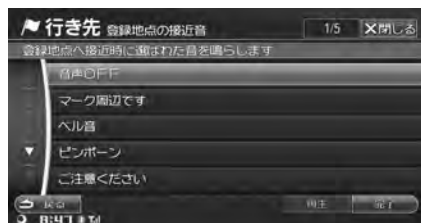
▶ 自宅、特別地点、登録地点では、表示されるマークは異なります。

◇ 接近音を変更する

地点に近づいたときに注意音や音声を鳴らすことができ、その音声を変更することができます。あらかじめ用意されている音声の中から選択します。

1 接近音 にタッチします。

2 登録したい音声にタッチします。



- タッチすると音声は再生されます。
- **再生** にタッチすると、選択した音声は再生されます。

3 完了 にタッチします。

- ▶ ガイド音声 that OFF の場合は、接近音は鳴りません。

◇ 接近音を鳴らす範囲を設定する

地点に近づいたときに接近音を鳴らす距離と方向を設定できます。

1 「接近距離設定」の 100m 300m 500m のいずれかにタッチします。



2 「接近方向設定」の 全方向 ON 全方向 OFF 方向設定 のいずれかにタッチします。

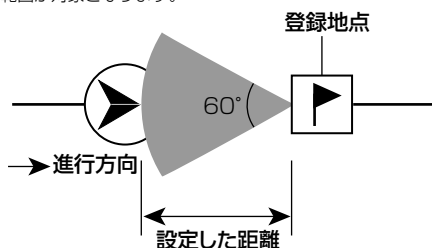
- **全方向 ON** にタッチするとすべての方向に設定され、**全方向 OFF** に設定するとすべての方向で接近音は鳴りません。また、以降の操作は必要ありません。
- **方向設定** にタッチした場合は、方向を設定する地図画面がノースアップで表示されます。手順 3 に進みください。

3 方向設定 または 方向設定 にタッチして方向を指定します。



4 完了 にタッチします。

- ▶ 方向を指定したときは、指定した方向に向かって 60° の範囲が対象となります。

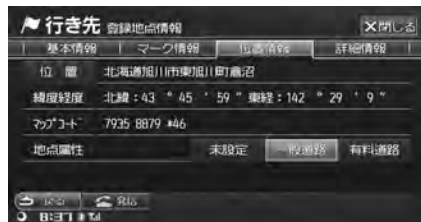


例えば、指定した方向に 60° の範囲から登録地点に接近したときは接近音が鳴りますが、それ以外の方向から接近したときは接近音が鳴りません。

- ▶ 接近音が鳴った登録地点から約 1km 以上離れないと、再度接近しても接近音は鳴りません。

位置情報画面表示例

登録地点の位置に関する情報が表示されます。



◇ 位置情報画面を表示する

- 1 **位置情報** タブにタッチします。
位置情報画面が表示されます。

◇ 地点の位置を変更する

地点の位置を変更することができます。

- 1 **位置** にタッチします。
地点周辺の地図が表示されます。
- 2 変更したい地点に十字カーソルを合わせます。
- 3 **地点を変更** にタッチします。
情報画面が表示されます。
 - 住所、緯度経度、マップコードが変更されます。

◇ 地点に属性（一般道路 / 有料道路）を設定する

地点が一般道路（付近）にあるのか、または有料道路上にあるのかを設定することができます。どちらの場合もあり得る場合は「未設定」に設定してください。

- 1 「**地点属性**」の **未設定**、**一般道路**、**有料道路** のいずれかにタッチします。

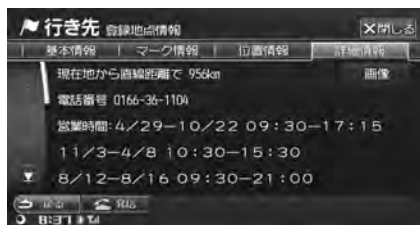
地点の属性が設定されます。

- 未設定 : 地点の属性（一般道路 / 有料道路）を設定しません。
- 一般道路 : 地点を一般道路（付近）に設定します。
- 有料道路 : 地点を高速道路・有料道路上に設定します。

- ▶ 一般道路 / 有料道路が登録地点の近くにあつて、地点を目的地 / 経由地に設定する場合に本設定が利用されます。目的地 / 経由地が一般道路上に設定されるか、有料道路上に設定されるかを決定します。
- ▶ 地点付近に一般道路 / 有料道路がない場合は、それぞれのタッチスイッチは選択することができません。

詳細情報画面表示例

地点や施設の詳細な情報が表示されます。



◇ 詳細情報画面を表示する

- 1 **詳細情報** タブにタッチします。
詳細情報画面が表示されます。

◇ 画像を表示する

施設に画像情報がある場合は、画像を表示することができます。

- 1 **画像** にタッチします。
登録されている画像が表示されます。

いつも NAVI

❖	いつも NAVI について	104
	いつも NAVI とは	104
	認証情報を入力する	105
❖	おすすめスポット案内	107
	おすすめスポットの自動取得	107
	おすすめスポットを手動で取得する	107
	おすすめスポットを自動で表示する	110
	おすすめスポットを手動で表示する	111
	接続を切断する	113
❖	厳選ジャンル検索	114
	現在地周辺の厳選ジャンルを検索する	114
	選んだ地点周辺の厳選ジャンルを検索する	115
❖	ドライブプラン	116
	ドライブプランをサーバーに登録する	116
	ドライブプランを取得する	116
	ドライブプランを利用してルートを引く	117
❖	お知らせ・特集	119
	お知らせ・特集を取得する	119
	お知らせ・特集を表示する	119
	他モードでのお知らせ・特集表示	120
❖	天気情報	121
	現在地、目的地、経由地周辺の天気情報を見る	121
	選んだ地点周辺の天気情報を見る	121
	天気情報履歴	122

いつも NAVI について

いつも NAVI とは

いつも NAVI とは、携帯電話のインターネット機能を利用したドライブに役立つ様々な情報を提供する登録制のサービスです。ドライブ中、場所や時間を考慮したドライブに役立つ情報を提供します。

いつも NAVI を利用するには、アルパインホームページでのお客様登録、及びユーザズルームでの VIE-X08S/VIE-X088 の登録が必要です。必ず登録を行ってください。

https://secure.alpine.co.jp/cras/reg_top.html

お客様登録を行うことで、いつも NAVI サービスの他に差分更新の認証なども行うことができるようになります。

- ▶ ユーザズルームの URL は変更になる可能性があります。その場合はトップページ <http://www.alpine.co.jp/> をご覧ください。

いつも NAVI が提供するサービス

おすすめスポット	場所や時間に合わせたおすすめのスポットを、各界の著名人や地元の有名人が推薦人となって案内します。おすすめスポットがある場合、自動的に案内を表示することもできます。おすすめスポットでは次のような情報が案内されます。 ● 画像（外観、店内、メニューなど）/ 推薦人情報 / 紹介文 / 詳細情報
厳選ジャンル	任意の地点周辺の、厳選したジャンルの検索を行うことができます。
ドライブプラン機能	自宅などで作成したドライブプラン（目的地・経由地リスト）を Web 上のいつも NAVI サービスに登録しておくと、本機にダウンロードしてルートとして利用することができます。実行予定日を登録しておけば、当日にドライブプランを実行するかどうか案内を行うこともできます。
お知らせ・特集	その時々合わせた「アルパインからの商品情報」や「季節の特集」などの情報を配信します。
天気情報	任意の地点の天気情報を取得します。

いつも NAVI を利用するには

いつも NAVI を利用するには、下記の操作を行う必要があります。

- ① **本機と携帯電話の接続**
- ② **携帯電話を利用したインターネット接続設定**
- ③ **いつも NAVI 認証情報の入力**

操作については、「携帯電話を接続する」(149 ページ) ⇒ 「通信機能の設定」(363 ページ) ⇒ 「認証情報を入力する」(105 ページ) を参照してください。

- ▶ 携帯電話の通信費はお客様負担になります。
- ▶ いつも NAVI に関する設定は、「いつも NAVI 設定」(370 ページ) を参照してください。

ホームページ上のいつも NAVI サービスのデータ利用について

自宅のパソコンなどで Web 上のいつも NAVI サービスに登録した登録スポットデータを、SD メモリーカード / USB メモリに書き出し、そのデータを本機にコピーすることができます。

ドライブルートを SD メモリーカード / USB メモリに書き出した場合は、出発地・目的地・経由地に登録した地点のコピーを行います。コピーした地点情報を利用して、本機でルートを検索してください。

- ▶ Web 上でメディアにデータを書き出す際は、ホームページ上の手順に従って操作を行ってください。
- ▶ メディアから本機に登録地点をコピーする方法は、「登録地点をメディアからコピーする」(329 ページ) を参照してください。

認証情報を入力する

まず認証情報を本機に入力します。ユーザーズルームで登録を行うと発行されるID (E-Mail) とパスワードを入力してください。

- ▶ 認証情報入力は初回のみ必要です。次回以降、本操作は不要になります。

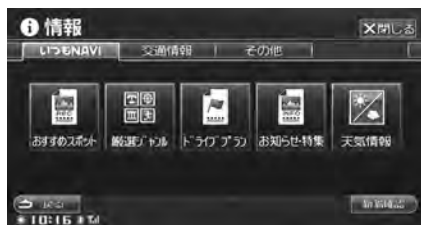
1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 **情報** にタッチします。



3 **いつもNAVI** タブにタッチして画面を切りかえます。

4 いつもNAVI 画面のいずれかのタッチスイッチ (戻る と 閉じる 以外) にタッチします。



認証情報設定画面が表示されます。

5 **ID** にタッチします。
ID 入力画面が表示されます。



6 ID を入力します。

- ▶ 入力方法については、「文字・数字の入力方法」(36 ページ) を参照してください。

7 **完了** にタッチします。
認証情報設定画面に戻ります。

8 **パスワード** にタッチします。
パスワード入力画面が表示されます。

9 パスワードを入力します。

- ▶ 入力したパスワードは*で表示されます。

10 **完了** にタッチします。
認証情報設定画面に戻ります。

11 **完了** にタッチします。
認証情報確認が行われます。



確認が完了するといつもNAVI 機能を使用することができるようになります。

- ▶ **完了** タッチ後、通信が開始され、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

いつも NAVI スイッチについて

いつも NAVI がご利用できる状態のときには、地図にタッチして地図上に十字カーソルが表示されると

いつも NAVI スイッチが表示されます。

- ▶ 「いつも Navi を利用するには」(104 ページ) を参照してください。
- ▶ 携帯電話が接続されていないときには、**いつも NAVI** スイッチはトーンダウンしてタッチすることはできません。

1 **いつも NAVI** にタッチします。

いつも NAVI 画面が表示され、十字カーソル地点周辺のおすすめスポット、厳選ジャンル、天気情報に関する操作を行うことができます。



- いつも NAVI 接続中は、**いつも NAVI** スイッチは **切断** スイッチに変わります。

2 通信を切断するには **切断** にタッチします。

接続状態アイコンについて

サーバー接続中は、接続状態を表示するアイコンが表示されます。接続中は、接続時間が表示されます。



接続状態アイコン

おすすめスポット案内

場所や時間に合わせたおすすめのスポット情報を取得（ダウンロード）・表示することができます。おすすめスポットは自動で取得する方法と手動で取得する方法があり、取得したおすすめスポットは100件まで本機に記憶されます。また取得したおすすめスポットは、手動で呼び出すことも、ルート走行中に自動で割り込み表示することもできます。

- ▶ 案内情報をダウンロードするタイミングなどは「いつもNAVI 設定」(370 ページ) で設定することができます。
- ▶ 高速道路 / 有料道路走行中は、おすすめスポット案内を行いません。
- ▶ マルチゲート画面からコミュニケーション画面を表示した場合、本機起動直後はおすすめスポット案内を利用することはできません。本機電源 ON 時にマルチゲート画面を表示している場合も、おすすめスポット案内を利用できません。一度別の画面に表示を切りかえてください。

おすすめスポットの自動取得

- ▶ おすすめスポット取得時に、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

ルート探索時に取得する

探索したルートをしばらく走行すると、そのルート周辺にあるおすすめスポットを自動で取得します。「ルート計算時におすすめスポットを自動で取得する」(371 ページ) が「する」設定時に取得されます。

- 1 **ルートを探索します。**
ルート案内開始後、自動でおすすめスポットが取得されます。



- ▶ ルート探索については「目的地を設定してルートを探る」(75 ページ) を参照してください。
- ▶ **リルート** にタッチしてルートを再探索した場合にも、おすすめスポットの取得が行われます（「ルートを再探索する」90 ページ参照）。

一定時間毎に取得する

ルート案内中、設定した一定の時間毎に、自動でおすすめスポットが取得されます（「一定時間毎におすすめスポットを自動で取得する」372 ページ参照）。

- ▶ 何分おきに情報を取得するか設定することができます。「おすすめスポット自動取得時間を設定する」(372 ページ) を参照してください。

おすすめスポットを手動で取得する

ルート周辺のおすすめ情報を取得する

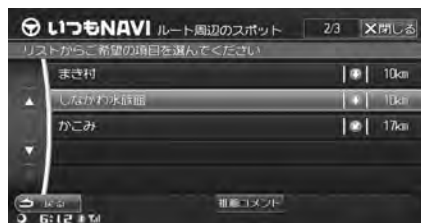
- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **いつもNAVI** タブにタッチして画面を切りかえ、**おすすめスポット** にタッチします。
- 4 **ルート周辺取得** にタッチします。



ルート周辺にあるおすすめスポットがダウンロードされ、リスト表示されます。

- ▶ **ルート周辺取得** タッチ後、通信が開始され、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

5 詳細を見るにはおすすめスポットをタッチして選び、**推薦コメント**にタッチします。



選んだおすすめスポットの推薦コメント画面が表示されます。

- 推薦コメント画面については、「推薦コメント画面の操作」(109 ページ) を参照してください。

- ▶ ルートがない場合は **ルート周辺取得** にタッチすることはできません。
- ▶ ルート周辺におすすめスポットがない場合は、おすすめスポット情報を表示することはできません。
- ▶ 高速 / 有料道路を走行中におすすめスポットを取得することはできません。
- ▶ 高速 / 有料道路を通るルートを行行中で、自車位置が高速 / 有料道路入口に近い場合、おすすめスポットを取得できない場合があります。

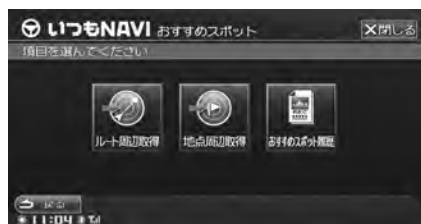
現在地・目的地・経由地周辺のおすすめ情報を取得する

1 **メニュー** スイッチを押します。 メニュー画面が表示されます。

2 **情報** にタッチします。

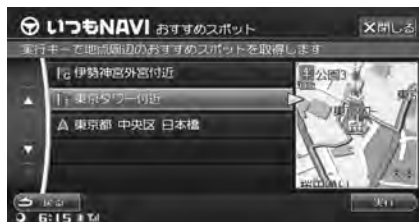
3 **いつもNAVI** タブにタッチして画面を切りかえ、**おすすめスポット** にタッチします。

4 **地点周辺取得** にタッチします。



現在地・目的地・経由地がリスト表示されます。

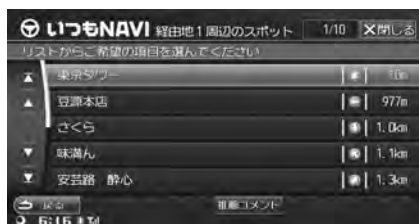
5 いずれかの地点をタッチして選び、**実行** にタッチします。



タッチした地点周辺にあるおすすめスポット情報のダウンロードを開始します。情報が取得された場合は、おすすめスポットがリスト表示されます。

- ▶ **実行** タッチ後、通信が開始され、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

6 詳細を見るにはおすすめスポットをタッチして選び、**推薦コメント**にタッチします。



選んだおすすめスポットの推薦コメント画面が表示されます。

- 推薦コメント画面については、「推薦コメント画面の操作」(109 ページ) を参照してください。

- ▶ 地点周辺におすすめスポットがない場合は、おすすめスポット情報を表示することはできません。
- ▶ 以前表示した情報を、再度表示する場合もあります。

選んだ地点周辺のおすすめスポット情報を取得する

地図上の十字カーソル周辺のおすすめスポット情報を取得することができます。

1 おすすめスポットを習得したい地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(43 ページ) を参照してください。
- 施設や住所などから地図を検索する方法については、「行き先を決める」(61 ページ) を参照してください。

2 地図上に表示される **いつもNAVI** にタッチします。



3 **おすすめスポット** にタッチします。



地点周辺のおすすめスポットがダウンロードされ、リスト表示されます。

4 詳細を見るにはおすすめスポットをタッチして選び、**推薦コメント** にタッチします。

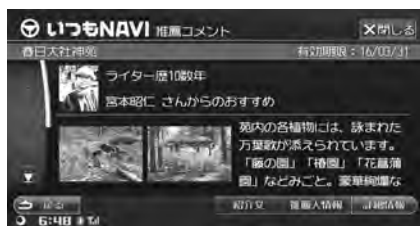


選んだおすすめスポットの推薦コメント画面が表示されます。

- 推薦コメント画面については、「推薦コメント画面の操作」(109 ページ) を参照してください。

- ▶ 地点周辺におすすめスポットがない場合は、おすすめスポット情報を表示することはできません。
- ▶ 以前表示した情報を、再度表示する場合もあります。
- ▶ **おすすめスポット** タッチ後、通信が開始され、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

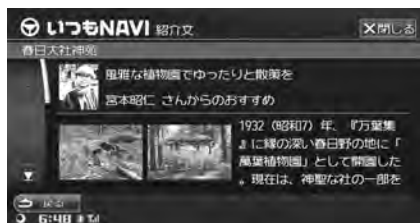
推薦コメント画面の操作



推薦コメント画面では以下の操作ができます。

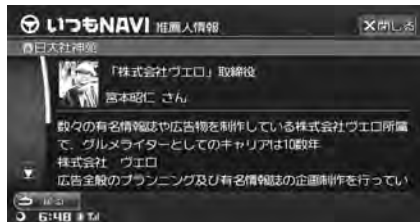
1) **紹介文**

おすすめスポット施設の紹介文が表示されます。



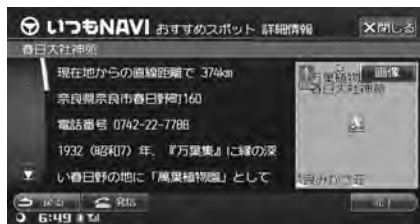
2) **推薦人情報**

紹介文を書いた推薦人に関する情報が表示されます。



3) **詳細情報**

地点に関する詳細な情報が表示されます。



- **完了** または画面右側の地図にタッチ：
地点の地図が表示されます。地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください。(「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照)

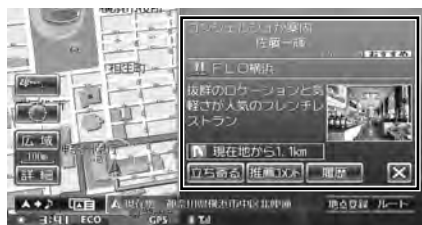
- **発信**：登録されている電話番号に電話をかけます。
- **画像**：画像をダウンロードした場合、おすすめスポット画像が表示されます。画像が複数ある場合は、**次へ** **前へ** にタッチすると前後の画像を表示します。
- **QRコード**：画面をスクロールするとQRコードが表示されます。施設に関する情報、または地図情報を取得することができます。QRコードについて詳しくは、「詳細情報画面の操作」(64ページ)を参照してください。

- ▶ **発信** にタッチして電話をかけると、いつもNAVIの通信は切断されます。

おすすめスポットを自動で表示する

ルート走行中、自車位置や案内日時から判断した最適なおすすめスポット情報が自動的に割り込み表示されます。割り込み表示は「おすすめスポット割り込み案内を設定する」(372ページ)が「する」設定時に行われます。また、下記画面のタッチスイッチについて詳しくは、各項目を参照してください。

<表示例>



1. 推薦コメント
2. 現在地からの方向、距離
3. 推薦人の名前・説明
4. おすすめスポットアイコン、名称
5. 施設画像

- ▶ おすすめスポット案内は、「おすすめスポット割り込み表示時間を設定する」(373ページ)で設定した時間を経過するか、**X** にタッチすると表示を終了します。
- ▶ 施設画像をダウンロードするかどうか設定することができます(「画像を取得する」372ページ参照)。ダウンロードしない場合は、施設画像は表示されません。
- ▶ おすすめスポット割り込み表示中に地図をスクロールすることはできません。

【立ち寄る】……………①

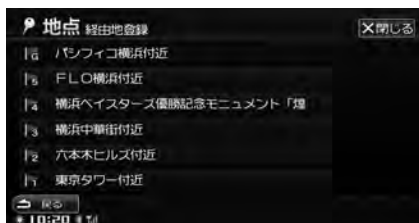
おすすめスポットを経由地に設定する

1

立ち寄る にタッチします。

選んだおすすめスポットが経由地1として設定されます。

- 経由地がすでに5箇所設定されている場合には、上書きする地点を選ぶ画面が表示されます。上書きする経由地にタッチして選んでください。



- ▶ 経由地1がすでに設定されている場合も、選んだおすすめスポットが経由地1の前に挿入されて、新しい経由地1として設定されます。経由地1をすでに通過している場合は、経由地1に上書きされます。
- ▶ おすすめスポット履歴画面で案内回数を設定すると、おすすめスポットに近づいた時に案内を行います(「おすすめスポット案内回数を設定する」113ページ参照)。

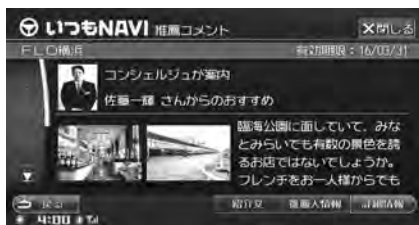
【推薦コメント】……………②

推薦コメントを表示する

1

推薦コメント にタッチします。

推薦コメント画面が表示されます。



- 推薦コメント画面については、「推薦コメント画面の操作」(109 ページ) を参照してください。

【履歴】 ③

おすすめスポット履歴を表示する

1 履歴 にタッチします。

おすすめスポット履歴画面が表示されます。



- 履歴画面については、「おすすめスポット履歴を見る」(112 ページ) を参照してください。
- ▶ 割り込み表示されたおすすめスポット画面では、履歴を消去することはできません。履歴を消去するには、「おすすめスポット履歴を消去する」(112 ページ) を参照してください。

おすすめスポットを手動で表示する

おすすめスポットアイコンの情報を見る

おすすめスポット情報を取得すると、地図上におすすめスポットアイコンが表示されます。アイコンはおすすめスポットの場所を表示するだけでなく、そのスポットの情報を表示することができます。アイコンを地図上に表示するには、「おすすめスポットアイコンを地図上に表示する」(373 ページ) を「する」に設定してください。

1 地図をスクロールしておすすめスポットアイコンに十字カーソルを合わせます。



- 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(43 ページ) を参照してください。

2 情報 にタッチします。



推薦コメント画面が表示されます。

- おすすめスポットアイコンが隣接している場合は、**次へ** にタッチしてアイコンを切りかえます。
- 推薦コメント画面については、「推薦コメント画面の操作」(109 ページ) を参照してください。

- ▶ アイコン情報は、地図スケールが 200m 以下の詳細な地図で表示されます。

<おすすめスポットアイコンリスト>

おすすめスポットジャンル	アイコン
食べる	
買う	
遊ぶ	
観る	
泊まる	
旬のスポット	
温泉地	
その他	

- ▶ おすすめスポットアイコンは変更される場合があります。

おすすめスポット履歴を見る

取得済みのおすすめスポット（100件まで）をリスト表示することができます。100件を超えた場合は、案内回数が設定されていないスポットや取得日が古いスポットが優先して削除されます。

＜表示例＞



1. 案内アイコン

案内回数を設定すると表示されます。

2. 現在地からの距離

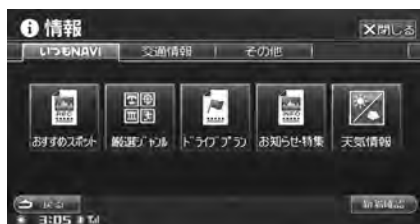
3. 案内を取得した日付

新規で取得したおすすめスポットには「New」と表示されます。

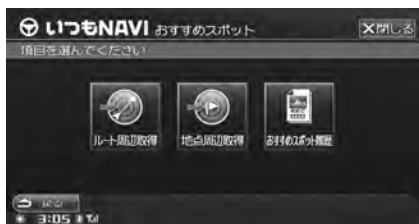
1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 **情報** にタッチします。

3 **いつもNAVI** タブにタッチして画面を切り替え、**おすすめスポット** にタッチします。



4 **おすすめスポット履歴** にタッチします。



おすすめスポット履歴がリスト表示されます。



おすすめスポット履歴画面から、以下の操作を行うことができます。

◇ おすすめスポット履歴を消去する

1 **消去** にタッチします。
履歴が消去されます。

- すべての履歴を消去するには **消去** にタッチし続けます。メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。

◇ リスト表示方法を変更する

1 **並び順変更** にタッチします。
タッチするたびに、リストが現在地からの距離順か、情報をダウンロードした日付順に並べられます。

◇ 詳細情報を表示する

1 おすすめスポットをタッチして選び、**推薦コメント** にタッチします。
推薦コメント画面が表示されます。

- ▶ 推薦コメント画面については、「推薦コメント画面の操作」（109ページ）を参照してください。

◇ おすすめスポット案内回数を設定する

おすすめスポットの案内回数を設定することができます。

1 おすすめスポットをタッチして選び、**案内設定** にタッチします。



案内設定画面が表示されます。

2 案内回数を選び、**完了** にタッチします。



- **おすすめスポットの案内をする**：
選んだスポットに近づくと案内を行います。
履歴画面に  アイコンが表示されます。20件まで登録することができます。
- **おすすめスポットの案内を1回する**：
選んだスポットに近づくと、案内を一度だけ行います。履歴画面に  アイコンが表示されますが、一度案内を行ったらアイコンは消去され、「案内しない」スポットになります。
- **おすすめスポットの案内をしない**：
選んだスポットに近づいても案内を行いません。

- ▶ おすすめスポットにはそれぞれ有効期限が設定されています。有効期限が切れたおすすめスポットは自動的に削除されます。「案内しない」に設定されているスポットは優先して削除されます。
- ▶ ダウンロードしたおすすめスポットは、自動的に「1回案内する」に設定されます。

接続を切断する

サーバーへの接続を切断する場合は、下記操作を行ってください。

1 **現在地** スイッチを押します。 現在地画面が表示されます。

2 **切断** にタッチします。



切断を確認するメッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチします。 接続が切断されます。

- ▶ 地点検索などを行って表示された地図にも **切断** は表示されます。
- ▶ 情報取得中に表示される **切断** にタッチしても接続は切断されます。



厳選ジャンル検索

本機に収録されていない最新の地点や、地域に精通した各地の紹介人が厳選したおすすめスポットをジャンル別に検索することができます。

現在地周辺の厳選ジャンルを検索する

現在地周辺のスポットを検索します。

- メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 情報** にタッチします。
- いつも NAVI** タブにタッチして画面を切り替え、**厳選ジャンル** にタッチします。
サーバーへの接続が開始され、ジャンルリストが表示されます。
- 希望のジャンルにタッチします。



施設ジャンルリストが表示されます。

- 希望の施設ジャンルにタッチします。



施設ジャンルが決定されると、選んだ施設ジャンルのスポットを最大 30 件ダウンロードします。

- 希望のスポットにタッチします。



詳細情報画面が表示されます。

スポット詳細情報画面から、以下の操作を行うことができます。



地点を設定する

目的地、経由地に設定したり、地点を登録したりすることができます。

- 完了** または画面右側の地図にタッチします。

検索したスポット周辺の地図が表示されます。

- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください（「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照）。

電話をかける

検索したスポットに電話をかけることができます。

- 発信** にタッチします。

▶ **発信** にタッチして電話をかけると、いつも NAVI の通信は切断されます。

スポットの画像を見る

検索したスポットに画像が登録されている場合は、画像を見ることができます。

- 1 **画像** にタッチします。
スポット画像が表示されます。



- 画像が複数ある場合は、**次へ** **前へ** にタッチすると前後の画像を表示します。

- ▶ **回線切断** にタッチすると、回線を切断します。
- ▶ スポット詳細情報画面をスクロールすると QR コードが表示されます。施設に関する情報、または地図情報を取得することができます。QR コードについて詳しくは、「詳細情報画面の操作」(64 ページ) を参照してください。
- ▶ **厳選ジャンル** タッチ後、通信が開始され、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

選んだ地点周辺の厳選ジャンルを検索する

地図上の十字カーソル周辺の厳選ジャンルを検索することができます。

- 1 地図をスクロールして、**厳選ジャンル**を検索したい地点に十字カーソルを合わせます。
 - 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(43 ページ) を参照してください。
 - 施設や住所などから地図を検索する方法については、「行き先を決める」(61 ページ) を参照してください。

- 2 **いつも NAVI** にタッチします。



- 3 **厳選ジャンル** にタッチします。
サーバーへの接続が開始され、ジャンルリストが表示されます。

- 4 希望のジャンルにタッチします。



施設ジャンルリストが表示されます。

- 5 希望の施設ジャンルにタッチします。



施設ジャンルが決定されると、選んだ施設ジャンルのスポットを最大 30 件ダウンロードします。

- 6 希望のスポットにタッチします。



詳細情報画面が表示されます。

- ▶ スポット詳細情報画面の操作については、「現在地周辺の厳選ジャンルを検索する」(114 ページ) を参照してください。
- ▶ **厳選ジャンル** タッチ後、通信が開始され、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

ドライブプラン

あらかじめ自宅で作成したドライブプラン（ルート）を利用することができます。ドライブプランの取得、通知については設定することができます（「新着情報取得時の項目を設定する」371 ページ、「実行可能なドライブプランを通知する」371 ページ参照）。

ドライブプランをサーバーに登録する

まず、本機のお客様登録をお願いします。アルパイン・ホームページ（<http://www.alpine.co.jp>）にアクセスして、ホームページの手順に従って登録をお済ませください。登録がお済みのお客様は User's Room（<https://secure.alpine.co.jp/urs/top.html>）にログインしてください。

User's Room で本機の製品サービスからいつも NAVI を選択します。その後いつも NAVI のページで地点を検索し、ルートを登録します。

いつも NAVI での地点検索、ルート登録の方法について詳しくは「ヘルプ」を参照してください。

● ドライブプラン案内について

- ルートに実行予定日を登録しておくと、当日本機の電源を ON にした時に通知されます。（「実行可能なドライブプランを通知する」371 ページ参照）。ただし、実行予定日に本機の電源を ON にしないと通知は行われません。



- ドライブプランの通知は、実行日、最初に本機の電源を ON にした時のみ行われます。
- **実行** にタッチするとルート計算が行われます。

ドライブプランを取得する

ドライブプランは自動で取得する方法と手動で取得する方法があります。

- ▶ 本機にダウンロードしたドライブプランを消去することはできません。ドライブプランの消去はホームページ上で行ってください。
- ▶ 地図データ案内(171 ページ参照)とお知らせ・特集(119 ページ参照) も同時にダウンロードされます。「新着情報取得時の項目を設定する」(371 ページ)を参照してください。
- ▶ ドライブプランを自宅のパソコンなどで SD メモリーカード / USB メモリに書き出した場合は、地点のコピーのみを行います。

自動でドライブプランを取得する

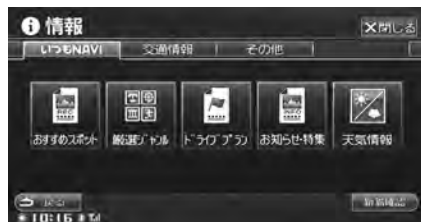
その日初めて本機の電源が ON になった時に、自動でサーバーに登録されているドライブプランの取得を行います。前回ダウンロードした時よりも後に登録されたドライブプランのみをダウンロードします。



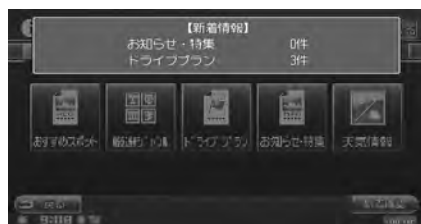
- **実行** にタッチするとルート計算が行われます。
- ▶ 「起動時新着確認」を「する」、「新着確認項目設定」の「ドライブプラン取得」を「する」に設定した場合に、自動でドライブプランが取得されます（371 ページ参照）。
- ▶ ドライブプラン取得時に、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

手動でドライブプランを取得する

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **いつも NAVI** タブにタッチして画面を切りかえ、**新着確認** にタッチします。



サーバーに登録されているドライブプランがダウンロードされ、取得された件数が表示されます。

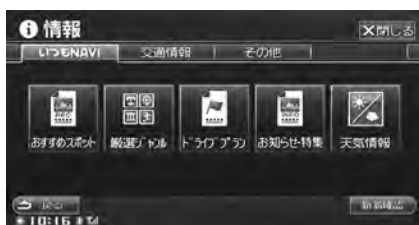


- ▶ **新着確認** タッチ後、通信が開始され、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

ドライブプランを利用してルートを引く

本機にダウンロードしたドライブプランを利用して、ルートを引きます。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **いつも NAVI** タブにタッチして画面を切りかえ、**ドライブプラン** にタッチします。



ドライブプランリストが表示されます。

- 4 希望のドライブプランにタッチして選び、**実行** にタッチします。



- 5 確認メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。
ルート計算が開始されます。

ドライブプラン画面について



1. 実行状況アイコン

☒ : すでに実行されているドライブプラン

☐ : まだ実行されていないドライブプラン

2. ドライブプラン名称

3. New アイコン

新規で取得したドライブプランには「New」と表示されます。

4. ドライブプラン通知アイコン

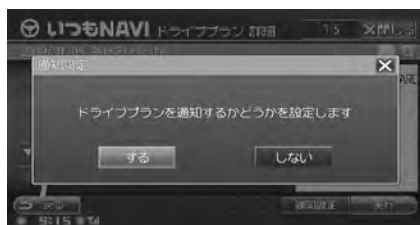
「ドライブプランを通知する」が「する」設定時に表示されます。

5. ドライブプラン実行日

詳細情報画面から、以下の操作を行うことができます。

1) 通知設定

タッチすると通知設定画面が表示されます。「する」に設定すると、ドライブプラン実行予定日に表示して知らせます。



▶ 次のようなドライブプランは、通知設定を行うことはできません。

- 一度通知済みのドライブプラン
- 実行済みのドライブプラン
- 実行予定日を過ぎたドライブプラン
- 実行予定日がないドライブプラン

2) 実行

タッチするとルート計算を開始します。

詳細情報画面を表示する

1 ドライブプラン画面で **詳細情報** にタッチします。

詳細情報画面が表示されます。



お知らせ・特集

その時々に合わせて「アルパインからの商品情報」や「季節の特集」などの情報を配信します。お知らせに地点情報が含まれている場合は、その地点を検索して目的地などに設定することも出来ます。

お知らせ・特集を取得する

- ▶ 地図データ案内（171 ページ参照）とドライブプラン（116 ページ参照）も同時にダウンロードされます。「新着情報取得時の項目を設定する」（371 ページ）を参照してください。

自動でお知らせ・特集を取得する

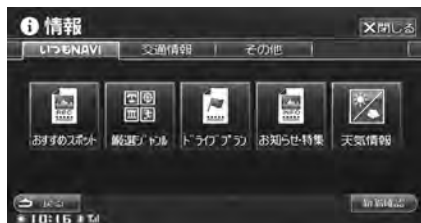
その日初めて本機を立ち上げた時に、自動でお知らせ・特集の取得を行います。



- ▶ 「起動時新着確認」を「する」、「新着確認項目設定」の「お知らせ・特集取得」を「する」に設定した場合に、自動でお知らせ・特集が取得されます（371 ページ参照）。
- ▶ お知らせ・特集取得時に、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

手動でお知らせ・特集を取得する

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **いつも NAVI** タブにタッチして画面を切りかえ、**新着確認** にタッチします。

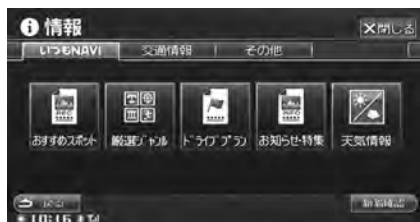


お知らせ・特集がダウンロードされ、取得された件数が表示されます。

お知らせ・特集を表示する

取得したお知らせ・特集は 20 件まで本機に記憶されます。また、1 つの情報に対する地点情報は 20 件までになります。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **いつも NAVI** タブにタッチして画面を切りかえ、**お知らせ・特集** にタッチします。



お知らせ・特集リストが表示されます。

- ▶ お知らせ・特集リストは、取得された順に表示されます。

- 4 希望の履歴にタッチして選び、**完了** にタッチします。



項目が決定されると、選んだ項目のお知らせ・特集が表示されます。

1. **既読・未読アイコン**
既：表示済みのお知らせ・特集に表示されます。
未：まだ表示していないお知らせ・特集に表示されます。
2. **地点情報アイコン**
📍：お知らせ・特集に地点情報があるときに表示されます。

3. New アイコン

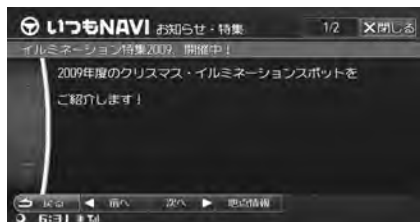
 : 最後に取得したお知らせ・特集には「New」と表示されます。

4. お知らせ・特集登録日

情報がサーバーに登録された日付を表示します。

- ▶ 選択したお知らせ・特集を消去するには **消去** にタッチします。すべてのお知らせ・特集を消去するには **消去** にタッチし続けます。メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。

お知らせ・特集画面から、以下の操作を行うことができます。

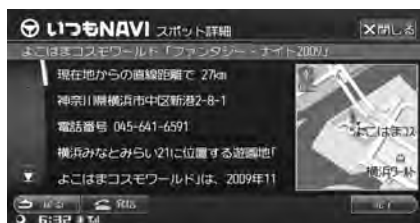


1) ◀ 前へ ▶ 次へ ▶

タッチすると前後の情報画面へ切りかえます。

2) 地点情報

地点情報画面を表示します。リストから情報を表示する地点名称にタッチして選んでください。



- **完了** または画面右側の地図にタッチした場合は、スポット周辺の地図が表示されます。地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください（「検索・スクロール後の画面」41ページ参照）。
- **発信** にタッチすると、表示した地点に電話をかけることができます。
- 地点情報画面をスクロールすると QR コードが表示されます。施設に関する情報、または地図情報を取得することができます。QR コードについて詳しくは、「詳細情報画面の操作」（64 ページ）を参照してください。

- ▶ 地点情報がない場合は、**地点情報** にタッチすることはできません。

- ▶ **発信** にタッチして電話をかけると、いつも NAVI の通信は切断されます。

他モードでのお知らせ・特集表示

お知らせ・特集のタイトルを他モードで表示します。

- ▶ 未読のお知らせ・特集のみ、他モードで表示されます。
- ▶ お知らせ・特集表示は 20 秒で次に切りかわり、一巡すると終了します。新しい情報を取得したときは表示されます。
- ▶ 表示箇所に文字が表示しきれないときは、文字がスクロールします。ただし、走行中は安全のため文字スクロールは行いません。

■ 現在地画面



■ マルチゲート画面

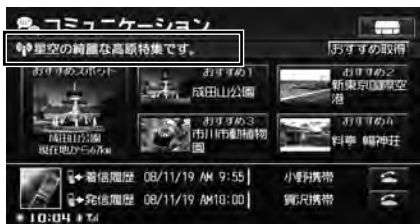


■ ドライブインフォ画面



- ▶ 表示箇所にタッチする毎に、VICS 文字情報と表示が切りかわります。

■ コミュニケーション画面



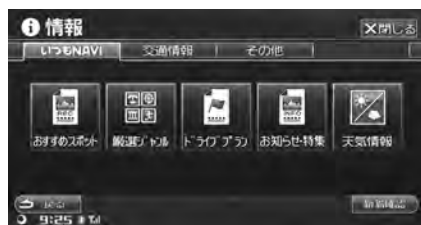
天気情報

任意の地点の天気情報（天気、気温、降水量、天気情報発表時間）を取得することができます。ルート設定時には、目的地・経由地の天気情報を見ることが出来ます。

現在地、目的地、経由地周辺の天気情報を見る

現在地付近の天気情報を見ることができます。目的地、経由地を設定してある場合は、その付近の天気情報も取得できます。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **いつもNAVI** タブにタッチして画面を切り替え、**天気情報** にタッチします。

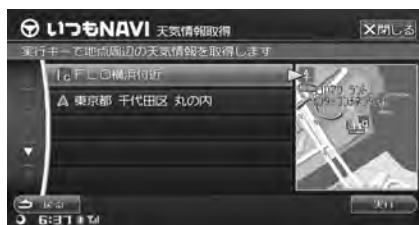


- 4 **天気情報取得** にタッチします。



現在地、目的地、経由地名称がリスト表示されます。

- 5 天気情報を取得したい地点をタッチして選び、**実行** にタッチします。



タッチした地点周辺の天気情報の取得を開始します。情報が取得された場合は、天気情報画面が表示されます。



- ▶ 当日 6 時と 12 時の天気情報は、情報を取得する時間によっては表示されません。
 - 12 時～ 18 時の間に取得した天気情報：6 時の天気情報が表示されません。
 - 18 時～翌朝 6 時の間に取得した天気情報：6 時と 12 時の天気情報が表示されません。
- ▶ **実行** タッチ後、通信が開始され、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

選んだ地点周辺の天気情報を見る

地図上の十字カーソルがある地点周辺の天気情報を見ることができます。

- 1 地図をスクロールし、天気情報を見たい地点に十字カーソルを合わせます。
 - 地図のスクロールについては、「地図をスクロールする」(43 ページ)を参照してください。
 - 施設や住所などから地図を検索する方法については、「行き先を決める」(61 ページ)を参照してください。

2 **いつもNAVI** にタッチします。



3 **天気情報** にタッチします。



地点周辺の天気情報画面が表示されます。



- ▶ **天気情報** タッチ後、通信が開始され、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

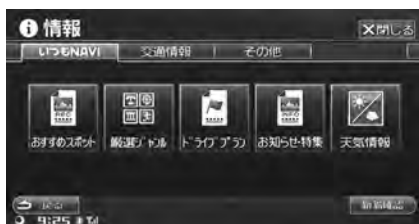
天気情報履歴

以前取得した天気情報（10件まで）をリストから選択することができます。10件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。

1 **メニュー** スイッチを押します。 メニュー画面が表示されます。

2 **情報** にタッチします。

3 **いつもNAVI** タブにタッチして画面を切り替え、**天気情報** にタッチします。



4 **天気情報履歴** にタッチします。



5 希望の履歴にタッチして選び、**完了** にタッチします。



1. **天気情報**を取得した日付
2. **天気情報**を取得した地区名
天気情報が表示されます。



- ▶ 選択した天気情報履歴を消去するには **消去** にタッチします。すべての履歴を消去するには **消去** にタッチし続けます。メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。

ドライブインフォ

❖ ドライブインフォ画面を表示する	124
❖ ドライブインフォ画面の操作	125
交通情報 / いつも NAVI 情報を見る	125
カメラ映像を見る	125
GPS 受信状況の表示	126
燃費情報を見る	126
エコガイドの表示	128
エコ判定・標高のグラフ表示	128
行程ガイド表示	128
標高表示	128
ナビ画面表示	129
車速・横加速度表示	129

ドライブインフォ画面を表示する

ドライブインフォでは、車速や GPS、ジャイロ等の情報を元に、ドライブに役立つ車の様々な情報を表示できます。また、エコガイド機能をご利用頂くことで、より低燃費になる運転の補助も行います。

ドライブインフォ画面は、画面全部で表示する全画面表示の他に、マルチゲート画面でも一部の情報が表示されます。マルチゲート画面については「マルチゲート画面の操作」(31 ページ) を参照してください。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。

- 2 **ドライブインフォ** にタッチします。



ドライブインフォ画面が表示されます。

エコガイド機能に関して

- ▶ 本機能はエコノミー運転を支援する機能です。
- ▶ すでにエコノミー運転をされている場合、著しい燃費変化がない場合がございます。
- ▶ 本機能による効果は実測による参考値で、車や運転方法などの状況で異なる場合があります、燃費向上を保証するものではありません。
- ▶ 運転中、本機能の指示はあくまで参考とし、安全、交通の流れなどを配慮した運転を行ってください。

ドライブインフォに関して

- ▶ 本機の数値表示機能はあくまで目安であり、スピードメーターと異なる場合があります。実際の速度はお車のスピードメーター等で確認の上、制限速度を守り安全運転を心がけてください。
- ▶ 本機の数値表示機能は GPS データを元にした目安です。直前に走行した一定区間の平均表示であり、リアルタイムでの表示ではありません。また、GPS 信号の受信状態等により、実際と異なる数値を示す場合があります。
- ▶ トンネルの中や高層ビル等の間など、GPS の受信状態が悪い場所では数値表示を行うことができない場合があります。

ドライブインフォ画面の操作

ドライブインフォ画面では、ドライブに役立つ様々な情報を表示します。各表示について詳しくは、該当ページを参照してください。

- ▶ 表示される車のイメージは、ドライブインフォの設定、または EASY SETUP で設定した車種と連動しています（「ドライブインフォの設定」316 ページ、「車種専用サウンドセットアップ EASY SETUP の設定」337 ページ参照）。



交通情報 / いつも NAVI 情報を見る

VICS 交通情報（レベル 1・文字表示型）、またはいつも NAVI 情報（お知らせ・特集）が表示されます。アイコンと最大 30 文字の文字情報が表示され、情報が複数存在する場合は 10 秒ごとに切りかわります。

情報を切りかえる

- 1 情報表示部分にタッチします。
タッチすると、VICS 交通情報と
いつも NAVI 情報が切りかわります。

- ▶ VICS 交通情報については「提供される情報」（132 ページ）、いつも NAVI 情報については「お知らせ・特集」（119 ページ）を参照してください。

カメラ映像を見る

カメラが接続されている場合、カメラ映像を表示します。

- ▶ 「フロントカメラを接続する」（316 ページ）、「リアカメラを接続する」（318 ページ）が「あり」に設定されている場合と、「汎用カメラを接続する」（318 ページ）が「なし」以外に設定されている場合に表示されます。

映像を表示するカメラを切りかえる

カメラを 2 台以上接続している場合は、映像を表示するカメラを切りかえることができます。

- 1 カメラ映像部分にタッチします。
カメラ設定画面が表示されます。
- 2 フロント リア ルーム サイド のいずれか、希望のカメラにタッチします。

<表示例>



- ▶ 「汎用カメラを接続する」（318 ページ）の設定によって、**ルーム** または **サイド** と表示されます。

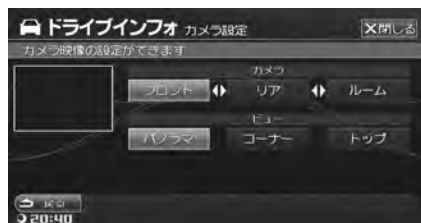
カメラの映像パターンを切りかえる

TOPVIEW マルチカメラ (HCE-C500 シリーズ)/ マルチビューカメラ (HCE-C200FD/HCE-C200R) 接続時は、カメラの映像パターンを本機から切りかえることができます。

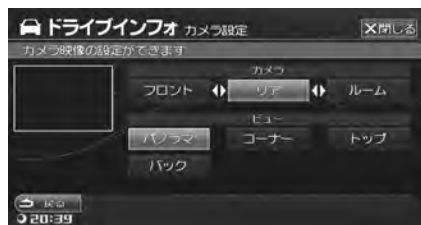
1 カメラ映像部分にタッチします。
カメラ設定画面が表示されます。

2 **パノラマ** **コーナー** **トップ** **バック** のいずれかにタッチします。

- **バック** はリアカメラ接続時のみ表示されます。
< HCE-C200FD 接続時表示例 >



< HCE-C200R 接続時表示例 >



カメラの映像パターンが切りかわります。

- ▶ 映像パターンについて詳しくは、カメラ側の取扱説明書も参照してください。

③ GPS 受信状況の表示

カメラが接続されていない場合は、GPS 受信状況が表示されます。



: GPS 受信中

- サーチ中の場合は、アイコンがトーンダウンします。

【 燃費情報 】 ④

燃費情報を見る

平均燃費のリストを 20 件まで表示することができます。日常の燃費管理に利用でき、エコノミー運転を意識するのに活用できます。

1 **燃費情報** にタッチします。
燃費情報画面が表示され、平均燃費のリストを表示します。



1. 給油した日付
2. 走行距離
3. 平均燃費
4. 平均燃費グラフ表示

燃費がグラフ表示されます。

最高燃費のグラフは青、最低燃費のグラフは赤、それ以外は緑で表示されます。

走行距離と給油量を入力する

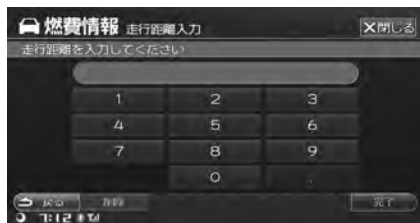
平均燃費を算出するために、走行距離と給油量を入力します。

1 **新規入力** にタッチします。
燃費情報詳細画面が表示されます。



2 「走行距離」の **入力** にタッチします。
走行距離入力画面が表示されます。

- 数字にタッチして走行距離を入力し、**完了** にタッチします。



- ▶ 前回登録時からの走行距離が自動で表示されます。ただし、表示されている距離は目安になります。

- 「給油量」の **入力** にタッチします。給油量入力画面が表示されます。

- 数字にタッチして給油量を入力し、**完了** にタッチします。

- 完了** にタッチします。燃費情報画面に日付と平均燃費が表示されます。

走行距離と給油量を修正する

入力した走行距離と給油量を修正することができます。

- 修正したい燃費情報にタッチして選びます。

- 編集** にタッチします。



燃費情報詳細画面が表示されます。

- 「走行距離」または「給油量」の **入力** にタッチします。

入力画面が表示されます。

- 削除** にタッチして入力済みの数字を削除します。

- 数字にタッチして走行距離または給油量を入力し、**完了** にタッチします。

- 完了** にタッチします。

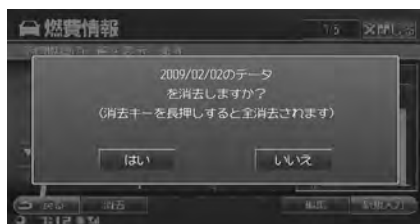
リスト画面に新たな平均燃費が表示されます。

燃費情報を消去する

燃費情報は 20 件まで保存されます。20 件を超える場合は古いデータから削除されますが、不要なデータを選んで削除することもできます。

- 消去したい燃費情報にタッチして選びます。

- 消去** にタッチします。消去を確認するメッセージが表示されます。



- はい** にタッチします。

燃費情報を全消去する

全ての燃費情報を消去します。

- 消去** にタッチし続けます。消去を確認するメッセージが表示されます。

- はい** にタッチします。

⑤

エコガイドの表示



1. エコ判定・点数表示

走行中の加速度から、走行状態を採点します。横加速度が大きいと低く採点されます。

車速が 30km/h を超えると 1 つの区間として採点し、車速が 28km/h を下回ると区間終了になります。また、2km 走行した時点でも区間終了になります。

- 停車中：「区間」と表示され、区間毎の採点結果を表示します。
- 走行中：「平均」と表示され、平均採点結果を表示します。

0 ~ 20 Point : 悪い (赤色)

21 ~ 80 Point : 普通 (黄緑色)

81 ~ 100 Point : 良好 (青色)

⑥

エコ判定・標高のグラフ表示



1. 標高折れ線グラフ

1km 毎に計測した標高値を、50km 分折れ線グラフで表示します。

2. エコ判定棒グラフ

1km 毎の区間得点を、50km 分棒グラフで表示します。棒グラフの色は、エコ判定と同じ基準で決定されます。

- ▶ 行程ガイドの自転車位置と、グラフの位置は連動していません。

履歴を見る

本機は 300km 分のグラフデータを記憶していて、履歴を見ることができます。

1 ◀ または ▶ にタッチします。



タッチすると過去のデータを表示

タッチすると新しいデータを表示

タッチすることにより、1 データずつ表示されます。タッチし続けると、連続してデータが表示されます。

- ▶ ◀ または ▶ は、前後のデータがある時のみ表示されます。

⑦

行程ガイド表示

<ルート設定時>



1. 走行路線

色で道路種類を区別します。

青色：一般道

緑色：高速道路、有料道路

2. 自転車位置アイコン

3. 到着予想時間、目的地までの残距離

4. 地点アイコン

目的地、経由地、フェリー乗り降り地点をアイコンで表示します。

<ルート未設定時>

路線名、または現在地名を表示します。

▲ 現在地 東京都中央区京橋

⑧

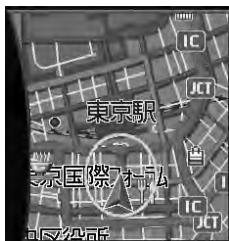
標高表示

現在地の標高が表示されます。

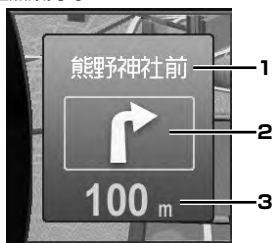
⑨

ナビ画面表示

自車位置が地図上に表示されます。



＜交差点案内時＞



1. 交差点名称
2. 進行方向
3. 交差点までの距離

⑩

車速・横加速度表示



1. 加速度状態アイコン
2. 瞬間横加速度表示
横方向の加速度を表示します (0.1G ~ 1.0G)。
3. 瞬間車速表示
4. 自車方位表示
5. VICS 情報表示 (ルート走行時)

- ▶ 急加速 / 急減速を行うと警告音が鳴ります。
- 警告音を OFF にするには「エコガイドトーン出力設定」(316 ページ) を「しない」に設定してください。
 - 警告音の音量は調整できません。
 - 時速 10km/h 以下では警告音は鳴りません。

VICS 情報を見る（交通情報）

❖ VICS ってこんなこと	132
利用できる情報.....	134
❖ 受信局を検索する	137
自動的に受信局を検索する	137
地域で放送局を選ぶ	137
❖ FM 多重情報を見る	138
❖ VICS 情報を見る	139
❖ VICS 割り込み情報を見る	140
割り込み情報を呼び出す	140
❖ 駐車場情報を見る	142
駐車場リスト画面を表示する.....	142
一般駐車場 /SA・PA 情報を切りかえる.....	143
駐車場の詳しい情報を見る	143
駐車場の地図を見る	143
❖ VICS に関する補足事項	144
VICS 道路交通情報マーク一覧.....	145

VICS ってこんなこと

■「VICS（ビークル インフォメーション アン ド コミュニケーションシステム）」とは

「楽しいドライブなのに突然渋滞。なんでこんなに混んでいるの？ 空から見下ろしてみたい！」

この要求に答えたのが「VICS」です。「VICS」は、渋滞情報や駐車場の空き情報などのさまざまな交通情報をリアルタイムに提供します。

この情報を利用すれば渋滞を減らすことができ、交通の流れが分散されます。

さらにイライラによる精神的なストレス / 経済的なロス / 排気ガスの削減なども期待できるのです。

▶ VICS に関する最新情報はインターネット (<http://www.vics.or.jp>) でも確認できます。

提供される情報

レベル 1 ～レベル 3 の 3 段階が用意されています。

■ レベル 1（文字表示型）

文字情報を表示します。

走行中は 1 ページ（2 行 30 文字程度）、停車中は最大 3 ページの文字情報を表示します。



■ レベル 2（簡易図形表示型）

簡単な道路図形を表示します。

●一般道路

< FM 多重情報表示例 >

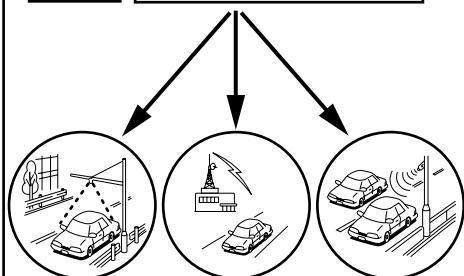


< ビークン情報表示例 >



●VICS 交通情報システム●

渋滞・事故情報・高速道路情報



光ビーコン
(狭域情報)

電波ビーコン
(高速道路情報)

FM 多重放送
(広域情報)

「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

▶ VICS による渋滞・混雑などの情報を地図上に表示するためあらかじめ「地図」に情報提供用の道路単位（VICS リンク）を設定しています。道路形状や交通情報収集施設の変化にともない、より正確な情報提供表示を行うために毎年情報提供単位が追加・変更されます。このために VICS による地図情報表示は「本製品」発売後概ね 3 年程度で一部のエリアで VICS の地図情報が表示されなくなる場合があります。より正確な情報を表示するためには最新の「地図」をご使用ください。（本製品の道路単位は 2008 年 11 月版です）

●都市高速

< FM 多重情報表示例 >



< ビーコン情報表示例 >



●都市間高速

< FM 多重情報表示例 >



■ レベル 3 (地図表示型)

地図画面に交通情報を重ね書き表示します。

レベル 3 (地図表示型) は、常に最新の情報を地図上に表示します。最新の情報を受信すると、渋滞情報などの表示が更新されます。



情報を提供する媒体

次の 3 種類があります。

■ FM 多重放送 (広域ゾーン型)

見えるラジオのように FM 波のすき間に VICS 情報を盛り込みます。FM 局を受信していれば利用できるので広い範囲の情報をリアルタイムに提供します。

■ ビーコン (間欠極小ゾーン型)

ビーコンには、主に次の 2 種類があります。ともにビーコンが設置された周辺の情報を提供します。

- 電波ビーコン
高速道路に設置されています。
- 光ビーコン
一般道路に設置されています。

- ▶ 本機には、レベル 1 ～レベル 3 の VICS 情報が利用できるプログラムが入っています。
- ▶ ビーコン情報を見るには、別売のビーコンユニットが必要です。
- ▶ VICS リンクデータの著作権は (財) デジタル道路地図協会、(財) 日本交通管理技術協会にあります。

 VICS マークは VICS の登録商標です。

利用できる情報

VICS 地図画面表示



1. VICS タイムスタンプ

VICS レベル 3 情報提供時刻を表示します。

- ▶ タイムスタンプは、VICS 情報が提供された時刻であり、現在時刻や VICS が受信された時刻ではありません。
- ▶ タイムスタンプの時刻は、VICS 情報が継続して受信されない、約 30 分または約 60 分後に自動的に消去されます（「情報保持時間を設定する」311 ページ参照）。

FM 多重 / ビーコン情報について

- 交通 FM 情報を見るには、交通情報を放送している FM 多重放送局を選局してください。放送局の選局については、137 ページを参照してください。
- 番組のメニュー数や内容は放送局により異なります。
- データを受信していない場合、または必要なユニットを接続していない場合は、タッチスイッチにタッチすることができません。
- データのダウンロード中は、情報を表示することができません。また、正確に情報を表示しない場合があります。
- データ更新の書きかえのとき、画面が白くなる場合がありますが故障ではありません。
- VICS 対象道路は将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。
- 行程ガイドを表示しているときは、行程ガイドにも VICS 情報が表示されます。行程ガイドについては、「行程ガイド画面について」(52 ページ) を参照してください。
- VICS 情報マークについては、「VICS 道路交通情報マーク一覧」(145 ページ) を参照してください。

注意

● VICS、FM 多重放送の受信について

FM 多重放送で提供される一般文字情報および VICS 情報の受信はラジオアンテナを利用しております。したがって受信するときは、ポール式のラジオアンテナの場合、必ずアンテナを伸ばした状態にしてください。

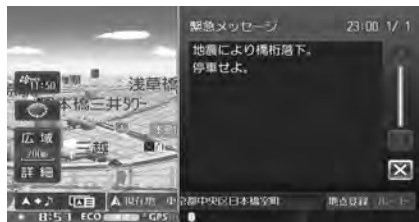
■ 規制情報受信時の案内

推奨ルート上に何らかの規制や渋滞が発生すると、画面上の表示でこれを知らせます。運転に集中しながら、新しい情報をより確実にキャッチできます。

■ 緊急・注意警戒表示

FM 多重放送 / ビーコンに関わらず地震や災害時の停車、避難の場所など、行動指示の情報を強制的に表示します。

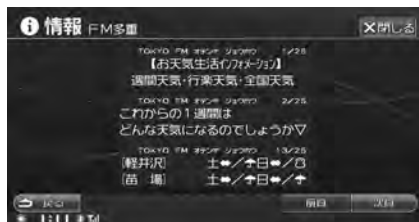
(レベル 1)



■ FM 多重放送 (138 ページ参照)

FM 多重放送の番組を選んで、交通情報や気象情報などを見ることができます。

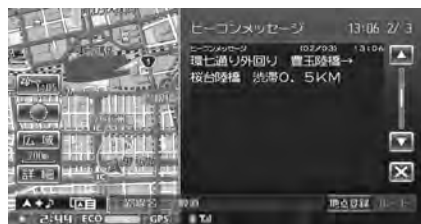
(レベル 1)



■ ビーコン図形 / 文字情報（139 ページ参照）

ビーコン情報は、割り込み表示が「する」に設定されている場合は、ビーコン受信時に自動的に表示されます。

（レベル 1、2）



- ビーコン情報を割り込み表示するかどうかを設定できます（「割り込み情報表示を設定する」311 ページ参照）。

BEACON | ビーコンユニットが必要です。

■ 渋滞・混雑 / 空き道表示

渋滞地点や渋滞区間などを地図上に表示します。混雑具合や混雑方向は以下のように表示されます。

渋滞情報 渋滞度	表示	内容
渋滞	赤色	交通の流れが非常に悪い状態
混雑	橙色	交通の流れがやや悪い状態
空き道	緑色	交通の流れが良い状態

（レベル 3）



- 渋滞・混雑 / 空き道表示は、地図スケールが 1km 以下の詳細な地図で表示されます。
- 渋滞・混雑 / 空き道表示をするかどうかを設定できます（「渋滞・混雑表示を設定する」55 ページ、302 ページ、「空き道表示を設定する」55 ページ、302 ページ参照）。

■ 駐車場情報の表示

VICS に提供された駐車場等のマークを地図上に表示します。さらにマークにタッチすると詳しい情報が表示されます。また、見たいときに周辺の VICS 提携駐車場を探すこともできます（「駐車場情報を見る」142 ページ参照）。

駐車場情報例

状況	表示 (マーク)	内容
空車	(青) P	利用が可能な状態
満車	(赤) P	ほぼ満車の状態
混雑	(橙) P	利用率が高い状態
不明	(黒) P	駐車場情報がない状態

（レベル 3）



- 駐車場マークは、地図スケールが 1km 以下の詳細な地図で表示されます。
- 駐車場マークを表示するかどうかを設定できます（「駐車場マークを表示する」56 ページ、303 ページ参照）。

■ 規制マーク表示

速度、車線、チェーンなど、さまざまな規制情報を規制マークとして進行方向の左側に表示します。

対象区間は黄色線で地図上（道路上）に表示します。さらにマークにタッチすると詳しい情報が表示されます。

マーク	表示（マーク）
	進入禁止
	入口閉鎖
	事故
	工事

（レベル3）

規制マーク



- 規制マークを表示するかどうかを設定できます（「規制マークを表示する」56 ページ、303 ページ参照）。

- ▶ 規制マークにタッチすると、詳しい情報が表示されます。

情報 にタッチすると、規制の詳細情報が表示され **次へ** にタッチすると、近くの規制マークを選択します。



受信局を検索する

FM 多重放送局は地域によって異なります。ラジオの放送局同様に周波数を合わせなければ、VICS などの情報を得ることはできません。ここでは放送局の選局を行います。

自動的に受信局を検索する

「オート」に設定すると、受信可能な放送局を自動的に選局します。移動して受信中の電波が弱くなると、自動的に電波の強い周波数に切りかわるので、引き続き情報を受信することができます。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **交通情報** タブにタッチし、**VICS 地域選択** にタッチします。



- 4 **オート** にタッチします。



現在地付近の受信可能なエリアを自動的に選択します。

地域で放送局を選ぶ

選んだ都道府県の放送局を受信します。受信状態が変わると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切りかわります。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **交通情報** タブにタッチし、**VICS 地域選択** にタッチします。
- 4 タブにタッチして地域を切りかえ、都道府県名にタッチします。



現在地付近の受信可能なエリアを自動的に選択します。

- 5 **完了** にタッチします。
選んだ都道府県に受信エリアを固定します。

▶ 本操作で選択した地域は、イグニッションキーを OFF にするとクリアされます。

FM 多重情報を見る

FM 多重放送を見ることができます。選択できる番組は受信する放送局によって異なります。現在地で受信可能な放送局を自動で検索したり、周波数を指定して選択することができます。また、ラジオのFM放送に周波数を合わせたり、放送局の地域を指定して受信することもできます。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **交通情報** タブにタッチし、**FM 多重** にタッチします。



- 4 受信したい放送局名にタッチします。



受信が開始され、情報画面が表示されます。

- ▶ 情報画面については、「情報画面の操作」(139 ページ)を参照してください。

自動で再選局する場合

現在地の都道府県にある放送局が受信されます。

- 4 左記手順 3 の後、**再サーチ** にタッチして放送局をサーチします。



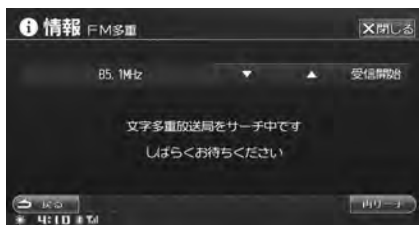
受信可能な放送局が表示されます。

- 5 受信したい放送局にタッチします。
受信が開始され、情報画面が表示されます。

手動で再選局する場合

選んだ周波数の放送局が受信されます。

- 4 左記手順 3 の後、**▼** **▲** にタッチして周波数を選びます。



▼ **▲** にタッチするたびに、周波数が 0.1MHz ずつ増減します。タッチし続けると、連続して変化します。

- 5 受信したい周波数が表示されたら、**受信開始** にタッチします。
受信が開始され、情報画面が表示されます。

VICS 情報を見る

VICS 情報は、地域の道路状況などが文字または簡易図形として表示されるので、地域道路の混雑状況を一目で確認できます。

1 **メニュー** スイッチを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 **情報** にタッチします。

3 **交通情報** タブにタッチし、**VICS 情報** にタッチします。



受信が開始され、受信中の情報画面が表示されます。

- ▶ VICS 情報を受信していないときは、VICS 情報にタッチすることはできません。

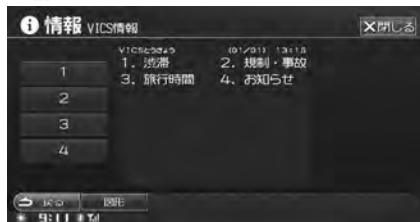
情報画面の操作

FM 多重放送や VICS 情報を受信すると、情報番組の目次が表示され、番組を選ぶと情報画面が表示されます。FM 多重放送や VICS 情報には文字情報と図形情報があり、停車中と走行中では表示される情報番組が以下のように異なります。

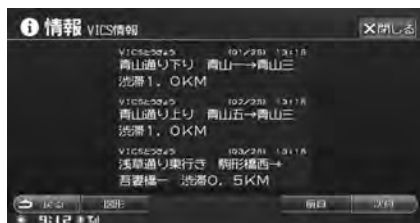
- ▶ 文字情報と図形情報のうち先に受信した方が表示されます。
- ▶ 走行中は表示できない番組があります。

1 見たい番組の番号にタッチします。

■ 文字情報

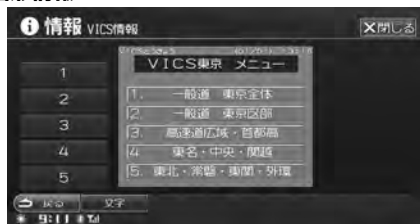


↓ **1** にタッチ



- 複数ページある場合は **前頁** **次頁** にタッチすると前後のページが表示されます。
- **図形** にタッチすると、図形情報に切りかわります。

■ 図形情報



↓ **1** にタッチ



- 複数ページある場合は **前頁** **次頁** にタッチすると前後のページが表示されます。
- **文字** にタッチすると、文字情報に切りかわります。

VICS 割り込み情報を見る

割り込み情報とは、ビーコンユニット（別売）によって受信した直後に他の画面に割り込んで提供される情報のことです。

ビーコンから受信できる情報には、以下のような種類があります。

● 緊急情報

地震や災害時の停車、避難の場所など、行動指示の情報を表示します。

● 注意警戒情報

通行止めや規制などの注意情報を表示します。

● ビーコン図形情報

走行予定交差点の道路状況などを簡易図形として表示するので、次の交差点の混雑状況が一目で確認できます。

● ビーコン文字情報

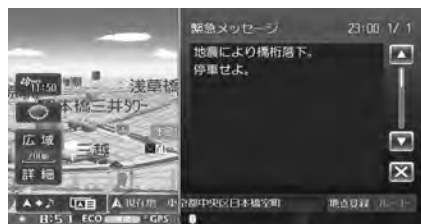
ビーコン通過時に受信したさまざまな文字情報を画面に表示します。

● ことわり情報

VICS 情報センターからのメッセージなどを表示します。

- ▶ 割り込み情報を自動で表示するかどうかを設定できます（「割り込み情報表示を設定する」311 ページ参照）。
- ▶ 緊急情報および注意警戒情報は、「割り込み情報表示を設定する」（311 ページ）の設定に関係なく割り込み表示されます。
- ▶ ビーコン図形 / 文字情報、ことわり情報は、「割り込み情報の表示時間を設定する」（311 ページ）で設定した時間を経過するか **[X]** にタッチすると表示を終了します。緊急情報、注意警戒情報は **[X]** にタッチするまで終了しません。
- ▶ 割り込み情報は、「情報保持時間を設定する」（311 ページ）で設定した時間を経過すると自動的に消去されます。

■ 緊急情報 / 注意警戒情報表示画面の操作



- **[X]** にタッチすると、表示が消えます。
- **[▲]** **[▼]** にタッチすると、前後のページに切りかわります。

割り込み情報を呼び出す

受信された割り込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割り込み情報を再度表示させることができます。

メニューから呼び出す

1

メニュー スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。

2

情報 にタッチします。

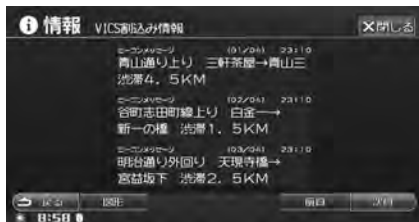
3

交通情報 タブにタッチし、
VICS 割り込み情報 にタッチします。



- 割り込み情報を受信していないときは、**VICS 割り込み情報** スイッチにタッチすることはできません。

ビーコンから受信した図形 / 文字情報が表示されます。



- 複数ページある場合は **前頁** **次頁** にタッチすると前後のページが表示されます。**図形 / 文字** にタッチすると、図形情報 / 文字情報が切りかわります。

地図画面から呼び出す

- 1 現在地画面上の VICS タイムスタンプにタッチします。



VICS タイムスタンプ

割込み情報が表示されます。

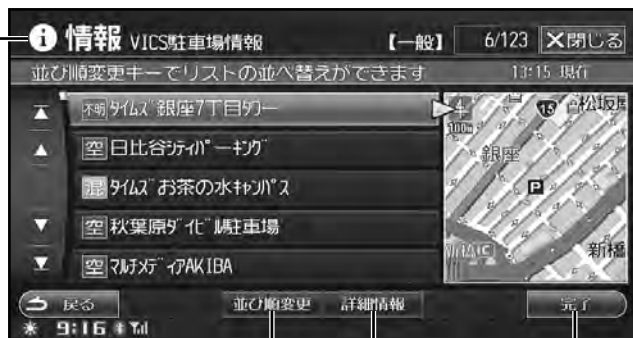


- 複数ページある場合は **前頁** **次頁** にタッチすると前後のページが表示されます。 **図形** / **文字** にタッチすると、図形情報 / 文字情報が切りかわります。

駐車場情報を見る

VICS と提携している駐車場をリスト表示し、現在の混み具合のほか、地図や詳細情報を確認することができます。

VICS 駐車場
情報画面の表示
(142 ページ)



① (143 ページ) ② (143 ページ) ③ (143 ページ)

▶ 走行中は安全のため、表示が制限されます。

駐車場リスト画面を表示する

付近の駐車場の情報を確認することができます。

▶ 走行中は安全のため、駐車場リスト画面は2行のみ表示されます。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **交通情報** タブにタッチし、
VICS 駐車場情報 にタッチします。



駐車場リスト画面が表示されます。

■ 駐車場アイコン表示

状況	マーク	内容
空車	空 (青)	利用が可能な状態
満車	満 (赤)	ほぼ満車の状態
混雑	混 (橙)	利用率が高い状態
不明	不明 (黒)	駐車場情報がない状態

▶ 地図上に表示される駐車場アイコンについての説明は、135 ページを参照してください。

【並び順変更】 ①

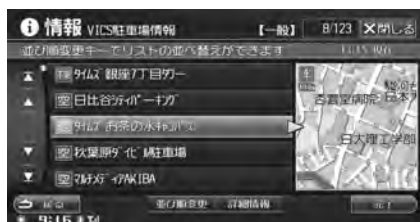
一般駐車場 / SA・PA 情報を切りかえる

一般駐車場のリストを表示させるか、サービスエリア (SA) / パーキングエリア (PA) のリストを表示させるかを選ぶことができます。

1 **並び順変更** にタッチします。

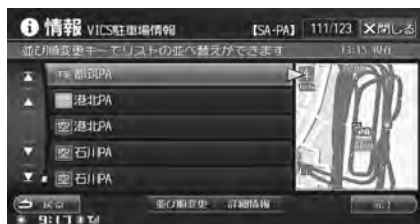
リストの種類が切りかわります。

<一般駐車場リスト表示例>



並び順変更 にタッチ

< SA/PA リスト表示例>

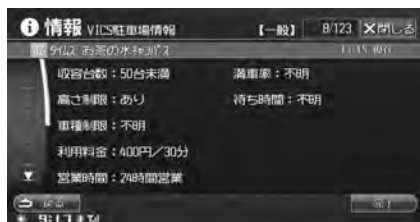


【詳細情報】 ②

駐車場の詳しい情報を見る

1 **詳細情報** にタッチします。

駐車場の詳細情報が表示されます。



- **完了** にタッチすると、駐車場周辺の地図が表示されます。

- ▶ 地図上の駐車場マークにタッチして情報を表示させることもできます。



- **情報** にタッチすると、駐車場の詳細情報が表示されます。
- **次へ** にタッチすると、近くの駐車場を選択します。



【完了】 ③

駐車場の地図を見る

1 **完了** にタッチします。

駐車場の地図が表示されます。

- リスト上の駐車場名称に再度タッチする、または地図表示にタッチしても検索を開始します。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください (「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照)。

VICS に関する補足事項

■ VICS 情報が受信できる代表的な周波数

VICS 代表局一覧			
	サービスエリア	局名	周波数
N H K ・ F M	北海道(旭川地区)	VICS 旭川	85.8MHz
	北海道(札幌地区)	VICS 札幌	85.2MHz
	北海道(函館地区)	VICS 函館	87.0MHz
	北海道(釧路地区)	VICS 釧路	88.5MHz
	北海道(北見地区)	VICS 北見	86.0MHz
	青森県	VICS 青森	86.0MHz
	宮城県	VICS 宮城	82.5MHz
	岩手県	VICS 岩手	83.1MHz
	秋田県	VICS 秋田	86.7MHz
	山形県	VICS 山形	82.1MHz
	福島県	VICS 福島	85.3MHz
	茨城県	VICS 茨城	83.2MHz
	栃木県	VICS 栃木	80.3MHz
	群馬県	VICS 群馬	81.6MHz
	埼玉県	VICS 埼玉	85.1MHz
	千葉県	VICS 千葉	80.7MHz
	東京都	VICS 東京	82.5MHz
	神奈川県	VICS 神奈川	81.9MHz
	新潟県	VICS 新潟	82.3MHz
	富山県	VICS 富山	81.5MHz
N H K ・ F M	石川県	VICS 石川	82.2MHz
	福井県	VICS 福井	83.4MHz
	山梨県	VICS 山梨	85.6MHz
	長野県	VICS 長野	84.0MHz
	岐阜県	VICS 岐阜	83.6MHz
	静岡県	VICS 静岡	88.8MHz
	愛知県	VICS 愛知	82.5MHz
	三重県	VICS 三重	81.8MHz
	滋賀県	VICS 滋賀	84.0MHz
	京都府	VICS 京都	82.8MHz
	大阪府	VICS 大阪	88.1MHz
	兵庫県	VICS 兵庫	86.5MHz
	奈良県	VICS 奈良	87.4MHz
	和歌山県	VICS 和歌山	84.7MHz
	鳥取県	VICS 鳥取	85.8MHz
	島根県	VICS 島根	84.5MHz
	岡山県	VICS 岡山	88.7MHz
	広島県	VICS 広島	88.3MHz
	山口県	VICS 山口	85.3MHz
	徳島県	VICS 徳島	83.4MHz
	香川県	VICS 香川	86.0MHz
	愛媛県	VICS 愛媛	87.7MHz
	高知県	VICS 高知	87.5MHz
	福岡県	VICS 福岡	84.8MHz
	佐賀県	VICS 佐賀	81.6MHz
	長崎県	VICS 長崎	84.5MHz
	熊本県	VICS 熊本	85.4MHz

VICS 代表局一覧

N H K ・ F M	大分県	VICS 大分	88.9MHz
	宮崎県	VICS 宮崎	86.2MHz
	鹿児島県	VICS 鹿児島	85.6MHz
	沖縄県	VICS 沖縄	88.1MHz

▶ 情報提供地域の違いによって情報内容が異なります。
VICS のホームページをご覧ください。

■ ビーコン送受信機をご利用のお客様へ

ビーコンからの情報は FM 多重情報と違い、ビーコン近傍の限られた場所ですしか受信できません。そのため次のような動作をする場合がありますので、ご注意ください。

1) 他の VICS 情報を受信してしまう

- 近くにビーコンのある道路を走行していませんか。
- 対向車線にビーコンはありませんか。

2) 受信しないときがある

- ビーコンが大型車両の陰になっていませんか。
- VICS 運用が休止していませんか。
- 道幅の広い道路ではありませんか。
- ビーコンアンテナの前に電波や光をさえぎるものがありますか。
- トンネルの中ではありませんか。(ビーコンが設置されていても受信できない場合があります)
- ビーコンアンテナの前面が汚れていませんか。(前面のフィルタを傷つけないよう、柔らかい布で拭き取ってください)
- フロントガラスがひどく汚れていませんか。

■ VICS の運用時間

- FM 多重
24 時間(月曜と、年 2 回程度のメンテナンスウィークの AM1:00 ~ AM5:00 は休止する場合があります)
- ビーコン
24 時間

■ VICS に関するお問い合わせ

- VICS の概念・計画、表示された情報内容
表示内容(レベル 1) 表示内容(レベル 2)
(財) VICS センター(東京センター)
TEL (0570) 00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS からはご利用できません。

PHS 専用 (03) 3592-2033 (東京)
PHS 専用 (06) 6209-2033 (大阪)
電話受付時間 9:30 ~ 17:45
(土日、祝祭日は除く)
FAX (03) 3592-5494 (24 時間受付)

● 地図表示型（レベル3）

サービスエリア 受信可否 車載機の調子、機能、
使い方

アルパイン インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL：0570-006636

※ 全国どこからでも市内通話料金で
ご利用頂けます。



<携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用>

TEL：048-662-6636

電話受付時間 9:30～12:00 13:00～17:30

（土日、祝日、弊社休業日を除く）

FAX：048-662-6676（24 時間受付）

FAX は 24 時間受け付けています。

● アルパイン ホームページ

<http://www.alpine.co.jp>

VICS 道路交通情報マーク一覧

- 地図画面に表示される VICS 交通情報マークの意味を以下に示します。
- 実際の交通規制表示とは異なります。
- 複数の情報を代表して 1 つのマークのみ表示することがあります。

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	事故		入り口閉鎖		駐車場 不明（黒）
	故障車		大型通行止め		駐車場 閉
	路上障害		入口制限		速度規制 10km/h
	工事		オフランプ 規制		速度規制 20km/h
	凍結		片側交互通行		速度規制 30km/h
	作業		チェーン規制		速度規制 40km/h
	通行止め 閉鎖		進入禁止		速度規制 50km/h
	対面通行		駐車場 空（青）		速度規制 60km/h
	車線規制		駐車場 満（赤）		速度規制 70km/h
	徐行		駐車場 混雑（橙）		速度規制 80km/h

ハンズフリー電話を使う

❖ ハンズフリー電話について	148
❖ 携帯電話を接続する	149
通信ケーブルで携帯電話を接続する	149
BLUETOOTH で携帯電話を接続する	150
❖ 電話を受ける	151
❖ 電話を切る	153
❖ 電話をかける	154
電話画面の表示	154
着信履歴から電話をかける	154
発信履歴から電話をかける	155
番号を入力して電話をかける	155
電話帳から電話をかける	155
短縮ダイヤルから電話をかける	157
直前にかけた電話番号に電話をかける	158
他モード画面から電話をかける	158
❖ 通話中の操作	159
通話全画面を表示する	159
通話音量を調整する	159
音声を切りかえる	160
トーン発信機能	160
❖ 着信履歴機能	161
着信履歴を消去する	161
❖ 発信履歴機能	162
発信履歴を消去する	162
❖ 電話帳機能	163
電話帳画面を表示する	163
電話帳を消去する	163
電話帳の並び順を変更する	163
短縮ダイヤルに登録する	164
画像に登録する	164
電話帳の画像を本機 HDD にコピーする	165

ハンズフリー電話について

本機に携帯電話を別売の通信ケーブルで接続すると、ハンズフリー電話として利用することができ、本機の画面から操作することができます。

また、本機は、世界標準規格のワイヤレス通信テクノロジーである「BLUETOOTH®」に対応しています。BLUETOOTH 対応の携帯電話でハンズフリー通話ができます。

注 意

- 交通量の多い市街地や狭い道でのご利用は避けてください。
- 携帯電話を直接操作しないでください。事故の原因となります。
- ▶ 本機は下記の方式の携帯電話に対応しています。
 - PDC (NTT ドコモ)
 - PDC (ソフトバンク)
 - cdmaOne (au)
 - IMT-2000 (NTT ドコモ : FOMA)
 - CDMA 1x
 - CDMA 1x WIN
- ▶ 動作確認済みの携帯電話の機種は、アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp/> で案内しています。
- ▶ 本機は BLUETOOTH による音楽再生には対応していません。
- ▶ BLUETOOTH 対応以外の携帯電話と接続するには、別売の通信ケーブルが必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ▶ 本機に接続した状態で、携帯電話の電源を ON/OFF をしないでください。
- ▶ 本機に接続して携帯電話を充電することはできません。電池が切れそうな携帯電話は接続しないでください。
- ▶ 携帯電話は操作制限（キーロック等）を解除してから接続してください。
- ▶ 携帯電話側の自動応答設定が ON となっている場合、本機で「自動着信」を「しない」に設定しても、自動的に電話を受ける場合があります。
- ▶ 通話中は、大きめの声ではっきりとお話ください。
- ▶ 通話中は、窓を閉めてお話ください。
- ▶ 話し方によっては相手に声が伝わりにくい場合や、相手の声が聞こえにくい場合があります。
- ▶ ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きい場所での通話など、使用状況によっては話しにくい場合があります。
- ▶ 相手の電話の種類や電話回線の組み合わせにより、不自然な音声になる場合があります。
- ▶ 携帯電話の種類によっては、ご利用にならない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。また、サービス契約が必要な場合もあります。
- ▶ 携帯電話を USB モードに設定している場合は、使用できない場合があります。設定を通信モードに変更してください。

携帯電話を接続する

本機をハンズフリー電話として利用するには、まず携帯電話を接続する必要があります。

通信ケーブルで接続するか、BLUETOOTH 接続設定を行ってください。

■ ケーブル接続の場合

＜本機に初めて接続する場合＞

1 通信ケーブルを用いて本機と携帯電話を接続します。

「通信ケーブルで携帯電話を接続する」(149 ページ)

2 接続方法を「ケーブル接続」に設定します。

「電話接続方法を設定する」(358 ページ)

＜2回目以降の接続＞

1 通信ケーブルを用いて本機と携帯電話を接続します。

■ BLUETOOTH 接続の場合

＜本機に初めて接続する場合＞

1 接続方法を「Bluetooth 接続」に設定します。

「電話接続方法を設定する」(358 ページ)

2 携帯電話を本機に登録します。 「BLUETOOTH 携帯電話を本機に登録する」 (358 ページ)

＜2回目以降の接続＞

1 自動的に接続されます。または、再接続操作を行います。

イグニッションキーや本機の電源が OFF になる、携帯電話が遠くに置かれるなどして本機との接続が解除されても、自動的に再接続されます。30 分経過しても自動で接続されない場合は、再接続操作を行います（「BLUETOOTH で携帯電話を接続する」150 ページ）。

- ▶ BLUETOOTH 対応携帯電話が他の機器と接続されている場合や接続待機状態に設定されていない場合、本機との BLUETOOTH 接続を行うことはできません。その場合は再接続操作を行ってください。

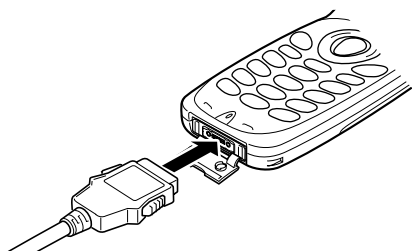
通信ケーブルで携帯電話を接続する

- ▶ 携帯電話の種類によって、外部端子の向きや端子キャップの形状などが異なります。
- ▶ 通信ケーブルから携帯電話に電源を供給することはできません。

注意

- 通信ケーブルを頻繁に抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 電話を使用しているときは、通信ケーブルを抜き差ししないでください。
- イグニッションキーが ACC または ON のとき、通信ケーブルの抜き差しはしないでください。

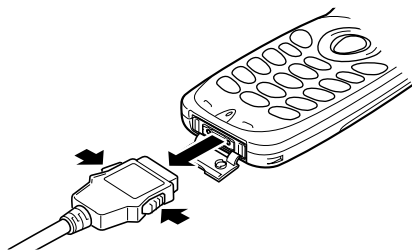
1 携帯電話の外部接続端子の端子キャップを開けて、通信ケーブルを差し込みます。



- “カチッ”と音がするまで差し込んでください。

携帯電話を外す

1 通信ケーブルの左右のロックボタンを押しながら、携帯電話から外します。



BLUETOOTH で携帯電話を 接続する

ここでは手動で再接続を行う操作を説明します。最初に BLUETOOTH 対応携帯電話を接続するときは、「電話接続方法を設定する」(358 ページ)を「Bluetooth 接続」に設定した後、「BLUETOOTH 携帯電話を本機に登録する」(358 ページ)でご使用になる携帯電話を本機に登録してください。

1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 **電話** にタッチします。



3 **再接続** にタッチします。



BLUETOOTH 接続が開始されます。

- ▶ 携帯電話を置く場所によっては、障害物や電波の状態により音声にノイズがのったり、通信が中断される場合があります。このような場合は、携帯電話を本機の近くや障害物のない場所に置くようにしてください。
- ▶ 本機は携帯電話を 4 台まで登録しておくことができます。実際に接続できるのはその中の 1 台になります。

BLUETOOTH 接続を解除する

1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 **電話** にタッチします。

3 **接続解除** にタッチします。



BLUETOOTH 接続が解除されます。

- ▶ 接続を解除しても、下記操作を行うと自動的に BLUETOOTH 接続を再開して通信を行います。
 - いつも NAVI 操作
 - Gracenote データベースへのアクセス
 - 地図データのダウンロードまたいつも NAVI において、自動取得や起動時新着確認を行うように設定されている場合も、自動的に BLUETOOTH 接続を再開して通信を行います (「いつも NAVI 設定」370 ページ)。

電話を受ける

本機をハンズフリー電話として利用することができます。

- ▶ 本機をハンズフリー電話として利用する場合は、必ず携帯電話を接続し、携帯電話設定を行ってください（「携帯電話を接続する」149 ページ参照）。
- ▶ 携帯電話によっては、条件や設定により電話を受けられない場合があります。携帯電話に付属の説明書も必ずご覧ください。

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信メッセージが表示されます。



- 相手の電話番号が通知されてきたときに、相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、相手の名前と電話番号が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、相手の電話番号が表示されます。
- 電話帳に画像を登録していると、着信画面に画像が表示されます。

2 開始 にタッチします。

通話が開始されます。

- 「自動着信」設定を「する」に設定していると、開始 にタッチしなくても着信後自動的に通話状態になります（「自動着信を設定する」367 ページ参照）。

- ▶ 通話中は、オーディオ・テレビの音が一時的に消えます。
- ▶ 通話音量の調整については、「通話音量を設定する」（333 ページ）を参照してください。
- ▶ 自動着信するかどうかを設定できます。（「自動着信を設定する」367 ページ参照）。
- ▶ 本機起動直後は、相手の名前と電話番号を表示出来ない場合があります。
- ▶ 画像を表示する際にちらつく場合があります。
- ▶ 携帯電話の応答時間を設定している場合は、「自動着信時間を設定する」（368 ページ）を設定していても、設定時間経過前に通話状態になる場合があります。

すぐに電話に出られないとき

かかってきた電話にすぐに出られないときは、一時的に保留することができます。

1 電話の着信中に **応答保留** にタッチします。



かかってきた電話を保留にします。

2 電話に出られる状態になったら **開路** にタッチします。



保留が解除され、通話が開始されます。

- ▶ 応答保留中に **終了** にタッチすると、電話が切れます。
- ▶ 応答保留中に相手が電話を切ると、電話が切れます。
- ▶ 応答保留中でも、電話をかけてきた相手には通話料金がかかります。

電話を切る

通話中の電話を終了します。

- 1 通話が終わったら、**終了** にタッチします。



- ナビ画面、オーディオ画面などを表示している場合は、**電話** にタッチして電話画面に切りかえてから **終了** にタッチします。



メッセージが表示され通話が終了します。

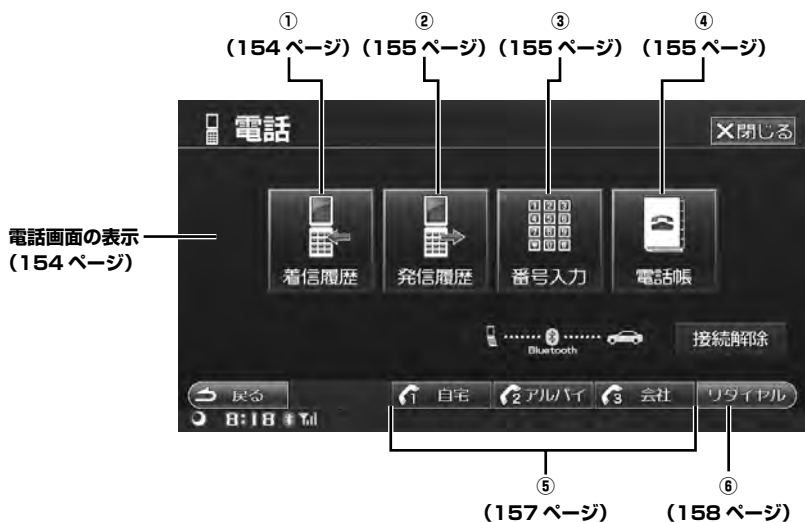
- ▶ **電話** スイッチは、ほかの画面に重ねて表示されるため、画面の情報やタッチスイッチを隠してしまう場合があります。

電話をかける

電話をかける操作は電話画面から行います。それぞれのタッチスイッチについて詳しくは、該当ページを参照してください。

また、電話画面以外の画面からも電話をかけることができます。他のモードから電話をかける操作については「他モード画面から電話をかける」(158 ページ) を参照してください。

- ▶ 携帯電話によっては、条件や設定により電話がかけられない場合があります。携帯電話に付属の説明書も必ずご覧ください。
- ▶ 走行中は安全のため、短縮ダイヤル、リダイヤルからのみ電話をかけることができます。



電話画面の表示

1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 **電話** にタッチします。
電話画面が表示されます。

【**着信履歴**】…………… ①

着信履歴から電話をかける

以前かかってきた電話は、着信履歴として記憶されます。これらの履歴の一覧から相手を選択して電話をかけます。

1 **着信履歴** にタッチします。

着信履歴画面が表示されます。

履歴に記憶されている電話番号が、新しいものから順に一覧で表示されます。

- かかってきた電話が 1 件もない場合は、**着信履歴** にタッチすることはできません。

2 電話をかけたい相手にタッチして選びます。



3 **発信** にタッチします。

- ▶ リストには、最大 30 件の履歴が表示されます。30 件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- ▶ 「着信履歴機能」(161 ページ) も参照してください。

【 発信履歴 】 ②

発信履歴から電話をかける

以前かけた電話は、発信履歴として記憶されます。これらの履歴の一覧から相手を選択して電話をかけます。

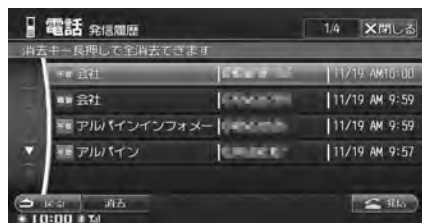
1 **発信履歴** にタッチします。

発信履歴画面が表示されます。

履歴に記憶されている電話番号が、新しいものから順に一覧で表示されます。

- かけた電話が 1 件もない場合は、**発信履歴** にタッチすることはできません。

2 電話をかけたい相手にタッチして選びます。



3 **発信** にタッチします。

- ▶ リストには、最大 30 件の履歴が表示されます。30 件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- ▶ 「発信履歴機能」(162 ページ) も参照してください。

【 番号入力 】 ③

番号を入力して電話をかける

1 **番号入力** にタッチします。

2 相手の市外局番から入力します。



- **削除** にタッチすると、入力した数字が 1 文字ずつ削除されます。
- **削除** にタッチし続けると、入力したすべての文字が削除されます。

3 **発信** にタッチします。

- ▶ 本機で入力できる電話番号は 24 桁までです。

【 電話帳 】 ④

電話帳から電話をかける

携帯電話の電話帳を利用して電話をかけます。まず、携帯電話の電話帳を本機に読み込む必要があります。

電話帳を読み込む

■ 通信ケーブルで接続している場合

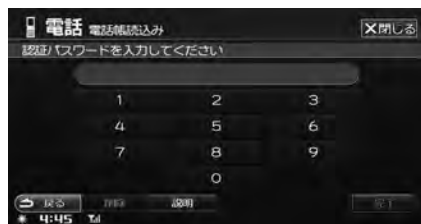
1 **電話帳** にタッチします。

2 **電話帳読込** にタッチします。



携帯電話の暗証番号を入力する画面が表示されます。

3 携帯電話の暗証番号を入力します。



- 携帯電話の暗証番号については、携帯電話に付属の説明書を参照してください。
- 「FOMA」では認証/パスワードを入力します。
- 「FOMA」では **説明** にタッチすると、電話帳を読み込む際の説明が表示されます。

4 **完了** にタッチします。

- 「FOMA」では携帯電話に暗証番号と認証パスワードを入力するメッセージが表示されます。携帯電話に正しい暗証番号と認証パスワードを入力します。

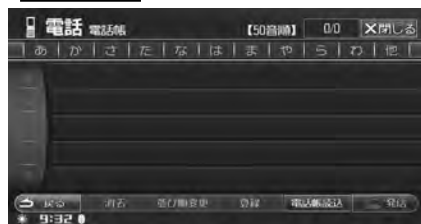
電話帳の読み込みが開始されます。

電話帳の読み込みが終了すると、電話帳の一覧(50音順)が表示されます。

■ BLUETOOTH 接続の場合

1 **電話帳** にタッチします。

2 **電話帳読み込み** にタッチします。



3 本機のデバイス名が表示され、携帯電話からの接続待機状態になります。



- 以降は携帯電話からの操作になります。携帯電話の電話帳送信の操作方法については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

4 携帯電話から本機に接続し、電話帳を本機に転送する操作を行います。 転送が完了すると、本機にメッセージが表示されます。

5 **保存** にタッチします。 電話帳読み込みが完了します。

- **キャンセル** にタッチすると電話帳は保存されません。

- ▶ 電話帳の読み込み中は、携帯電話を外したり、電源をOFFにしないでください。
- ▶ 本機の電話帳に登録できる件数は、最大 1000 件です。
- ▶ 電話帳を書きかえるときは、再度読み込み操作を行ってください。ケーブル接続の場合、古い電話帳（短縮ダイヤル、画像を含む）が消去され新しい電話帳が書き込まれます。BLUETOOTH 接続の場合は新しい電話帳が追加で書き込まれます。
- ▶ 電話帳の読み込み中は、電話を受けたり、かけたりすることができません。
- ▶ 携帯電話でシークレット登録した電話番号は、リストには表示されません。表示するには、携帯電話のシークレット登録を解除し、再度電話帳を読み込んでください。BLUETOOTH 接続の場合、携帯電話をシークレットモードにしてシークレット登録された電話番号を表示し、1 件または選択送信した場合はリストに表示されます。
- ▶ 携帯電話によっては、同じ名称で数人分の登録をする場合があります。また、携帯電話によっては、一人に対して複数の電話番号が電話帳に登録されていても、一番上の電話番号のみ読み込む場合があります。
- ▶ 携帯電話が待ち受け画面以外のときは、電話帳の読み込みが開始されない場合があります。
- ▶ 携帯電話の電話帳に P（ポーズ）を付けて番号を登録している場合は、P（ポーズ）の前の数字までしか認識することができません。
- ▶ 本機が読み込むことができる電話番号は 24 桁までです。
- ▶ 本機で認識できない文字はブランク（空白）表示になります。
- ▶ 電話帳に登録されている画像を、本機に取り込むことができます（「携帯電話画像取り込みを設定する」368 ページ参照）。ただし、携帯電話の機種によっては画像を読み込むのに時間がかかる場合があります。
- ▶ 本機は携帯電話の電話帳に登録されているグループ名称を読み込むことができます。取り込むことができるグループは最大 100 件、グループ名称は半角/全角 24 文字です。
- ▶ 携帯電話の電話帳に -（ハイフン）を付けて番号を登録している場合は、-（ハイフン）無しの数字のみ登録されます。
- ▶ BLUETOOTH 接続の場合、使用する携帯電話の機種によりメモリー番号が表示されず「-----」と表示される場合があります。
- ▶ 録音中、画像ファイルコピー中、画像ファイル編集、音楽ファイル編集は電話帳読み込みを行うことはできません。

- ▶ 電話番号の入っていないメモリーは本機で読み込みません。
- ▶ BLUETOOTH 接続の場合、「全件送信」を選択して送信した場合のみグループ情報を取得することができます。
- ▶ ケーブル接続または BLUETOOTH 接続で 1 度電話帳読み込みを行い、さらに BLUETOOTH 接続で電話帳読み込みを行った場合、その電話帳は 1 回目の電話帳読み込みで登録されたグループ名称で追加されます（1 回目と 2 回目以降の読み込みで、同じグループ番号でもグループ名称が違う場合）。
- ▶ 携帯電話の機種によって、取得されるグループ情報は異なります。
- ▶ 携帯電話の機種によって、表示される名称の文字数は異なります。

電話帳から電話をかける

- 電話帳** にタッチします。
電話帳に登録されている電話番号が一覧で表示されます。
- 電話をかけたい相手にタッチします。



- 電話** にタッチします。
- ▶ 電話帳のリストを 50 音順、メモリー番号順、グループ順に並びかえることができます（「電話帳の並び順を変更する」163 ページ参照）。

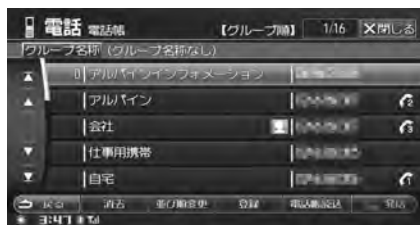
■ グループを選ぶ

グループ名称を指定して、そのグループに登録されている電話番号を表示することができます。

まず **並び順変更** にタッチして電話帳をグループ順に並びかえてください。

- 電話帳** にタッチします。

- グループ名称** にタッチします。



電話帳に登録されているグループがリスト表示されます。

- 希望のグループにタッチします。
グループに登録されている電話番号がリスト表示されます。

- 電話をかけたい相手にタッチします。

- 電話** にタッチします。

【10000 ~ 30000】…… ⑤ 短縮ダイヤルから電話をかける

短縮ダイヤルに登録されている電話番号に、スイッチ 1 つで手早く電話をかけることができます。短縮ダイヤルに登録する方法については、「短縮ダイヤルに登録する」（164 ページ）を参照してください。

- 短縮ダイヤルスイッチにタッチします。
登録してある電話番号が発信されます。
- ▶ 短縮ダイヤルスイッチには、電話帳に登録されている名前の最初の 4 文字（全角）または 8 文字（半角）までが表示されます。

【リダイヤル】……………⑥

直前にかけた電話番号に電話をかける

直前にかけた電話番号に電話をかけます。

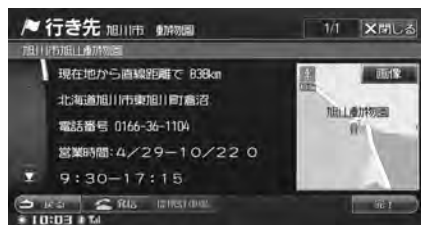
- 1 **リダイヤル** にタッチします。
電話番号が発信されます。
 • 一度も発信していない場合は、**リダイヤル** にタッチすることはできません。

他モード画面から電話をかける

詳細情報画面から電話をかける

施設情報に電話番号の情報があ場合は、ナビ画面からその施設に電話をかけることができます。

- 1 詳細情報画面を表示させます。
 • 画面の表示方法については、「施設を名称で探す」(62 ページ)、「施設をジャンルで探す」(63 ページ) を参照してください。
- 2 **発信** にタッチします。

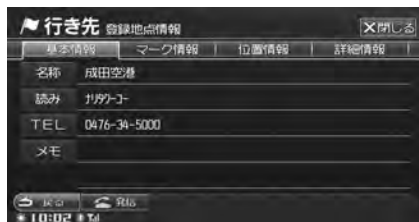


- ▶ 詳細情報画面以外に現在地周辺施設情報画面やルート周辺施設情報画面などで電話番号の情報があ場合は、それぞれの画面からも電話をかけることができます。

地点情報画面から電話をかける

登録地点 / 特別地点に電話番号を登録してある場合は、ナビ画面からその施設に電話をかけることができます。

- 1 地点情報画面を表示させます。
 • 画面の表示方法については、「地点情報画面を表示する」(98 ページ) を参照してください。
- 2 **発信** にタッチします。



コミュニケーション画面から電話をかける

マルチゲート画面からコミュニケーション画面を表示し、電話をかけることができます。

- 1 マルチゲート画面の電話表示部分にタッチします。
コミュニケーション画面が表示されます。



- 2 発信履歴・着信履歴の **発信** にタッチして電話をかけます。

表示されている最新の発信履歴・着信履歴に電話をかけることができます。

通話中の操作

通話中は電話画面から操作を行います。それぞれのタッチスイッチについて詳しくは、該当ページを参照してください。



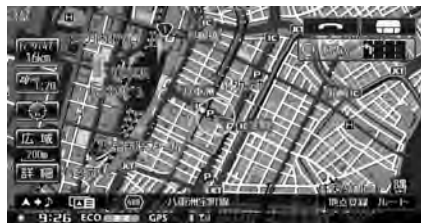
1. イメージ表示

着信時や通話中に電話モード画像が表示されます。電話帳に画像を登録すれば、お好みの画像を表示することができます(「画像を登録する」164 ページ参照)。

通話全画面を表示する

電話をかけた場合と「着信全画面割込み」(367 ページ参照)を「する」に設定してある場合は、自動的に通話全画面が表示されます。「着信全画面割込み」を「しない」に設定してある場合は、下記の操作で通話全画面を表示することができます。

1 にタッチします。



通話全画面が表示されます。

【◀ または ▶】 …… ①

通話音量を調整する

送話音量や受話音量を調整することができます。

1 通話中に「送話音量」/「受話音量」の ◀ または ▶ にタッチして、音量を調整します。

- 音量は 11 段階で調整できます。

▶ にタッチするたびに、音量が小さくなります。

▶ にタッチするたびに、音量が大きくなります。

- ▶ 通話音量は音量調整メニューから設定することもできます。また、着信音量も設定することができます(「音量調整」(333 ページ) 参照)。

【**ナビ/携帯**】…………… ②

音声を切りかえる

BLUETOOTH 接続時、携帯電話の音声を、車のスピーカーから出力するか携帯電話から出力するか選ぶことができます。

- 1 **ナビ/携帯** にタッチします。
タッチすることにより、音声出力方法が切りかわります。

ナビ

車のスピーカーから音声出力され、車アイコンの隣にスピーカーアイコンが表示されます。



携帯

携帯電話から音声出力され、携帯電話アイコンの隣にスピーカーアイコンが表示されます。



- ▶ ケーブル接続時には **ナビ/携帯** スイッチは表示されません。

【**トーン**】…………… ③

トーン発信機能

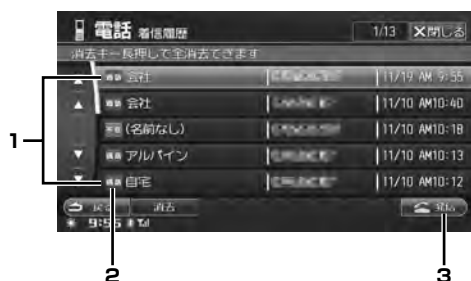
通話中に、トーン発信を行うことができます。

- 1 **トーン** にタッチします。
トーン発信画面が表示されます。
- 2 番号を入力します。



着信履歴機能

以前かかってきた電話は、着信履歴として記憶され、着信時刻の新しいものから順にリスト（最大 30 件）で表示されます。



- 1. 名前 / 電話番号 / 日付・時刻**
電話がかかってきた相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。また、電話がかかってきた日付と時刻が表示されます。
- 2. 通話状態アイコン**
不在着信時には **不在** アイコンが表示されます。電話に出た場合は **通話** アイコンが表示されます。
- 3.  電話**
着信履歴から電話をかけることができます。「着信履歴から電話をかける」(154 ページ)を参照してください。

- ▶ 本機起動直後に着信した場合は、名前を表示できない場合があります。
- ▶ BLUETOOTH 接続時、着信直後に電話を受けると相手の電話番号が履歴に保存できない場合があります。その場合、名前は「(情報なし)」、電話番号は「—」と表示されます。

着信履歴を消去する

着信履歴を 1 件、または全件消去します。

- 1.  メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2.  電話** にタッチします。
- 3.  着信履歴** にタッチします。
着信履歴画面が表示されます。

着信履歴を 1 件消去する

- 4** 消去したい着信履歴にタッチして選びます。
- 5.  消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 6.  はい** にタッチします。
選択した着信履歴が消去されます。

すべての着信履歴を消去する

- 4.  消去** にタッチし続けます。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 5.  はい** にタッチします。
すべての着信履歴が消去されます。

発信履歴機能

以前かけた電話番号は、発信履歴として記憶され、発信時刻の新しいものから順にリスト（最大 30 件）で表示されます。



1. 名前 / 電話番号 / 日付・時刻

電話をかけた相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。登録されていない場合は電話番号が表示されます。また、電話をかけた日付と時刻が表示されます。

2. 通話状態アイコン

相手が不在の場合は **不在** アイコンが表示されます。
相手が電話に出た場合は **通話** アイコンが表示されます。

3. **発信** アイコン

発信履歴から電話をかけることができます。「発信履歴から電話をかける」(155 ページ)を参照してください。

- ▶ 本機起動直後に発信した場合は、名前を表示できない場合があります。
- ▶ 発信履歴に記憶されている相手に電話をかけた場合は、前回の履歴を消去して新しいものだけを記憶します。

発信履歴を消去する

発信履歴を 1 件、または全件消去します。

1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 **電話** にタッチします。

3 **発信履歴** にタッチします。
発信履歴画面が表示されます。

発信履歴を 1 件消去する

4 消去したい発信履歴にタッチして選びます。

5 **消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。

6 **はい** にタッチします。
選択した発信履歴が消去されます。

すべての発信履歴を消去する

4 **消去** にタッチし続けます。
消去を確認するメッセージが表示されます。

5 **はい** にタッチします。
すべての発信履歴が消去されます。

電話帳機能

携帯電話の電話帳を本機に読み込み、利用することができます。

▶ 読み込んだ電話帳の内容変更を行うことはできません。

電話帳画面の表示
(163 ページ)



① (163 ページ) ② (163 ページ) ③、④ (164 ページ) 「電話帳を読み込む」 (155 ページ) 「電話帳から電話をかける」 (157 ページ)

電話帳画面を表示する

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **電話** にタッチします。
- 3 **電話帳** にタッチします。
電話帳画面が表示されます。

【消去】 ①

電話帳を消去する

本機に読み込んだ電話帳を、1 件または全件消去します。

電話帳を 1 件消去する

- 1 消去したい電話番号にタッチして選びます。
- 2 **消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。

- 3 **はい** にタッチします。
選択した電話番号が消去されます。

すべての電話帳を消去する

- 1 **消去** にタッチし続けます。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 2 **はい** にタッチします。
すべての電話帳が消去されます。

【並び順変更】 ②

電話帳の並び順を変更する

- 1 **並び順変更** にタッチします。
タッチすることにより、電話帳が 50 音順、メモリー番号順、グループ順に並べかえられます。
50 音順 : 読みが 50 音順
メモリー番号順 : 携帯電話のメモリー番号順
グループ順 : 携帯電話のグループ順

- ▶ グループの順番は、携帯電話に登録した順になります。
- ▶ 表示されるグループの最大件数は 100 件です。
- ▶ 携帯電話のグループ名称が未設定の場合は「グループ名称なし」と表示されます。

【登録】 ③

短縮ダイヤルに登録する

よくかける電話番号を短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルに登録すると、スイッチ 1 つで電話をかけることができます。

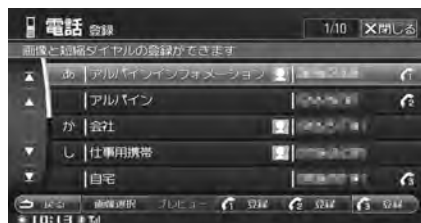
- ▶ 短縮ダイヤルを使って電話をかける方法については、「短縮ダイヤルから電話をかける」(157 ページ)を参照してください。
- ▶ 短縮ダイヤルに登録した電話番号は、電話帳に  /  /  と表示されます。
- ▶ 3 桁未満の電話番号は登録できません。

1 登録 にタッチします。

2 短縮ダイヤルに登録したい電話番号にタッチして選びます。

- すでに短縮ダイヤルに登録されている電話番号には、 /  /  のアイコンが表示されます。

3 短縮ダイヤルスイッチのいずれかにタッチします。



選択した電話番号が、指定した短縮ダイヤルに登録されます。

4 にタッチして電話帳画面に戻ります。

- ▶ 登録済みの短縮ダイヤルに別の番号を登録すると、元の電話番号は登録が解除されます。例えば、「短縮 3」に登録されている電話番号を「短縮 1」に変更した場合、「短縮 3」は登録が解除され、未登録状態になります。

【登録】 ④

画像を登録する

着信や通話中などに表示する画像を電話帳に登録します。画像を登録した相手との通話中画面などに画像が表示されます。



1 HDD 画像アイコン

 : HDD の画像を登録した場合に表示。

<通話画面表示例>



- ▶ あらかじめ画像データが本機にコピーされていることが必要です。画像をコピーする方法については、「画像ファイルをコピーする」(327 ページ)を参照してください。
- ▶ 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきた場合は、相手の電話番号が通知されているときのみ登録した画像を表示することができます。

1 登録 にタッチします。

2 画像を登録したい電話番号にタッチして選びます。

3 画像選択 にタッチします。 画像のリストが表示されます。

4 登録したい画像にタッチします。



- **プレビュー** にタッチすると、選択している画像を拡大表示できます。プレビュー画面の操作については、「プレビュー画面を表示する」(355 ページ) を参照してください。
- **並び順変更** にタッチすると、画像を登録順、名前順、種類順に並びかえることができます。
- **消去** にタッチすると、選択している画像を消去します。**消去** にタッチし続けると、全ての画像を消去します。

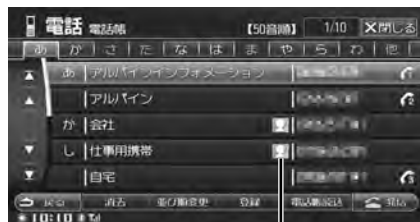
5 完了 にタッチします。

6 戻る にタッチして電話帳画面に戻ります。

- ▶ 本機 HDD の画像を電話番号に登録した場合は、携帯電話の電話帳から読み込んだ画像を表示することはできません。

電話帳の画像を本機 HDD にコピーする

携帯電話の電話帳に登録されている画像を本機に読み込んだ場合、本機 HDD に画像をコピーすることができます。



1 電話帳画像アイコン

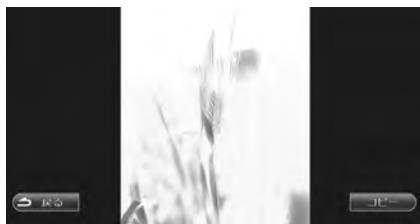
- ☎: 携帯電話の電話帳に登録されている画像を読み込んだ場合に表示。

1 登録 にタッチします。

2 携帯電話の画像が読み込まれている電話番号にタッチして選びます。

3 プレビュー にタッチします。

4 プレビュー画面で コピー にタッチします。



5 メッセージが表示されたら はい にタッチします。

本機 HDD に画像がコピーされます。

- ▶ HDD にコピーされる画像のファイル名は、電話帳の名称になります。電話帳名称がない場合は、電話番号がファイル名として登録されます。
- ▶ 本機 HDD にコピーしていない場合、画像が設定してあるメモリーを消去すると、携帯電話から読み込んだ画像と一緒に消去されます。

情報の確認と更新

❖ 本機情報の確認	168
本機情報を表示する	168
❖ 地図データの更新	171
地図ディスクで全国地図データを更新する	171
SD メモリーカード /USB メモリで路線別データを更新する	173
本機にダウンロードして路線別データを更新する	175
更新状況を確認する	176
認証情報を確認する	177
路線別データを取得する	178

本機情報の確認

本機情報を表示する

本機に関する情報を表示することができます。

情報表示は次の画面から行います。それぞれについて詳しくは、該当項目を参照してください。



① (169 ページ) ② (169 ページ) ③ (169 ページ) ④、⑤ (169、170 ページ)

情報画面を表示する

3

その他 タブにタッチします。

1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 **情報** にタッチします。



情報画面が表示されます。



【バージョン情報】……………①

本機バージョン情報を表示する

使用中のプログラムのバージョンやデータベースの情報を見ることができます。

- 1 **バージョン情報** にタッチします。
本機のバージョン情報が表示されます。



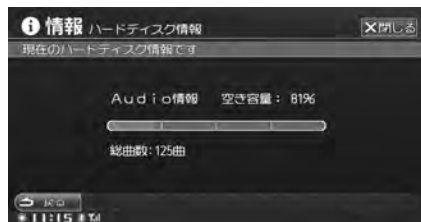
- 2 **戻る** にタッチすると情報画面に戻ります。

【ハードディスク情報】…②

ハードディスク情報を表示する

ハードディスクの総曲数と空き容量を確認できます。

- 1 **ハードディスク情報** にタッチします。
本機のハードディスク情報が表示されます。



- 2 **戻る** にタッチすると情報画面に戻ります。

【GPS情報】……………③

GPS情報を表示する

GPS情報画面が表示されます。

- 1 **GPS情報** にタッチします。
GPS情報が表示されます。



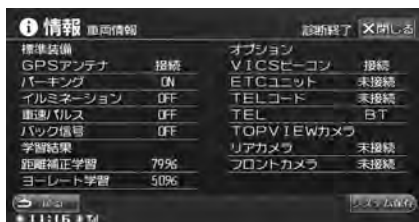
- 2 **戻る** にタッチすると情報画面に戻ります。

【車両情報】……………④

車両情報を見る

GPSアンテナや周辺機器の接続状況、車速パルスなどの信号のON/OFF、また、距離補正学習やヨーレート学習の学習結果を表示することができます。

- 1 **車両情報** にタッチします。
車両情報画面が表示されます。



- 2 **戻る** にタッチすると情報画面に戻ります。

- ▶ リアカメラは、HCE-C200R シリーズ / HCE-C500 シリーズを接続した時のみ、「接続」と表示されます。

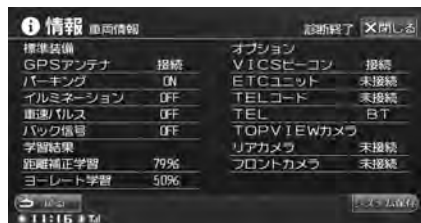
【車両情報】…………… ⑤

システム情報を保存する

設定情報などを保存します。電源 OFF 時に保存される情報ですので、通常はこの機能を使用する必要はありません。

1 **車両情報** にタッチします。

2 **システム保存** にタッチします。



3 確認のメッセージが表示されたら

はい にタッチします。

システムがリセットされ、再起動します。

地図データの更新

本機の地図データなどをバージョンアップします。本機は変更のあったところ（差分データ）だけを書き加える差分更新が可能ですので、HDD を取り外すことなく簡単にデータを更新することができます。

バージョンアップは DVD ディスクを用いて行いますが、ディスク発売時期までの間、主要道の変更点データをアルパインホームページから取得して更新することが可能です（路線別データ更新）。

・全国地図データの更新・・・

バージョンアップディスクを購入して行います。全国地図データの他に、本機機能のバージョンアップを行います。

・路線別データの更新（主要道更新）・・・

主要道の変更点のみを更新します。下記 2 通りの方法があります。

① パソコンで SD メモリーカード / USB メモリに更新用データを保存し、本機にデータをコピーして更新します。

② 本機に携帯電話を接続し、更新用データを本機にダウンロードして更新します。

▶ 「路線別データ」では、「道路・案内」情報が更新されます。下記の制約がありますので、あらかじめご了承下さい。

- ・市街地図、一方通行データは更新されません。
- ・一部エリアでは簡易的な案内となります（詳細音声、レーン情報、ジャンクション案内図等は更新の対象外となります）。
- ・新規に追加された ETC ゲート名称は、ETC 履歴の表示対象外となります。
- ・SA、PA 以外の施設データは更新されません。

地図データの更新を行うには、アルパインホームページでのお客様登録、及びユーザーズルームでの VIE-X08S/VIE-X088 の登録が必要です。必ず登録を行ってください。

https://secure.alpine.co.jp/cras/reg_top.html

お客様登録を行うことで、差分更新の認証の他にも NAVI サービスをご利用になることができます。

- ▶ ユーザーズルームの URL は変更になる可能性があります。
- その場合はトップページ <http://www.alpine.co.jp/> をご覧ください。

地図ディスクで全国地図データを更新する

地図ディスクを購入して、全国の地図データの更新を行います。詳細はディスクに添付されている取扱説明書、アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp/> を参照してください。

全国地図データ更新の流れ

1 地図ディスクを購入する



2 認証キー番号を取得する

パソコンで、または本機通信機能を利用して行います。



3 本機にディスクを挿入すると、更新データが本機 HDD にコピーされる

20 分程度かかります。



4 コピーが完了したらディスクを取り出す



5 バックグラウンドでデータ更新が行われる

データ更新は数時間かかります。
データ更新中は UP DATE インジケーターが表示されます。
更新中に電源を切った場合は、次回起動時に続きから更新が開始されます。



6 更新完了

認証について

データ更新をするには、認証を行う必要があります。

パソコンまたは携帯電話で行う：

認証キー番号を取得します。認証キー番号の発行には、本機のシリアル No. とディスクのシリアル No. が必要です。シリアル No. を確認後、アルパインホームページにアクセスしてユーザーズルームで認証キー番号を取得してください。

本機の通信機能を使用する：

地図データ更新時に、オンラインで認証を行ってください。オンライン認証にはディスクのシリアル No. が必要です。また、あらかじめ携帯電話を本機に接続して通信設定（363 ページ参照）を行う必要があります。

地図データを更新する

地図ディスクを挿入すると、自動的に更新を確認するメッセージが表示されて更新を行うことができます。その場合は手順 5 にお進みください。あらかじめ地図ディスクが挿入されている場合は、手順 1 から操作を行います。

1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 **情報** にタッチします。
情報画面が表示されます。

3 **その他** タブにタッチした後、**地図差分更新** にタッチします。

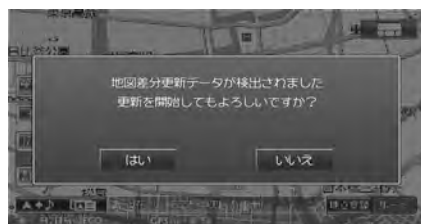


地図差分更新画面が表示されます。

4 **差分更新** にタッチします。



5 更新を確認するメッセージが表示されたら **はい** にタッチします。



認証キー入力画面が表示されます。

● 認証キー番号を取得済みの場合は手順 6 にお進みください。オンラインで認証を行う場合は「オンライン認証を行う」(173 ページ)を参照してください。

▶ **ヘルプ** にタッチすると認証キーについての説明が表示されます。ヘルプ画面からオンライン認証を行うこともできます。

6 認証キーを入力し、**完了** にタッチします。



7 更新データが HDD にコピーされます。



コピーには 20 分程度かかります。コピーが終了すると、自動的に本機がリセットされて再起動します。

▶ データコピー中は電源 ON 状態のまま、一切の操作を行わないでください。

8 ディスクを取り出します。
バックグラウンドでデータ更新が行われます。



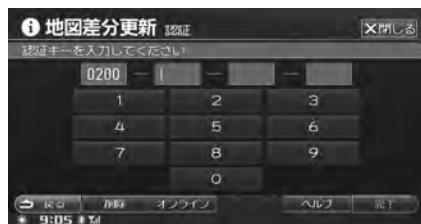
データ更新中は UPDATE インジケーターが表示されます。インジケーターが消えると更新は完了です。

- ▶ 録音中は REC インジケーターが優先して表示されるため、UPDATE インジケーターは表示されません。
- ▶ バックグラウンドでのデータ更新中は、通常の操作が可能です。更新中に電源を切った場合は、次回起動時に続きから更新が始まります。
- ▶ 地図ディスクで本機プログラムのバージョンアップが行われる場合、手順 7 の後に再度コピーが行われ、自動で再起動します。詳しくはディスクに添付される取扱説明書を参照してください。

オンライン認証を行う

認証キーを取得していない場合、オンラインで認証を行うこともできます。

1 「地図データを更新する」手順 6 で 「オンライン」にタッチします。



ディスクシリアル No. 入力画面が表示されます。

2 ディスクシリアル No. を入力し、 「完了」にタッチします。



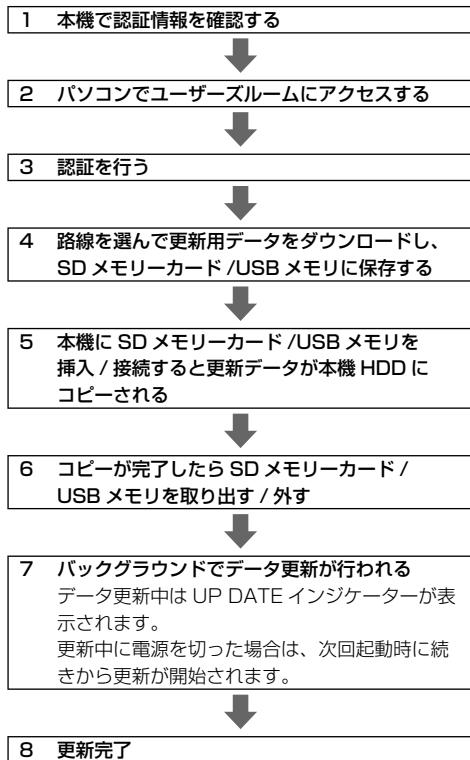
サーバーに接続し、認証確認後に地図ディスクから本機 HDD にデータのコピーが始まります。

- 以降の操作は認証キー番号を入力したときと同様です。
- ▶ ディスクシリアル No. については、ディスクの取扱説明書を参照してください。

SD メモリーカード / USB メモリで路線別データを更新する

パソコンを利用して路線別データをダウンロードし、SD メモリーカード / USB メモリに保存して本機に接続するとデータを更新することができます。

データ更新の流れ



情報の確認と更新

認証について

データ更新をするには、認証を行う必要があります。認証には本機のシリアル No. と地図バージョンが必要です。シリアル No. と地図バージョンは「認証情報を確認する」(177 ページ) で確認することができます。

地図データを更新する

パソコンの操作について詳しくは、アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp/> を参照してください。

1 パソコンでアルパインホームページのユーザーズルームにログインし、VIE-X08S/VIE-X088 の「製品サービス」を選びます。

2 「高速道配信」を選び、本機のシリアル No. と地図バージョンを選択します。

- ・シリアル No. と地図バージョンは本機で確認することができます。「認証情報を確認する」(177 ページ) を参照してください。

3 更新できる情報がある場合、地図更新データが表示されます。取得したいデータを選択してダウンロードし、SD メモリーカード / USB メモリに保存します。

4 SD メモリーカード / USB メモリを本機に挿入 / 接続します。

5 更新を確認するメッセージが表示されたら **はい** にタッチします。
更新データがリスト表示されます。

6 更新する内容を確認し、**地図更新** にタッチします。



- ・データの詳細を見る場合には **詳細情報** にタッチします。

7 更新データが HDD にコピーされます。



コピーが終了すると、自動的に本機がリセットされて再起動します。

8 SD メモリーカード / USB メモリを取り外します。

バックグラウンドでデータ更新が行われます。



データ更新中は UPDATE インジケーターが表示されます。インジケーターが消えると更新は完了です。

- ▶ バックグラウンドでのデータ更新中は、通常の操作が可能です。更新中に電源を切った場合は、次回起動時に続きから更新が開始されます。
- ▶ あらかじめ SD メモリーカード / USB メモリが接続されていて更新データが自動的に表示されない場合には、「地図ディスクで全国地図データを更新する」の「地図データを更新する」(172 ページ) 手順 **1 ~ 4** を参照してデータを表示させてください。
- ▶ 録音中は REC インジケーターが優先して表示されるため、UPDATE インジケーターは表示されません。

本機にダウンロードして路線別データを更新する

路線別データを携帯電話で本機にダウンロードして更新することができます。
路線別データが自動通知されていない場合、本操作を行います。自動通知されている場合の操作は「路線別データを取得する」(178 ページ)を参照してください。

データ更新の流れ

1 本機で認証情報を確認する



2 認証を行う



3 路線をダウンロードする



4 更新データが本機 HDD にコピーされる



5 バックグラウンドでデータ更新が行われる
データ更新中は UP DATE インジケーターが表示されます。
更新中に電源を切った場合は、次回起動時に続きから更新が開始されます。



6 更新完了

認証について

お客様 ID とパスワードが必要です。パソコンまたは携帯電話でアルパインホームページにアクセスし、ユーザーズルームでユーザー登録を行ってください。ID は登録メールアドレス、パスワードはお客様が設定したパスワードになります。

地図データを更新する

更新データをダウンロードするには、携帯電話を接続して通信設定 (363 ページ参照) が設定されている必要があります。また、携帯電話を接続する際の通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 **情報** にタッチします。
情報画面が表示されます。

3 その他 タブにタッチした後、**地図差分更新** にタッチします。



地図差分更新新画面が表示されます。

4 **差分配信** にタッチします。



- 認証が行われていない場合は ID とパスワード入力画面が表示されます。手順 5 にお進みください。すでに認証が行われている場合は、手順 10 にお進みください。

5 **ID** にタッチします。
ID 入力画面が表示されます。

6 ID を入力して、**完了** にタッチします。



認証情報設定画面に戻ります。

7 **パスワード** にタッチします。
パスワード入力画面が表示されます。

- 8 パスワードを入力して、**完了** にタッチします。



- 9 **完了** にタッチします。



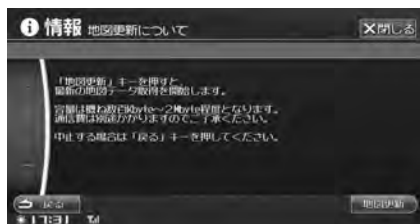
認証情報確認が行われます。

- サーバーに接続して認証確認後に更新情報の確認が行われます。

- 10 更新できる情報がある場合、地図更新データがリスト表示されます。内容を確認し、**地図更新** にタッチします。



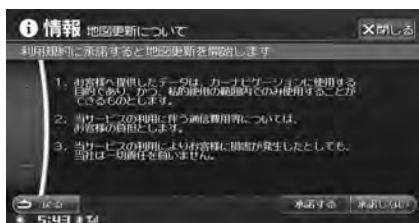
地図更新についての説明画面が表示されます。



- データの詳細を見る場合には **詳細情報** にタッチします。

- 11 説明を読み、**地図更新** にタッチします。

- 12 地図更新についての利用規約をお読み頂き、**承諾する** にタッチします。データのダウンロードが開始されます。



- 利用規約を承諾頂けない場合は、**承諾しない** にタッチしてください。この場合、地図の更新はできません。

- 13 ダウンロード終了後、更新データがHDDにコピーされます。コピーが終了すると、自動的に本機がリセットされて再起動します。バックグラウンドで更新が行われます。



データ更新中はUPDATEインジケーターが表示されます。インジケーターが消えると更新は完了です。

- ▶ バックグラウンドでのデータ更新中は、通常の操作が可能です。更新中に電源を切った場合は、次回起動時に続きから更新が開始されます。
- ▶ データダウンロード途中で通信が切断された場合には、次回続きからダウンロードを再開します。

更新状況を確認する

本機HDDへの更新データのコピーが完了するとバックグラウンドで更新が行われます。データ更新中は、更新の進捗状況を確認することができます。更新が完了している場合は、過去に更新した内容を確認することができます。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。メニュー画面が表示されます。

- 2 **情報** にタッチします。
情報画面が表示されます。

- 3 **その他** タブにタッチした後、**地図差分更新** にタッチします。



地図差分更新画面が表示されます。

- 4 **更新状況** にタッチします。
更新状況画面が表示されます。



更新履歴の表示

更新履歴を 20 件まで表示することができます。

- 1 更新状況画面で **更新履歴** にタッチします。
更新履歴が表示されます。



- 2 **戻る** にタッチすると前の画面に戻ります。

更新情報の表示

最終の更新が路線別データの場合、更新された情報を確認することができます。

- 1 更新状況画面で **更新情報** にタッチします。
更新情報画面が表示されます。



- **詳細情報** にタッチすると、さらに詳細な情報を表示することができます。

- 2 **戻る** にタッチすると前の画面に戻ります。

認証情報を確認する

認証を行う際に必要な情報を確認することができます。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
メニュー画面が表示されます。

- 2 **情報** にタッチします。
情報画面が表示されます。

- 3 **その他** タブにタッチした後、**地図差分更新** にタッチします。

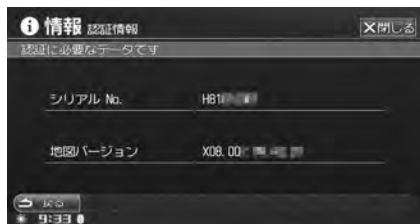


地図差分更新画面が表示されます。

4 **認証情報** にタッチします。



シリアル No. と地図バージョンが表示されます。



5 **戻る** にタッチすると前の画面に戻ります。

路線別データを取得する

いつも NAVI の新着情報を確認する際、更新可能な地図データがあると通知されます。いつも NAVI 機能について詳しくは、「いつも NAVI」(103 ページ) を参照してください。

1 いつも NAVI の新着情報を確認した時に、更新可能な地図データがある場合詳細を確認するメッセージが表示されます。

2 **はい** にタッチします。
更新情報画面が表示され、更新できる情報がある場合、地図更新データがリスト表示されます。

以降の操作は 176 ページ手順 10 ～ 12 と同じになります (「本機にダウンロードして路線別データを更新する」)。

オプション機能

❖ ETC について	180
ETC の料金表示について.....	180
ETC 料金履歴を見る	180
ETC ユーザー情報を見る.....	181
❖ カメラ操作	182
リアカメラの映像.....	182
リアカメラ操作.....	183
リアカメラガイドについて	184
フロントカメラの映像	186
フロントカメラ操作	187
フロントカメラガイドについて.....	188
ルームカメラ / サイドカメラの映像	188
ルームカメラ / サイドカメラ操作.....	189
❖ リアビジョンについて	190
リアビジョン連動機能	190

ETC について

ETC(Electronic Toll Collection System: 有料道路自動料金収受システム)とは、自動車に装備した車載器と料金所に設置したアンテナとの間で無線通信により料金支払いに必要な情報がやりとりされ、ノンストップで自動的に通行料金をお支払いいただけるシステムです。

本機では別売の ETC 車載器を装着することにより、料金所の手前で ETC 専用レーンの案内を表示するなど、ナビゲーション機能に連動して ETC 情報を提供します。また、ETC を利用したインターチェンジと料金の履歴を確認したり(180 ページ参照)、ETC 契約のユーザー情報を表示させる(181 ページ参照)こともできます。ETC を使用するには、ETC 車載器(別売)と ETC カードが必要です。

接続している ETC 車載器側の取扱説明書も合わせてご覧ください。

ETC の料金表示について

ETC 車載器(別売)に ETC カードを挿入している場合は、ルート走行中、料金所の ETC レーンを通るときに、利用料金が表示されます。

ETC のレーンガイドを行うには、「料金所ゲート案内を設定する」(308 ページ)を「する」に設定してください。

■ ETC レーン表示

ETC レーンがある料金所に近づくとき、ETC レーンに矢印が表示されます。



■ ETC 料金表示

料金所の ETC アンテナから情報を受信すると、利用料金が表示されます。



▶ 料金所のレーン情報がない場合は、案内は行われません。

ETC 料金履歴を見る

ETC を利用した日時や料金をリスト表示したり、利用したインターチェンジ(IC)名などの詳細情報を確認することができます。

- ▶ ETC カードを挿入していないときは利用できません。
- ▶ ETC カードより取得できる料金履歴は、最大で 100 件です。それを超えると古い順に消去されます。
- ▶ 走行中は安全のため操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **ETC** タブにタッチします。
- 4 **ETC 料金履歴** にタッチします。



ETC 料金履歴リストが表示され、新しい順に上から履歴が表示されます。

- 5 詳細を確認したい場合は、**詳細情報** にタッチします。



詳細料金情報を確認します。

ETC ユーザー情報を見る

ETC に登録されているユーザー情報を確認します。

- 1 **メニュー** スイッチを押します。
- 2 **情報** にタッチします。
- 3 **ETC** タブにタッチします。



- 4 **ETC ユーザー情報** にタッチします。
車載器管理番号などのユーザー登録情報が表示
されます。



カメラ操作

TOPVIEW マルチカメラシステム（HCE-C500 シリーズ）と組み合わせるお客様へ

本機からの操作については HCE-C500 側の取扱説明書を参照してください。

また、以下の点に注意してください。

- カメラのガイド線表示（距離目安ガイド線）は、フロントカメラ、リアカメラ共に必ず「OFF」に設定してください。

HCE-C500 シリーズでは、カメラ側にガイド線が用意されております。本機側のガイド線を「ON」に設定してしまうと、ガイド表示の重複など、運転操作に支障をきたす原因となります。

本機は別売のフロントカメラ、リアカメラ、サイドカメラまたはルームカメラなどを接続することができます。

フロントカメラ

HCE-C200FD シリーズを装着して、見通しの悪い道路などで車両前方の状況を確認することができます。

リアカメラ

HCE-C200R/HCE-C107D/HCE-C105/HCE-C90Dなどを装着した場合、バックギアにシフトすると本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド（車両の車幅や距離感覚を補う補助マーク）を映すことができます。

サイドカメラ

車のミラーなどに装着したサイドカメラ HCE-C90S の映像を、本機に表示することができます。

TOPVIEW マルチカメラ

HCE-C500 シリーズを装着した場合、車両の前後左右カメラ（リア・フロント・サイドカメラ）より、360 度映像を映し出し安全ドライブをアシストします。

- 本機からの操作については、HCE-C500 シリーズの取扱説明書を参照してください。

ルームカメラ

車室内にルームカメラ HCE-C80 を装着して本機に表示すると、後部座席の様子も運転席から確認することができます。

- ▶ タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示される距離目安マークやガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。
- ▶ 本機起動直後は、下記の表示・操作を行うことができません。
 - シフトレバーをバックギア（R）に入れたときのリアカメラガイド表示 / コーション表示
 - シフトレバーをバックギア（R）に入れたときのリアカメラ映像パターン切り替え

- フロントカメラの速度連動表示 / 地点連動表示
- ▶ 接続しているカメラ側の取扱説明書も合わせてご覧ください。

注意

- カメラは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- フロントカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。必ず目視で確認し、前方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用しながら目視で確認し、後方および周囲の安全を十分確保してください。
- 乗車人数・積載量により、車両が傾き画面のリアカメラガイドの示す位置と実際の路面上の距離・障害物との距離は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ドアが完全に閉まっていないとき
 - タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
 - 坂道など平坦でない道

リアカメラの映像

「リアカメラ接続」を「あり」に設定してください（318 ページ参照）。「あり」に設定すると、メニュー画面・AV ソースメニュー画面に **リアカメラ** スイッチが表示されます。また、RCA ケーブルで接続を行う場合は「汎用カメラ接続」を「リアカメラ」に設定してください（318 ページ参照）。

- ▶ HCE-C200R シリーズ接続時には、自動的に「リアカメラ接続」が「あり」に設定されます。
- ▶ 「汎用カメラ接続」を「リアカメラ」に設定した場合は、「ルームカメラ」または「サイドカメラ」を使用することはできません。

後方の映像を映す

- 1 シフトレバーをバックギア (R) に入れます。
後方の映像が自動で画面に映し出されます。
- 2 シフトレバーをバックギア (R) 以外に入れます。
通常画面に戻ります。

リアカメラの映像を確認する

リアカメラの映像を表示して確認することができます。

- 1 **リアカメラ** にタッチします。



リアカメラの映像が表示されます。

- 2 元の画面に戻るには **X閉じる** にタッチします。

リアカメラ操作

HCE-C200R シリーズの映像パターンを切りかえる

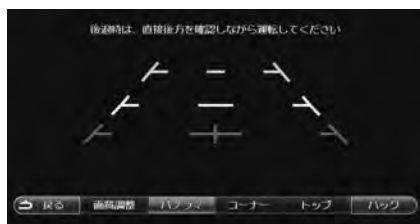
HCE-C200R シリーズ接続時、本機から映像パターンを切りかえ操作を行うことができます。

- ▶ 映像パターンについて詳しくは、HCE-C200R シリーズの取扱説明書を参照してください。

- 1 リアカメラ映像表示中に画面にタッチします。

映像パターン切りかえスイッチが画面に表示されます。

- 2 **パノラマ** **コーナー** **トップ** **バック** のいずれかにタッチします。



映像パターンが切りかわります。

- 3 元の画面に戻るには **戻る** にタッチします。

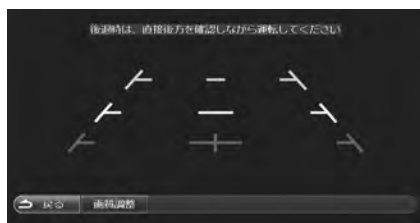
カメラ画質を調整する

カメラ画像の画質を調整します。

- 1 カメラ映像表示中に画面にタッチします。

画質調整スイッチが画面に表示されます。

- 2 **画質調整** にタッチします。



画質調整モードになります。

3 各項目の **設定** にタッチして、設定を行います。



■ 映像の表示輝度を調整する

設定項目：ライブコントラスト

設定値：OFF/弱/強

- 弱または強に設定すると、周囲の明るさに応じて画像の明暗を自動的に調整します。

■ 映像の明るさを調整する

設定項目：明るさ

設定値：-15～+15

- -15～+15の間で明るさを調整します。最大値時(+15)はMAX、最小値時(-15)はMINと表示されます。

■ 映像の色の濃さを調整する

設定項目：色の濃さ

設定値：-15～+15

- -15～+15の間で色の濃さを調整します。最大値時(+15)はMAX、最小値時(-15)はMINと表示されます。

■ 映像コントラストを調整する

設定項目：コントラスト

設定値：-15～+15

- -15～+15の間でコントラストを調整します。最大値時(+15)はHIGH、最小値時(-15)はLOWと表示されます。

4 元の画面に戻るには **戻る** にタッチします。

ガイド表示の ON/OFF

TOPVIEW マルチカメラシステム (HCE-C500 シリーズ) と組み合わせの場合、必ず「OFF」に設定してください。

1 カメラ映像表示中に画面にタッチします。

画質調整スイッチが画面に表示されます。

2 **画質調整** にタッチします。 画質調整モードになります。

3 **ガイド OFF** にタッチします。

ガイド表示が消えます。

- 再びガイド表示 ON するには、**ガイド ON** にタッチします。

コーション表示位置の調整

画面に表示される注意文の位置を、画面上か下に移動することができます。

1 カメラ映像表示中に画面にタッチします。

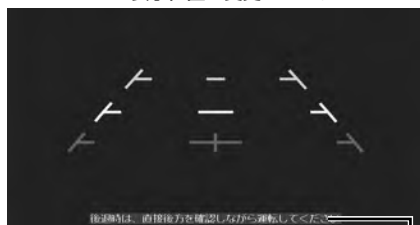
画質調整スイッチが画面に表示されます。

2 **画質調整** にタッチします。

画質調整モードになります。

3 **コーション↑** または **コーション↓** にタッチします。

コーションの表示位置が変更されます。

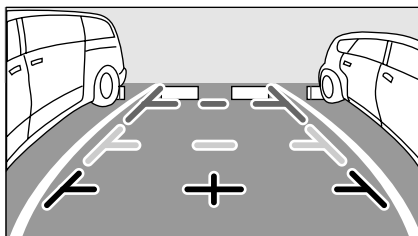


リアカメラガイドについて

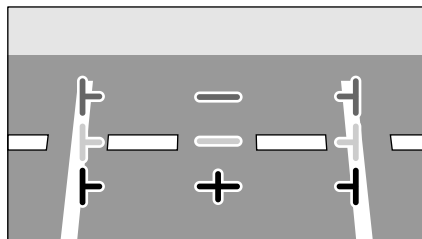
リアカメラガイド線について

映像パターンによってガイド線の表示の仕方が異なります。

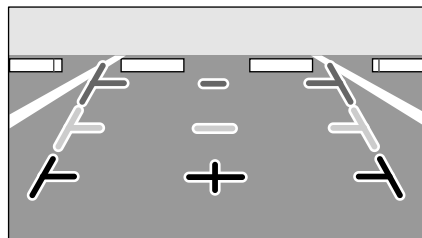
<パノラマビュー表示例>



<グラウンドビュー表示例>



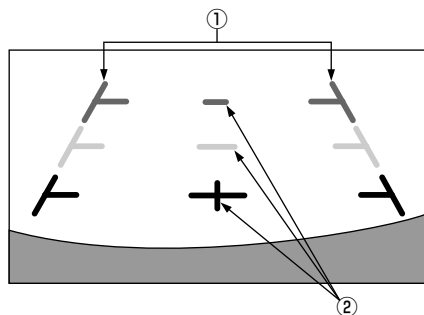
<バックビュー表示例>



- ▶ 「コーナー」に設定されている場合は、ガイド線は表示されません。
- ▶ ガイド線の調整は、「リアカメラのガイドを調整する」(318 ページ)で行うことができます。

■ 表示マークの見方

バックギアにシフトすると、モニター画面がリアカメラの映像に切りかわり、車幅や距離感覚を補うガイドが表示されます。



- ① **車幅延長マーク (手前より赤色、黄色、緑色)**
車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。
車の後方 (バンパー後端から) の距離を示します。
 - ハンドル操作と連動しません。
 - それぞれの中心位置で、約 0.5m 先 (赤色)・約 1m 先 (黄色) / 約 2m 先 (緑色) を示します。
- ② **距離目安マーク**
車の後方 (バンパー後端から) の距離を示します。
 - ハンドル操作と連動しません。

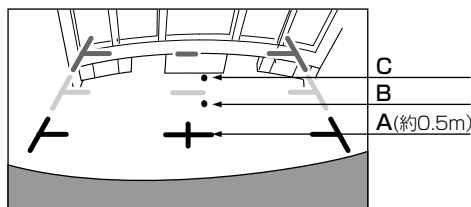
- それぞれの中心位置で、約 0.5m 先 (赤色)・約 1m 先 (黄色) / 約 2m 先 (緑色) を示します。

- ▶ 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- ▶ カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ▶ 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ▶ 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

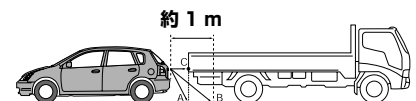
■ 距離目安マーク

距離目安マークは路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

<画面>



< A,B,C の位置 >

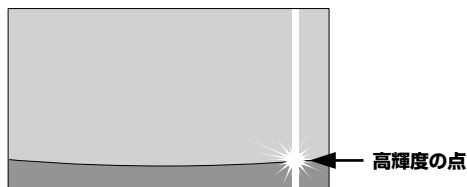


画面では、距離目安マークにより約 1m 先 (B の位置) にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。

画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A、C より遠い距離にあります。

- ▶ 車幅延長マークは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し込まれた場合は実際の距離感とは異なります。
- ▶ 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - 暗いところ。(夜間など)
 - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。(雨天時など)
 - カメラ付近に異物 (泥など) がついたとき。
 - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - CCD カメラ接続時は、高輝度の点 (車体に反射した太陽など) がカメラに映ると、CCD カメラ特有のスミヤ現象※が発生することがあります。

<画面の状況>



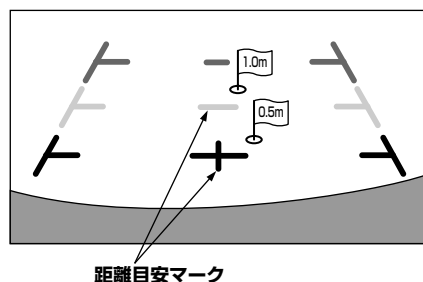
※ **スミヤ現象**：高輝度の点（車体に反射した太陽など）がカメラに映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

画面と実際の路面との誤差

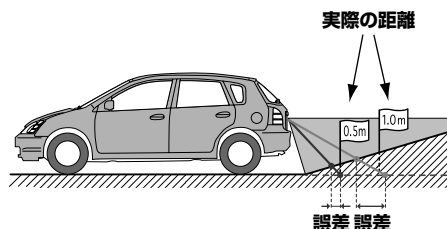
以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。（イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します）

■ 急な上り坂が後方にあるとき（例）

<画面>



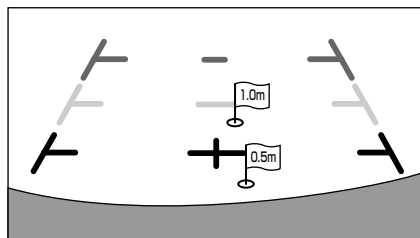
<車の状況>



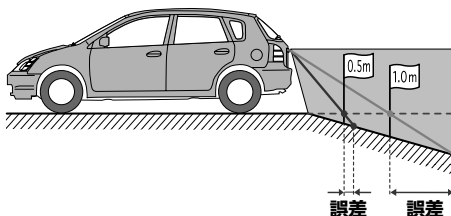
距離目安マークは、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安マークが表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ 急な下り坂が後方にあるとき（例）

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安マークが表示されます。

下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

フロントカメラの映像

「フロントカメラ接続」を「あり」に設定してください（316 ページ参照）。「あり」に設定すると、地図画面やメニュー画面などに **フロントカメラ** スイッチが表示されます。

- ▶ HCE-C200FD シリーズ接続時には、自動的に「フロントカメラ接続」が「あり」に設定されます。
- ▶ 本機の起動画面では、フロントカメラ映像は表示されません。

前方の映像を写す

■ 車の速度と連動して表示する

お車が減速し、停止前（8km/h くらい）になると、自動的にフロントカメラの映像が本機に表示されます。（「フロントカメラ速度連動表示」が「する」に設定されている場合。317 ページ参照。）

■ 地点を登録してカメラ映像を表示する

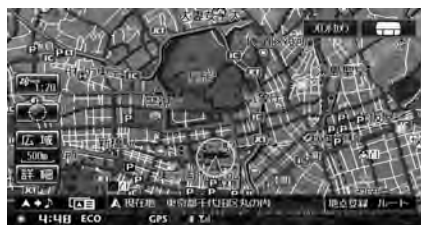
あらかじめフロントカメラの映像を表示したい地点を登録しておく、その地点では自動的にフロントカメラの映像が本機に表示されます。（「フロントカメラ地点連動表示」が「する」に設定されている場合。317ページ参照。）

- ▶ シフトレバーがバックギア（R）に入ってリアカメラ映像を表示している場合には、フロントカメラ映像は表示されません。
- ▶ **×閉じる** にタッチすると元の画面に戻ります。
または **開/閉/TILT**、**▽**、**△** 以外の本体スイッチを押すと、フロントカメラ画像は解除されます。

フロントカメラの映像を確認する

フロントカメラの映像を表示して確認することができます。

1 **フロントカメラ** にタッチします。



フロントカメラの映像が表示されます。

2 元の画面に戻るには **×閉じる** にタッチします。

フロントカメラ操作

HCE-C200FD シリーズの映像パターンを切りかえる

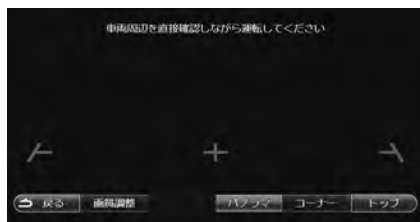
HCE-C200FD シリーズ接続時、本機から映像パターンを切りかえ操作を行うことができます。

- ▶ 映像パターンについて詳しくは、HCE-C200FD シリーズの取扱説明書を参照してください。

1 フロントカメラ映像表示中に画面にタッチします。

映像パターン切りかえスイッチが画面に表示されます。

2 **パノラマ** **コーナー** **トップ** のいずれかにタッチします。



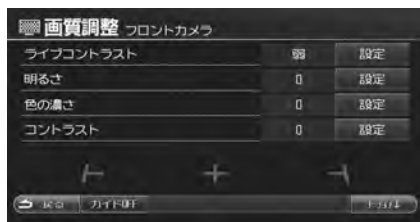
映像パターンが切りかわります。

3 元の画面に戻るには、**戻る** にタッチしたあと **×閉じる** にタッチします。

画質の調整、ガイド表示の ON/OFF 設定、コーション表示位置の調整について

フロントカメラの画質調整、ガイド表示の ON/OFF 設定、コーション表示位置の調整は、リアカメラ接続時と同様に操作することができます。

操作方法につきましては「カメラ画質を調整する」（183ページ）、「ガイド表示の ON/OFF」（184ページ）、「コーション表示位置の調整」（184ページ）を参照してください。



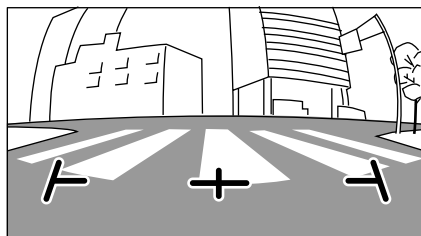
- ▶ TOPVIEW マルチカメラシステム（HCE-C500 シリーズ）と組み合わせの場合、ガイド表示の設定は必ず「OFF」に設定してください。

フロントカメラガイドについて

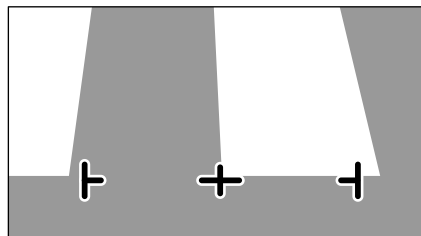
フロントカメラガイド線について

映像パターンによってガイド線の表示の仕方が異なります。

<パノラマビュー表示例>

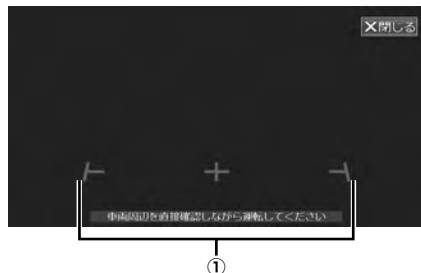


<グラウンドビュー表示例>



- ▶ 「コーナー」に設定されている場合は、ガイド線は表示されません。
- ▶ ガイド線の調整は、「フロントカメラのガイドを調整する」(316 ページ)で行うことができます。

■ 表示マークの見かた



① 車幅マーク

車幅の目安を示します。

- ハンドル操作と連動しません。
- 中心位置で、約 0.5m 先を示します。

- ▶ 車や路面の状況により、写る範囲は異なることがあります。
- ▶ カメラに写る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは写りません。
- ▶ 前方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ▶ 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

ルームカメラ / サイドカメラの映像

ルームカメラ / サイドカメラを接続するときは「汎用カメラ接続」を「ルームカメラ」または「サイドカメラ」に設定してください (318 ページ参照)。

設定すると、メニュー画面・AV ソースメニュー画面に **ルームカメラ** **サイドカメラ** スイッチが表示されます。

ルームカメラ / サイドカメラの映像を確認する

ルームカメラ / サイドカメラの映像を表示して確認することができます。

1 **ルームカメラ** または **サイドカメラ** にタッチします。



ルームカメラ / サイドカメラの映像が表示されます。

2 元の画面に戻るには **×閉じる** にタッチします。

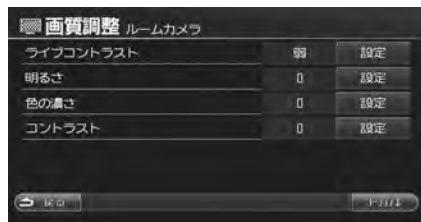
- ▶ **×閉じる** にタッチすると元の画面に戻ります。または **開 / 閉**・**TILT**、**▽**、**△** 以外の本体スイッチを押すと、カメラ画像は解除されます。

ルームカメラ / サイドカメラ操作

画質の調整、コーション表示位置の調整について

ルームカメラ / サイドカメラの画質調整、コーション表示位置の調整は、フロントカメラ接続時と同様に操作することができます。

操作方法につきましては「カメラ画質を調整する」(183 ページ)、「コーション表示位置の調整」(184 ページ)を参照してください。



リアビジョンについて

リアビジョン連動機能

リアビジョン（リアモニター）接続時の映像出力、音声出力に関する操作を行います。リアビジョン連動機能を使用するには、「リアビジョン映像出力の設定」（315 ページ）を「する」に設定してください。

リアビジョン操作は次の画面から行います。それぞれの操作について詳しくは、該当項目を参照してください。



リアビジョン画面を表示する

1 ソース / ・ POWER スイッチを押します。

AV ソースメニュー画面が表示されます。

2 **リアビジョン** にタッチします。



リアビジョン画面が表示されます。

① サウンド設定

1 **前席のみ** **後席のみ** **前後座席** のいずれかにタッチします。

前席のみ： フロントスピーカーのみ音声を出します。後席でお子さんが寝ているとき等に使用してください。

後席のみ： リアスピーカー / サブウーファーのみ音声を出します。後席モニターで視聴中のソースを、前席では聞かないときに使用してください。

前後座席： 設定されている全てのスピーカーから出力されます。

2 **完了** にタッチします。

▶ **前席のみ** または **後席のみ** を選択中は、音質調整操作を行うことはできません。また、設定した音質調整は無効になります。音質調整操作については、「音質調整」（334 ページ）を参照してください。

▶ 「後席のみ」に設定した場合でも、ナビ音声案内 / 電話 / 操作音はフロントスピーカーから出力されます。

②

フロントビジュアルを設定する

設定完了後に本機に表示される画面（フロントビジュアル）を設定します。

1 **ナビ** または **AV** にタッチします。

2 **完了** にタッチします。

本機にナビ画面またはオーディオ・ビジュアルソース画面が表示されます。

③

リアビジュアルの表示

リアビジョンに表示されている映像がリアビジュアルウィンドウで確認できます。

- ▶ 走行中は安全のため、リアビジュアルウィンドウに映像は表示されません。リアビジョン（リアモニター）では表示されます。
- ▶ リアビジョンに出力されるソースは以下の通りです。
 - DVD ビデオ
 - DVD オーディオ (VCAP 設定時)
 - DVD-VR
 - iPod/iPhone（ビデオファイル再生時）
 - 地上デジタルテレビ
 - 外部機器

また、上記映像ソース以外は壁紙が表示されます。

基本操作

❖ オーディオ・ビジュアルソース基本操作	194
オーディオ・ビジュアルソースを切りかえる.....	194
オーディオ・ビジュアルソースメイン画面を表示する	194
オーディオ・ビジュアルソースを OFF にする	195
オーディオ音量の調整	195
一時的に音量を下げる（ミュート）.....	195
❖ 本機対応の圧縮フォーマットについて	196
MP3/WMA/AAC について	196

オーディオ・ビジュアルソース基本操作

オーディオ・ビジュアルソースを切りかえる

- 1 **ソース / ・ POWER** スイッチを押します。

AV ソースメニュー画面が表示されます。



- 2 希望のオーディオ・ビジュアルソースにタッチします。

選んだソースのメイン画面が表示されます。

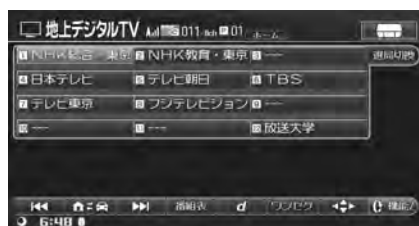
オーディオ・ビジュアルソースメイン画面を表示する

ナビゲーションモード時などに、素早くオーディオ・ビジュアルソースのメイン画面を表示します。

- 1 **AV / ・ AUDIO OFF** スイッチを押します。

現在のオーディオソースメイン画面が表示されます。

<表示例>



情報アイコン表示について

AV メイン画面、ナビ地図画面インジケーター、マルチゲート画面に、下記のような情報アイコンが表示されます。

地上デジタル TV		編成チャンネル名 / 物理チャンネル名
		放送局名
		プリセット No.
ラジオ		周波数
		放送局名
		プリセット No.
DVD		タイトル No.
		チャプター No.
		グループ No.
		トラック No.
		プログラム No./ プレイリスト No.、プログラム名 / プレイリスト名
		ディスク名
		レコーディング情報
		再生中の曲番号
CD		再生中の曲番号
		再生中の曲番号
MP3/WMA/AAC/HDD AUDIO/SD メモリーカード /USB メモリ		再生中の曲番号
		再生中の曲番号
		再生中の曲番号
		再生中の曲番号
		再生中の曲番号
iPod		再生中の曲番号
		再生中の曲番号
		再生中の曲番号
		再生中の曲番号

オーディオ・ビジュアルソースを OFF にする

本機はナビゲーション画面を表示中も、選択したオーディオ・ビジュアルソースの音声出力されます。オーディオ・ビジュアルソースを OFF にすると音声出力されません。

1 AV / AUDIO OFF スイッチを 2 秒以上押します。

オーディオ・ビジュアルソースが OFF になります。

2 AV OFF モードを解除するには、再度 AV / AUDIO OFF スイッチを 2 秒以上押します。

元のモードで ON になります。

メニュー画面から OFF にする

1 ソース / POWER スイッチを押します。

AV ソースメニュー画面が表示されます。

2 AV OFF にタッチします。



オーディオ・ビジュアルソースが OFF になります。

- ▶ オーディオ・ビジュアルソースを ON にするには、上記手順1で希望のソースにタッチしてください。または、ディスクの挿入を行うと自動的にソースが切りかわります。

オーディオ音量の調整

オーディオ・ビジュアルソースの音量を調整します。

1 ▲ または ▼ を押します。

- 調整レベルは 0 ～ 35 です。

▲ : 音量が大きくなります。

▼ : 音量が小さくなります。

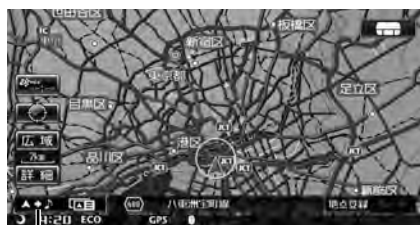
- ▶ 上記操作では、ナビゲーションの案内音量は変わりません。案内音量を調整するには「案内音量を調整する」(333 ページ) を参照してください。
- ▶ 本機はソース毎に基準となる音量レベルを記憶することができます。(「ソース間の音量レベルを調整する」351 ページ参照)

- ▶ 音が完全に出る前に音量操作を行った場合、操作が反映されない場合があります。
- ▶ ナビゲーション音声案内割り込み中に、オーディオ音量を調整すると、その音量が音声案内割り込み時のオーディオ音量として設定されます。設定しておく、ナビゲーション音声案内割り込み時に、自動的にその設定したオーディオ音量値と割り込み画面になり、割り込みが解除されると、もとのオーディオ音量と画面に戻るようになります。ただし、設定した値より小さいオーディオ音量で聞いていた時に割り込みが入ると、割り込み時のオーディオ音量は、その小さいオーディオ音量に再設定されます。(ナビゲーション音声案内が割り込まれた場合、割り込む前のオーディオ音量より大きくなる事はありません。) また、上記設定でオーディオ音量が変化するのはフロントスピーカーのみになります。

一時的に音量を下げる (ミュート)

本機のミュート機能は現在地画面で操作することができます。

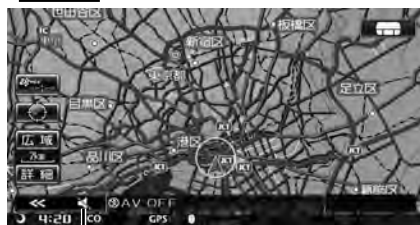
1 現在地画面で、操作スイッチをオーディオ操作モードに切りかえます。



切りかえスイッチ

- ▶ 「ナビ操作 / オーディオ操作切りかえスイッチ」(44 ページ) を参照してください。

2 MUTE スイッチにタッチします。



MUTE スイッチ

瞬間に音量が下がります。

- ミュート中は音量表示が点滅します。

3 ミュートを解除するには、再度 MUTE スイッチにタッチします。

本機対応の圧縮フォーマットについて

MP3/WMA/AAC について

注意

- 個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3/WMA/AAC データ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3 とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体の ISO と IEC の共同活動機関である MPEG が定めた圧縮規格です。

MP3 は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CD クオリティに近い音質を実現しても約 1/10 の圧縮率を得ることができます（サンプリング周波数 44.1kHz、ビットレート 128kbps の場合）。このような高圧縮率を実現している MP3 フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMA とは？

正式には「Windows Media™ Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMA は音声データを MP3 よりも高い圧縮率（約半分）で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらに CD 同等の音質を保ちます。

AAC とは？

AAC とは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。本機では iTunes® AAC ファイル（著作権保護されていない）のみ対応しています。

ファイルの規格について

●対応規格

- MP3 : MPEG-1 Audio Layer III
MPEG-2 Audio Layer III
MPEG-2.5
- WMA : Ver7

●対応サンプリング周波数

- MP3 : 8kHz ~ 48kHz
- WMA : 8kHz ~ 48kHz
- AAC : 8kHz ~ 48kHz

●対応ビットレート

- MP3 : 8kbps ~ 320kbps
- WMA : 8kbps ~ 320kbps
- AAC : 16kbps ~ 320kbps

●最大対応サイズ

512MB

- ※ VBR に対応しています。
- ※ フリーフォーマットには対応していません。
- ※ MPEG1、2、2.5 でビットレートが異なります。
- ※ 低ビットレートの MP3/WMA/AAC ファイル再生時は、十分な音質が得られない場合があります。

ID3 タグ / WMA タグについて

ID3 タグは、ID3 Tag v1.0、v1.1、v2.2、v2.3、v2.4 に対応しています。WMA タグは、Ver.1.x に対応しています。

MP3/WMA/AAC ファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル名（曲名）、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます（最大 64 文字表示することができます）。

MP3/WMA/AAC を作成するには

MP3/WMA/AAC ファイルを用意し、メディアに書き込みます。

- 本機で認識できるフォルダ数の上限
ディスク / SD メモリーカード : 256 個
USB メモリ : 1024 個
- 本機で認識できるフォルダ階層数の上限
8 階層
- 本機で再生可能なファイル数の上限
ディスク / SD メモリーカード : 999 個*
USB メモリ : 15000 個*

- ※ 対応拡張子のファイルであれば、本機対応のフォーマットでなくてもカウントされます。

- ▶ 収録ファイル数が多いと動作開始まで時間がかかります。そのような場合には、ファイル数を少なくして作成してください。
- ▶ 対象拡張子のファイルが存在しないフォルダはカウントされません。

使用できるメディアについて

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、SD メモリーカード、USB メモリです。

使用できるディスクのフォーマットについて

ISO9660 レベル 1、レベル 2 でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660 規格では、フォルダのディレクトリ階層（最大 8 階層）やフォルダ / ファイル名の文字数、フォルダ / ファイル名で使用できる文字（A～Z、0～9、_（アンダスコア）、日本語・シフト JIS（ただし、シフト JIS には非対応文字も存在します））などの制限があります。

また、Joliet などの ISO9660 準拠であれば、再生は可能です。ただし、ファイル名 / フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

日本語を含むフォルダ名 / ファイル名を使用することもできますが、この場合は Joliet 形式（Microsoft 社が提唱している CD-R の論理フォーマット）で書き込まないと認識できない場合があります。

ファイル名について

本機で再生可能な MP3 ファイルの拡張子は“mp3”です。WMA ファイルの拡張子は“wma”です（WMA は Ver.7.x、8.x、9.x に対応）。AAC ファイルの拡張子は“m4a”です。ファイル名の最大文字数は 256 文字（拡張子含む）です。

マルチセッションについて

マルチセッションには対応しておりません。

“Track at once” で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

※ 音楽データ（CD-DA）と MP3/WMA/AAC データが混在するディスクでは、ファーストセッションが CDDA の場合は CD-DA のみ再生します。

MP3/WMA/AAC の再生について

- MP3/WMA/AAC ファイルが収録されているメディアを挿入すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA/AAC ファイルを再生します。ファイルをチェックしている間は、音は出ません。
- DRM（著作権管理 Digital Rights Management）システムの WMA ファイル、iTunes Music Store で購入した DRM フリーでない AAC ファイル、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルは、本機では再生できません。
- 作成したライティングソフト / 変換ソフトによっては再生できない場合があります。

- AAC ファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機では、Ver. 7.1 までの iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルのみの再生に対応しています。

MP3/WMA/AAC の再生時間表示について

MP3/WMA/AAC ファイルの書き込み状況により、再生時間が一致しないことがあります。

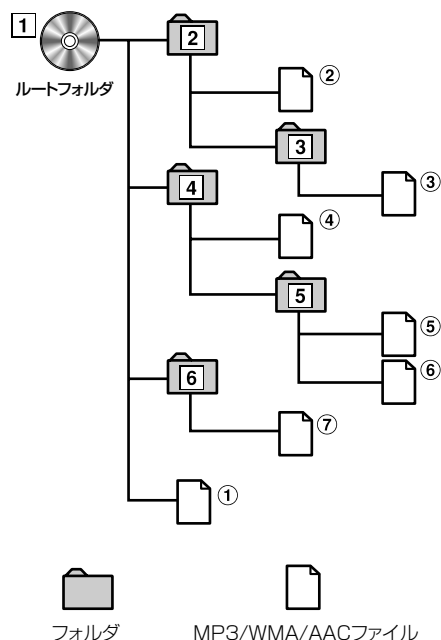
VBR の早送り / 早戻し 動作をすると再生時間が一致しないことがあります。

MP3/WMA/AAC ファイル、フォルダの演奏順について（ディスク）

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです（実際に表示される番号ではありません）。



地上デジタルテレビ

❖ ご使用になる前に	200
B-CAS（ビーカス）カードを挿入する	200
初期設定を行う	201
❖ 画面の見かた	202
操作画面を表示する	202
❖ 基本操作	203
地上デジタルテレビを表示する	203
手動で放送局を選ぶ	203
自動で放送局を選ぶ	203
ホームモード / お出かけモードを切りかえる	204
チャンネルを自動で記憶する（お出かけスキャン）	204
地上デジタル放送とワンセグ放送を切りかえる	204
プリセット操作	204
放送局を切りかえる	205
操作スイッチを切りかえる	205
モードを切りかえる	206
サービスを切りかえる	207
番組詳細情報を見る	207
❖ データ放送を見る	208
データ放送画面を表示する	208
データ放送画面を操作する	208
❖ 番組表を操作する	209
番組表を表示する	209
前日の番組表を表示する	210
翌日の番組表を表示する	210
地上デジタル放送とワンセグの番組表を切りかえる	210
詳細情報を見る	210
サービス一覧を表示する	210
放送局を切りかえる	210
❖ 地上デジタルテレビ設定	211
設定画面 1 を表示する	211
文字スーパーを表示する	211
緊急警報放送(EWS)を受信する	212
地上デジタル放送 / ワンセグ自動切りかえ	212
放送局自動選局の設定	212
自動お出かけスキャンを設定する	213
ホームモードスキャンを実行する	213
設定内容を初期化する	213
設定画面 2 を表示する	214
ホームの地域を設定する	214
ホームの県域を設定する	215
ホームの郵便番号を設定する	215
B-CAS（ビーカス）カードの情報を見る	215

ご使用になる前に

本機で地上デジタルテレビを見るには、B-CAS カードをセットしてから初期設定を行う必要があります。

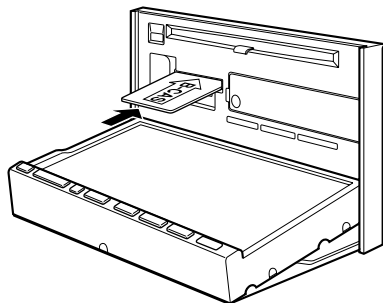
B-CAS (ビーキャス) カードを挿入する

B-CAS カードを挿入する前に

- 付属の B-CAS (ビーキャス) カードは、地上デジタル放送の視聴の際に必要です。必ず本体に挿入しておいてください。
- B-CAS カードの「使用許諾契約約款」をよくお読みの上、お客様ご自身でパッケージを開封し、B-CAS カードを本機に正しく挿入してください。
- B-CAS カードが貼りつけてあった台紙は、大切に保管しておいてください。B-CAS カスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。
- B-CAS カード取り扱いの詳細は、カードが貼りつけてあった台紙の説明をご覧ください。
- B-CAS カードは IC チップを組み込んでいます。取り扱いには十分注意してください。
 - ・ 折り曲げたり、変形させない。
 - ・ 水をかけたり、濡れた手でさわらない。
 - ・ 炎天下の車内や厳冬期の車内には、長時間放置しない。
 - ・ 分解加工は行わない。
- 付属の B-CAS カードは本機でのみご使用ください。ほかの製品には使用しないでください。
- B-CAS カードについてのお問い合わせは
(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター TEL 0570 - 000250

B-CAS カードを挿入する

- 1 B-CAS カードの表面を上にして本体に挿入します。

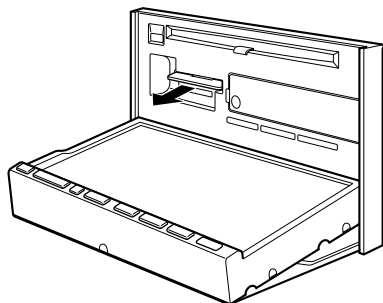


奥まで確実に、挿入してください。

- ▶ B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。

B-CAS カードを取り出す

- 1 挿入されている B-CAS カードを引き抜きます。



- ▶ 通常、B-CAS カードを取り出す必要はありません。B-CAS カード破損などの場合以外は取り出さないでください。

初期設定を行う

初めて本機を地上デジタルテレビモードにした時には、初期設定画面が表示されます。お住まいの地域を設定するとホームモードスキャンが行われ、受信できるチャンネルを自動的に記憶します。

- 1 **ソース / ・ POWER** スイッチを押します。

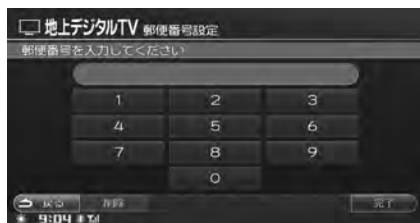
AV ソースメニュー画面が表示されます。

- 2 **地上デジタルTV** にタッチします。



地上デジタルテレビモードになり、初期設定画面が表示されます。

- 3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**完了** にタッチします。



地域設定画面が表示されます。

- 4 お住まいの地域のタブにタッチして切りかえ、**地域名**にタッチします。



- 5 **完了** にタッチします。
県域設定画面が表示されます。

- 6 お住まいの地域のタブにタッチして切りかえ、**県域**にタッチします。

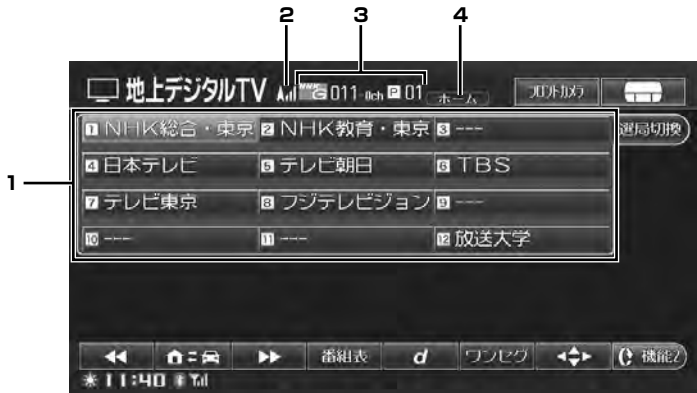


- 7 **ホームスキャン** にタッチします。
ホームモードスキャンが実行されます。
スキャンしたチャンネルはホームモード（お住まいの地域のモード）のプリセット番号に自動的に記憶されます。

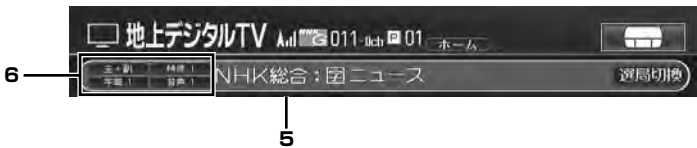
▶ ホームモードスキャンはしばらく時間がかかります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。

画面の見かた

地上デジタルテレビの操作画面は以下のように表示されます。



<プリセット画面非表示時>



1 プリセットスイッチ

2 受信状態表示

表示	圏外				
受信状態	圏外	微弱	弱	中	強

3 チャンネル番号 / プリセット番号表示

4 状態インジケータ表示

インジケータ	状態
ワンセグ	ワンセグ放送受信時
SEEK	シーク実施中
SCAN	スキャン実施中
ホーム	ホームモード
お出かけ	お出かけモード

5 放送局名表示 / 番組情報表示

6 モード表示

「モードを切りかえる」(206 ページ) を参照してください。

地上デジタル放送受信状態について

- ▶ 本機の受信エリアは、固定受信（家庭用受信機）に比べて狭くなる場合があります。
- ▶ 受信状態が悪い場合、映像および音声が出力されない場合があります。
- ▶ 高速走行時は受信状態が悪くなる場合があります。

注意

- 安全上の配慮から、停車しているときにだけ地上デジタルテレビをご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。

操作画面を表示する

1 地上デジタルテレビ画面にタッチします。

操作画面が表示されます。



- しばらく（約 6 秒）操作しない場合は、元の画面に戻ります。または **AV / AUDIO OFF** を押しても元の画面に戻ります。

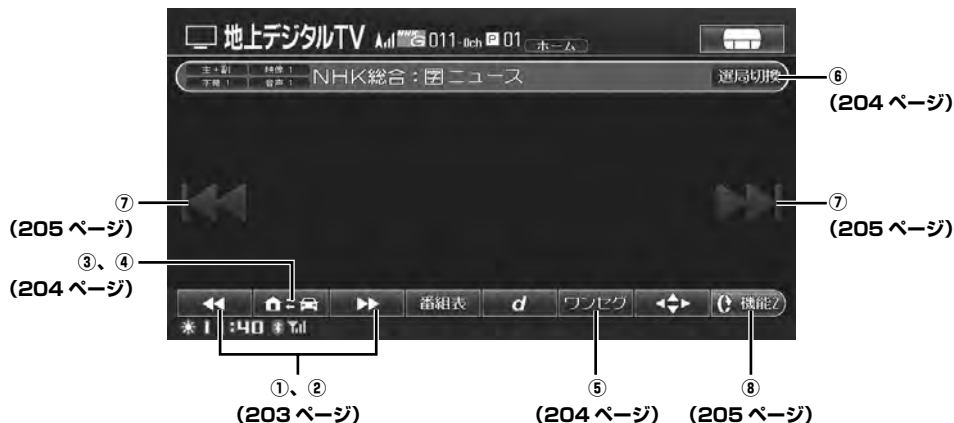
基本操作

ここでは基本的な操作の説明を行います。

2つの画面を例に説明しています。206ページも参照してください。また、それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

- データ放送、番組表、設定操作については、「データ放送を見る」（208ページ）、「番組表を操作する」（209ページ）、「地上デジタルテレビ設定」（211ページ）を参照してください。

<表示例1>



地上デジタルテレビを表示する

- 1 ソース / ・POWER スイッチを押します。
AV ソースメニュー画面が表示されます。
- 2 地上デジタルTV にタッチします。



地上デジタルテレビを表示します。

【◀ または ▶】…… ① 手動で放送局を選ぶ

- 1 ◀ または ▶ にタッチしてチャンネルを選びます。
◀ : チャンネルが1つずつダウンします。
▶ : チャンネルが1つずつアップします。

- ▶ 1つのチャンネルに複数の番組が放送されている場合は、それぞれの番組を選ぶことができます。「サービスを切りかえる」（207ページ）を参照してください。

【◀ または ▶】…… ② 自動で放送局を選ぶ

- 1 ◀ または ▶ にタッチし続けます。
SEEK インジケーターが画面上部に表示され、自動的にチャンネルを探し出し受信します。

- ▶ 途中で中止するには、◀ または ▶ にタッチします。

【】 ③

ホームモード / お出かけモード を切りかえる

1 にタッチします。

タッチすることによりモードが切りかわります。

「ホーム」モード ↔ 「お出かけ」モード

「ホーム」モード :

お住まいの地域のチャンネルが設定されているモードです。

「お出かけ」モード :

お出かけした際に、その地域のチャンネルを記憶するのに利用します。

【】 ④

チャンネルを自動で記憶する (お出かけスキャン)

お出かけモードに現在受信できるチャンネルを自動的に登録します。一度のスキャン操作で、地上デジタル放送 / ワンセグ放送両方のチャンネルを登録します。

1 に 2 秒以上タッチします。

お出かけスキャンを開始します。

- スキャンが終了すると、一番小さなプリセット番号に登録されたチャンネルが受信されます。

- ▶ 一定時間チャンネルを受信できない場合、自動でお出かけスキャンを行うように設定することができます。「自動お出かけスキャンを設定する」(213 ページ)を参照してください。
- ▶ お出かけスキャンはしばらく時間がかかります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。
- ▶ スキャンしたチャンネルは、放送波によりあらかじめ指定されたプリセット番号へ登録されるため、登録されないプリセット番号がある場合があります。登録されていないプリセット番号には、「— — —」と表示されます。
- ▶ 放送局にチャンネルが複数ある場合、代表チャンネルをプリセット番号へ登録します。代表チャンネル以外のチャンネルは、「手動で放送局を選ぶ」(203 ページ)操作で選んでください。
- ▶ 受信状況によっては、手動で受信可能なチャンネルでも登録できない場合があります。
- ▶ スキャンを中断するには **中止** にタッチします。中断すると、スキャン開始する前のチャンネルを受信します。
- ▶ 最大 12 チャンネルまで登録されます。
- ▶ 同じ放送局が複数の周波数チャンネルで放送されている場合は、受信感度のよいチャンネルのみを登録します。
- ▶ 同じ地域で登録を行っても、受信状況により登録されるチャンネルが異なることがあります。

- ▶ すでに登録されているチャンネルがある場合は、新しく登録した内容に書きかえられます。
- ▶ 受信状況により放送局を受信できない場合は、それまで登録されていたチャンネルが上書きされて何も登録されていない状態になります。
- ▶ ワンセグ放送のみ受信可能なエリアでも、放送局がある場合はチャンネルを登録します。登録したチャンネルは、ワンセグ放送へ切りかえることで視聴可能です。

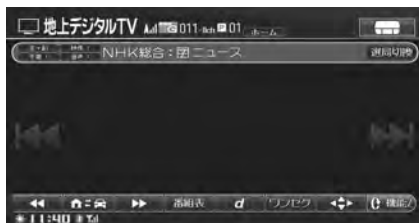
【ワンセグ】 ⑤

地上デジタル放送とワンセグ放送を切りかえる

1 地上デジタル放送中に **ワンセグ** にタッチします。

ワンセグ放送に切りかわります。タッチスイッチが **地上 D** に変わります。

2 ワンセグ放送中に **地上 D** にタッチします。



地上デジタル放送に切りかわります。

- ▶ 「地上デジタル放送 / ワンセグ自動切りかえ」(212 ページ参照) が「する」設定時は、本操作に関わらず自動で切りかわります。

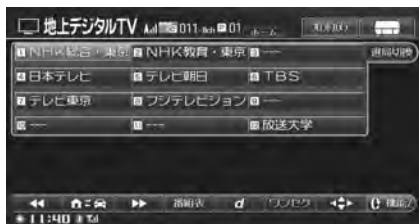
【選局切換】 ⑥

プリセット操作

プリセット画面を表示する

1 **選局切換** にタッチします。

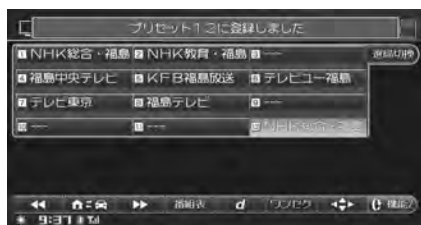
操作画面が切りかわり、プリセットスイッチが表示されます。



2 プリセットスイッチの表示をやめるには、**選局切換** にタッチします。

チャンネルを手動で記憶する (プリセット)

- 1 記憶したいチャンネルを受信します。
- 2 プリセット画面で、記憶させたいプリセットスイッチにメッセージが表示されるまでタッチし続けます。



チャンネルがタッチしたプリセットスイッチに記憶されます。

- ▶ 「ホーム」モード、「お出かけ」モード、それぞれに12局ずつプリセットすることができます。
- ▶ すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

記憶（プリセット）したチャンネルを呼び出す

あらかじめ記憶（プリセット）されているチャンネルを受信します。

- 1 プリセット画面で、受信したいチャンネルにタッチします。
選んだチャンネルが受信されます。

【**◀** または **▶**】 … ⑦

放送局を切りかえる

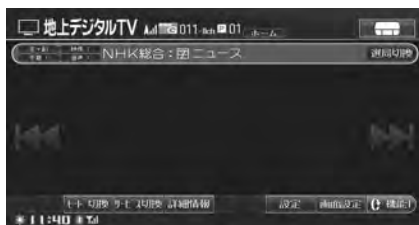
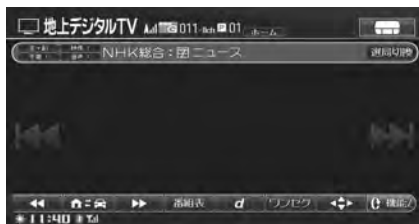
プリセット番号で放送局を切りかえることができます。

- 1 **◀** または **▶** にタッチします。
◀ : プリセット番号が1つずつダウンします。
▶ : プリセット番号が1つずつアップします。

【**機能2**】 …………… ⑧

操作スイッチを切りかえる

- 1 **機能2** にタッチします。
操作スイッチ2に切りかわります。
- 2 **機能1** にタッチします。
操作スイッチ1に切りかわります。





上画面のタッチスイッチが表示されていない場合は、**機能1** にタッチして操作スイッチを切りかえてください。

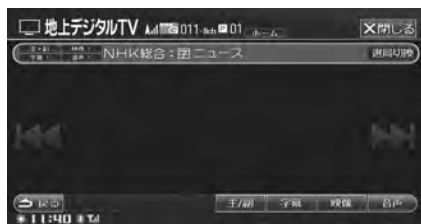
【モード切替】…………… ⑨

モードを切りかえる

視聴中の番組に音声多重放送がある場合の音声の切りかえや、字幕・映像・音声が多数ある場合の切りかえを行うことができます。

- 1 **モード切替** にタッチします。
モード切替画面が表示されます。

- 2 **主/副**、**字幕**、**映像**、**音声** の切りかえたい項目にタッチします。



タッチすることにより字幕・映像・音声切りかわります。

- **主/副**：音声多重放送の主音声 / 副音声を切りかえます。下記インジケータが表示されます。

主：主音声聴こえます。

副：副音声聴こえます。

主+副：主音声と副音声を聴くことができます。

- **字幕**：字幕が多数ある場合、切りかえることができます。OFFにも設定できます。下記インジケータが表示されます。
字幕 1 → 字幕 2 → (OFF) → 字幕 1
- **映像**：マルチビュー放送を受信している場合、3種類のアングルから好きな映像を選ぶことができます。下記アイコンが表示されます。
MultiMain → MultiSub 1 → MultiSub 2 → MultiMain
マルチビュー放送ではなく映像が多数ある場合、切りかえることができます。下記アイコンが表示されます。
映像 1 → 映像 2 → ……
- **音声**：音声が多数ある場合、切りかえることができます。下記アイコンが表示されます。
音声 1 → 音声 2 → ……

- ▶ 「音声」と「映像」は信号が1つの場合は、信号を切りかえることはできません。
- ▶ 「音声」と「映像」は、チャンネルを切りかえると設定内容が無効になり記憶されません。
- ▶ 「映像」はワンセグでは切りかえることはできません。

【 サービス切換 】 ⑩

サービスを切りかえる

1つのチャンネルで複数の番組を放映しているマルチ編成番組受信中は、下記の操作で番組を切りかえることができます。地上デジタル放送の場合は、データ放送に切りかえることもできます。

- 1 **サービス切換** にタッチします。
番組が切りかわります。

<切りかえ例>

■ 地上デジタル放送

番組 1 → 番組 2 → 独立データ放送 1 →
独立データ放送 2 → 番組 1

■ ワンセグ

ワンセグ放送 1 → ワンセグ放送 2 → ワンセグ放送 1

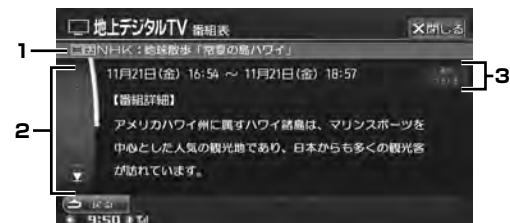
- ▶ 複数番組を放映していないチャンネル受信中は
サービス切換 にタッチすることはできません。

【 詳細情報 】 ⑪

番組詳細情報を見る

視聴中の番組の詳細な情報を見ることができます。

- 1 **詳細情報** にタッチします。
番組詳細情報を表示します。



- 1 放送局名 / 番組名
- 2 番組情報
- 3 番組情報インジケーター
<番組情報インジケーター一覧>

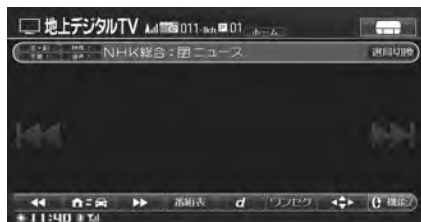
インジケーター	内容
HDTV	ハイビジョン放送
SDTV	標準画質放送
Multi	マルチビュー放送
字幕	字幕放送
音声多重	音声多重放送
サラウンド	サラウンド放送
ステレオ	ステレオ放送
複数映像	複数の映像を持つ放送
複数音声	複数の音声を持つ放送

データ放送を見る

現在受信中の番組がデータ放送を行っている場合、番組に連動したいろいろな情報を見ることができます。

データ放送画面を表示する

1 操作画面で **d** にタッチします。



データ放送画面が表示されます。

<表示例>

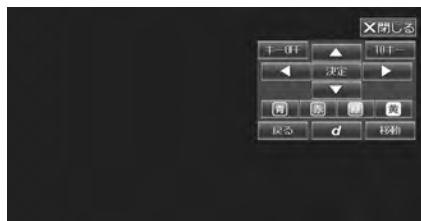


▶ 本機は視聴者参加型の双方向通信には対応しておりません。

データ放送画面を操作する

1 データ放送受信中に **移動** にタッチします。

データ放送操作スイッチが表示されます。



2 タッチスイッチにタッチして操作します。

- **移動** : 項目を選びます
- **青、赤、緑、黄** : 番組によってはカラーボタン（青、赤、緑、黄）が表示されます。画面に従ってカラーボタンにタッチして操作することができます。
- **移動** にタッチするとタッチスイッチの表示場所が変わります。
- **10 キー** : 10 キー画面が表示されます。数字にタッチして入力します。



- **戻る** : 前の項目に戻ります。
- **決定** : 項目を決定します。
- **キーOFF** : 操作スイッチ表示を OFF にします。キー OFF 画面で画面にタッチすると、操作スイッチ表示が ON になります。
- **d** : データ放送操作画面と受信画面を切りかえます。
- **X閉じる** : データ放送スイッチ表示を終了します。

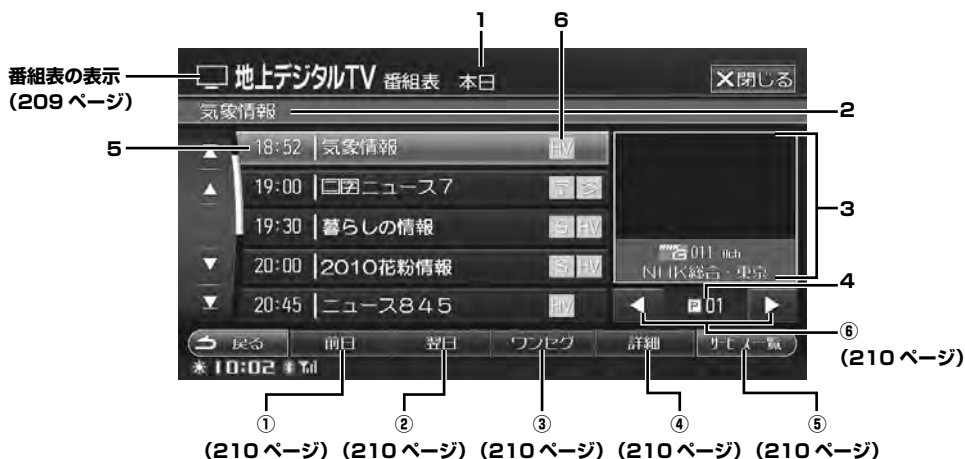
▶ ホームモードのときは、初期設定で設定されている地域にあった情報が配信されます。

番組表を操作する

番組表の見かたと操作の仕方を説明します。

それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

<表示例>



- 1 番組の日付
- 2 番組名
- 3 受信中の番組画面、チャンネル番号、放送局名称
- 4 プリセット放送局番号
- 5 放送開始時間 / 番組名
- 6 アイコン

アイコン	内容
MV	マルチビュー放送
映像	複数の映像を持つ放送
音声	複数の音声を持つ放送
字	字幕放送
多	音声多重放送
S	ステレオ放送
SS	サラウンド放送
HV	ハイビジョン放送
SD	標準画質放送

番組表を表示する

- 1 操作画面で **番組表** にタッチします。
番組表が表示されます。



【 前日 】 ①

前日の番組表を表示する

- 1 **前日** にタッチします。
前日の番組表が表示されます。

【 翌日 】 ②

翌日の番組表を表示する

- 1 **翌日** にタッチします。
当日以降の番組表が表示されます。
- ▶ 地上デジタルテレビ放送では最大で 8 日分の番組表、ワンセグ放送では当日分のみ・最大 10 番組分の番組表が配信されます。

【 ワンセグ 】 ③

地上デジタル放送とワンセグの番組表を切りかえる

- 1 地上デジタル放送中に **ワンセグ** にタッチします。
ワンセグ放送番組表に切りかわります。タッチスイッチが **地上D** に変わります。
- 2 ワンセグ放送中に **地上D** にタッチします。



地上デジタル放送番組表に切りかわります。

【 詳細 】 ④

詳細情報を見る

番組表で選択された番組の詳細な情報を見ることができます。

- 1 **詳細** にタッチします。
番組詳細情報を表示します。表示内容について詳しくは「番組詳細情報を見る」(207 ページ)を参照してください。

【 サービス一覧 】 ⑤

サービス一覧を表示する

現在受信可能な放送局と番組名が一覧で表示されます。

- 1 **サービス一覧** にタッチします。
サービス一覧画面が表示されます。



- 1 編成チャンネル
- 2 物理チャンネル
- 3 番組名
- 4 放送局名

- ▶ サービス一覧画面で希望の番組にタッチして選び、**×閉じる** にタッチすると、選んだ番組を受信します。

【 ◀◀ または ▶▶ 】 ... ⑥

放送局を切りかえる

プリセット番号で放送局を切りかえることができます。

- 1 **◀◀** または **▶▶** にタッチします。
◀◀ : プリセット番号が 1 つずつダウンします。
▶▶ : プリセット番号が 1 つずつアップします。

地上デジタルテレビ設定

地上デジタルテレビの設定に関する操作の説明を行います。

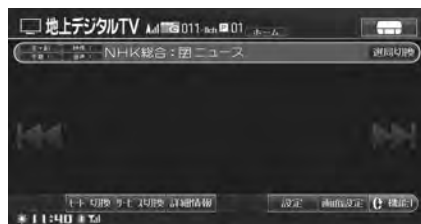
2つの画面を例に説明しています。214ページも参照してください。また、それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

<表示例1>



設定画面 1 を表示する

1 操作画面で **設定** にタッチします。



地上デジタルテレビ設定画面が表示されます。
上画面のタッチスイッチが表示されていない場合は、**機能** にタッチして操作スイッチを切りかえてください。

【文字スーパー表示】…… ① 文字スーパーを表示する

画面に表示される文字スーパーの表示 / 非表示を切りかえることができます。表示の場合は、言語を選ぶことができます（初期設定値は「言語 1」）。

1 **文字スーパー表示** にタッチします。

2 **非表示** **言語 1** **言語 2** のいずれかにタッチして選びます。

▶ **X** にタッチすると設定を行わずに設定画面に戻ります。

【緊急警報放送(EWS)の割込み】 … ②

緊急警報放送(EWS)を受信する

緊急警報放送(EWS*)とは、地震や津波などの災害が発生したときに災害情報を伝える放送です。

本設定を「する」に設定していると、緊急警報放送受信時に確認メッセージが画面に表示されます(初期設定値は「する」)。

※ EWSはEmergency Warning Systemの略です。

1 **緊急警報放送(EWS)の割込み** にタッチします。

2 **する** にタッチします。

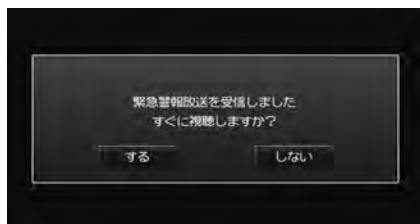
- **しない** にタッチすると、緊急警報放送(EWS)を受信しても割込み表示を行いません。

▶  にタッチすると設定を行わずに設定画面に戻ります。

緊急警報放送を表示する

1 オーディオ・ビジュアルソースが地上デジタルTV設定時、緊急警報放送(EWS)を受信すると、視聴を確認するメッセージが表示されます。

2 **する** にタッチします。



緊急警報放送(EWS)が表示されます。

- **しない** にタッチすると緊急警報放送(EWS)の表示を行いません。

緊急警報放送(EWS)が終了すると、元のチャンネルに戻ります。

- ▶ オーディオ・ビジュアルソースが地上デジタルテレビであれば、ナビゲーション画面を表示していても緊急警報放送(EWS)の割込み表示が行われます。緊急警報放送(EWS)が終了すると、元のチャンネルに戻ります。
- ▶ オーディオ・ビジュアルソースが地上デジタルテレビ以外の時は、割込み表示は行われません。
- ▶ 視聴中のチャンネル以外で緊急警報放送を開始しても、割込み表示は行われません。

【地上D⇄ワンセグ自動切換】 …… ③

地上デジタル放送 / ワンセグ自動切りかえ

地上デジタル放送とワンセグ放送を自動で切りかえることができます(初期設定値は「する」)。

1 **地上D⇄ワンセグ自動切換** にタッチします。

2 **する** または **しない** にタッチします。

する : 地上デジタル放送とワンセグ放送が自動で切りかわります。

しない : 自動切りかえを行いません。

▶ 「する」に設定した場合、現在視聴している地上デジタル放送の受信レベルが低くなると自動でワンセグ放送に切りかわります。また、ワンセグ放送受信エリアから地上デジタル放送受信可能エリアに移動した場合、自動で地上デジタル放送に切りかわります。

▶  にタッチすると設定を行わずに設定画面に戻ります。

【放送局自動選局】 …… ④

放送局自動選局の設定

スキャンを行う際、本設定を「する」に設定してあると、スキャン前に視聴していた放送局と同系列の放送局を自動で受信します(初期設定値は「する」)。

1 **放送局自動選局** にタッチします。

2 **する** または **しない** にタッチします。

する : スキャン後に受信する放送局を、それまで視聴していた放送局と同系列の放送局に自動で設定します。

しない : スキャン後は、一番小さなプリセット番号に設定された放送局を受信します。

- ▶ 本設定を「する」に設定していても、同系列の放送局が見つからない場合は一番小さなプリセット番号に設定された放送局を受信します。
- ▶ 本設定を「する」に設定していると、スキャンに時間がかかる場合があります。
- ▶ 地域の電波状況によって、同系列の放送局であれば、プリセットに登録されていない放送局の編成チャンネルが選局される場合があります。
- ▶  にタッチすると設定を行わずに設定画面に戻ります。

【自動お出かけスキャン】……………⑤

自動お出かけスキャンを設定する

一定時間チャンネルを受信できない場合、自動でお出かけスキャンを行うかどうか設定することができます。お出かけスキャンを行うまでの時間も設定できます（初期設定値は「90秒」）。

1 **自動お出かけスキャン** にタッチします。

2 **しない** **60秒** **90秒** **120秒** のいずれかにタッチします。

しない：自動お出かけスキャンを行いません。

60秒、90秒、120秒：

自動お出かけスキャンを行うまでの時間を設定します。

- ▶ お出かけスキャンを実行すると、すでに登録されているチャンネルがある場合は、新しく登録した内容に書き換えられます。
受信状況により放送局を受信できない場合は、それまで登録されていたチャンネルが上書きされて何も登録されていない状態になります。
- ▶  にタッチすると設定を行わずに設定画面に戻ります。

【ホームスキャン】……………⑥

ホームモードスキャンを実行する

ホームモードスキャンは、通常本機を最初に地上デジタルモードにした時に実行されますが、下記操作でも行うことができます。合わせて「ホームの地域を設定する」（214ページ）、「ホームの県域を設定する」（215ページ）、「ホームの郵便番号を設定する」（215ページ）を参照して、設定を行ってください。

1 **ホームスキャン** にタッチします。

ホームモードスキャンが実行され、スキャンされたチャンネルがホームモードに記憶されます。

【初期値】……………⑦

設定内容を初期化する

本機を譲渡または廃棄などをする際に、地上デジタルテレビに関して設定した内容を初期化し、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 **初期値** にタッチします。

確認画面が表示されます。

2 **はい** にタッチします。

本機の初期化を開始します。

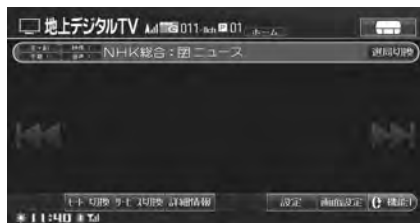
- 初期化が終了すると初期化完了のメッセージが表示され、自動的にAVソースメニュー画面（AV OFF）が表示されます。

- ▶ 設定の初期化中は電源をOFFにしないでください。破損や故障の原因となります。
- ▶ 初期化には3～5分程度かかります。



設定画面 2 を表示する

- 1 操作画面で **設定** にタッチします。



地上デジタルテレビ設定画面が表示されます。

- 2 **▼** にタッチして画面をスクロールします。

地上デジタルテレビ設定画面が切りかわります。

【 地域設定 】 ⑧

ホームの地域を設定する

ホームモード時の放送局地域を設定します。

- 1 **地域設定** にタッチします。
- 2 地方名タブにタッチした後、県域にタッチします。



- 3 **完了** にタッチします。
設定した地域が設定画面に表示されます。

【 県域設定 】 ⑨

ホームの県域を設定する

ホームモード時のデータ放送視聴のための県域を設定します。

- 1 **県域設定** にタッチします。
- 2 地方名タブにタッチした後、県域にタッチします。



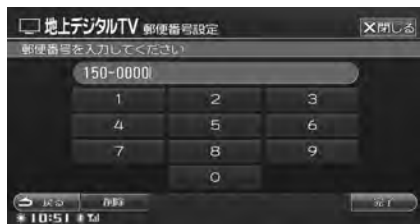
- 3 **完了** にタッチします。
設定した地域が設定画面に表示されます。

【 郵便番号設定 】 ⑩

ホームの郵便番号を設定する

ホームモード時のデータ放送視聴のための郵便番号を設定します。

- 1 **郵便番号設定** にタッチします。
郵便番号入力画面が表示されます。
- 2 数字にタッチして入力した後、**完了** にタッチします。



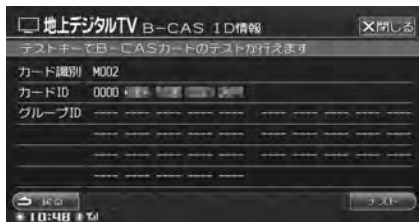
設定した郵便番号が設定画面に表示されます。

【 B-CAS ID 情報表示 】 ... ⑪

B-CAS (ビーカス) カードの 情報を見る

B-CAS カードの情報を確認したり、B-CAS カードが正常に機能しているかテストすることができます。

- 1 **B-CAS ID 情報表示** にタッチします。
B-CAS ID 情報画面が表示されます。



B-CAS カードをテストする

- 1 B-CAS ID 情報画面で **テスト** にタッチします。
テスト開始の確認画面が表示されます。
- 2 **開始** にタッチします。
B-CAS カードのテストが開始されます。
 - テストが終了するとテスト完了のメッセージを約 4 秒間表示し、B-CAS ID 情報画面に戻ります。

▶ B-CAS カードのテスト中は、B-CAS カードを取り出し
たり、電源を OFF にしないでください。カードの破損や
故障の原因になります。

ラジオ

❖ 画面の見かた	218
❖ ラジオ操作	219
ラジオを聴く.....	219
バンドを切りかえる.....	219
放送局を探す.....	220
シークモードを選ぶ.....	220
自動で放送局を記憶する（オートメモリー）.....	220
プリセットモードを切りかえる.....	220
放送局にタイトルをつける.....	221
放送局を手動で記憶する.....	221
プリセットスイッチから放送局を選ぶ.....	221
❖ 交通情報を受信する	222

画面の見かた

ラジオの受信画面は以下のように表示されます。



- 1 バンド表示
- 2 放送局名 / 周波数表示

- 3 プリセットスイッチ
- 4 状態表示

ラジオ操作

それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

<表示例>



ラジオを聴く

- 1 **ソース / ・ POWER** スイッチを押します。
AV ソースメニュー画面が表示されます。



- 2 **ラジオ** にタッチします。
ラジオ放送を受信します。

【 **バンド切換** または **バンド** 】 …… ①
バンドを切りかえる

- 1 **バンド切換** または **バンド** にタッチします。
タッチするたびに、「FM→AM→FM・・・」とバンドが切りかわります。

ラ
ジ
オ

【 **◀◀ ▶▶** **◀ ▶** 】 …………… ②

放送局を探す

1 **◀◀**、**▶▶** または **◀ ▶** にタッチして、聴きたい放送局（周波数）を探します。

- ▶ 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。
- ▶ シークモードの切りかえについては「シークモードを選ぶ」（220 ページ）を参照してください。初期設定はディスプレイモードに設定されています。
 - **ディスタンスモードのとき**
受信可能な放送局を自動的に受信します（自動選局）。
 - **ローカルモードのとき**
電波の強い放送局だけを自動的に受信します（自動選局）。
 - **マニュアルモードのとき**
1 段階ずつ周波数がかわります（手動選局）。タッチし続けると、連続で変化します。

【 **シークモード** 】 …………… ③

シークモードを選ぶ

1 **シークモード** にタッチして、シークモードを選びます。

シークモード にタッチすることにより、**◀◀**、**▶▶** / **◀ ▶** 表示が切りかわります。



【 **オートメモリー** 】 …………… ④

自動で放送局を記憶する (オートメモリー)

1 **オートメモリー** にタッチします。
自動的に選局を始めます。自動選局が終了すると、プリセットスイッチに記憶されます。

- オートメモリーの起動中にもう一度 **オートメモリー** にタッチすると、オートメモリーは解除されます。

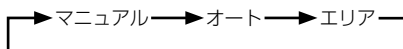
- ▶ 受信電波の弱い地域ではオートメモリーでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合は、オートメモリー前の状態に戻ります。
- ▶ 同じ放送局からの受信でも、手動で記憶した周波数とオートメモリーで記憶した周波数は一致しないことがあります。
- ▶ オートメモリーを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- ▶ 受信感度のよい放送局を周波数の低い順に AM9 局、FM9 局まで自動的に記憶されます。
- ▶ オートメモリー中は、**オートメモリー** スイッチがオレンジ色に変わります。
- ▶ **オートメモリー** にタッチすると、プリセットモードは自動的に「オート」に切りかわります。プリセットモードがどのモードのときでも、オートメモリーを行うことができます（「プリセットモードを切りかえる」次項目参照）。

【 **P. モード切換** 】 …………… ⑤

プリセットモードを切りかえる

放送局を本機に記憶（プリセット）するモードを切りかえます。

1 **P. モード切換** にタッチします。
タッチすることによりプリセットモードが切りかわります。



マニュアル：

手動で選局した放送局を記憶する場合に設定します。

オート：

オートメモリーを行うと、プリセットモードは自動でオートに切りかわります。

エリア：

あらかじめ本機に記憶されている各エリアの放送局を、現在位置で判断してプリセットします。

【タイトル編集】……………⑥

放送局にタイトルをつける

受信中の放送局にお好みのタイトルをつけることができます。

- 1 放送局を受信中、ラジオ画面で**タイトル編集**にタッチします。
タイトル編集画面が表示されます。

- 2 お好みのタイトルを編集します。



- タイトルは全角 18 文字まで入力できます。
- タイトル入力画面の操作については、「文字・数字の入力方法」(36 ページ)を参照してください。

- ▶ 最大 50 局 (FM/AM 合わせて) まで、タイトルをメモリーできます。
- ▶ 走行中は安全のため、タイトル編集操作を行うことはできません。

【1 ～ 9】……………⑦

放送局を手動で記憶する

- 1 記憶させたい放送局に周波数を合わせます。
- 2 記憶させたいプリセットスイッチに操作音がするまでタッチし続けます。
タッチしたプリセットスイッチに放送局が記憶されます。

- ▶ プリセットモードを「マニュアル」に切りかえてください(「プリセットモードを切りかえる」220 ページ参照)。
- ▶すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。
- ▶ AM9 局、FM9 局まで記憶させることができます。

【1 ～ 9】……………⑧

プリセットスイッチから放送局を選ぶ

あらかじめ記憶(プリセット)されている放送局を受信します。

- 1 プリセットスイッチにタッチします。

交通情報を受信する

1 **ソース / POWER** スイッチを押します。

AV ソースメニュー画面が表示されます。



2 **交通情報** にタッチします。

あらかじめセットされている AM 放送の 1620kHz の交通情報を受信します。

- 1629kHz で交通情報を行っている地域では、1629kHz にタッチして周波数を変更してください。



3 解除するには、**戻る** にタッチします。

AV ソースメニュー画面が表示され、交通情報を受信する前のモードに戻ります。

DVD

❖ ご使用になる前に	224
DVD の機能	224
❖ 画面の見かた	225
操作画面を表示する	225
DVD 情報表示の ON/OFF	225
操作画面の見かた	226
❖ 基本操作	228
再生する	228
チャプター / トラックの頭出しをする	229
早送り・早戻しする	229
静止（一時停止）する	230
コマ送り再生する	230
スローモーション再生する	230
再生中止（PRE STOP）する	231
再生停止する	231
メニュー画面を操作する	231
操作スイッチを切りかえる	232
繰り返し見る（リピート）	233
10 キー画面を表示する	234
メニューを表示する	234
トップメニューを表示する	234
視聴制限した DVD を再生する	235
❖ 見たい映像を探す	236
チャプター / トラック番号から探す	236
タイトル / グループ / プログラム / プレイリスト番号から探す	237
プレイリストサーチ	237
プログラムサーチ	237
ページ送り / 戻し	238
グループを選ぶ	238
プログラム / プレイリストを選ぶ	238
❖ DVD 設定	239
モード切換画面を表示する	240
音声 / 字幕切換画面を表示する	240
音声言語の切りかえ	240
サブタイトル（字幕言語）の切りかえ	241
アングルの切りかえ	241
DVD 初期設定画面 1 を表示する	242
メニューの言語を切りかえる	242
優先する音声を切りかえる	242
字幕の言語を切りかえる	243
カントリーコード設定を変更する	243
視聴制限を設定する	244
DVD 初期設定画面 2 を表示する	245
ダウンミックスを設定する	245
画面サイズを切りかえる	245
ボーナスグループを再生する	246
DVD オーディオ再生モードを設定する	246
初期値に戻す	246

ご使用になる前に

本機は、DVD の高画質な映像とデジタルサウンドを再生することができます。また、DVD に記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切りかえて再生 / 表示したり、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、お好みのアングルに切りかえて再生することができます。

- ▶ DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- ▶ DVD-R/RW、DVD+R/RW で記録されたディスクはご使用にならない場合があります。

DVD の機能

マルチ音声機能について

DVD ソフトには複数の言語が記録されているものがあり、テレビの音声多重放送のように、再生する音声言語を切りかえることができます。

サブタイトル（字幕）表示機能について

DVD ソフトには複数の言語が記録されているものがあり、再生する字幕言語を切りかえたり、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することができます。また、ソフトメニューの言語を切りかえることもできます。

マルチアングル機能について

DVD ソフトには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生するアングルを切りかえることができます。

マルチストーリー機能について

DVD ソフトには、メインストーリー以外にサブストーリーやバージョンの違う映像が記録されているもの（マルチストーリー）があり、お好みのストーリーを選択することができます。操作方法はディスクによって異なります。

マルチストーリーには、次のようなものがあります。

■ メインストーリー / サブストーリー

ディスクの中には、番外編のストーリーが作成されることがあります。例えば、主人公が友人と別れる場面があった場合に、サブストーリーでは別れた友人のその後のストーリーを紹介するというように、違うストーリーを再生することができます。

■ マルチバージョン

劇場公開版、完全版、ディレクターズカットなど、1つの作品で複数のバージョンを再生することができます。

■ ハイライト・シーン・スキャン

特定の人物やアニメのキャラクターの登場する場面だけを再生したり、音楽の場面だけを再生したりというように、特定の場面を再生することができます。

■ ブランディング・ストーリー

ロール・プレイング・ゲームのように、例えば登場人物の行動をメニューから選択して物語を展開しながら再生することができます。再生中に撮影のメイキングシーンを見ることもできます。

視聴制限について

DVD ソフトには、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、以下の 8 段階のレベルがあり 3 種類に分類されます。

・レベル 1

子供向けの DVD ソフトのみを再生します（一般向けと成人向けの DVD ソフトの再生を禁止します）。

・レベル 2～7

子供向けと一般向けの DVD ソフトのみを再生します（成人向けの DVD ソフトの再生を禁止します）。

・レベル 8

全ての DVD ソフトを再生します。

・OFF

視聴制限しません。全ての DVD ソフトを再生します（初期設定）。

視聴制限は、DVD 初期設定の「視聴制限」から設定します（初期設定値は「OFF」）。設定の方法については、「視聴制限を設定する」（244 ページ）を参照してください。

ディスクに関する用語について

■ タイトル

DVD ビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

■ チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

■ プレイリスト

再生する映像の再生順を記録したリストです。

■ グループ

DVD オーディオに記憶されているトラック（1 曲分）がいくつかのグループにまとまっているものです。ディスクによっては、グループ再生の仕方が異なります。

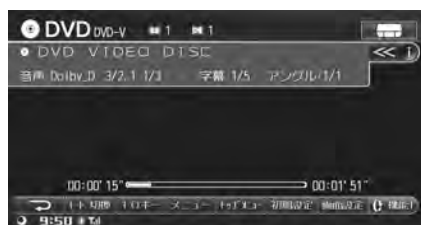
画面の見かた

再生画面にタッチすると、以下のような操作画面が表示されます。

- ▶ ディスクまたは再生状態によっては、その操作を受けけない場合があります。画面には  マークが表示されます。

操作画面を表示する

- 1 再生中、画面にタッチします。
操作画面が表示されます。



- しばらく（約 6 秒）操作しない場合は、元の画面に戻ります。または **AV/・AUDIO OFF** を押しても元の画面に戻ります。

DVD 情報表示の ON/OFF

- 1  または  にタッチします。
DVD 情報表示の ON/OFF を切りかえます。



タッチスイッチ

- 情報表示が OFF のときには、画面中央部に   が表示されます。画面中央部に表示される   も、タッチして操作を行うことができます。

■ 本書で使用する、ディスクの種類のマークについて

各項目で利用できるディスクの種類を下記マークで表記します。

-  …… 市販の DVD ビデオディスク、またはビデオモードで記録された DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW のディスクが使用できる。
-  …… 市販の DVD オーディオディスクが使用できる。
-  …… DVD-VR モードで記録された DVD-R/DVD-RW のディスクが使用できる。

操作画面の見かた

DVD ビデオ操作画面



- | | | | |
|---|--------------|---|-----------------|
| 1 | タイトル No. | 4 | チャプター再生経過時間 |
| 2 | チャプター No. | 5 | 再生中のチャプターの総再生時間 |
| 3 | 音声、字幕、アングル表示 | | |

DVD オーディオ操作画面

<映像出力再生中>



<映像 OFF 再生中>



- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1 | グループ No. | 7 | スキャン再生します。曲を 10 秒間ずつ再生します。CD/MP3/WMA/AAC「曲のイントロだけを聴く（スキャン）」（252 ページ）を参照してください。 |
| 2 | トラック No. | 8 | タッチすることにより、収録されている音声言語が順番に切りかわります。「音声言語の切りかえ」（240 ページ）を参照してください。 |
| 3 | 音声、字幕、アングル表示 | 9 | 音声表示 |
| 4 | トラック再生経過時間 | | |
| 5 | 再生中のトラックの総再生時間 | | |
| 6 | M.I.X.（ミックス）再生します。CD/MP3/WMA/AAC「曲順を変えて聴く（ミックス）」（251 ページ）を参照してください。 | | |

▶ 映像を出力して再生する場合には「VCAP」、映像を OFF にして再生する場合には「VOFF」に設定してください（「DVD オーディオ再生モードを設定する」246 ページ参照）。

DVD-VR 操作画面



- | | | | |
|---|-------------------------|---|-----------------|
| 1 | プログラム No. またはプレイリスト No. | 5 | ディスク名 |
| 2 | チャプター No. | 6 | 音声、字幕表示 |
| 3 | プログラム名またはプレイリスト名等 | 7 | チャプター再生経過時間 |
| 4 | レコーディング情報 | 8 | 再生中のチャプターの総再生時間 |

基本操作

ここでは基本的な操作の説明を行います。メディアによって画面は異なりますが、タッチスイッチが同じであれば同様に操作することができます。

2つの画面を例に説明しています。233ページも参照してください。また、それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

<表示例 1 DVDビデオ>



再生する DVD-V DVD-A DVD-VR

- 1 ディスクを本機に挿入します。
自動的にディスプレイが閉まり、再生が始まります。
 - ディスクの出し入れの方法については、「DVD、CD、SD メモリーカードの出し入れ」(28 ページ) を参照してください。

すでにディスクが入っているときは

- 1 ソース / POWER スイッチを押します。
AV ソースメニュー画面が表示されます。



- 2 DVD/CD にタッチします。
再生が始まります。

注意

- 安全上の配慮から、停車しているときにだけ DVD をご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。
- ディスプレイの開閉時やディスクを出し入れするときは、変速レバーなどにぶつからないように注意してください。
- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。
- レーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクを挿入するとき、ディスプレイなどに接触しないように注意してください。

- ▶ 再生中に本機の電源を切る、イグニッションキーを OFF にする、サウンド・映像モードを切りかえるなどの操作をしても、次に電源を ON にすると、続きから再生します（プレイポジションメモリ）。ディスクを取り出した場合は、プレイポジションメモリは解除されます。
- ▶ DVD を再生するとメニュー画面が自動的に表示される場合があります。メニュー操作については「メニュー画面を操作する」（231 ページ）を参照してください。
- ▶ ディスクによって本書で説明している操作とは異なる場合があります。ディスクの説明書もあわせてご覧ください。

【◀◀ または ▶▶】… ①

チャプター／トラックの頭出しをする (DVD-V DVD-A DVD-VR)

1 ▶▶ または ◀◀ にタッチし、見たいチャプター／トラックを探します。

タッチするたびにチャプター／トラックが切りかわります。

- ▶▶ にタッチすると、現在のチャプター／トラックの頭から再生します。続けてタッチすると前のチャプター／トラックを再生します。
 - ▶▶ にタッチすると、次のチャプター／トラックを再生します。
- ▶ ディスクによっては、チャプターが記録されていないものがあります。

【◀◀ または ▶▶】… ②

早送り・早戻しする

(DVD-V DVD-A DVD-VR)

再生している映像を早送り、または早戻しすることができます。

1 ▶▶ または ◀◀ にタッチし続けます。



倍速表示

■ DVD ビデオ /DVD オーディオ(VCAP モード) * /DVD-VR

再生中に ▶▶ (早戻し) または ◀◀ (早送り) をタッチし続けると、2 倍速で早送り / 早戻しします。さらにその状態で再度 ▶▶ または ◀◀ にタッチすると 8 倍速で早送り / 早戻しができます。もう一度タッチすると、32 倍速で早送り / 早戻しができます。

■ DVD オーディオ (VOFF モード) *

再生中に ▶▶ (早戻し) または ◀◀ (早送り) をタッチし続けると、21 倍速で早送り / 早戻しができます。

※ VCAP モード /VOFF モードは DVD セットアップで設定します。詳しくは「DVD オーディオ再生モードを設定する」（246 ページ）を参照してください。

2 解除するには、▶▶ にタッチします。

- ▶ 早送り / 早戻し中に音声は出力されません。
- ▶ 早送り / 早戻し中にメニュー画面に戻ることがあります。
- ▶ ディスクによっては、▶▶ (早戻し) スイッチの反応が悪くなる場合があります。
- ▶ 早送り / 早戻しの速度は、おおよその速度です。ディスクによっても異なります。

【▶▶】 ③

静止（一時停止）する

DVD-V DVD-A DVD-VR

- 1 ▶▶ にタッチします。
再生中の映像が一時停止します。
- 2 通常再生に戻すには、▶▶ にタッチします。

▶ 一時停止画像の状態から再生を開始すると、画像や音声が一時的に止まる場合がありますが故障ではありません。

【▶▶ → ◀◀ または ▶▶】 ④

コマ送り再生する

DVD-V DVD-VR

- 1 ▶▶ にタッチした後、◀◀ または ▶▶ にタッチします。
タッチするたびに1コマずつコマ送り / コマ戻し再生されます。
- 2 通常再生に戻すには ▶▶ にタッチします。

▶ コマ送り / コマ戻し再生中は、音声は再生されません。
▶ DVD-VR ディスクではコマ戻し再生はできません。

【▶▶ → ◀◀ または ▶▶】 ⑤

スローモーション再生する

DVD-V DVD-VR

- 1 ▶▶ にタッチした後、◀◀ または ▶▶ にタッチし続けます。



倍速表示

- 一時停止中に ◀◀ または ▶▶ をタッチし続けると、1/8 倍速でスローモーション再生になります。
さらにその状態で再度 ◀◀ または ▶▶ にタッチすると 1/2 倍速にスローモーションの速度が変わります。

- 2 通常再生に戻すには、▶▶ にタッチします。

- ▶ スローモーション再生中は、◀◀ または ▶▶ にタッチする度に、1/2 倍速 → 1/8 倍速 → 1/2 倍速と再生速度が切りかわります。
- ▶ スローモーション再生中は、音声は再生されません。
- ▶ 1/2 倍速、1/8 倍速はおおよそその速さです。ディスクによっても異なります。
- ▶ DVD-VR ディスクではバックスローモーション再生はできません。

【】 ⑥

再生中止 (PRE STOP) する

DVD-V DVD-A DVD-VR

再生中に停止スイッチをタッチすると再生が停止し、その位置を記憶 (プレイポジションメモリ) します。

1 にタッチします。

■PRE と表示され、プレイポジションメモリが記録されます。

- ▶ PRE STOP 中に  にタッチすると、再生中止した位置から再生されます。
- ▶ ディスクによっては PRE-STOP したとき、再生中止位置を正しく記憶できない場合があります。
- ▶ VOFF 設定時の DVD オーディオは、PRE-STOP 機能はありません (「DVD オーディオ再生モードを設定する」246 ページ参照)。

【】 ⑦

再生停止する

DVD-V DVD-A DVD-VR

1 に 2 回タッチします。

■STOP と表示され、再生が停止します。

- ▶ 停止中に  にタッチすると、初めから再生されます。
- ▶  を 2 秒以上タッチしても再生は停止します。
- ▶ VOFF 設定時の DVD オーディオは、 を 1 回タッチすると再生停止 (STOP) になります (「DVD オーディオ再生モードを設定する」246 ページ参照)。

【】 ⑧

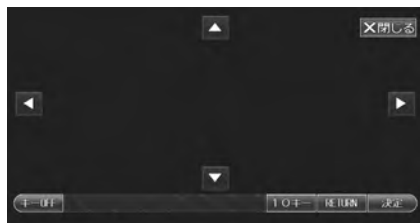
メニュー画面を操作する

DVD-V DVD-A

メニュー画面の表示の仕方は、「メニューを表示する」(234 ページ)、「トップメニューを表示する」(234 ページ)を参照してください。

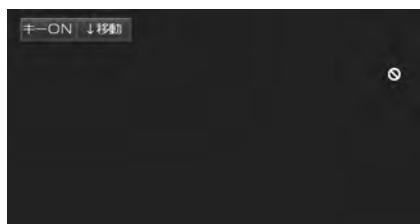
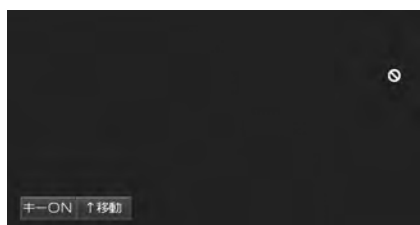
1

 にタッチします。
メニュー操作画面が表示されます。



-   : カーソルを左右に移動します。
-   : カーソルを上下に移動したり、画面をスクロールします。
- 10 キー** : 数字入力画面が表示されます。画面に表示されるメニュー番号を入力して、メニューを実行することができます。数字入力画面の操作方法については、「数字を入力する」(37 ページ)を参照してください。

- RETURN** : 前の画面に戻ります。
- 決定** : 項目を決定します。
-  **閉じる** : メニュー操作画面を終了します。
- キー OFF** : 操作画面表示が OFF になり、**キー ON** スイッチが表示されます。**↑移動** **↓移動** にタッチすることにより、タッチスイッチの位置が移動します。**キー ON** にタッチすると、操作画面が表示されます。



操作スイッチを切りかえる

DVD-V DVD-A DVD-VR

- 1** 機能2 にタッチします。
操作スイッチ 2 に切りかわります。

- 2** 機能1 にタッチします。
操作スイッチ 1 に切りかわります。

<表示例 DVD ビデオ>





上画面のタッチスイッチが表示されていない場合は、**機能1** にタッチして操作スイッチを切りかえてください。

【リターン】 ⑩



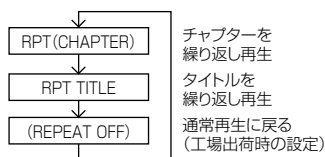
気に入った場面を繰り返し再生させることができます。

- 1 **リターン** にタッチします。
押すごとにリピートの種類が変わります。

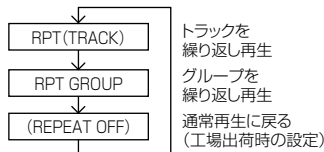
リピートインジケータ表示



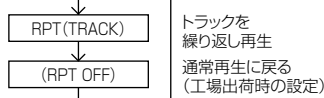
DVD ビデオ



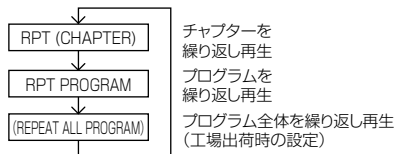
DVD オーディオ (VCAP モード) ※



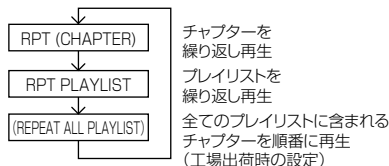
DVD オーディオ (VOFF モード) ※



DVD-VR (プログラム再生時)



DVD-VR (プレイリスト再生時)



※ VCAP/VOFF モードは DVD セットアップで設定します。詳しくは「DVD オーディオ再生モードを設定する」(246 ページ) を参照してください。

2 通常再生に戻すには、リピートモードを解除するまで **⏮** にタッチします。

- ▶ ディスクによってはリピートの種類が切りかえられない場合があります。
- ▶ DVD オーディオ / ビデオ再生時は、**⏮** を 2 秒以上タッチすると、リピート OFF になります。

【 10 キー 】 ⑪

10 キー画面を表示する

DVD-V DVD-A DVD-VR

1 10 キー にタッチします。 数字入力画面が表示されます。



- メニュー画面では、表示されるメニュー番号を入力してメニューを実行することができます。「メニュー画面を操作する」(231 ページ)も参照してください。
- ディスク再生中 / 停止中は、番号を入力して見たい映像を探すことができます。「チャプター / トラック番号から探す」(236 ページ)、「タイトル / グループ / プログラム / プレイリスト番号から探す」(237 ページ) を参照してください。

【 メニュー 】 ⑫

メニューを表示する

DVD-V

複数のメニューを持つ DVD では、本編以外にチャプターリストや特典映像が選択できるメニュー画面が表示されます。

1 メニュー にタッチします。

メニューとメニュー操作画面が表示されます。

- メニュー操作画面の操作方法は、「メニュー画面を操作する」(231 ページ) を参照してください。
- メニュー画面に表示される項目を、直接画面にタッチして操作することもできます。

- ▶ VOFF 設定時の DVD オーディオは、メニューを表示することはできません。

【 トップメニュー 】 ⑬

トップメニューを表示する

DVD-V DVD-A

複数のタイトルを持つ DVD ビデオでは、トップメニュー画面が表示されます。

1 トップメニュー にタッチします。

メニューとメニュー操作画面が表示されます。

- メニュー操作画面の操作方法は、「メニュー画面を操作する」(231 ページ) を参照してください。
- メニュー画面に表示される項目を、直接画面にタッチして操作することもできます。

- ▶ VOFF 設定時の DVD オーディオは、メニューを表示することはできません。

視聴制限した DVD を再生する

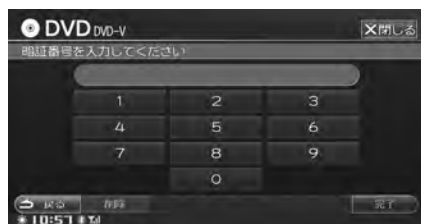
ディスクによっては、再生中に DVD 初期設定で設定した視聴制限レベル（パレンタルレベル）の変更を要求する場合があります。この場合は正しい暗証番号を入力すると、視聴制限した映像が再生されます。

- ▶ 視聴制限をするためには、あらかじめ設定を行ってください。（「視聴制限を設定する」244 ページ参照）。

1 DVD 再生中に、パレンタルレベル変更を要求するメッセージが表示された場合は、**はい** にタッチします。

暗証番号入力画面が表示されます。

2 パレンタル設定で入力した 4 桁の暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。



暗証番号が正しいと視聴制限した映像が再生されます。

- 入力した数字を 1 つずつ消去する場合は **削除** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **削除** にタッチし続けます。

見たい映像を探す

見たい映像を番号から探すことができます。また、現在再生している前後のプログラム / プレイリストを選ぶことができます。

2つの画面を例に説明しています。238ページも参照してください。また、それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

<表示例 1 DVD-VR >



① (236、237 ページ) ② (237 ページ) ③ (237 ページ)

【10キー】…………… ①

チャプター / トラック番号から
探す DVD-V DVD-A DVD-VR

再生中、PRE-STOP 中または一時停止中に操作を行ってください。

- 1 **10キー** にタッチします。
チャプター / トラック番号の入力画面が表示されます。

- 2 数字にタッチしてチャプター / トラック番号を入力します。



- 入力した数字を1つずつ消去する場合は **削除** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **削除** にタッチし続けます。

- 3 **完了** にタッチします。
入力したチャプター / トラック番号の映像が再生されます。

- 4 **戻る** にタッチします。
再生画面に戻ります。

- ▶ ディスクによってはチャプター / トラック番号が記録されていないものがあります。

【10キー】 ①

タイトル / グループ / プログラム /
プレイリスト番号から探す

DVD-V DVD-A DVD-VR

STOP 中に操作を行ってください。

- 1 **10キー** にタッチします。
番号の入力画面が表示されます。

- 2 数字にタッチしてタイトル / グループ / プログラム / プレイリスト番号を入力します。



- 入力した数字を1つずつ消去する場合は **削除** にタッチします。入力した数字を全て消去する場合は **削除** にタッチし続けます。

- 3 **完了** にタッチします。
入力したタイトル / グループ / プログラム / プレイリスト番号の映像が再生されます。

- 4 **戻る** にタッチします。
再生画面に戻ります。

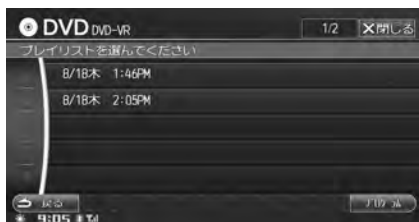
- ▶ ディスクによってはタイトル / グループ / プログラム / プレイリスト番号が記録されていないものがあります。

【プレイリスト】 ②

プレイリストサーチ DVD-VR

- 1 **プレイリスト** にタッチします。
プレイリストサーチ画面が表示されます。

- 2 希望のプレイリスト名称にタッチします。



選んだプレイリストが再生されます。

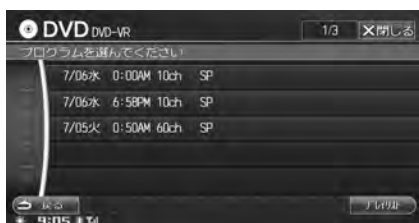
- プレイリストサーチ画面で **プログラム** にタッチするとプログラムサーチ画面が表示されます。

【プログラム】 ③

プログラムサーチ DVD-VR

- 1 **プログラム** にタッチします。
プログラムサーチ画面が表示されます。

- 2 希望のプログラム名称にタッチします。



選んだプログラムが再生されます。

- プログラムサーチ画面で **プレイリスト** にタッチするとプレイリストサーチ画面が表示されます。



(238 ページ)

DVD オーディオ (VCAP) 時 : ◀ペー ジ▶

DVD-VR 時 : ◀プロ グラム▶、◀プレイ リスト▶

【◀ペー ジ▶】 …… ④

ページ送り / 戻し (DVD-A)

ページとは、DVD オーディオに静止画付きの画像が記憶されているものです。

1 再生中に ▶ペー または ▶ジ▶ をタッチして、ページを切りかえます。

- 静止画の Home Page を表示するには、▶ペー または ▶ジ▶ を 2 秒以上タッチします。

▶ペー : 1 つ前の静止画を表示。

▶ジ▶ : 次の静止画を表示。

- ▶ DVD オーディオディスクによっては、ページがないものもあります。また、スライドショー形式の映像は、操作できない場合があります。
- ▶ VCAP に設定している場合のみ、操作することができます (「DVD オーディオ再生モードを設定する」246 ページ参照)。

【◀グル ープ▶】 …… ④

グループを選ぶ (DVD-A)

前後のグループを選択することができます。

1 ▶グル または ▶ープ▶ にタッチして、前後のグループを選びます。

- VOFF に設定している場合のみ、操作することができます (「DVD オーディオ再生モードを設定する」246 ページ参照)。

【◀プロ グラム▶、◀プレイ リスト▶】

…………… ④

プログラム / プレイリストを
選ぶ (DVD-VR)

プログラム再生モード時は前後のプログラムを、プレイリスト再生時は前後のプレイリストを選択することができます。

1 ▶プロ グラム▶ または ▶プレイ リスト▶ にタッチし、前後のプログラム / プレイリストを選びます。

- ▶プロ / ▶プレイ にタッチすると、前のプログラム / プレイリストの最初のチャプターから再生します。
- ▶グラム▶ / ▶リスト▶ にタッチすると、次のプログラム / プレイリストの最初のチャプターから再生します。

- ▶ プレイリスト選択は、プレイリストが作成されているディスクでのみ操作できます。

DVD 設定

DVD の設定に関する操作の説明を行います。

4 つの画面を例に説明しています。それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

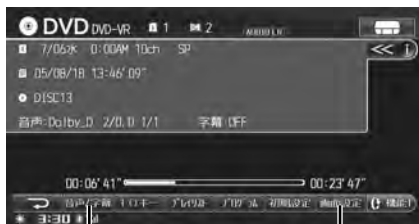
<表示例 DVD ビデオ>



モード切換
(239 ページ)

DVD 初期設定
(241 ページ、
245 ページ)

<表示例 DVD-VR >



音声 / 字幕設定
(240 ページ)

「画質調整」
(330 ページ)

▶ 画面設定については、設定「画質調整」(330 ページ) を参照してください。

<表示例 DVD ビデオ・モード切換 画面>



モード切換画面の表示
(240 ページ)

① (240 ページ) ② (241 ページ) ③ (241 ページ)



音声 / 字幕切
換画面の表示
(240 ページ)

①
(240 ページ)

②
(241 ページ)

モード切換画面を表示する

DVD-V DVD-A

- 1 操作画面で **モード切換** にタッチします。
再生する映像の音声言語や字幕言語、表示アン
グルを切りかえることができます。

- ▶ DVD オーディオの VOFF 設定時は、**モード切換** ではな
く **音声** が表示されます（「DVD オーディオ再生モード
を設定する」246 ページ参照）。

音声 / 字幕切換画面を表示する

DVD-VR

- 1 操作画面で **音声** **字幕** にタッチしま
す。
再生する映像の音声言語、字幕言語を切りかえ
ることができます。

【音声】 ①

音声言語の切りかえ

DVD-V DVD-A DVD-VR

ディスクに複数の音声または音声言語が記録されてい
る場合は、再生中に音声言語を一時的に切りかえるこ
とができます。

- 1 **音声** にタッチします。
• タッチすることにより、収録されている音声言語
が順番に切りかわります。画面に音声言語の
番号が表示されます。

- ▶ DVD 初期設定の「音声言語」で、音声言語をあらかじめ
設定しておくことができます（初期設定値は「オート」）。
設定方法については、「優先する音声を切りかえる」（242
ページ）を参照してください。
- ▶ ディスクによっては再生中の切りかえができない場合が
あります。そのときはディスクメニューから言語を選択
してください。
- ▶ 音声変更まで多少時間がかかる場合があります。

多重音声記録されている DVD-VR

■ DVD-VR

- 1 再生中に **音声** に 2 秒以上タッチし
ます。
タッチすることにより L チャンネル、R チャンネル
音声の組み合わせがかわります。
LR → LL → RR → LR

【字幕】 ②

サブタイトル (字幕言語) の切りかえ DVD-V DVD-A DVD-VR

複数の字幕言語が記録されている DVD では、再生中に字幕言語を切りかえたり非表示にすることができます。

1 **字幕** にタッチします。

- タッチすることにより、収録されている字幕言語が順番に切りかわります。画面に字幕言語の番号が表示されます。
DVD-VR ディスク再生時は、字幕表示の ON/OFF を設定します。

- ▶ DVD 初期設定の「字幕」で、表示される字幕言語をあらかじめ設定しておくことができます (初期設定値は「オート」)。設定方法については、「字幕の言語を切りかえる」(243 ページ) を参照してください。
- ▶ 字幕言語変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ▶ ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはディスクメニューから選んでください。
- ▶ ディスクによっては OFF に設定しても、サブタイトルが表示される場合があります。
- ▶ DVD オーディオは VCAP に設定している場合、操作することができます (「DVD オーディオ再生モードを設定する」246 ページ参照)。

【アングル】 ③

アングルの切りかえ DVD-V DVD-A

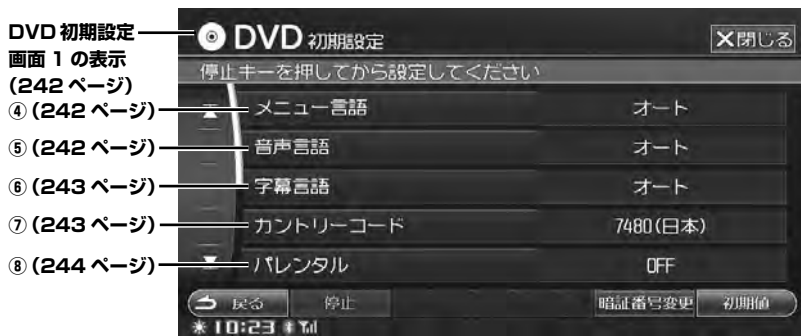
ディスクに複数のアングルが記録されている場合は、アングルを切りかえて表示することができます。

1 **アングル** にタッチします。

- タッチすることにより、収録されているアングルが順番に切りかわり、映像のアングルが切りかわります。画面にアングル番号が表示されます。

- ▶ アングル変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ▶ ディスクによって異なりますがアングル切りかえには 2 種類あります。
 - シームレス : つぎめなくスムーズにアングルが切りかわる。
 - ノンシームレス : アングル切りかえ時、一瞬静止画となりその後アングルが切りかわる。
- ▶ DVD オーディオは VCAP に設定している場合、操作することができます (「DVD オーディオ再生モードを設定する」246 ページ参照)。

<表示例 DVD 初期設定画面 1 >



音声や字幕言語をあらかじめ設定することができます。また、視聴制限なども設定することができます。

- ▶ サウンド・映像ソースが DVD モードの時に設定することができます。
- ▶ DVD を再生中に DVD 初期設定を行う場合は、DVD 初期設定画面で **停止** にタッチして再生を停止させてから設定をしてください。

DVD 初期設定画面 1 を表示する

1 操作画面で **初期設定** にタッチします。

DVD 初期設定画面が表示されます。

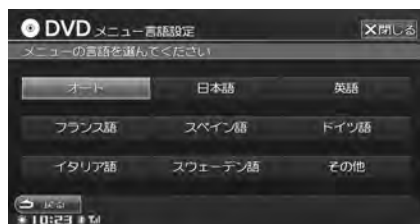
【 **メニュー言語** 】 ④

メニューの言語を切りかえる

タイトルメニューやメインメニューで表示される言語を設定します（初期設定値は「オート」）。

1 **メニュー言語** にタッチします。

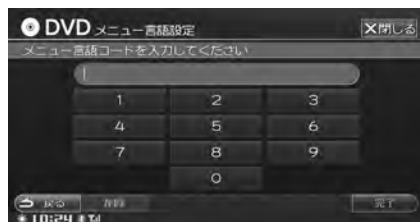
2 お好みの言語にタッチします。



- **オート** に設定すると、DVD ソフトに記録されている最優先の言語で再生されます。
- 選択したい言語が表示されていない場合は、手順 **3** に進みます。言語が表示されている場合は希望の言語にタッチし、操作を終了します

3 **その他** にタッチします。

4 4桁の言語コードを入力します。



- 言語コードについては、「言語コード一覧」（415 ページ）を参照してください。

5 **完了** にタッチします。

入力したコードの言語が DVD 初期設定画面に表示されます。

- ▶ 入力したコードが間違っている場合は、「コード番号が正しくありません」と表示した後、コード入力画面に戻ります。
- ▶ **削除** にタッチするたびに、入力した数字を 1 桁ずつ消去できます。**削除** にタッチし続けると、入力した全ての数字が削除されます。

【 **音声言語** 】 ⑤

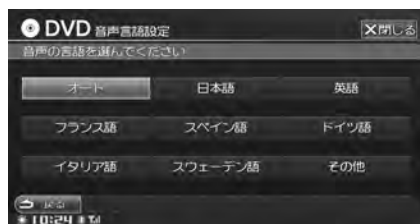
優先する音声を切りかえる

再生する映像の音声言語を設定します（初期設定値は「オート」）。

1 **音声言語** にタッチします。

音声言語設定画面が表示されます。

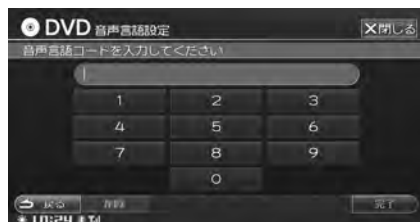
2 お好みの言語にタッチします。



- **オート** に設定すると、DVD ソフトに記録されている最優先の音声言語で再生されます。
- 選択したい言語が表示されていない場合は、手順 **3** に進みます。言語が表示されている場合は希望の言語にタッチし、操作を終了します。

3 **その他** にタッチします。

4 4桁の言語コードを入力します。



- 言語コードについては、「言語コード一覧」（415 ページ）を参照してください。

- 5** **完了** にタッチします。
入力したコードの言語が DVD 初期設定画面に
表示されます。

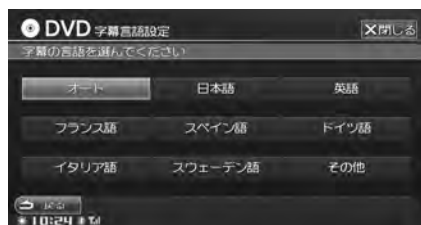
- ▶ ディスクによっては、設定した言語よりディスクに記録されている最優先の言語が優先される場合があります。
- ▶ 入力したコードが間違っている場合は、「コード番号が正しくありません」と表示した後、コード入力画面に戻ります。
- ▶ **削除** にタッチするたびに、入力した数字を 1 桁ずつ消去できます。**削除** にタッチし続けると、入力した全ての数字が削除されます。

【字幕言語】…………… ⑥

字幕の言語を切りかえる

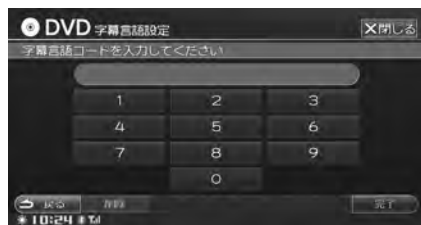
再生する映像の字幕言語を設定します（初期設定値は「オート」）。

- 1** **字幕言語** にタッチします。
字幕言語設定画面が表示されます。
- 2** お好みの言語にタッチします。



- **オート** に設定すると、DVD ソフトに記録されている最優先の字幕言語で再生されます。
- 選択したい言語が表示されていない場合は、手順 **3** に進みます。言語が表示されている場合は希望の言語にタッチし、操作を終了します。

- 3** **その他** にタッチします。
- 4** 4 桁の言語コードを入力します。



- 言語コードについては、「言語コード一覧」（415 ページ）を参照してください。

- 5** **完了** にタッチします。
入力したコードの言語が DVD 初期設定画面に
表示されます。

- ▶ 入力したコードが間違っている場合は、「コード番号が正しくありません」と表示した後、コード入力画面に戻ります。
- ▶ **削除** にタッチするたびに、入力した数字を 1 桁ずつ消去できます。**削除** にタッチし続けると、入力した全ての数字が削除されます。

【カントリーコード】…………… ⑦

カントリーコード設定を変更する

視聴規制（バレンタルロック）を設定する時の、設定したい規制レベルの国番号を設定します（初期設定値は「7480」）。

- 1** **カントリーコード** にタッチします。
カントリーコード入力画面が表示されます。
- 2** 4 桁のカントリーコードを入力します。



- 3** **完了** にタッチします。

- ▶ 入力したコードが間違っている場合は、「コード番号が正しくありません」と表示した後、コード入力画面に戻ります。
- ▶ **削除** にタッチするたびに、入力した数字を 1 桁ずつ消去できます。**削除** にタッチし続けると、入力した全ての数字が削除されます。
- ▶ 日本の国番号は 7480 です。

【 パレンタル 】 ⑧

視聴制限を設定する

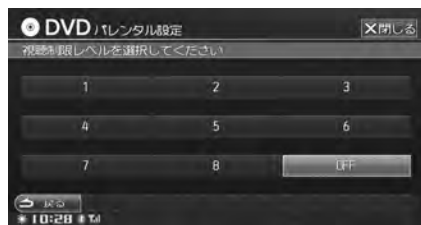
DVD ソフトの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、8 段階のレベルから設定します（初期設定値は「OFF」）。

- 1 **パレンタル** にタッチします。
暗証番号設定画面が表示されます。
- 2 4 桁の暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。



- 初回は、暗証番号が設定されていません。好きな 4 桁の数字を入力してください。2 回目以降は同じ暗証番号を入力してください。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 入力した暗証番号は、*で表示されます。

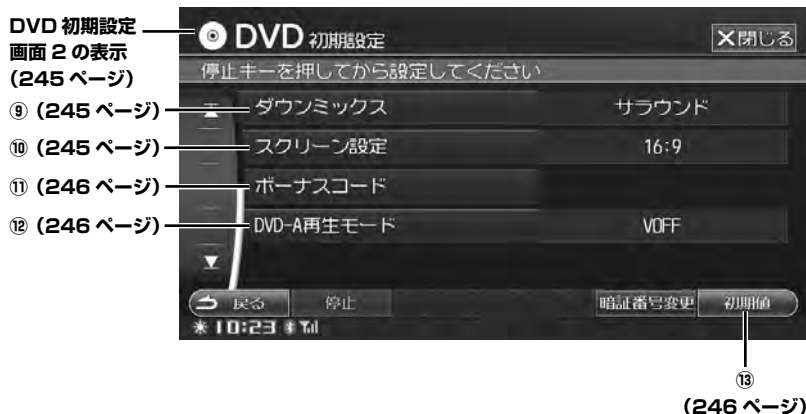
- 3 お好みの視聴制限レベル **OFF**、**1** ~ **8** にタッチします。



入力した視聴制限レベルが DVD 初期設定画面に表示されます。

- ▶ 視聴制限レベルは、以下の 3 種類に分類されます。
 - **レベル 1** :
子供向けの DVD ソフトのみを再生します（一般向けと成人向けの DVD ソフトの再生を禁止します）。
 - **レベル 2 ~ 7** :
子供向けと一般向けの DVD ソフトのみを再生します（成人向けの DVD ソフトの再生を禁止します）。
 - **レベル 8** :
全ての DVD ソフトを再生します。
 - **OFF** :
視聴制限を OFF にします。全ての DVD ソフトを再生します（初期設定）。

- ▶ 視聴制限レベルが記録されていない DVD ソフトではレベル設定しても視聴制限はかけられません。
- ▶ 2 回目以降、設定を変更するときに、最初に入力した暗証番号が必要になります。暗証番号を忘れないように注意してください。
- ▶ 暗証番号を変更することもできます。DVD 初期設定画面で **暗証番号変更** にタッチして元の暗証番号を入力後、新しい暗証番号を入力し **完了** にタッチします。



DVD 初期設定画面 2 を表示する

- 1 操作画面で **初期設定** にタッチします。
DVD 初期設定画面が表示されます。
- 2 **▼** にタッチして画面をスクロールします。
DVD 初期設定画面が切りかわります。

【ダウンミックス】…………… ⑨

ダウンミックスを設定する

本機能は、ドルビーデジタル、DTS ストリーム音声に有効です（初期設定値は「サラウンド」）。

- 1 **ダウンミックス** にタッチします。
 - タッチするたびに以下のように設定が切りかわります。
サラウンド → ステレオ → サラウンド
サラウンド：サラウンド互換ダウンミックス
ステレオ：ステレオダウンミックス

【スクリーン設定】…………… ⑩

画面サイズを切りかえる

画面のサイズを設定します（初期設定値は「16：9」）。

- 1 **スクリーン設定** にタッチします。
 - タッチするたびに以下のように画面サイズが切りかわります。
16：9 → 4：3（レターボックス） →
4：3（バンスキャン） → 16：9
16：9
通常のワイドサイズで表示されます。4：3のサイズで収録された DVD ソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。
 - 4：3（レターボックス）
上下両端が黒く表示された映像になります。
4：3のサイズで収録された DVD ソフトの場合は画面サイズちょうど（4：3）で表示されます。
 - 4：3（バンスキャン）
左右両端がカットされた映像になります。
4：3のサイズで収録された DVD ソフトの場合は画面サイズちょうど（4：3）で表示されます。

- ▶ DVD ソフトによっては、画面サイズが変更されない場合があります、通常は 16：9（初期設定値）に設定してください。

注意

- お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮／引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

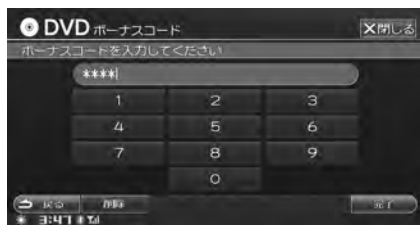
【 ボーナスコード 】 …… ⑪

ボーナスグループを再生する

DVD オーディオには、通常のグループの他にボーナスグループが収録されているものがあります。ボーナスグループを選んだときは暗証番号入力画面が表示されますが、あらかじめこの4桁の暗証番号を入力しておくことができます。

1 **【ボーナスコード】** にタッチします。
暗証番号入力画面が表示されます。

2 暗証番号を入力します。



3 **【完了】** にタッチします。

- ▶ ボーナスコードの暗証番号が本設定で設定されている暗証番号と異なる場合は、入力画面が自動的に表示されます。
- ▶ **【削除】** にタッチするたびに、入力した数字を1つずつ消去できます。**【削除】** にタッチし続けると、入力した全ての数字が削除されます。
- ▶ この設定は、ディスクを取り出し再挿入すると設定が反映されます。

【 DVD-A 再生モード 】 … ⑫

DVD オーディオ再生モードを設定する

DVD オーディオディスクの再生方法を設定することができます。DVD ビデオ / オーディオ混在ディスクの場合、DVD オーディオを再生するには VCAP (Video Capable Audio Player) または VOFF (Video OFF) に設定してください (初期設定値は「VCAP」)。

1 **【DVD-A 再生モード】** にタッチします。

- タッチするたびに以下のように設定が切りかわります。
VCAP → VOFF → VIDEO → VCAP
VCAP : 映像と音声データを再生する。
VOFF : 映像を出力せずに音声データのみを再生する。
VIDEO : DVD ビデオ / オーディオ混在ディスクの、DVD ビデオデータのみ再生する。

- ▶ この設定は、ディスクを取り出し再挿入すると設定が反映されます。

【 初期値 】 …… ⑬

初期値に戻す

DVD 初期設定の内容を工場出荷時の状態に戻します。

1 **【初期値】** にタッチします。

2 **【メッセージが表示されますので、はい】** にタッチします。
設定内容が初期値に戻ります。

CD/MP3/WMA/AAC

❖ 画面の見かた 248

❖ 基本操作 249

再生する	250
聴きたい曲（ファイル）を選ぶ	250
早送り・早戻しする	251
一時停止する	251
繰り返し聴く（リピート）	251
曲順を変えて聴く（ミックス）	251
曲のイントロだけを聴く（スキャン）	252
操作スイッチを切りかえる（MP3/WMA/AAC）	252

❖ 聴きたい曲を探す 253

再生リストサーチ	253
フォルダを選ぶ（MP3/WMA/AAC）	253
ファイルサーチ（MP3/WMA/AAC）	254

画面の見かた

CD、MP3/WMA/AAC 再生画面は、次のように表示されます。

< CD 画面表示例 >



< MP3 画面表示例 >



- 1 **トラック No.**
- 2 **曲名 / アルバム名 / アーティスト名表示**
- 3 **演奏経過時間表示**
- 4 **曲名リスト表示**
再生中の曲はリスト中央に表示されます。
- 5 **イメージ表示**

- 6 **状態表示**
再生モード (SCAN (スキャン再生)、M.I.X. (ミックス再生)、RPT (リピート再生) など) の状態が表示されます。
- 7 **ファイル No.**

- ▶ 表示できない文字の場合は、ブランク表示 (表示なし) になります
- ▶ CD 再生時、イメージ表示はジャンルのイメージになります。
- ▶ CD 再生時、本機の Gracenote データベースからタイトル情報が検索できなかった場合は NO NAME/NO TITLE と表示されます。また、複数のタイトル情報がある場合、最初のタイトルの表示になります。
- ▶ CD-TEXT 付きの CD は、Gracenote データベースにタイトル情報がない場合のみ、テキストが表示されます。

基本操作

ここでは基本的な操作の説明を行います。メディアによって画面は異なりますが、タッチスイッチが同じであれば同様に操作することができます。

それぞれのタッチスイッチ（操作方法）については、該当ページを参照してください。

<表示例 CD>



<表示例 MP3>



再生する

CD や MP3/WMA/AAC データが記録されたディスクを内蔵プレーヤーに挿入して、音楽を聴きます。

- 本機は 5.1 Music Disc (DTS-CD) に対応しています。

1 ディスクを本機に挿入します。

自動的にディスプレイが閉まり、再生が始まります。

- ディスクの出し入れの方法については、「DVD、CD、SD メモリーカードの出し入れ」(28 ページ) を参照してください。

すでにディスクが入っているときは

1 ソース / POWER スイッチを押します。

AV ソースメニュー画面が表示されます。



2 DVD/CD にタッチします。

再生が始まります。

- ▶ 内蔵の CD/DVD プレーヤーで CD ディスクを再生した場合、ハードディスクに収録されている Gracenote データベースから検索したアルバム名やアーティスト名、曲名、ジャンル名などのタイトル情報を表示することができます。
- ▶ 録音設定の「自動録音」を「する」に設定している場合(初期設定値は「する」)は、CD を挿入すると同時に HDD(ハードディスク) への録音が開始されます(録音できない CD もあります。5.1 Music Disc も録音できません。「自動録音の設定」312 ページ参照)。自動録音をしたくない場合は、設定を「しない」に変更してください。
- ▶ 音楽データ (CD-DA) と MP3/WMA/AAC データを再生することができます。
- ▶ 本機で再生できる MP3/WMA は、ISO9660 level1 または level2 フォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは、「MP3/WMA/AAC について」(196 ページ) を参照してください。
- ▶ MP3/WMA/AAC のディスクは、再生が始まるまで時間がかかる場合があります。

- ▶ CD、DVD が取り出せないとき(噛み込みなど)は、▲スイッチを 5 秒以上押してください。ディスクが押し出されます。
- ▶ DRM(著作権管理 Digital Rights Management) システムのファイルは再生できません。
- ▶ シングル CD (8cmCD) はそのまま使用できますので、アダプター無しで挿入してください。

注意

- ディスプレイの開閉時や各ディスクを出し入れするときは、変速レバーなどにぶつからないように注意してください。
- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。
- レーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクを挿入するとき、ディスプレイなどに接触しないように注意してください。

【◀◀ または ▶▶】… ①

聴きたい曲(ファイル)を選ぶ

聴きたい曲(ファイル)の頭出しをします。

1 ◀◀ または ▶▶ にタッチし、聴きたい曲(ファイル)を選びます。

- ◀◀ にタッチすると、再生している曲(ファイル)の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲(ファイル)の頭出しをします。
- ▶▶ にタッチすると、次の曲(ファイル)に進みます。

【 または 】 … ②

早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しすることができます。

1  または  にタッチし続けます。

スイッチから指を離すまで早送り（早戻し）します。

-  にタッチし続けると、早戻しします。
-  にタッチし続けると、早送りします。

▶ 先頭曲の頭まで早戻しすると、早戻しが解除され、通常再生に戻ります。

▶ 5.1 Music Disc (DTS-CD) は、早送り / 早戻し中は音が出ません。

【】 …………… ③

一時停止する

1  にタッチします。
再生中の曲が一時停止します。

2 通常再生に戻すには、 にタッチします。

【】 …………… ④

繰り返し聴く（リピート）

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し聴くことができます。

1 再生中に  にタッチします。

再生中の曲が繰り返し再生されます。

- タッチするたびに、リピートモードが切りかわります。また、RPT インジケーターが画面上部に表示されます。

CD :

RPT → (RPT OFF) → RPT

MP3/WMA/AAC :

RPT → RPT FOLDER → (RPT OFF) → RPT

RPT : 1 曲のみを繰り返し演奏します。

RPT FOLDER :

フォルダ内の曲のみを対象に繰り返し演奏します。

2 解除するには、リピートモードを解除するまで  にタッチします。

▶ スキャンまたはミックス演奏中にリピートモードにすると、スキャン / ミックスモードは解除されます。

【】 …………… ⑤

曲順を変えて聴く（ミックス）

再生中のディスクの曲を順不同に聴くことができます。

1  にタッチします。

順不同に曲が再生されます。MP3/WMA/AAC の場合は、現在再生しているリスト内の曲が順不同に再生されます。

- タッチするたびに、ミックスモードが切りかわります。また、M.I.X. インジケーターが画面上部に表示されます。

CD :

M.I.X. → (M.I.X. OFF) → M.I.X.

MP3/WMA/AAC :

M.I.X. FOLDER → M.I.X. → (M.I.X. OFF)

→ M.I.X. FOLDER

M.I.X. FOLDER :

フォルダ内のみを対象に順不同に演奏します。

M.I.X. : ディスク内の曲を順不同に演奏します。

2 解除するには、ミックスモードを解除するまで  にタッチします。

▶ すべての曲の再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を継続します。

▶ ミックス再生中は  にタッチして前の曲を選ぶことはできません。

▶ ミックス再生中は、現在再生している曲の頭まで早戻しすると再生に戻ります。

▶ スキャンまたはリピート演奏中にミックスモードにすると、スキャン / リピートモードは解除されます。

【  】 ⑥

曲のイントロだけを聴く (スキャン)

再生中のディスクの曲のイントロ部分だけを聴いて、
聴きたい曲を探することができます。

1 にタッチします。

曲のイントロ部分が約 10 秒間ずつ再生されます。

- タッチするたびに、スキャンモードが切りかわります。また、SCAN インジケータが画面上部に表示されます。

CD :

SCAN → (SCAN OFF) → SCAN

MP3/WMA/AAC :

SCAN FOLDER → SCAN → (SCAN OFF)
→ SCAN FOLDER

SCAN FOLDER :

全フォルダの最初の曲のイントロ部分が約 10 秒間ずつ再生されます。

SCAN :

フォルダ内の曲のイントロ部分が約 10 秒間ずつ再生されます。

2 聴きたい曲が見つかったら、 にタッチします。

その曲の頭から再生します。

- ▶ ミックスまたはリピート演奏中にスキャンモードにすると、ミックス / リピートモードは解除されます。

【  機能2 】 ⑦

操作スイッチを切りかえる (MP3/WMA/AAC)

1 にタッチします。

操作スイッチ 2 に切りかわります。

2 にタッチします。

操作スイッチ 1 に切りかわります。



聴きたい曲を探す

聴きたい曲を探します。また、現在再生している前後のフォルダを選ぶことができます。
それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

＜表示例＞



【再生リスト】…………… ①

再生リストサーチ

現在再生対象となっている曲名のリストを表示させて、曲を選びます。

- 1 **再生リスト** にタッチします。
- 2 リストの中から聴きたい曲名にタッチします。



再生中の曲のアルバム名 / アーティスト名

選択した曲が再生されます。

▶ リストに表示されるアイコンは次のとおりです。

- ▶ : 再生中の曲
- 済 : 本機 HDD に録音されている曲
- 未 : 本機 HDD に録音されていない曲
- : 本機 HDD に録音中の曲
- ✕ : 録音に失敗した曲

▶ ミックス再生中は、再生リストサーチを行うことはできません。

【◀フォ または ルダ▶】 ②

フォルダを選ぶ (MP3/WMA/AAC)

MP3/WMA/AAC で記録されたディスクは、フォルダ単位で選ぶことができます。

- 1 **◀フォ** または **ルダ▶** にタッチし、前後のフォルダを選びます。

- **◀フォ** にタッチすると、前のフォルダの最初のファイルから再生します。
- **ルダ▶** にタッチすると、次のフォルダの最初のファイルから再生します。
- ルートフォルダも一つのフォルダとして認識します。
- ファイル / フォルダの再生順については、「MP3/WMA/AAC ファイル、フォルダの演奏順について（ディスク）」（197 ページ）を参照してください。

▶ フォルダが 1 つしかない場合、フォルダ選択操作を行うことはできません。

ファイルサーチ (MP3/WMA/AAC)

フォルダ名 / ファイル名をリスト表示して選択することができます。

- 1 **サーチ** にタッチします。
フォルダサーチ画面が表示されます。
- 2 希望のフォルダにタッチします。



- 3 希望のファイルにタッチします。



選択したファイルが再生されます。

HDD AUDIO

❖ HDD をご使用になる前に	256
HDD について	256
データベースについて	256
Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書	256
録音について	258
❖ HDD へ録音する	259
自動で録音する	259
手動で録音する	259
❖ 画面の見かた	260
❖ 基本操作	261
再生する	261
聴きたい曲（ファイル）を選ぶ	261
早送り・早戻しする	262
一時停止する	262
操作スイッチを切りかえる	262
繰り返し聴く（リピート）	263
曲順を変えて聴く（ミックス）	263
曲のイントロだけを聴く（スキャン）	263
❖ 聴きたい曲を探す	264
サーチ画面を表示する	265
ジャンルから検索する	265
アーティストから検索する	265
アルバムから検索する	265
曲を検索する	266
プレイリストを検索する	266
ダイレクトサーチ機能	266
ダイレクトアップ / ダウン機能	267
再生リストサーチ	267
❖ 録音曲編集	268
録音曲編集画面を表示する	268
録音曲を消去する	269
演奏順を変更する	269
タイトル情報を取得する	269
録音曲の名称を変更する	270
❖ プレイリスト編集	273
プレイリスト編集画面を表示する	273
プレイリスト名称を変更する	274
プレイリストを編集する	274
HDD の曲をプレイリストに登録する	275

HDD をご使用になる前に

HDD について

CD で再生している音楽の音声を本機の HDD（ハードディスク）へ最大 9,999 曲録音することができます。

※ 1 曲あたり 128kbps、4 分の曲を録音すると約 5,500 曲録音できます。録音時間や録音モードによって、作成できるアルバム数、録音可能な曲数は異なります。

HDD へ録音された音楽は、聴きたい曲やアルバム、アーティストごとに選択して再生したり、お好みの曲を「プレイリスト」に登録することができます。

データベースについて

本機は、内蔵の CD プレーヤーから CD アルバムを HDD に録音した場合は、ハードディスクに収録されている Gracenote データベースから、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、録音した音楽データに自動で付与します。

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote 音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

▶ Gracenote データベース情報は、地図ディスクによるバージョンアップの際に更新されます。また、携帯電話を接続して Gracenote 音楽認識サービスのサーバーにアクセスし、情報を取得することができます（「ダウンロードして取得する」270 ページ参照）。SD メモリーカードや USB メモリを使用して更新することはできません。

Gracenote 音楽認識サービスについて

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote[®] により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次の Web サイトをご覧ください：
www.gracenote.com

Gracenote からの CD および音楽関連データ：
Copyright (c) 2000 - 2010 Gracenote.

Gracenote Software：Copyright (c)
2000-2010 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります：
#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、
#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、
#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。

一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用に Open Globe, Inc. から提供されました。

Gracenote および CDDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。

Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate



▶ 「Gracenote[®] 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては、内容を 100%保証するものではありません。

Gracenote[®] エンドユーザー 使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンライン サーバーから、または製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利目的にのみを使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとしま

す。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはありません。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2010

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽 / 音声データについては保証できません。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽 / 音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- ACC の状態で録音しているときにイグニッションキーを ON にすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップ CD（曲と曲の間に無音部分が無い CD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）規格の CD は、メッセージが表示され、録音することができません。
- ハードディスクの容量がいっぱいの場合は、メッセージが表示され、録音することができません。
- 録音時間や録音モードによって、録音可能な曲の総数は異なります。
- HDD に録音可能な容量は最大 9,999 曲です。また、録音可能なアルバム数 / アーティスト数はそれぞれ最大 999 です。
- 本機は、CD-R 等へ書き込まれた、MP3/WMA/AAC の圧縮ファイルを録音することはできません。

録音モードの設定について

- 録音されるデータ形式は次の通りです。
録音形式 : AAC
サンプリングレート : 44.1kHz
ビットレート : 96kbps/128kbps/192kbps
- CD を録音する場合に、CD を再生すると同時に録音を開始するかどうかを設定することができます（初期設定値は「する」）。詳しくは、「自動録音の設定」（312 ページ）を参照してください。
- 録音するときの音質を設定することができます（初期設定値は「128k」）。詳しくは、「録音ビットレートの設定」（312 ページ）を参照してください。

録音について

- 録音中に CD モードからほかのオーディオモード（HDD AUDIO/SD メモリーカード/USB メモリ/iPod を除く）に切りかえても録音は継続しています。
- 録音中に以下の操作を行うと録音は停止します。
 - ・  にタッチする
 - ・ イグニッションキーを OFF にする
 - ・ CD を取り出す
 - ・ オーディオモードを HDD AUDIO/SD/USB/iPod に切りかえる

録音中にイグニッションキーを OFF にしたり、CD を取り出したりすると、録音中の曲は消去されますが、それまで録音した曲は保存されます。録音設定の「自動録音」を「する」に設定している場合は、未録音の曲がある CD を挿入またはイグニッションキーを ON にすると、未録音の曲から録音を開始します。ただし、CD を録音中に  にタッチして録音を停止させたまま、イグニッションキーを OFF/ON しても録音は開始されません。

- すでに録音されている曲を、再度録音することはできません。
- ハードディスクの容量が不足している場合は、メッセージが表示され、すべての曲を録音することができません。
- 録音中はインジケーターで進捗状況が表示されません。

HDD へ録音する

自動で録音する

CD を本機に挿入すると、再生と同時に CD 内の全曲を自動で HDD へ録音します。

- ▶ あらかじめ録音設定の「HDD 自動録音」を「する」（初期設定値は「する」）に設定してください（「自動録音の設定」312 ページ参照）。

1 CD を挿入します。

CD が再生され、自動で HDD への録音が始まります。

- CD を挿入する操作については、「DVD、CD、SD メモリーカードの出し入れ」（28 ページ）を参照してください。
- 途中で録音を停止する場合は、CD 操作画面で  にタッチして、確認メッセージが現れたら **はい** にタッチします。

手動で録音する

1 CD 操作画面で にタッチします。

2 確認メッセージが現れたら **はい** にタッチします。

HDD への録音が開始されます。

- 途中で録音を停止する場合は、CD 操作画面で  にタッチして、確認メッセージが現れたら **はい** にタッチします。
- ▶ CD-R、CD-RW などは、HDD に録音できない場合があります。
- ▶ 5.1 Music Disc (DTS-CD) は録音できません。
- ▶ すでに録音されている曲を、再度録音することはできません。
- ▶ リピート / ミックス / スキャン再生中は、録音操作を行うことはできません。
- ▶ 録音を手動で開始すると、再生していた曲の頭から再生します。
- ▶ 録音を停止すると、再生していた曲の頭から再生を開始します。
- ▶ 録音中は、HDD に録音済みのオーディオデータが再生されます。
- ▶ SD メモリーカード / USB メモリからのコピー中、地図データコピー中、電話帳読み込み中は録音開始されません。

- ▶ エンジンキーを OFF にするなど録音が中断された場合、録音中の曲は HDD に保存されません。録音を再開したときは、録音していた曲の頭から録音が始まります。
- ▶ 録音中は、早送り / 早戻し、リピート / ミックス / スキャン再生を行うことはできません。
- ▶ SCMS (シリアルコピーマネジメントシステム) 規格の CD は、メッセージが表示され録音できません。
- ▶ 録音するときの音質を設定することができます（初期設定値は「128k」）。詳しくは、「録音ビットレートの設定」（312 ページ）を参照してください。
- ▶ 録音時間は、再生時間よりも早い速度（約 6 倍）で録音されます。ただし、未録音の曲を再生した場合などは、録音速度が若干低下します。また、ルート案内中の録音速度は 6 倍速に満たない場合があります。
- ▶ **再生リスト** にタッチしてリストを表示すると、曲名にアイコンが表示されます。
 -  : 再生中の曲
 -  : 録音済みの曲
 -  : 本機 HDD に録音されていない曲
 -  : 録音中の曲
 -  : 録音に失敗した曲
- ▶ 録音中に HDD AUDIO/SD/USB/iPod モードへの切りかえ操作を行うと、確認メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると録音を終了して切りかわります。
- ▶ CD を HDD に録音すると、本機に収録されている Gracenote データベースから曲情報を検索し、自動で付与します。曲情報がない場合には携帯電話を接続して Gracenote 音楽認識サービスのサーバーにアクセスし、曲情報を取得することができます（「ダウンロードして取得する」270 ページ参照）。
- ▶ Gracenote データベースから曲情報を検索し、複数の曲情報に一致した場合、最初に一致した曲情報を自動で付与します。実際の曲情報と一致していない場合は、手動にて編集してください（「録音曲の名称を変更する」270 ページ参照）。

画面の見かた

HDD 再生画面は、次のように表示されます。



- 1 **トラック No.**
- 2 **曲名 / アルバム名 / アーティスト名表示**
- 3 **演奏経過時間表示**
- 4 **曲名リスト表示**
再生中の曲はリスト中央に表示されます。

- 5 **イメージ表示**
- 6 **状態表示**
再生モード (SCAN (スキャン再生)、M.I.X. LIST (ミックス再生)、RPT (リピート再生)) の状態が表示されます。

基本操作

ここでは基本的な操作の説明を行います。

2つの画面を例に説明しています。263ページも参照してください。また、それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

<表示例1>



再生する

HDD に収録されている音楽を聴きます。

- 1 **ソース / ・POWER** スイッチを押します。
AV ソースメニュー画面が表示されます。



- 2 **HDD** にタッチします。
再生が始まります。

- ▶ タイトル情報が記録されていないときは、タイトル情報を取得して記録することができます（「タイトル情報を取得する」269ページ参照）。
- ▶ 最初にHDD再生したときは一番古く録音された曲（アルバムの場合はアルバムの1曲目）の再生が始まります。

【◀ または ▶】… ①

聴きたい曲（ファイル）を選ぶ

聴きたい曲の頭出しをします。

- 1 **◀ または ▶** にタッチし、聴きたい曲を選びます。

- **◀** にタッチすると、再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします。
- **▶** にタッチすると、次の曲に進みます。

【**⏮** または **⏭**】… ②

早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しすることができます。

1 **⏮** または **⏭** にタッチし続けます。

スイッチから指をはなすまで早送り（早戻し）します。

- **⏮** にタッチし続けると、早戻しします。
- **⏭** にタッチし続けると、早送りします。

▶ 先頭曲の頭まで早戻しすると、早戻しが解除され、通常再生に戻ります。

【**⏸**】…………… ③

一時停止する

1 **⏸** にタッチします。

再生中の曲が一時停止します。

2 通常再生に戻すには、**⏸** にタッチします。

【**機能2**】…………… ④

操作スイッチを切りかえる

1 **機能2** にタッチします。

操作スイッチ 2 に切りかわります。

2 **機能1** にタッチします。

操作スイッチ 1 に切りかわります。





(263 ページ) (263 ページ) (263 ページ)

上画面のタッチスイッチが表示されていない場合は、**[機能]** にタッチして操作スイッチを切りかえてください。

[〰] ⑤

繰り返し聴く (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し聴くことができます。

1 再生中に **[〰]** にタッチします。

再生中の曲が繰り返し再生されます。

- リピート再生中は、RPT インジケータが画面に表示されます。

2 解除するには、もう一度 **[〰]** にタッチします。

- ▶ スキャンまたはミックス演奏中にリピートモードになると、スキャン/ミックスモードは解除されます。

[〰] ⑥

曲順を変えて聴く (ミックス)

再生中のディスクの曲を順不同に聴くことができます。

1 **[〰]** にタッチします。

順不同に曲が再生されます。

- ミックス再生中は、M.I.X. LIST インジケータが画面に表示されます。

2 解除するには、もう一度 **[〰]** にタッチします。

- ▶ ミックス再生中は **[〰]** にタッチして前の曲を選ぶことはできません。
- ▶ ミックス再生中は、現在再生している曲の頭まで早戻しすると再生に戻ります。
- ▶ スキャンまたはリピート演奏中にミックスモードになると、スキャン/リピートモードは解除されます。
- ▶ すべての曲の再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を継続します。

[〰] ⑦

曲のイントロだけを聴く (スキャン)

再生中のディスクの曲のイントロ部分だけを聴いて、聴きたい曲を探することができます。

1 **[〰]** にタッチします。

全曲のイントロ部分が約 10 秒間ずつ再生されます。

- スキャン再生中は、SCAN インジケータが画面に表示されます。

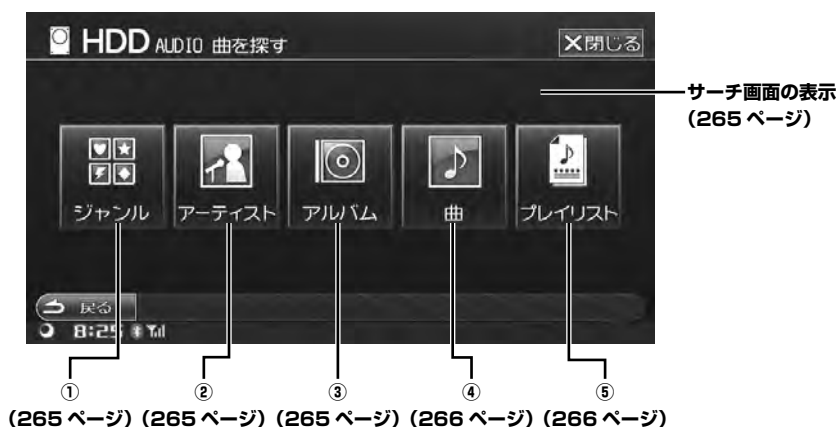
2 聴きたい曲が見つかったら、もう一度 **[〰]** にタッチします。
その曲の再生を続けます。

- ▶ ミックスまたはリピート演奏中にスキャンモードになると、ミックス/リピートモードは解除されます。

聴きたい曲を探す

ミュージックファイル再生時、アルバムやアーティストごとにリストを表示させてリストの中からお好みのアルバムなどを選ぶことができます。

<表示例>



- ▶ ダイレクトサーチ機能を使用してより効率良く検索することができます。詳しくは「ダイレクトサーチ機能」(266 ページ)を参照してください。
- ▶ 再生画面から、再生リストを表示させて曲を選ぶこともできます。「再生リストサーチ」(267 ページ)を参照してください。

サーチ画面を表示する

- 1 HDD 再生画面で **サーチ** にタッチします。



サーチ画面が表示されます。

【ジャンル】…………… ① ジャンルから検索する

- 1 **ジャンル** にタッチします。
ジャンル選択画面が表示されます。
- 2 聴きたいジャンルにタッチします。



選んだジャンルの中のアルバムが繰り返し再生されます。

【アーティスト】…………… ② アーティストから検索する

- 1 **アーティスト** にタッチします。
アーティスト選択画面が表示されます。
- 2 聴きたいアーティストにタッチします。



選んだアーティストの中のアルバムが繰り返し再生されます。

【アルバム】…………… ③ アルバムから検索する

- 1 **アルバム** にタッチします。
アルバム選択画面が表示されます。
- 2 聴きたいアルバムにタッチします。



選んだアルバムの 1 曲目から繰り返し再生されます。

【曲】 ④

曲を検索する

- 1 **曲** にタッチします。
曲選択画面が表示されます。
- 2 聴きたい曲名スイッチにタッチします。



選んだ曲が再生されます。

【プレイリスト】 ⑤

プレイリストを検索する

- 1 **プレイリスト** にタッチします。
プレイリストがリスト表示されます。
- 2 聴きたいプレイリストにタッチします。



選んだプレイリストが繰り返し再生されます。

ダイレクトサーチ機能

本機には、より効率良く検索する為に、ダイレクトサーチ機能が用意されています。各サーチモード時に利用することで、探したい曲などを素早く探し出すことができます。

- 1 サーチモード中、スライダバーの任意の場所にタッチします。



スライダバー

指定された場所へ素早くジャンプします。

例) 曲名サーチの場合

HDD に 100 曲入っているとします。この全曲を 10 分割し、スライダバーに割り当てます。



例 1)

探したい曲が 50 曲目位に入っていると予想した時は、スライダバーの「50%」をタッチします。50 曲目前後のリストが表示されます。

例 2)

探したい曲が 80 曲目位に入っていると予想した時は、スライダバーの「80%」をタッチします。80 曲目前後のリストが表示されます。

- ▶ スライダバーにタッチし、左右にスライドさせることで操作することもできます。スライド操作に従い、リストもスクロールします。

ダイレクトアップ / ダウン機能

例えばサーチモードでアルバムを選択して決定すると、そのアルバムを繰り返し再生します。その場合ダイレクトアップ / ダウン機能を使用すると、簡単に別のアルバムを選ぶことができます。

画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで決定したモードになります。

1 HDD 再生画面で、ダイレクトアップ / ダウンスイッチにタッチします。



ダイレクトアップ / ダウンスイッチ

ダイレクトアップ / ダウンスイッチ種類：

◀ジャ ンル▶、◀アーテ ィスト▶、
◀アル バム▶、◀プレイ リスト▶

- ▶ サーチを行っていない、曲で検索している、サーチで絞り込んだモードに 1 つしかアルバムなどがなかった場合は、操作できません。

再生リストサーチ

曲名のリストを表示させて、曲を選びます。例えばサーチモードでアルバムを選択して決定すると、そのアルバムの曲名リストが表示されます。

1 再生リスト にタッチします。



2 リストの中から聴きたい曲名にタッチします。



選択した曲が再生されます。

- ▶ ミックス再生中は、再生リストサーチを行うことはできません。

録音曲編集

HDD に録音されている曲の名称や演奏順などを編集します。

それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

<表示例>



録音曲編集画面を表示する

2 録音曲編集 にタッチします。

1 HDD 再生画面で **編集** にタッチします。



編集画面が表示されます。



録音曲編集画面が表示されます。

【 消去 】 ①

録音曲を消去する

HDD に収録されている曲やアルバムを消去します。

- ▶ プレイリストに登録されている HDD の曲を消去すると、プレイリストのリストからも消去されます。

曲を消去する

選択した曲を消去します。まず消去したい曲が収録されているアルバムを再生してください。

- 1 消去したい曲名にタッチします。
- 2 **消去** にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。
- 3 **はい** にタッチします。
選択した曲が消去されます。

アルバムを消去する

選択したアルバムとアルバム内のすべての曲を消去します。まず消去したいアルバムを再生してください。

- 1 **消去** にタッチし続けます。
確認のメッセージが表示されます。
- 2 **はい** にタッチします。
選択したアルバムとアルバム内のすべての曲が消去されます。

【 演奏順 UP または 演奏順 DN 】 ... ②

演奏順を変更する

HDD に収録されているアルバムの中の曲順を変更します。まず曲順を変更したいアルバムを再生してください。

- 1 曲順を変更したい曲名にタッチします。
- 2 変更したい位置まで **演奏順 UP** または **演奏順 DN** にタッチします。
演奏曲順が変更されます。
 - **演奏順 UP** にタッチするたびに、曲順が上へ移動します。
 - **演奏順 DN** にタッチするたびに、曲順が下へ移動します。

【 再取得 】 ③

タイトル情報を取得する

録音終了時に自動的に付与されなかったアルバムのタイトルデータを手動で取得することができます。まずタイトルを取得したいアルバムを再生してください。

本機データベースから取得する

ハードディスクに収録されている Gracenote データベースから、タイトル情報を取得します。

- 1 **再取得** にタッチします。
本機に収録されている Gracenote データベースから取得されたアルバム / アーティスト名一覧が表示されます。
 - 該当するタイトルデータがなかった場合は、メッセージが表示されます。
- 2 該当するアルバムにタッチします。
HDD 編集画面に戻り、アルバム名、アーティスト名、曲名が表示されます。

ダウンロードして取得する

インターネットで Gracenote メディアデータベースにアクセスして、該当する音楽情報を検索し、タイトルデータをダウンロードすることができます。

- ▶ ダウンロードするには、携帯電話の接続が必要です。
- ▶ ダウンロードするには、あらかじめ通信設定を行ってください（「通信機能の設定」（363 ページ）参照）。
- ▶ 一部の機種ではダウンロードできない場合があります。
- ▶ ダウンロードできなかった場合は、以下のメッセージを表示します。
 - Gracenote データベースにデータがない場合：「情報がありませんでした」
 - 通信エラーなどの場合：「情報を取得できませんでした」
- ▶ 1 アルバムずつ取得されます。

1 再取得 にタッチします。

2 通信 にタッチします。



インターネットに接続され、データを検索したあとダウンロードを開始します。

- ダウンロードが終了すると、回線を切断しアルバム / アーティスト名一覧が表示されます。
- ダウンロードして取得されたアルバムには、HDD の編集画面の曲名リストに「」アイコンが表示されます。

3 該当するアルバムにタッチします。 HDD 編集画面に戻り、アルバム名、アーティスト名、曲名が表示されます。

【名称変更】…………… ④

録音曲の名称を変更する

HDD に収録されている曲の、アルバム名 / アーティスト名 / 曲名 / ジャンル名称を編集します。

- ▶ 編集中は HDD の再生を一時停止します。編集終了後に再び再生を開始します。
- ▶ 現在再生中の曲やアルバムを消去した場合は次の曲からの再生となり、現在再生中の曲の再生順番を変更した場合、変更後の順番に従って再生されます。
- ▶ 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

アルバム名を変更する

まずタイトルを変更したいアルバムを再生してください。

1 名称変更 にタッチします。

2 アルバム にタッチします。



文字入力画面が表示されます。

3 アルバム名を入力します。



- 入力できる文字数は最大で全角 / 半角 64 文字です。
- 文字を入力する方法については、「文字・数字の入力方法」（36 ページ）を参照してください。

4 完了 にタッチします。 入力したアルバム名が表示されます。

アーティスト名を新規登録する

まず変更したいアーティストの曲を再生してください。

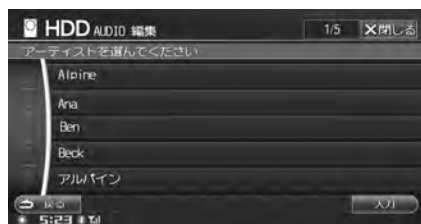
1 **名称変更** にタッチします。

2 **アーティスト** にタッチします。



HDD に録音されているアーティストリストが表示されます。

3 **入力** にタッチします。

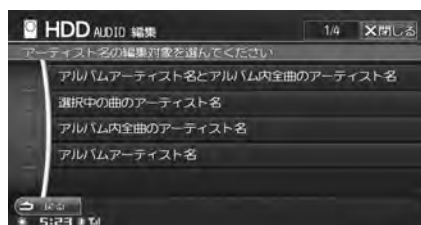


4 アーティスト名を入力します。

- 文字を入力する方法については、「文字・数字の入力方法」(36 ページ)を参照してください。
- 入力できる文字数は最大で全角 / 半角 64 文字です。

5 **完了** にタッチします。

6 変更したいアーティストの対象を選んでタッチします。



選択した範囲のアーティスト名が、入力したアーティスト名に変更されます。

- アルバムのアーティスト名と、アルバム内の曲のアーティスト名が異なる場合、それぞれ変更することができます。現在選択している曲のアーティスト名のみを変更することもできます。

選択範囲：

アルバムアーティスト名とアルバム内全曲のアーティスト名、
選択中の曲のアーティスト名、
アルバム内全曲のアーティスト名、
アルバムアーティスト名

アーティスト名を変更する

まず変更したいアーティストの曲を再生してください。

1 **名称変更** にタッチします。

2 **アーティスト** にタッチします。

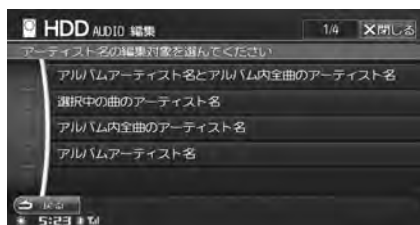


HDD に録音されているアーティストリストが表示されます。

3 設定したいアーティスト名にタッチします。



4 変更したいアーティストの対象を選んでタッチします。



選択した範囲のアーティスト名が、手順 3 でタッチしたアーティスト名に変更されます。

- アルバムのアーティスト名と、アルバム内の曲のアーティスト名が異なる場合、それぞれ変更するかどうかを選択できます。現在選択している曲のアーティスト名のみを変更することもできます。

選択範囲：

アルバムアーティスト名とアルバム内全曲のアーティスト名、
選択中の曲のアーティスト名、
アルバム内全曲のアーティスト名、
アルバムアーティスト名

曲名を変更する

まず変更したい曲が収録されているアルバムを再生してください。

- 1 表示されているリストの変更したい曲名にタッチします。



- 2 **名称変更** にタッチします。

- 3 **曲名** にタッチします。



文字入力画面が表示されます。

- 4 曲名を入力します。

- 入力できる文字数は最大で全角 / 半角 64 文字です。
- 文字を入力する方法については、「文字・数字の入力方法」(36 ページ)を参照してください。

- 5 **完了** にタッチします。

入力した曲名がリストに表示されます。

ジャンルを変更する

まずジャンルを変更したいアルバムを再生してください。

- 1 **名称変更** にタッチします。

- 2 **ジャンル** にタッチします。



ジャンルリストが表示されます。

- 3 設定したいジャンル名称にタッチします。



タッチしたジャンルに変更されます。

- ジャンル数は 11 あります。同時にイメージ表示も切りかわります。

プレイリスト編集

本機には6つのプレイリストが登録されていて、それぞれのプレイリストの編集を行うことができます。それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

▶ プレイリスト再生中は、プレイリストの編集はできません。

<表示例>



プレイリスト編集画面を表示する

1 HDD 再生画面で **編集** にタッチします。



編集画面が表示されます。

2 **プレイリスト編集** にタッチします。



プレイリスト編集画面が表示されます。

【名称変更】…………… ①

プレイリスト名称を変更する

登録されているプレイリスト名を変更します。

- 1 名称を変更したいプレイリストにタッチします。
- 2 **名称変更** にタッチします。
文字入力画面が表示されます。
- 3 プレイリスト名を入力します。
 - 入力できる文字数は最大で全角 / 半角 64 文字です。文字を入力する方法については、「文字・数字の入力方法」(36 ページ) を参照してください。
- 4 **完了** にタッチします。
入力したプレイリスト名が表示されます。

【編集】…………… ②

プレイリストを編集する

プレイリスト編集画面では、プレイリスト内の曲の消去、演奏順変更を行うことができます。

プレイリスト内の曲を消去する

選択した曲を消去します。

- 1 消去したい曲が登録されているプレイリストにタッチします。
- 2 **編集** にタッチします。
- 3 消去したい曲名にタッチします。
- 4 **消去** にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

- 5 **はい** にタッチします。
選択した曲が消去されます。

▶ プレイリストから曲を消去しても、HDD の音楽データは消去されません。

プレイリスト内のすべての曲を消去する

選択したプレイリスト内のすべての曲を消去します。
ただし、プレイリストは消去されません。

- 1 消去したい曲が登録されているプレイリストにタッチします。
- 2 **編集** にタッチします。
- 3 **消去** にタッチし続けます。
確認のメッセージが表示されます。
- 4 **はい** にタッチします。
選択したプレイリスト内のすべての曲が消去されます。

▶ プレイリストから全曲消去しても、HDD の音楽データは消去されません。

曲を並べかえる

プレイリストの中の曲順を変更します。

- 1 曲順を変更したい曲が保存されているプレイリストにタッチします。
- 2 **編集** にタッチします。
- 3 曲順を変更したい曲名にタッチします。
- 4 変更したい位置まで **演奏順 UP** または **演奏順 DN** にタッチします。



1 回タッチするたびに、選択した曲が上または下へ移動します。

- **演奏順 UP** にタッチすると、曲順を上へ移動します。
- **演奏順 DN** にタッチすると、曲順を下へ移動します。

HDD の曲をプレイリストに登録する

再生中の曲をプレイリストへ登録します。まず登録したい曲を再生してください。

1 曲に登録したいプレイリスト名にタッチします。

2 **【曲を追加】** にタッチします。
メッセージが表示され、再生中の曲が選択したプレイリストに登録されます。

- ▶ 1 つのプレイリストに登録できる曲数は最大 999 曲です。
- ▶ 同じ曲を違うプレイリストに登録することもできます。また、1 つのプレイリストに何度も同じ曲を登録することもできます。

SD メモリーカード

❖ SD メモリーカードの操作

278

再生する 278

SD メモリーカードの操作

SD メモリーカードに記録された音楽データ（MP3/WMA/AAC）を本機内蔵プレーヤーで再生することができます。

また、画像ファイル、ナビの登録地点のコピーも SD メモリーカードを使用して行うことができます。コピー操作については、「メディア編集」（326 ページ）を参照してください。

画像ファイルを見るには、「画像ビューアー機能」（352 ページ）を参照してください。

再生する

1 SD メモリーカードを挿入します。

- SD メモリーカード出し入れの方法については、「DVD、CD、SD メモリーカードの出し入れ」（28 ページ）を参照してください。

2 ソース / POWER スイッチを押します。

AV ソースメニュー画面が表示されます。



3 SD にタッチします。

再生が始まります。

- 音楽ファイルの操作方法は CD ディスクに記録された MP3/WMA/AAC と同様になります。「CD/MP3/WMA/AAC」（247 ～ 254 ページ）を参照してください。

<再生時表示例>



iPod/iPhone

❖ 画面の見かた	280
❖ 基本操作	281
再生する	281
聴きたい曲 / 見たい映像を選ぶ	282
早送り・早戻しする	282
一時停止する	282
操作スイッチを切りかえる	282
繰り返し再生する (リピート)	283
曲順を変えて再生する シャッフル (M.I.X.)	283
全ての曲をミックス再生する シャッフル (M.I.X.)	283
❖ 聴きたい曲を探す	284
サーチ画面を表示する	285
プレイリストを検索する	285
ジャンルから検索する	285
アーティストから検索する	287
アルバムから検索する	287
曲を検索する	287
Podcast を検索する	287
オーディオブックを検索する	288
作曲者から検索する	288
ビデオファイルサーチモードに切りかえる	289
ダイレクトサーチ機能	289
ダイレクトアップ / ダウン機能	290
再生リストサーチ	290
❖ 見たい映像を探す	291
ビデオファイルを検索する	291
音楽ファイルサーチモードに切りかえる	291

画面の見かた

iPod/iPhone 再生画面は、次のように表示されます。

本機対応 iPod/iPhone については、「iPod/iPhone についてのご注意」(9 ページ) を参照してください。



- 1 **ファイル No.**
 - 2 **曲名 / アルバム名 / アーティスト名表示、エピソード名 / 番組名 / 放送日**
 - 3 **演奏経過時間表示**
 - 4 **曲名リスト表示**
再生中の曲はリスト中央に表示されます。シャッフル再生時は再生中の曲のみ表示されます。
 - 5 **画面設定 (ビデオファイル再生時のみ)**
ビデオファイル再生時のみ操作することができます。画面設定については、設定「画質調整」(330 ページ) を参照してください。
 - 6 **アートワーク表示 / イメージ表示**
 - 7 **ビデオアイコン表示***
ビデオファイルが音声出力のみされている場合、ビデオアイコンが表示されます。
- ※ オーディオファイルがビデオ出力されている場合、オーディオアイコンが表示されます。
-  : オーディオアイコン
- 8 **総演奏時間**
- 9 **状態表示**
再生モード (M.I.X. SONGS/M.I.X. ALBUMS (ミックス再生)、RPT (リピート再生)) の状態が表示されます。

- ▶ ファイル数が 9999 を超えた場合、それ以降のファイル No 表示は全て 9999 となります。
- ▶ アートワークデータや iPod の種類・バージョンによっては、取得したアートワークの画像が粗くなる場合があります。さらに iPod touch、iPhone では、転送される画像が小さいため、他の iPod よりも画像が粗く表示されます。

ビデオファイル再生時の iPod/iPhone 操作画面への切りかえ方

- 1 iPod/iPhone 再生画面で、画面にタッチします。
iPod/iPhone 操作画面が表示されます。



- しばらく (約 6 秒) 操作しないと、元の画面に戻ります。または **AV/・AUDIO OFF** を押しても元の画面に戻ります。

基本操作

iPod/iPhone を別売の iPod/iPhone 接続用ケーブル KCU-450iV を使用して本機に接続すると、本機から操作することができます。ビデオ対応 iPod/iPhone を接続して、音楽だけでなく動画ファイルを楽しむこともできます。

- ▶ iPod/iPhone の接続方法については、「iPod/iPhone の接続」(29 ページ) を参照してください。
- ▶ iPod/iPhone 接続中は、iPod/iPhone からの操作はできなくなります。
- ▶ iPod touch や iPhone のインターネット機能や電話機能等は本機から操作することはできませんが、iPod touch や iPhone 本体を操作して使用することができます。
- ▶ iPod/iPhone のバッテリーが空の場合でも、本機に接続すると iPod/iPhone を認識することができます。同時に充電を行います。

ここでは基本的な操作の説明を行います。

2 つの画面を例に説明しています。283 ページも参照してください。また、それぞれのタッチスイッチ (操作方法) について詳しくは、該当ページを参照してください。

<表示例>



再生する

iPod/iPhone に収録されている音楽を聴きます。

- 1 **ソース / POWER** スイッチを押します。
AV ソースメニュー画面が表示されます。



- 2 **iPod** にタッチします。
再生が始まります。

- ▶ ミュージックファイル再生中の iPod/iPhone を本機と接続すると、今まで再生していたファイルの続きから再生を行います。
- ▶ ビデオファイルを再生中の iPod/iPhone を本機と接続した場合、続きから再生することはできません。全てのミュージックファイルの最初の曲を再生します。
- ▶ iPod/iPhone 再生中に他のソースに切りかえると、iPod/iPhone は一時停止状態になります。
- ▶ 曲にアルバムアートワークデータがある場合、再生中表示することができます。ただし、アートワークデータの取得中 (約 2 秒間) は操作を受け付けなくなります。アートワークデータの取得は曲が変わるたびに行われます。「アートワークを自動で取得する」(312 ページ) を参照してください。
- ▶ iPhone 再生時、アルバムアートワークデータの取得中 (約 2 秒間) に音切れが発生する場合があります。音切れが発生する場合、「アートワーク自動取得」を「しない」に設定してください。設定方法については「アートワークを自動で取得する」(312 ページ) を参照してください。

【 ◀◀ または ▶▶ 】 … ①

聴きたい曲 / 見たい映像を選ぶ

ファイルの頭出しをします。

1 ◀◀ または ▶▶ にタッチし、聴きたい曲や見たい映像を選びます。

- ◀◀ にタッチすると、再生しているファイルの頭に戻ります。続けてタッチすると前のファイルの頭出しをします。
- ▶▶ にタッチすると、次のファイルに進みます。

▶ 「アートワークを自動で取得する」(312 ページ) を「する」に設定してある場合、曲が変わるたびに再生開始から 5 秒後にアートワークデータの取得が行われ、その間は操作を行うことはできません。

【 ◀◀ または ▶▶ 】 … ②

早送り・早戻しする

再生中のファイルを早送り、または早戻しすることができます。

1 ◀◀ または ▶▶ にタッチし続けます。

スイッチから指を離すまで早送り（早戻し）します。

- ◀◀ にタッチし続けると、早戻しします。
- ▶▶ にタッチし続けると、早送りします。

【 ▶|| 】 … ③

一時停止する

1 ▶|| にタッチします。

再生中のファイルが一時停止します。

2 通常再生に戻すには、再度 ▶|| にタッチします。

【 (機能2) 】 … ④

操作スイッチを切りかえる

1 (機能2) にタッチします。

操作スイッチ 2 に切りかわります。

2 (機能1) にタッチします。

操作スイッチ 1 に切りかわります。





(283 ページ) (283 ページ) (283 ページ)

上画面のタッチスイッチが表示されていない場合は、 にタッチして操作スイッチを切りかえてください。

【】 ⑤

繰り返し再生する (リピート)

1 にタッチします。

再生中の曲が繰り返し再生されます。

- リピート再生中は、RPT インジケータが画面に表示されます。

2 解除するには、もう一度 にタッチします。

【】 ⑥

曲順を変えて再生する シャッフル (M.I.X.)

iPod/iPhone のシャッフル機能は、本機では M.I.X. と表示されます。

シャッフル・アルバム (M.I.X. ALBUMS) :

サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

シャッフル・曲 (M.I.X. SONGS) :

サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内の曲を全曲、順不同に演奏する。

1 にタッチします。

- タッチするたびに、M.I.X. モードが切りかわります。

M.I.X. SONGS → M.I.X. ALBUMS →
(OFF) → M.I.X. SONGS

2 解除するには、M.I.X. モードが OFF になるまで にタッチします。

- ▶ 本機の M.I.X. ALBUMS、M.I.X. SONGS は、iPod のシャッフル・アルバム、シャッフル・曲と同じ動作になります。

【】 ⑦

全ての曲をミックス再生する シャッフル (M.I.X.)

iPod/iPhone 内全てのファイルをミックス再生します。

1 にタッチします。

順不同にファイルが再生されます。

- M.I.X. SONGS インジケータが画面に表示されます。

2 解除するには、もう一度 にタッチします。

- ▶ ビデオモード中に本操作を行うことはできません。
- ▶ iPod/iPhone 内すべてのファイルの再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を続けます。

聴きたい曲を探す

音楽ファイル再生時、アーティストやアルバムなどをリスト表示から選択することができます。

検索には大きく 8 つのサーチモードがあります。それぞれのサーチモードには階層があってより絞り込んだ検索を行うことができます。

■ ミュージックサーチモード階層

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
プレイリスト	曲	—	—
アーティスト	アルバム	曲	—
アルバム	曲	—	—
曲	—	—	—
ジャンル	アーティスト	アルバム	曲
Podcast	エピソード	—	—
オーディオブック	—	—	—
作曲者	アルバム	曲	—

<表示例>



- ▶ ダイレクトサーチ機能を使用してより効率良く検索することができます。詳しくは「ダイレクトサーチ機能」(289 ページ)を参照してください。
- ▶ 再生画面から、再生リストを表示させて曲を選ぶこともできます。「再生リストサーチ」(290 ページ)を参照してください。

サーチ画面を表示する

- ▶ ビデオファイル再生中は、ビデオファイルサーチモード画面が表示されます。そのときは音楽ファイルサーチモードに切りかえてください(「音楽ファイルサーチモードに切りかえる」291ページ参照)。

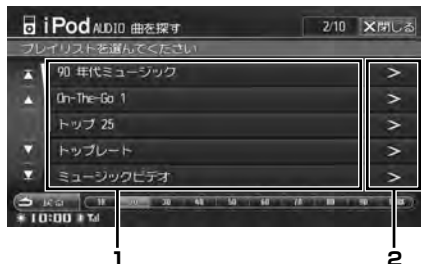
1 iPod/iPhone 再生画面で **サーチ** にタッチします。



サーチ画面が表示されます。

【プレイリスト】…………… ① プレイリストを検索する

- 1 **プレイリスト** にタッチします。
プレイリストがリスト表示されます。
- 2 聴きたいプレイリストの全曲を聴くには (2) にタッチします。聴きたいプレイリストの中の曲を検索するにはプレイリスト名称スイッチ (1) にタッチし、手順 3 に進みます。



- 1 選択したプレイリストの中の曲名が表示されます。手順 3 にお進みください。
- 2 選択したプレイリストの中の全曲が繰り返し再生されます。

3 聴きたい曲名スイッチにタッチします。



選んだ曲が再生されます。

- ▶ プレイリストにミュージックビデオなど映像データもある場合は、ビデオアイコンが表示されます。上記検索方法では音声のみ再生されます。

【ジャンル】…………… ② ジャンルから検索する

- 1 **ジャンル** にタッチします。
ジャンル選択画面が表示されます。
- 2 聴きたいジャンルの全曲を聴くには (4) にタッチします。聴きたいジャンルの中のアーティストを検索するにはジャンル名称スイッチ (3) にタッチし、手順 3 に進みます。



- 1 タッチすると、全てのジャンルのアーティスト名 (全アーティスト名) が表示されます。手順 3 にお進みください。
- 2 タッチすると、全てのジャンルの曲 (iPod 内全曲) を再生します。再生はジャンル順になります。
- 3 タッチすると、選択したジャンルの中のアーティスト名が表示されます。手順 3 にお進みください。
- 4 タッチすると、選択したジャンルの中の全曲が繰り返し再生されます。

- 3** 聴きたいアーティストの全曲を聴くには (8) にタッチします。聴きたいアーティストの中のアルバムを検索するにはアーティスト名称スイッチ (7) にタッチし、手順 4 に進みます。



- 5 タッチすると、全てのアーティストのアルバム名 (全アルバム名) が表示されます。手順 4 にお進みください。
- 6 タッチすると、全てのアーティストの曲を再生します。再生はアーティスト名の文字コード順になります。
- 7 タッチすると、選択したアーティストの中のアルバム名が表示されます。手順 4 にお進みください。
- 8 タッチすると、選択したアーティストの中の全曲が繰り返し再生されます。

- 4** 聴きたいアルバムの全曲を聴くには (12) にタッチします。聴きたいアルバムの中の曲を検索するにはアルバム名称スイッチ (11) にタッチし、手順 5 に進みます。



- 9 タッチすると、全てのアルバムの曲名が表示されます。手順 5 にお進みください。
- 10 タッチすると、全てのアルバムの曲を再生します。再生はアルバム名の文字コード順になります。
- 11 選択したアルバムの中の曲名が表示されます。手順 5 にお進みください。
- 12 選択したアルバムの中の全曲が繰り返し再生されます。

- 5** 聴きたい曲名スイッチにタッチします。



選んだ曲が再生されます。

【アーティスト】…………… ③

アーティストから検索する

- 1 **アーティスト** にタッチします。
アーティスト選択画面が表示されます。
•以降の操作は、「ジャンルから検索する」(285 ページ) 手順 3 以降を参照してください。

【アルバム】…………… ④

アルバムから検索する

- 1 **アルバム** にタッチします。
アルバム選択画面が表示されます。
•以降の操作は、「ジャンルから検索する」(285 ページ) 手順 4 以降を参照してください。

【曲】…………… ⑤

曲を検索する

- 1 **曲** にタッチします。
曲選択画面が表示されます。
- 2 聴きたい曲名スイッチにタッチします。



選んだ曲が再生されます。

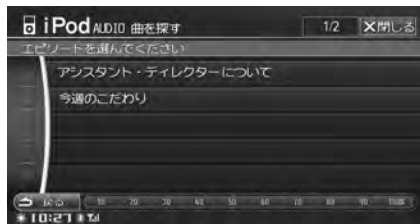
【Podcast】…………… ⑥

Podcast を検索する

- 1 **Podcast** にタッチします。
Podcast 名がリスト表示されます。
- 2 聴きたい Podcast の全てのエピソードを聴くには (2) にタッチします。
聴きたい Podcast の中のエピソードを検索するには Podcast 名称スイッチ (1) にタッチし、手順 3 に進みます。



- 1 選択した Podcast の中のエピソード名がリスト表示されます。手順 3 にお進みください。
- 2 選択した Podcast がエピソード 1 から再生されます。
- 3 聴きたいエピソード名スイッチにタッチします。



選んだエピソードが入っている Podcast が再生されます。

【オーディオブック】…… ⑦

オーディオブックを検索する

- 1 **オーディオブック** にタッチします。
オーディオブックがリスト表示されます。
- 2 聴きたいオーディオブックにタッチ
します。



選んだオーディオブックが再生されます。

【作曲者】…………… ⑧

作曲者から検索する

- 1 **作曲者** にタッチします。
作曲者がリスト表示されます。
- 2 聴きたい作曲者の全曲を聴くには
(4) にタッチします。聴きたい作曲
者の中の曲を検索するには作曲者名
称スイッチ (3) にタッチし、手順 3
に進みます。



- 1 タッチすると、全ての作曲者のアルバム (全アルバム) が表示されます。手順 3 にお進みください。
- 2 タッチすると、全ての作曲者の曲 (iPod 内全曲) を再生します。
- 3 選択した作曲者の中のアルバム名が表示されます。手順 3 にお進みください。
- 4 選択した作曲者の中の全曲が繰り返し再生されます。
- 3 聴きたいアルバムの全曲を聴くには (8) にタッチします。聴きたいアルバムの中の曲を検索するにはアルバム名称スイッチ (7) にタッチし、手順 4 に進みます。



- 5 タッチすると、全てのアルバムの曲名が表示されます。手順 4 にお進みください。
- 6 タッチすると、全てのアルバムの曲を再生します。
- 7 選択したアルバムの中の曲名が表示されます。手順 4 にお進みください。
- 8 選択したアルバムの中の全曲が繰り返し再生されます。
- 4 聴きたい曲名スイッチにタッチします。



選んだ曲が再生されます。

【ビデオ】…………… ⑨

ビデオファイルサーチモードに切りかえる

1 ビデオ にタッチします。



ビデオファイルサーチモードに切りかわり、ビデオファイルの検索を行うことができます。「見たい映像を探す」(291 ページ)を参照してください。

- ▶ 音楽ファイルサーチモードに切りかえるには **音楽** にタッチします。

ダイレクトサーチ機能

本機には、より効率良く検索する為に、ダイレクトサーチ機能が用意されています。各サーチモード時に利用することで、探したい曲などを素早く探し出すことができます。

1 サーチモード中、スライダバーの任意の場所にタッチします。



スライダバー

指定された場所へ素早くジャンプします。

例) 曲名サーチの場合

iPod に 100 曲入っているとします。この全曲を 10 分割し、スライダバーに割り当てます。



- 例 1) 探したい曲が 50 曲目位に入っていると予想した時は、スライダバーの「50%」をタッチします。50 曲目前後のリストが表示されます。
- 例 2) 探したい曲が 80 曲目位に入っていると予想した時は、スライダバーの「80%」をタッチします。80 曲目前後のリストが表示されます。

- ▶ ビデオサーチ時にも、ダイレクトサーチ機能を利用することができます。
- ▶ スライダバーにタッチし、左右にスライドさせることで操作することもできます。スライド操作に従い、リストもスクロールします。

ダイレクトアップ / ダウン機能

例えばサーチモードでアルバムを選択して決定すると、そのアルバムを繰り返し再生します。その場合ダイレクトアップ/ダウン機能を使用すると、簡単に別のアルバムを選ぶことができます。

画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで最後に決定したモードになります。

1 iPod/iPhone 再生画面で、ダイレクトアップ / ダウンスイッチにタッチします。



ダイレクトアップ / ダウンスイッチ

- **ダイレクトアップ / ダウンスイッチ種類：**



- ▶ サーチを行っていない、または曲名 / オーディオブック
サーチを行った場合は、操作できません。ビデオファイ
ルをサーチしたときも、操作できない場合があります。
 - ▶ アーティストサーチからアルバムを絞り込んだ場合は、
アルバムが対象となります。
 - ▶ ビデオファイル再生時にも、ダイレクトアップ / ダウン
機能を利用することができます。ビデオモードでのダイ
レクトアップ / ダウンスイッチはプレイリストモードの
場合は **◀プレイ** **リスト▶**、その他の場合は **◀**
- ▶** と表示されます。

再生リストサーチ

曲名のリストを表示させて、曲を選びます。例えばサーチモードでアルバムを選択して決定すると、そのアルバムの曲名リストが表示されます。

1 **再生リスト** にタッチします。



2 リストの中から聴きたい曲名にタッチします。



選択した曲が再生されます。

見たい映像を探す

ビデオファイル再生時、映画やミュージックビデオなどを、リスト表示から選択することができます。

ビデオファイルサーチは、基本的に iPod/iPhone の動作に準じます。iPod/iPhone 側の仕様変更に伴い、本機でのサーチモードも変更になる場合があります。

■ ビデオサーチモード例

- Video Playlist
- Movies
- Music Videos など

ここでは Movie サーチを例に説明します。他のサーチモードの場合でも検索できる階層は異なりますが、同様の操作で検索ができます。

- ▶ ダイレクトサーチ機能を使用してより効率良く検索することができます。詳しくは「ダイレクトサーチ機能」(289 ページ) を参照してください。

ビデオファイルを検索する

1 iPod/iPhone 再生画面で **サーチ** にタッチします。

サーチ画面が表示されます。

- ▶ 音楽ファイル再生中は、音楽ファイルサーチモード画面が表示されます。そのときはビデオファイルサーチモードに切りかえてください(「ビデオファイルサーチモードに切りかえる」289 ページ参照)。

2 **Movies** にタッチします。



ビデオファイルリストが表示されます。

3 リストの中から、見たいビデオファイルにタッチします。



選んだビデオファイルが再生されます。

音楽ファイルサーチモードに切りかえる

1 **音楽** にタッチします。



音楽ファイルサーチモードに切りかわり、音楽ファイルの検索を行うことができます。「聴きたい曲を探す」(284 ページ) を参照してください。

- ▶ ビデオファイルサーチモードに切りかえるには **ビデオ** にタッチします。

USB メモリ

❖ USB メモリの操作

294

再生する 294

USB メモリの操作

USB メモリに記録された音楽データ（MP3/WMA/AAC）を本機内蔵プレーヤーで再生することができます。

また、画像ファイル、ナビの登録地点のコピーも USB メモリを使用して行うことができます。コピー操作については、「メディア編集」（326 ページ）を参照してください。

画像ファイルを見るには、「画像ビューアー機能」（352 ページ）を参照してください。

再生する

1 USB メモリを接続します。

- USB メモリの接続方法については、「USB メモリの接続」（30 ページ）を参照してください。

2 ソース / POWER スイッチを押します。

AV ソースメニュー画面が表示されます。



3 USB にタッチします。

再生が始まります。

- 音楽ファイルの操作方法は CD ディスクに記録された MP3/WMA/AAC と同様になります。「CD/MP3/WMA/AAC」（247 ～ 254 ページ）を参照してください。

<再生時表示例>



- ▶ ファイル数が 9999 を超えた場合、それ以降のトラック No 表示は全て 9999 となります。

外部機器

❖ 外部機器操作	296
外部入力モードにする	296

外部機器操作

外部機器を本機に接続することができます。

「外部機器を接続する」(312 ページ)を「なし」以外に設定してください。

外部入力モードにする

外部機器（ビデオデッキなど）を接続した場合にご使用ください。

1 ソース / ・ POWER スイッチを押します。

AV ソースメニュー画面が表示されます。



2 外部入力 にタッチします。

- 表示されるソース名は、「外部機器を接続する」(312 ページ参照)で設定した名称になります。

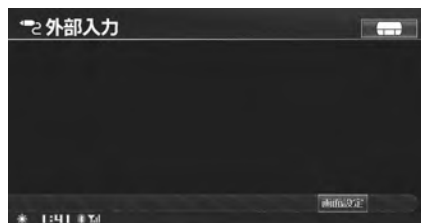
外部入力画面が表示されます。

操作画面を表示する

1 画面にタッチします。

操作画面が表示されます。

<外部入力 / 外部ビデオ / ゲームモード時>



- しばらく（約 6 秒）操作しない場合は、元の画面に戻ります。または **AV / ・ AUDIO OFF** を押しても元の画面に戻ります。

- ▶ 画面設定操作については、「画質調整」(330 ページ)を参照してください。

設定・編集 (ナビ・オーディオ編)

❖ 設定・編集	298
設定・編集操作を行う	298
❖ 各種設定	299
各種設定操作	299
地図表示設定	301
案内誘導設定	306
経路設定	309
VICS 設定	311
AV 設定	312
その他設定	313
❖ 地点編集	321
地点編集画面を表示する	322
登録地点編集	322
特別地点編集	323
迂回地点編集	324
カメラ表示地点編集	325
❖ メディア編集	326
メディア編集画面を表示する	327
画像ファイルをコピーする	327
登録地点をメディアへコピーする	328
登録地点をメディアからコピーする	329
メディア情報を見る	329
SD メモリーカードを初期化する	329
❖ 画質調整	330
画質調整操作	330
❖ 音量調整	333
音量調整操作	333
❖ 音質調整	334
基本設定	336
車種専用サウンドセットアップ EASY SETUP	337
MX モードの設定	340
イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ BASS MAX EQ	341
イコライザーカーブの設定 Parametric EQ	341
タイムコレクションの設定	342
X-OVER の設定	346
Dolby Pro Logic II を使う (Dolby 設定)	348
音像を調整する BI-PHANTOM (Dolby 設定)	349
迫力のある大音量再生を楽しむ (リスニングモード) (Dolby 設定)	349
スピーカーを設定する	350
スピーカー出力レベルを設定する	351
ソース間の音量レベルを調整する	351
❖ 画像ビューアー機能	352
壁紙を表示する	352
画像ビューアー操作	353

設定・編集

本機に関する様々な設定・編集操作を行うことができます。



設定・編集操作を行う

- 1 **メニュー** を押します。
- 2 **設定・編集** にタッチします。



設定・編集画面が表示されます。

- 3 いずれかのタッチスイッチにタッチして、設定・編集操作を行います。

• それぞれについて詳しくは、各ページを参照してください。

各種設定	: 299 ページ
地点編集	: 321 ページ
メディア編集	: 326 ページ
画質調整	: 330 ページ
音量調整	: 333 ページ
音質調整	: 334 ページ
電話設定	: 358 ページ
いつも NAVI 設定	: 369 ページ

各種設定

本機に関する各種設定を行います。

各種設定操作

各種設定画面では 6 種類の設定を行うことができます。それぞれの設定について詳しくは、該当ページを参照してください。



- 1 地図表示設定 (301 ページ)
- 2 案内誘導設定 (306 ページ)
- 3 経路設定 (309 ページ)

- 4 VICS 設定 (311 ページ)
- 5 AV 設定 (312 ページ)
- 6 その他設定 (313 ページ)

各種設定共通操作

次の手順 **1**～**5** は、各種設定の共通操作になります。
本機は設定に関する説明が画面に表示されます。
下記に説明するように、画面表示に従って設定を行ってください。また、各項目について詳しくは該当ページを参照してください。

1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。

2 **設定・編集** にタッチします。



設定・編集画面が表示されます。

3 **各種設定** にタッチします。



各種設定画面が表示されます。

4 **地図表示** **案内誘導** **経路** **VICS** **AV** **その他** のいずれかのタブにタッチします。



画面が切りかわります。

5 設定したい項目にタッチします。



6 画面説明を読んで設定を行います。



• **X** にタッチすると、手順 **5** の画面に戻ります。

地図表示設定

設定操作については「各種設定共通操作」(300ページ)を参照してください。

- ▶ 地図表示設定の中の一部の項目(「ランドマーク表示を設定する」～「路上駐車場マークを表示する」まで)は、現在地画面で **U03** にタッチしても設定することができます(「地図表示を設定する」53～56ページ参照)。

U03 から設定を行った場合：

1/ 左画面と右画面、それぞれに別の設定値を設定することができます。

各種設定 から設定を行った場合：

1 画面 / 左画面 / 右画面全て同じ設定値が適用されます。

ランドマーク表示を設定する

コンビニ・ガソリンスタンド・・・お好みの施設のランドマークを地図上に表示します(初期設定値は「する」)。

設定項目：ランドマーク表示

設定値：する / しない

する：地図上にランドマークを表示します。

しない：地図上にランドマーク表示を行いません。

<ランドマーク表示例>



- ▶ ランドマークは200mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。
- ▶ 本設定に関わらず、細街路オートスケールで右画面に表示される市街地図では、ランドマークが表示されます。

ランドマーク表示ジャンルを設定する

「ランドマーク表示」を「する」設定時に、ランドマークごとに表示するブランド名を選択できます。

1 **ランドマーク表示ジャンル** にタッチします。

2 各ランドマークの **選択** にタッチします。



ブランド選択画面が表示されます。

- すべてのブランドを表示するには **全てする** にタッチします。

- ▶ 最大20種類のランドマークを選択することができます。

3 各ブランド名の **する** または **しない** にタッチします。



4 **戻る** にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 1つのランドマークに設定できるブランド名は最大5つです。6つ以上設定するときは、「全てする」に設定してください。

軌跡表示を設定する

走行した道に沿って「点(黒色)」を残し、どのような道を走行したか知ることができます。表示可能な距離(100km)を超えると古い点から消えていきます(初期設定値は「しない」)。

設定項目：軌跡表示

設定値：する / しない

する：地図上に軌跡を表示します。

しない：地図上に軌跡表示を行いません。

軌跡を消去する

地図上の軌跡を消去することができます。

1 **軌跡情報を消去** にタッチします。

2 メッセージが現れたら、**はい** にタッチします。

軌跡情報が消去されます。

渋滞・混雑表示を設定する

VICS 渋滞情報を地図上に表示します。渋滞している箇所がわかるように、渋滞線を矢印で表示することができます（渋滞：赤実線矢印、混雑：橙実線矢印）（初期設定値は「する」）。

設定項目：渋滞・混雑表示

設定値：する / しない

する：地図上に渋滞・混雑の情報表示を矢印（赤 / 橙実線）の表示で行います。

しない：渋滞・混雑情報表示を行いません。



渋滞線

- ▶ 渋滞線は縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。
- ▶ 高速・有料道路では縁取りのある矢印、一般道路では縁取りなしの矢印になります。

空き道表示を設定する

VICS 渋滞情報を地図上に表示します。「する」に設定すると、渋滞が発生していない道路に緑実線矢印を表示します（初期設定値は「する」）。

設定項目：空き道表示

設定値：する / しない

する：地図上に空き道情報の表示を矢印（緑実線）表示で行います。

しない：空き道情報表示を行いません。

- ▶ 空き道表示は縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。
- ▶ 高速・有料道路では縁取りのある矢印、一般道路では縁取りなしの矢印になります。

渋滞推測表示（渋滞・混雑）

渋滞統計、渋滞学習情報を基に、渋滞が予想される箇所を地図に破線で表示することができます（渋滞：赤破線矢印、混雑：橙破線矢印）（初期設定値は「する」）。

設定項目：渋滞推測（渋滞・混雑）表示

設定値：する / しない

する：地図上に破線（渋滞・混雑）を表示します。

しない：渋滞推測（渋滞・混雑）表示を行いません。



渋滞推測線

- ▶ 実線矢印で表示される VICS 情報と破線表示の渋滞予測が両方ある場合は、VICS 情報が優先して表示されます。
- ▶ 渋滞推測線（渋滞・混雑）は縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。

渋滞推測機能について

- ▶ 本機能は JARTIC/VICS センターから提供された、現状情報を元に、NTT データが独自に作成した渋滞予測データを利用しています。
- ▶ 渋滞予測は現況の渋滞情報を考慮したものではありません。

渋滞推測表示（空き道）

渋滞統計、渋滞学習情報を基に、渋滞が発生しないと予想される箇所を緑破線矢印で表示することができます（初期設定値は「しない」）。

設定項目：渋滞推測（空き道）表示

設定値：する / しない

する：地図上に破線（空き道）を表示します。

しない：渋滞推測（空き道）表示を行いません。

- ▶ 実線矢印で表示される VICS 情報と破線表示の渋滞推測が両方ある場合は、VICS 情報が優先して表示されます。
- ▶ 渋滞推測線（空き道）は縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。

駐車場マークを表示する

VICS 提携駐車場のマークを案内画面に表示することができます（初期設定値は「しない」）。

設定項目：VICS 駐車場マーク表示

設定値：する / しない

する：地図上に VICS 提携駐車場マークを表示します。

しない：駐車場マークの表示を行いません。



VICS 駐車場マーク

- ▶ 駐車場マークは縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。
- ▶ 混雑の程度を色別表示します。色の意味については「駐車場情報の表示」(135 ページ)を参照してください。

規制マークを表示する

規制マーク（136 ページ参照）を案内画面に表示することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：規制マーク表示

設定値：する / しない

する：地図上に VICS 規制マークを表示します。

しない：規制マークの表示を行いません。



規制マーク

- ▶ 規制マークは縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。ただし、通行止め、入り口閉鎖、オフランプ閉鎖は関連する事象も含めて 20km スケールの地図まで表示します。

VICS 情報提供道路の設定

VICS 情報を提供する道路を全道路、高速道、一般道から選択することができます（初期設定値は「全道路」）。

設定項目：VICS 提供道路

設定値：全道路 / 高速 / 一般

全道路：高速・有料道路、一般道路どちらにも VICS 道路交通情報マークや渋滞線などを表示します。

高速：高速・有料道路のみ VICS 情報が表示されます。

一般：一般道路のみ、VICS 情報が表示されます。

路上駐車場マークを表示する

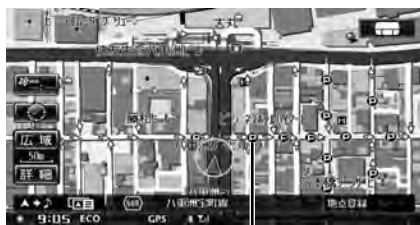
路上駐車場のマークを案内画面に表示することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：路上駐車場マーク表示

設定値：する / しない

する：地図上に路上駐車場マークを表示します。

しない：路上駐車場マークの表示を行いません。



路上駐車場マーク

- ▶ 路上駐車場マークは市街地図で表示させることができます。

渋滞線明滅表示の設定

地図上に表示される渋滞線を、明滅させて表示することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：渋滞線明滅表示

設定値：する / しない

する：地図上に表示される渋滞線が明滅します。

しない：渋滞線は明滅しません。

- ▶ 明滅するのは赤 / 橙実線矢印のみになります。

地図色を切りかえる

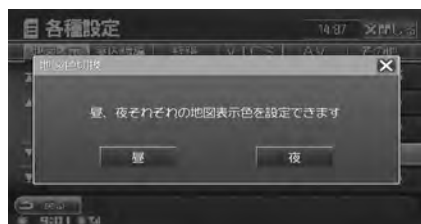
本機は画面を見やすくするため、昼画面と夜画面を切りかえることができます。昼、夜それぞれの地図表示色を4種類から選択することができます（初期設定値は、昼「標準（昼）」、夜「標準（夜）」）。

設定項目：地図色切換

設定値：昼／夜→標準（昼）／標準（夜）／
道路強調（昼）／道路強調（夜）

1 **地図色切換** にタッチします。

2 **昼** または **夜** にタッチします。



- **昼** にタッチすると昼色設定画面が表示され、**夜** にタッチすると夜色設定画面が表示されます。

3 **標準（昼）** **標準（夜）** **道路強調（昼）** **道路強調（夜）** いずれかの色にタッチします。



タッチした色に変更されます。

4 **戻る** にタッチすると設定画面に戻ります。

昼画面 / 夜画面の設定

本機は、昼画面 / 夜画面の切りかえを何に連動させるのかを選ぶことができます（初期設定値は「イルミ連動」）。

設定項目：地図色昼 / 夜切換
設定値：イルミ連動 / ディマー連動 / しない
イルミ連動：スモールランプの点灯・消灯により
昼画面と夜画面が切りかわります。
ディマー連動：車内の明るさに連動して、昼画面と
夜画面が切りかわります。
しない：昼画面のまま固定され、夜画面に切
りかえません。

行政界色分け表示の設定

市街地図で行政界（大字）の色を分けて表示するかどうか設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：行政界色分け
設定値：する / しない
する：市街地図で、行政界色分け表示をします。
しない：行政界での色分け表示を行いません。

誘導方向を表示する

ルート案内中、目的地の方向を直線の誘導線で表示するかどうかを設定することができます（初期設定値は「しない」）。

設定項目：誘導方向表示
設定値：する / しない
する：目的地方向への誘導線を表示します。
しない：誘導線の表示を行いません。



ビルを立体的に表示する

3D マップで、ビルを立体的に表示するかどうかを設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：ビル立体表示

設定値：する / しない

する：ビルを立体的に表示します。

しない：ビルの立体表示を行いません。



3D ランドマークを表示する

主要施設のリアルな立体的アイコンを地図上に表示することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：3D ランドマーク表示

設定値：する / しない

する：施設の立体的なアイコンを表示します。

しない：施設アイコンの立体表示を行いません。

- ▶ 3D ランドマークは縮尺 200m 以下の地図で表示することができます。

冬期規制アイコンを表示する

冬に通行止めとなる箇所アイコン表示をするかどうかを設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：冬期規制アイコン表示

設定値：する / しない

する：地図上に冬期規制箇所をアイコン表示します。

しない：冬期規制箇所のアイコン表示を行いません。



- ▶ 冬期規制アイコンは縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。
- ▶ 「する」に設定すると、冬期（11月～3月）の間、冬期規制アイコンが表示されます。道路によっては、4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。

細街路オートスケールの設定

目的地案内中に細街路を走行すると、自動的に2画面表示に切りかわります。右画面には25mスケール市街地図が表示され、細街路の案内を行います（初期設定値は「する」）。

設定項目：細街路オートスケール

設定値：する / しない

する：細街路走行時、自動的に2画面に切りかわって右画面で25m市街地図を表示します。

しない：細街路オートスケールを行いません。

- ▶ 市街地図が収録されていない地域では、50mスケール地図が表示されます。
- ▶ 音声案内は行われません。

走行中の地図表示を切りかえる

走行中、市街地図表示を簡略化し、見やすくすることができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：走行連動地図切換

設定値：する / しない

する：走行中の地図表示を簡略化します。

しない：地図表示の簡略化を行いません。

＜「する」設定時・走行中＞



＜「する」設定時・停車中＞



高速 / 有料道路モード地図設定

高速 / 有料道路走行中は、高速 / 有料道路を見やすく強調した地図表示を行います（初期設定値は「する」）。

設定項目：高速・有料モード地図

設定値：する / しない

する：高速 / 有料道路を見やすく表示します。

しない：通常地図を表示します。

自動ハイウェイモードの設定

高速道路を走行すると自動的に行程ガイドが表示される自動ハイウェイモードに切りかわります（初期設定値は「する」）。

設定項目：自動ハイウェイモード

設定値：する / しない

する：高速道路走行中、行程ガイドを表示します。

しない：高速道路を走行しても表示は変わりません。

<自動ハイウェイモード>



地図スクロール時の地名表示設定

地図画面をスクロールした時に、スクロールする方面の地名を画面上下左右に表示するかどうか設定することができます。どの方向にスクロールしているのかが分かります（初期設定値は「する」）。

設定項目：スクロール方面表示

設定値：する / しない

する：スクロール方面の地名を表示します。

しない：スクロールしても地名を表示しません。



- ▶ スクロール方面表示は 1km スケール以下の地図で表示されます。
- ▶ 英語表示に設定している場合は、スクロール方面表示は行われません（「英語で表示・案内する」309 ページ参照）。

地図の文字サイズを設定する

地図上に表示される文字サイズを、お好みに合わせて設定することができます（初期設定値は「小」）。

設定項目：施設文字

設定値：小 / 大

小：地図上の文字サイズが小さくなります。

大：地図上の文字サイズが大きくなります。

自転車マーク表示を設定する

自転車マークの表示をお好みに合わせて変更することができます（初期設定値は「マーク 1」）。

設定項目：自転車マーク

設定値：マーク 1 / マーク 2 / マーク 3

- ▶ マーク 3 のイラストは、「ドライブインフォの設定」（316 ページ）や「車種専用サウンドセットアップ EASY SETUP の設定」（337 ページ）で設定した車種により変化します。

案内誘導設定

設定操作については「各種設定共通操作」（300 ページ）を参照してください。

県境案内を設定する

都道府県境を越えるときに、音声で案内します（初期設定値は「する」）。

設定項目：県境案内

設定値：する / しない

する：県境案内を行います。

しない：県境案内を行いません。

合流案内を設定する

一般道路、高速道路のインターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）・SA/PA 出口など、合流が近づいた時に警告するかどうかを設定することができます（初期設定値は全て「する」）。

設定項目：合流案内 → 一般道 / SA・PA / IC / JCT

設定値：する / しない

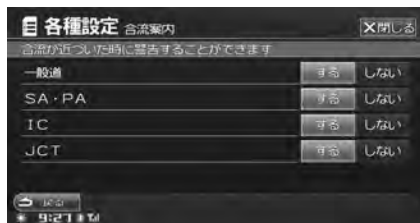
する：合流案内を音声とアイコン表示で行います。

しない：合流案内を行いません。

1

合流案内 にタッチします。

2 設定したい項目の **する** または **しない** にタッチします。



3 にタッチすると設定画面に戻ります。

踏み切り案内を設定する

踏み切りに近づいたときに警告するかどうかを設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：踏み切り案内

設定値：する / しない

する：踏み切りを音声とアイコン表示で案内します。

しない：踏み切り案内を行いません。

交通事故多発区間警告

交通事故が多発している区間に近づいたときに、警告するかどうかを設定することができます（初期設定値は「しない」）。

設定項目：事故多発警告案内

設定値：する / しない

する：事故多発区間警告を音声とアイコン表示で行います。

しない：事故多発区間警告を行いません。

案内地点までの残距離音声案内の設定

案内地点までの距離が残り 10km になったときに、音声で案内することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：残距離音声案内

設定値：する / しない

する：案内地点までの残距離 10km 地点で音声案内を行います。

しない：残距離案内を行いません。

到着予想時刻を音声案内する

目的地・経由地への到着予想時刻を音声案内するかどうかを設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：到着予想時刻音声案内

設定値：する / しない

する：到着予想時刻を音声案内します。

しない：到着予想時刻の音声案内を行いません。

車速を設定する

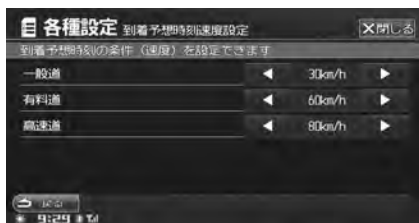
目的地・経由地到着時間予想のための条件（速度）を設定します（初期設定値は「一般道・30km」「有料道・60km」「高速道・80km」）。

設定項目：到着予想時刻速度設定→一般道 / 有料道 / 高速道

設定値：（数字）km/h

1 **到着予想時刻速度設定** にタッチします。

2 または にタッチして車速を設定します。



3 にタッチすると設定画面に戻ります。

リアルジャンクションガイドを設定する

動画データのある交差点の拡大表示（79 ページ参照）を設定します（初期設定値は「する」）。

設定項目：リアルジャンクションガイド

設定値：する / しない

する：動画データのある交差点を拡大表示して案内します。

しない：リアルジャンクションガイドを行いません。

詳細案内図表示を設定する

3D イラスト情報のある交差点の詳細案内図を表示するかどうかを設定することができます。（初期設定値は「する」）。

設定項目：詳細案内図表示

設定値：する / しない

する：詳細図を表示して案内します。

しない：詳細案内図表示を行いません。

▶ 詳細案内図の種類については、「交差点・高速分岐案内」（78 ページ）を参照してください。

方面看板を表示する

交差点の手前で方面看板を表示するかどうかを設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：方面看板表示

設定値：する / しない

する：方面看板表示を行います。

しない：方面看板表示を行いません。



方面看板

レーンガイドを表示する

ルート走行中、右左折専用などのレーン情報を表示することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：レーンガイド表示

設定値：する / しない

する：交差点手前でレーン情報を表示します。

しない：レーンガイドの表示を行いません。

オーディオ・ビジュアル画面に割り込み表示する

オーディオ・ビジュアルモードにナビの案内映像を割り込み表示させるかどうかを設定することができます。（初期設定値は「する」）。

設定項目：ナビ案内画面割り込み

設定値：する / しない

する：オーディオ・ビジュアル画面にナビ案内を割り込み表示します。

しない：オーディオ・ビジュアル画面にナビ案内は割り込みません。

料金所ゲート案内を設定する

入口や出口のインターチェンジにて、ETC の情報を案内することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：料金所ゲート案内

設定値：する / しない

する：ETC 情報や料金を案内します。

しない：ETC の案内を行いません。

車両情報を設定する

車両情報を設定し、検索および料金を計算する基準とすることができます。車両種別（初期設定値は「普通」）と、車両寸法（初期設定値は「長さ・450cm」「幅・160cm」「高さ・150cm」）を設定します。

設定項目：車両情報→車両種別

設定値：軽 / 普通 / 中型 / 大型 / 特大

設定項目：駐車場条件→長さ / 幅 / 高さ

設定値：（数字）cm

1 **「車両情報」** にタッチします。

2 **「車両種別」** の **軽** **普通** **中型** **大型** **特大** のいずれかにタッチします。



3 **「駐車場条件」** の **「長さ」「幅」「高さ」** の **◀** または **▶** にタッチして車両寸法を設定します。

4 **◀ 戻る** にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 車両寸法については、車検証を参照してください。
- ▶ 料金案内・表示は車両種別から計算しています。

英語で表示・案内する

地図上の表示言語とナビ音声案内を英語に設定することができます（初期設定値は「しない」）。

設定項目：英語表示案内

設定値：する / しない

する：地図上の表示言語と音声案内を英語に設定します。

しない：地図上の表示言語と音声案内を日本語に設定します。



経路設定

設定操作については「各種設定共通操作」（300 ページ）を参照してください。

アクティブルートサーチを実行する

ルートを走行中に、距離や時間、VICS の渋滞情報、スマート IC 規制などあらゆる道路情報を常時演算し最短時間で行けるルートを発見した場合、リアルタイムに表示します。

ここではアクティブルートサーチ機能を利用するかどうかが設定します（初期設定値は「する」）。

設定項目：アクティブルートサーチ

設定値：する / しない

する：アクティブルートサーチ機能を利用します。

しない：アクティブルートサーチ機能を利用しません。

- ▶ 「する」に設定していても最適なルートが見つからない場合は、アクティブルートサーチ機能が動きません。
- ▶ 「アクティブルートサーチ短縮時間の設定」（次項目）で設定した時間よりも到着予想時刻が短縮できる場合のみ、アクティブルートサーチ案内が行われます。

アクティブルートサーチ短縮時間の設定

アクティブルートサーチの到着予想時刻が何分以上短縮された場合に変更するのかを、5 分刻みで設定できます（初期設定値は「5 分以上」）。

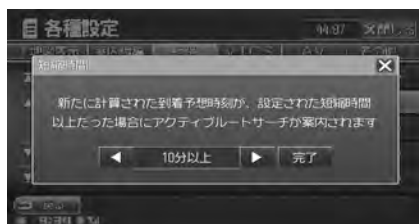
- 「アクティブルートサーチを実行する」（前項目）が「する」に設定した場合のみ、本項目を設定できます。

設定項目：短縮時間

設定値：5 分以上～30 分以上

1

◀ または ▶ にタッチして時間を設定します。



2

完了 または ✕ にタッチすると設定画面に戻ります。

アクティブルートサーチ音声案内割り込みの設定

アクティブルートサーチが行われた際に音声案内を割り込みするかどうかを設定することができます（初期設定値は「する」）。

- 「アクティブルートサーチを実行する」（309 ページ）が「する」に設定した場合のみ、本項目を設定できます。

設定項目：アクティブルートサーチ案内音声割り込み

設定値：する / しない

する：アクティブルートサーチ実行時、音声案内が割り込まれます。

しない：アクティブルートサーチ実行時、表示のみで案内を行います。

抜け道を探索する

本機は、抜け道道路データを使用することにより、渋滞地点を回避するルートを探索することができます（初期設定値は「する」）。

- 「アクティブルートサーチを実行する」（309 ページ）が「する」に設定した場合のみ、本項目を設定できます。

設定項目：抜け道探索

設定値：する / しない

する：抜け道探索機能を使用します。

しない：抜け道探索機能を使用しません。

スマート IC を利用する

ルート探索時、スマートインターチェンジを利用するかどうかを設定することができます（初期設定値は「しない」）。

設定項目：スマート IC 利用

設定値：する / しない

する：スマート IC を利用したルートが探索されます。

しない：ルート探索時にスマート IC 利用を考慮しません。

- ▶ スマート IC を利用するには、ETC ユニットが必要です。
- ▶ スマート IC には、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約があります。また、社会実験として期間限定で開設されているスマート IC もあります。ご利用の際はご注意ください。

時間曜日規制を考慮する

時間や曜日によって規制される区間を避けて、ルートを探査することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：時間曜日規制考慮

設定値：する / しない

する：時間曜日規制を考慮してルートを探査します。

しない：ルート探索時に時間曜日規制を考慮しません。

フェリー航路を含むルートを探査する

フェリー航路を利用したルートを探査するかどうか設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：フェリー使用

設定値：する / しない

する：フェリー航路を利用したルートを探査します。

しない：出来るだけフェリーを使用しないルートを探査します。

迂回地点を回避する

ルート探索時に、登録した迂回地点を回避することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：迂回エリア考慮

設定値：する / しない

する：迂回地点を考慮してルートを探査します。

しない：ルート探索時に迂回地点を考慮しません。

- ▶ 迂回地点登録方法は、「迂回地点を登録する」（96 ページ）を参照してください。

迂回距離の設定

ルート走行中に迂回する場合、自車位置から何 km 先まで迂回するかを選択します。一般道路と有料 / 高速道路と、それぞれで設定することができます（初期設定値は一般道「5km」、有料 / 高速道路「20km」）。

- 「迂回地点を回避する」（310 ページ）を「する」に設定した場合のみ、本項目を設定できます。

設定項目：迂回距離 一般道

設定値：2km/5km/10km

設定項目：迂回距離 有料・高速

設定値：10km/20km/30km

冬期閉鎖区間を考慮する

冬に通行止めとなる区間を避けてルートを探査することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：冬期閉鎖区間考慮

設定値：する / しない

する：冬期（11 月～3 月）は閉鎖区間を考慮したルート探索を行います。

しない：ルート探索時に冬期閉鎖区間を考慮しません。

- ▶ 「する」にした場合は、冬期（11 月～3 月）の期間に考慮されます。4 月～10 月は通常ルートとなります。道路によっては 4 月～10 月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。
- ▶ 「しない」に設定すると、冬期閉鎖区間が発見された時点でメッセージが表示され、避けるかどうかを選択できます（「冬期閉鎖区間を回避する」76 ページ参照）。

ルート学習の設定

「ルート学習」を「する」に設定すると、お好みのルートをナビが記憶し探索結果に反映させることができます。ルート走行中、ルートから外れた（離脱）地点とルートに復帰した地点、その間の走行ルートをナビが記憶します。ナビの初期ルート（推奨ルート）から 3 回以上同じ地点で離脱・復帰を行い、またその間は同じルートを走行すると、次回のルート探索でそのルートが推奨ルートとして探索されます（初期設定は「する」）。

設定項目：ルート学習

設定値：する / しない

する：ルートをナビが記憶し、探索結果に反映します。

しない：ルートを記憶しません。

- ▶ 案内対象外道路は、ルート学習に反映されません。離脱・復帰地点が同じでも、途中のルートが案内対象外道路になると、学習結果は無効になります。
- ▶ ルート学習中に目的地や経由地を変更したり、別のルートの選択や周辺迂回を行った場合は、ルート学習は中止されます。
- ▶ 最大 200 ルートまで学習することができます。

ルート学習結果を消去する

ナビに記憶した学習ルートを全て消去します。

1 **ルート学習結果を消去** にタッチします。

2 メッセージが現れたら、**はい** にタッチします。
ルート学習結果が消去されます。

VICS 設定

設定操作については「各種設定共通操作」(300 ページ)を参照してください。

渋滞学習の設定

ルート探索対象道路を季節別・曜日別・時間帯別にナビが走行速度を記憶します。渋滞・混雑に関しては、同じ箇所を同じ時間帯に 3 回以上走行することで学習し、学習後はルート探索に反映ようになります(初期設定値は「する」)。

設定項目：渋滞学習

設定値：する / しない

する：走行速度をナビが記憶し、探索結果に反映します。

しない：走行速度を記憶しません。

渋滞学習結果を消去する

ナビに記憶した走行速度を全て消去します。

1 **渋滞学習結果を消去** にタッチします。

2 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。

情報保持時間を設定する

受信した VICS 情報の保存時間を設定できます(初期設定値は「60 分」)。ここで設定した時間が経過すると、情報が自動的に消去されます。

設定項目：情報保持時間

設定値：30 分 / 60 分

30 分：受信した情報を 30 分間保持します。

60 分：受信した情報を 60 分間保持します。

割り込み情報表示を設定する

ビーコンによる図形・文字情報を、画面に割り込ませて表示するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。

設定項目：情報割込み

設定値：する / しない

割り込み情報の表示時間を設定する

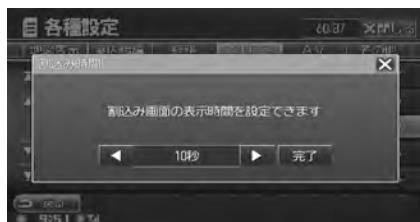
割り込み画面の表示時間を 5 秒刻みで設定することができます。(初期設定値は「10 秒」)。

- 「割り込み情報表示を設定する」を「する」に設定した場合のみ、本項目を設定できます。

設定項目：割込み時間

設定値：5 ~ 20 秒

1 ◀ または ▶ にタッチして表示時間を設定します。



2 **完了** または **✕** にタッチすると設定画面に戻ります。

オーディオモードに VICS 情報を割り込み表示する

ビーコンによる図形・文字情報を、オーディオ・ビジュアルモード画面に割り込ませて表示するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。

- 「割り込み情報表示を設定する」を「する」に設定した場合のみ、本項目を設定できます。

設定項目：オーディオモード画面への割込み

設定値：する / しない

する：オーディオ・ビジュアルモード画面に、VICS 割り込み情報が表示されます。

しない：オーディオ・ビジュアルモード画面に、VICS 割り込み情報は表示されません。

AV 設定

設定操作については「各種設定共通操作」(300 ページ)を参照してください。

自動録音の設定

CD を挿入した時に、自動で録音するかどうかを設定することができます (初期設定値は「する」)。

設定項目：HDD 自動録音

設定値：する / しない

する：自動で録音を行います。

しない：録音は手動で行います。自動で録音を開始しません。

録音ビットレートの設定

録音時の音質を設定します (初期設定値は「128k」)。

設定項目：録音ビットレート

設定値：96k/128k/192k

- ▶ 録音ビットレートの数字が大きくなるほど音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。
- ▶ 多くの曲を録音したい時は「96k」を選択し、音質を重視したい時は「192k」を選択してください。

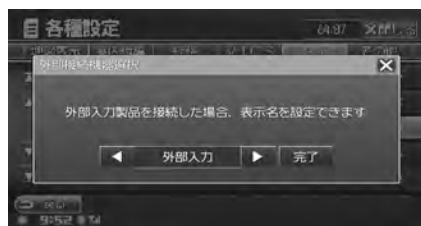
外部機器を接続する

ビデオやゲームなど、外部機器を接続する場合に設定します。設定した表示名がソース名称として表示されます (初期設定値は「外部入力」)。

設定項目：外部接続機器選択

設定値：なし / 外部入力 / 外部ビデオ / ゲーム

- 1 ◀ または ▶ にタッチして表示名を選びます。



- 2 完了 または ✕ にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 選んだ表示名が AUX モードのソース名として表示されます。

ネットワークを自動で取得する

iPod のネットワーク取得を設定します (初期設定値は「する」)。

設定項目：ネットワーク自動取得

設定値：する / しない

する：ファイルにネットワークデータがある場合、再生時に自動的に取得します。

しない：ネットワークデータの取得を行いません。

- ▶ ネットワークデータを取得する間 (約 2 秒間) は、操作を行うことができません。
- ▶ 取得できるネットワークサイズ：
42 × 42dot ~ 128 × 128dot
- ▶ 1 つの曲に複数のネットワークが設定されていても、取得できるネットワークは一つになります。通常は 1 番目のネットワークのみを取得します。カラーとモノクロのネットワークがある場合はカラー、サイズの大きさに違いがある場合は大きなサイズのネットワークが優先して取得されます。
- ▶ 映像再生時は、本設定に関わらずネットワークデータを取得しません。

その他設定

設定操作については「各種設定共通操作」(300 ページ)を参照してください。

時計表示の設定

時計、到着予想時刻、VICS タイムスタンプなど、時刻の表示を 12 時間表示、または 24 時間表示に設定します (初期設定値は「12H」)。

設定項目：時計表示

設定値：12H/24H

12H：12 時間表示します。

24H：24 時間表示します。

アニメーション表示の設定

メニュー画面や AV メイン画面背景等にアニメーションを表示するかどうかを設定することができます (初期設定値は「する」)。

設定項目：アニメーション表示

設定値：する / しない

する：メニュー画面背景にアニメーションを表示します。

しない：メニュー画面背景にアニメーションを表示しません。

距離を補正する

精度の高い案内を行うために、本機は GPS 信号と車速パルス信号を比較しその情報を蓄積し学習します。その進捗状況を画面で確認することができます。さらに自車位置の表示を微調整することも可能です。通常はそのままで使用いただけますが、自車位置が大きくずれる場合には、「距離補正值初期化」を行ってください。その後見通しの良い道路を数十 km 程度走行すると、自動補正が完了します。それでも地図の自車位置マークの進み方が実際の車の進み方と合わない時は、手動補正を行ってください。

■ 距離を手動で補正する

お客様のお車の条件によって、またタイヤ・ホイールの交換をされた場合に、地図上の自車位置の進み方と実際の車の進み方がずれる場合があります。本機能によって、自車位置の進み方を微調整することができます (初期設定値は「-1.2%」)。

設定項目：自動距離補正設定

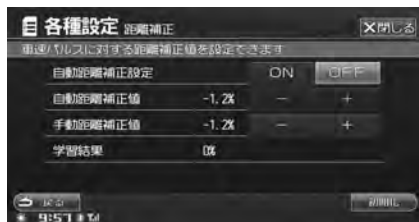
設定値：ON/OFF

設定項目：手動距離補正值

設定値：-100.0%~+600.0%

1 「距離補正」にタッチします。

2 「自動距離補正設定」の OFF にタッチします。



手動距離補正值の設定が可能になります。

3 「手動距離補正值」の + または - にタッチして調整を行います。

地図上の自車位置の進み方が実際よりも遅れる場合には +、進む場合には - にタッチして調整を行ってください。

- ▶ 最初に 0.5 ~ 1.0% 程度の調整で様子を見ることをお勧めします。
- ▶ 極端な補正は誤動作の原因になる場合がありますので、ご注意ください。
- ▶ + または - にタッチすると、0.1% ずつ変化します。タッチし続けると、1.0% ずつ変化します。

■ 距離を自動で補正する

通常 (初期設定) は自動補正されていますので、「自動距離補正值」を設定する必要はありません。手動補正を行って自動補正に戻したい時に設定してください。

設定項目：自動距離補正設定

設定値：ON/OFF

設定項目：自動距離補正值

設定値：-100.0% ~ +600.0%

1 「距離補正」にタッチします。

2 「自動距離補正設定」の ON にタッチします。

走行すると自動的に距離補正を行います。自動距離補正開始値の設定を行うこともできます。手順 3 にお進みください。

3 「自動距離補正值」の + または - にタッチして、自動補正の開始値を調整します。

- ▶ + または - にタッチすると、0.1% ずつ変化します。タッチし続けると、1.0% ずつ変化します。
- ▶ 自動補正：GPS 信号や車速パルス信号のデータを使い、自車位置を自動的に補正し続けます。

■ 距離補正値を初期化する

タイヤを交換した時は、距離補正値を初期化してください。

- 1 **距離補正** にタッチします。
- 2 **初期化** にタッチします。
- 3 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。

- ▶ お車の条件などにより、手動補正後に再びずれが生じる場合があります。その場合は自動補正に戻してください。
- ▶ バッテリーを外すと距離補正値がクリアされるため、次にバッテリーをつないで使用し始めると一時的に自転車位置がずれる場合があります。

■ 学習結果を表示する

本機は GPS 信号と車速パルス信号を比較しその情報を蓄積し学習します。その進捗状況が画面に表示されます。

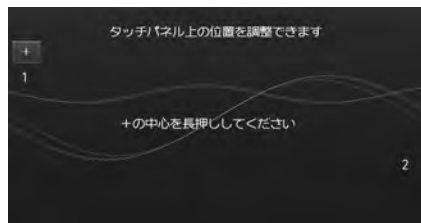
- 1 **距離補正** にタッチします。
「学習結果」に、学習の進捗状況が表示されます。

タッチパネルの調整

タッチスイッチの位置がタッチパネル上の位置と一致しなくなった場合に調整してください。

設定項目：タッチパネル補正

- 1 **タッチパネル補正** にタッチします。
- 2 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。
- 3 調整画面で、1 **+** の中心に正確にタッチし続けます。



2 の位置に **+** スイッチが現れます。

- 4 2 **+** の中心に正確にタッチし続けます。
完了 が表れます。

- 5 **完了** にタッチします。



調整を終了して、設定画面に戻ります。

モニターを自動で閉じる

モニターが開いている、または角度がついている場合に、イグニッションキー（エンジンキー）を OFF にすると自動でモニターが閉じるように設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：モニター自動 CLOSE

設定値：する / しない

する：イグニッションキーを OFF にすると、自動でモニターが閉じます。

しない：モニターを閉じるには手動で操作を行います。

ディスプレイの明るさを設定する

車内の明るさに連動してディスプレイと照光スイッチの明るさを切り替え、画面を見やすくすることができます（初期設定値は「オート」）。

設定項目：ディマー設定

設定値：OFF/ON/ オート

OFF：ディスプレイと照光スイッチを明るいま

ま固定します。

ON：ディスプレイと照光スイッチを暗いま

ま固定します。

オート：車内の明るさに連動して、ディスプレイと照光スイッチの明るさを自動で調光します。

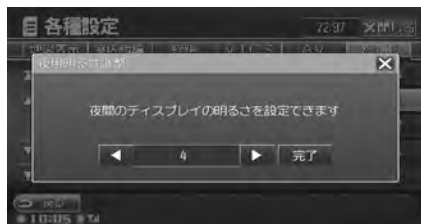
夜間のディスプレイの明るさを設定する

「ディスプレイの明るさを設定する」（315 ページ参照）でオートまたは ON にした場合、夜間のディスプレイの明るさを設定します（初期設定値は「0」）。

設定項目：夜用明るさ調整

設定値：- 15 ~ + 15

- 1 ◀ または ▶ にタッチして明るさを設定します。



- 2 完了 または ✕ にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 「ディマー設定」（315 ページ）が OFF の場合は、本設定は行えません。

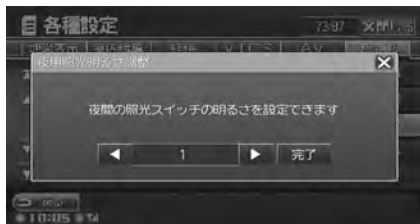
夜間の照光スイッチ明るさを設定する

「ディスプレイの明るさを設定する」（315 ページ参照）でオートまたは ON にした場合、夜間の照光スイッチの明るさを設定します（初期設定値は「0」）。

設定項目：夜用照光明さ調整

設定値：- 2 ~ + 2

- 1 ◀ または ▶ にタッチして明るさを設定します。



- 2 完了 または ✕ にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 「ディマー設定」（315 ページ）が OFF の場合は、本設定は行えません。

リアビジョン映像出力の設定

リアビジョンに映像を出力するか設定することができます。リアビジョンを接続する場合は「する」に設定してください（初期設定値は「する」）。

設定項目：リアビジョン映像出力

設定値：する / しない

する：リアビジョンに映像を出力します。

しない：リアビジョンを接続しない場合に設定します。

リモコン操作時の設定

リアビジョン接続時、本機（フロント）とリアビジョンのどちらのリモコン受光部を優先させるのかを設定します（初期設定値は「フロント」）。

- 「リアビジョン映像出力の設定」（前項目）を「する」に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。

設定項目：リモコン

設定値：フロント / リア

フロント：本機（フロント）をリモコンで操作します。

リア：本機のビデオ出力端子に接続したリアビジョンのリモコン受光部が有効になります。

- ▶ リア に設定すると、本機をリモコンで操作できなくなります。

ドライブインフォの設定

ドライブインフォに関する設定を行います。

■ 車種専用カーイラストを設定する

ドライブインフォ画面に表示するお車の形状を選択します（初期設定値は「アルファード」）。

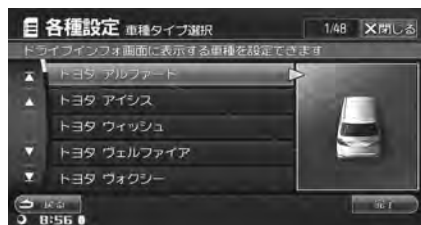
設定項目：ドライブインフォー車種タイプ選択

設定値：430 ページの車種一覧を参照してください。

1 **ドライブインフォ** にタッチします。

2 **車種タイプ選択** にタッチします。

3 表示する車のタイプにタッチして選択します。



4 **完了** にタッチします。

- ▶ 「自車マーク表示を設定する」（306 ページ）で「マーク 3」に設定すると、本設定で選択した車の形状で表示されます。
- ▶ 本設定はカーイラストのみの変更になります。

■ エコガイドトーン出力設定

エコガイドの警告音を出力するかしないかを設定します（初期設定値は「する」）。

設定項目：ドライブインフォーエコガイドトーン

設定値：する / しない

する：エコガイドトーンを出力します。

しない：エコガイドトーンを出力しません。

■ エコ・標高情報を初期化する

エコ走行ガイドに表示されるエコ情報と、標高情報を初期化します。

1 **ドライブインフォ** にタッチします。

2 **エコ・標高情報初期化** にタッチします。

3 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。

フロントカメラを接続する

フロントカメラを接続する場合は、「あり」に設定してください（初期設定値は「なし」）。

設定項目：フロントカメラ接続

設定値：あり / なし

あり：フロントカメラを接続します。

なし：フロントカメラを接続しません。

- ▶ HCE-C200FD シリーズ接続時は、自動的に「あり」に設定されます。

フロントカメラのガイドを調整する

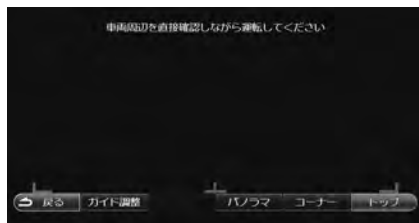
フロントカメラのガイドの調整を行うことができます。

- 「フロントカメラを接続する」（前項目）を「あり」に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。

1 **フロントカメラガイド調整** にタッチします。

- HCE-C200FD シリーズ接続時は手順 2 にお進みください。それ以外のカメラを接続した場合は手順 4 にお進みください。

2 **パノラマ** または **トップ** にタッチします。



- コーナービューはガイド調整できません。

3 **ガイド調整** にタッチします。
ガイド調整画面が表示されます。

- 4 ▲ または ▼ にタッチして、調整したいガイドを選択します。



調整画面が切りかわります。

- 緑色のガイドを選択することはできません。

- 5 ↑ ↓ ← → にタッチしてガイドの位置を調整します。



調整すると、数値が表示されます。

- 6 調整が済んだら **セット** にタッチして調整値を記憶します。

- 7 戻る にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 調整中、**クリア** にタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- ▶ 走行中は調整を行うことはできません。お車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作を行ってください。

■ ガイド調整値を初期化する

フロントカメラガイドの調整値を、お買い上げ時の設定に戻します。

- 1 **フロントカメラガイド調整** にタッチします。

- 2 **初期値** にタッチします。
調整値が初期化されます。

- 3 確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。

自動的にフロントカメラ映像を表示する (速度連動)

お車の速度が一定速度以下になった時に、自動的にフロントカメラの映像を本機に表示することができます (初期設定値は「しない」)。

- 「フロントカメラを接続する」(316 ページ) を「あり」に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。

設定項目：フロントカメラ速度連動表示

設定値：する / しない

する：速度に連動して、フロントカメラの映像が自動的に表示されます。

しない：フロントカメラの映像は表示されません。

自動的にフロントカメラ映像を表示する (地点連動)

あらかじめ登録した地点に近づく、自動的にフロントカメラの映像を本機に表示することができます (初期設定値は「しない」)。

- 「フロントカメラを接続する」(316 ページ) を「あり」に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。

設定項目：フロントカメラ地点連動表示

設定値：する / しない

する：登録した地点でフロントカメラの映像が自動的に表示されます。

しない：フロントカメラの映像は表示されません。

- ▶ 地点の登録方法は、「カメラ表示地点を登録する」(95 ページ) を参照してください。

リアカメラを接続する

リアカメラを接続する場合は、「あり」に設定してください（初期設定値は「なし」）。

設定項目：リアカメラ接続

設定値：あり / なし

あり：リアカメラを接続時に設定します。

なし：リアカメラを接続しません。

- ▶ HCE-C200R シリーズ接続時は、自動的に「あり」に設定されます。

汎用カメラを接続する

ルームカメラ / サイドカメラ / リアカメラを接続する場合、接続するカメラの種類を設定します（初期設定値は「なし」）。

設定項目：汎用カメラ接続

設定値：なし / リアカメラ / ルームカメラ / サイドカメラ

- 1 **◀ または ▶** にタッチしてカメラの種類を選びます。



- 2 **完了** または **✕** にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 「リアカメラを接続する」（前項目）が「あり」に設定されている場合、「リアカメラ」に設定することはできません。

リアカメラのガイドを調整する

リアカメラのガイドの調整を行うことができます。

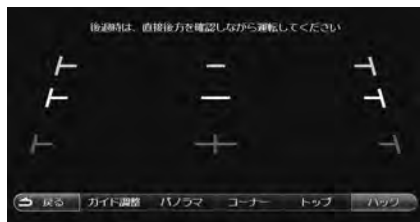
- 「リアカメラを接続する」（318 ページ）を「あり」に設定した場合と「汎用カメラを接続する」（318 ページ）を「リアカメラ」に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。

- 1 **リアカメラガイド調整** にタッチします。

- HCE-C200R シリーズ接続時は手順 2 にお進みください。

それ以外のカメラを接続した場合は手順 4 にお進みください。

- 2 **パノラマ** **トップ** **バック** のいずれかにタッチします。



- コーナービューはガイド調整できません。

- 3 **ガイド調整** にタッチします。
ガイド調整画面が表示されます。

- 4 **▲** または **▼** にタッチして、調整したいガイドを選択します。



調整画面が切りかわります。

- 黄色・中央のガイドを選択することはできません。

5

↑ ↓ ← → にタッチしてガイドの位置を調整します。



調整すると、数値が表示されます。

6

調整が済んだら **セット** にタッチして調整値を記憶します。

- **確認** にタッチすると、再度調整画面が表示されます。

7

戻る にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 調整中、**クリア** にタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- ▶ 走行中は調整を行うことはできません。お車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作を行ってください。

■ ガイド調整値を初期化する

リアカメラガイドの調整値を、お買い上げ時の設定に戻します。

1

リアカメラガイド調整 にタッチします。

2

初期値 にタッチします。

3

確認のメッセージが現れたら **はい** にタッチします。

調整値が初期化されます。

自転車位置を修正する

1

自転車位置修正 にタッチします。
地図に現在の自転車位置が表示されます。

2

地図をスクロールして自転車位置を修正します。

- スクロールの方法については、「地図をスクロールする」(43 ページ)を参照してください。

3

リセット にタッチして自転車マークの向きを修正します。



4

登録 にタッチします。
自転車位置がセットされます。

- ▶ 自転車位置修正画面では、自動的にノースアップ/100mスケール表示に切りかえられます。

スキンを変更する

画面の背景を変更することができます。

- フレーム：マルチゲート画面のフレーム
- 背景：マルチゲート画面 / オーディオ・ビジュアルモード再生画面 / コミュニケーション画面 / ドライブインフォ画面の背景

設定項目：スキン変更 → 背景

設定値：ブルー / グリーン / レッド / アンバー

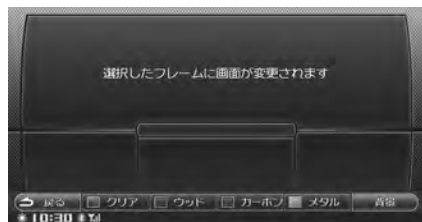
設定項目：スキン変更 → フレーム

設定値：クリア / ウッド / カーボン / メタル

1

スキン変更 にタッチします。
フレーム選択画面が表示されます。

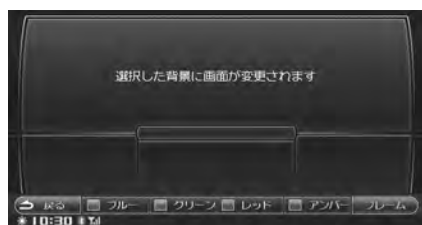
- 2 **クリア ウッド カーボン メタル**
のいずれかお好みのフレームにタッチします。



選択したフレームに画面が変更されます。
• 続けて背景の選択を行うことができます。

- 3 **背景** にタッチします。
背景選択画面に切りかわります。

- 4 **ブルー グリーン レッド アンバー**
のいずれかお好みの背景にタッチします。



選択した背景に画面が変更されます。

- 5 **戻る** にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ **背景**、**フレーム** にタッチすると、選択画面が切りかわります。
- ▶ 背景の色を変更すると、AV メイン画面、ドライブインフォメーション画面、コミュニケーションメイン画面の色も変更されます。

設定を初期化する

本機で設定した全ての項目の設定値を初期化します。

- 1 **全設定項目初期化** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。

- 2 **はい** にタッチします。
情報消去後、本機が再起動します。

▶ 一度消去したものは復活できませんので、ご注意ください。

本機を初期化する

登録地点、HDD に記憶した音楽・画像データ、設定項目の設定値など全ての情報を初期化し、工場出荷時の状態になります。DVD/CD ディスクや SD メモリーカードを取り出してから操作を行ってください。

- 1 **全情報初期化** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。

- 2 **はい** にタッチします。
情報消去後、本機が再起動します。

▶ 一度消去したものは復活できませんので、ご注意ください。

地点編集

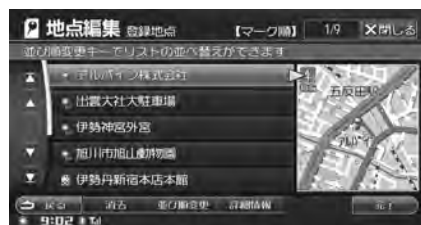
登録した地点を編集します。

地点の登録方法については、「地点を登録する」(94 ページ) を参照してください。

地点編集画面では 4 種類の地点の編集を行うことができます。それぞれについて詳しくは、該当ページを参照してください。



①<登録地点編集画面>



②<特別地点編集画面>



③<迂回地点編集画面>



④<カメラ表示地点編集画面>



地点編集画面を表示する

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **設定・編集** にタッチします。



設定・編集画面が表示されます。

- 3 **地点編集** にタッチします。



地点編集画面が表示されます。

- 4 編集したい地点の種類にタッチします。

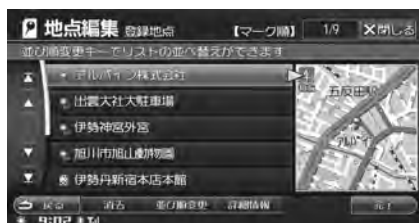


それぞれの地点の編集画面が表示されます。

【登録地点】……………①

登録地点編集

登録地点編集画面の表示方法については、「地点編集画面を表示する」(322 ページ) を参照してください。



登録地点を消去する

登録地点を 1 件消去します。

- 1 **消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 2 **はい** にタッチします。
地点が消去されます。

登録地点を全て消去する

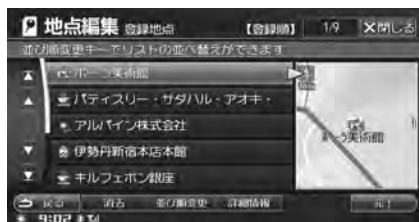
登録地点を全て消去します。

- 1 **消去** にタッチし続けます。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 2 **はい** にタッチします。
地点が消去されます。

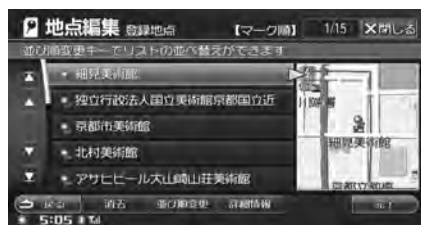
並び順を変更する

リストの並び順を変更します。

- 1 **並び順変更** にタッチします。
 - タッチすること登録地点リストが登録順、マーク順、距離順に並べかえられます。登録順 : 新しく登録した順。



マーク順：マークの種類ごと。



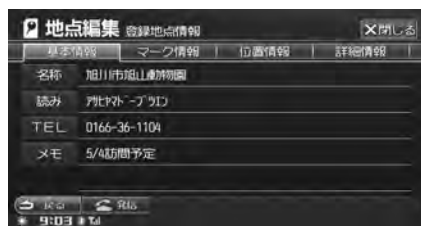
距離順：現在地点から距離が近い順。



詳細情報を表示する

登録地点の詳細情報を表示します。

- 1 **詳細情報** にタッチします。
登録地点詳細情報画面が表示されます。



- 詳細情報画面で地点の編集を行うことができます。操作方法については、「地点情報画面を操作する」(98 ページ) を参照してください。

登録地点付近の地図を表示する

登録地点を目的地や経由地に設定することができます。

- 1 **完了** または画面右側の地図にタッチします。
登録地点の地図が表示されます。



- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください（「検索・スクロール後の画面」41 ページ参照）。

【特別地点】…………… ② 特別地点編集

特別地点編集画面の表示方法については、「地点編集画面を表示する」(322 ページ) を参照してください。



特別地点を消去する

特別地点を 1 件消去します。

- 1 **消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 2 **はい** にタッチします。
地点が消去されます。

特別地点を全て消去する

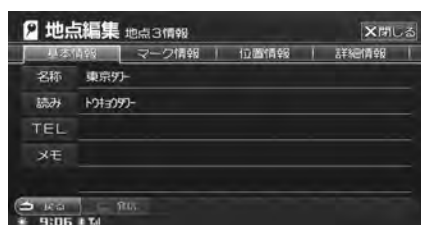
特別地点を全て消去します。

- 1 **消去** にタッチし続けます。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 2 **はい** にタッチします。
地点が消去されます。

詳細情報を表示する

特別地点の詳細情報を表示します。

- 1 **詳細情報** にタッチします。
特別地点詳細情報画面が表示されます。



- 詳細情報画面で地点の編集を行うことができます。操作方法については、「地点情報画面を操作する」(98 ページ) を参照してください。

特別地点を探して登録する

編集画面から特別地点を検索して登録することができます。

- 1 登録したい地点（自宅、地点 1 ～ 3 のいずれかに）タッチします。
- 2 **探して登録** にタッチします。
地点検索画面が表示されます。



- 3 地点を検索します。
 - 地点検索方法については、「行き先を決める」(61 ページ) を参照してください。

- 4 **登録** にタッチします。



選んだ特別地点に登録されます。

- 【 迂回地点 】 ③

迂回地点編集

迂回地点編集画面の表示方法については、「地点編集画面を表示する」(322 ページ) を参照してください。



迂回地点を消去する

迂回地点を 1 件消去します。

- 1 **消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 2 **はい** にタッチします。
地点が消去されます。

迂回地点を全て消去する

迂回地点を全て消去します。

- 1 **消去** にタッチし続けます。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 2 **はい** にタッチします。
地点が消去されます。

詳細情報を表示する

迂回地点の詳細情報を表示します。

- 1 **詳細情報** にタッチします。
迂回地点詳細情報画面が表示されます。



- 詳細情報画面で地点の編集を行うことができます。名称、位置変更の操作方法については「地点情報画面を操作する」(98 ページ)、迂回範囲の設定については「迂回エリアの範囲を設定する」(97 ページ) を参照してください。

【カメラ表示地点】…………… ④

カメラ表示地点編集

カメラ表示地点編集画面の表示方法については「地点編集画面を表示する」(322 ページ) を参照してください。

- 「フロントカメラを接続する」(316 ページ) を「あり」に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。



カメラ表示地点を消去する

カメラ表示地点を 1 件消去します。

- 1 **消去** にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 2 **はい** にタッチします。
地点が消去されます。

カメラ表示地点を全て消去する

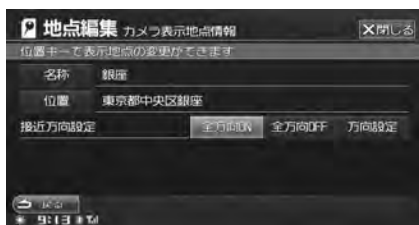
カメラ表示地点を全て消去します。

- 1 **消去** にタッチし続けます。
消去を確認するメッセージが表示されます。
- 2 **はい** にタッチします。
地点が消去されます。

詳細情報を表示する

カメラ表示地点の詳細情報を表示します。

- 1 **詳細情報** にタッチします。
カメラ表示地点詳細情報画面が表示されます。



- 詳細情報画面で地点の編集を行うことができます。名称、位置変更の操作方法については「地点情報画面を操作する」(98 ページ)、カメラ接近方向の設定については「カメラを表示する範囲を設定する」(95 ページ) を参照してください。

メディア編集

本機は SD メモリーカード、USB メモリを使用して、データをコピーすることができます。

- メディアから本機 HDD に、画像データをコピーして再生することができます。
- 登録地点データをメディアから本機にコピーして、地点検索などに利用することができます。また、本機に登録した地点データをメディアに保存しておくこともできます。

■ コピーできる画像データ

ファイル形式：

BMP、JPG、PNG、GIF（プログレッシブ JPEG は非対応）

ファイルサイズ：

BMP、PNG、GIF- 最大 2MB、1024 × 768 ピクセル

JPG- 最大 4MB、3072 × 2304 ピクセル

フォルダの最大階層　：8 階層

ファイル名最大文字数　：63 文字（拡張子含）

認識できるファイル数　：200 まで

HDD へコピーできる最大ファイル数　：200

HDD へコピーできる最大容量　　：200MB

メディア編集画面で行うことができる操作について詳しくは、該当ページを参照してください。

メディア編集画面
の表示
(327 ページ)



(327 ページ) (328 ページ) (329 ページ) (329 ページ) (329 ページ)

メディア編集画面を表示する

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。

- 2 **設定・編集** にタッチします。



設定・編集画面が表示されます。

- 3 **メディア編集** にタッチします。



メディア編集画面が表示されます。

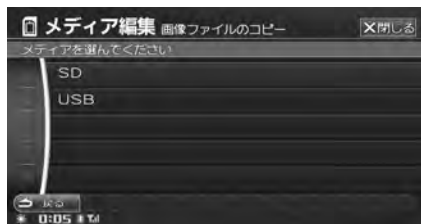
【画像ファイルのコピー】 ① 画像ファイルをコピーする

画像データをHDDにコピーして、着信画面や通話画面、画像ビューアーで表示させることができます。

- 1 **画像ファイルのコピー** にタッチします。

画像ファイルのコピー画面が表示されます。

- 2 **SD** または **USB** にタッチします。



フォルダリスト画面が表示されます。

以降の操作はSDメモリーカードを例に説明します。
USBメモリの場合でも操作は同じです。

- ▶ ルートフォルダ上にファイルがある場合は「ROOT」と表示されます。

全ての画像ファイルをコピーする

- 3 「すべてのファイル」横の **コピー** にタッチします。



コピーを確認するメッセージが表示されます。

- 4 **はい** にタッチします。
SDメモリーカード内全ての画像ファイルのコピーが開始されます。
• コピーを終了すると手順3の画面に戻ります。

フォルダごとコピーする

- 3 コピーしたいフォルダ名横の **コピー** にタッチします。
コピーを確認するメッセージが表示されます。

- 4 **はい** にタッチします。
選んだフォルダのコピーが開始されます。
• コピーを終了すると、手順3の画面に戻ります。

ファイルを選んでコピーする

- 3 コピーしたいファイルがあるフォルダ名にタッチします。



ファイルリストが表示されます。

4 希望のファイル名にタッチして選び、**コピー** にタッチします。



コピーを確認するメッセージが表示されます。

- **プレビュー** にタッチして画像を確認することができます。プレビュー画面の操作については、「プレビュー画面を表示する」(355 ページ)を参照してください。

5 はい にタッチします。

選んだファイルのコピーが開始されます。

- コピーを終了すると、ファイルリスト画面に戻ります。

- ▶ 録音中、電話帳読み込み中、画像ファイル編集、音楽ファイル編集ではコピーを行うことはできません。
- ▶ ファイル名が重複している場合、2 件目以降のファイルは自動的にファイル名の末尾に数字が付与されます (「_001」、「_002」 …)。
- ▶ イグニッションキーを OFF にする、コピー中のメディアを取り出すなどコピーが中断した場合は、コピー中のデータは消去されますがそれまでコピーしたデータは保存されます。
- ▶ コピー中、他の画面に切りかえると、コピーの進捗状況を示すインジケータが表示されます。



インジケータ

【メディアへの地点保存】 …………… ②

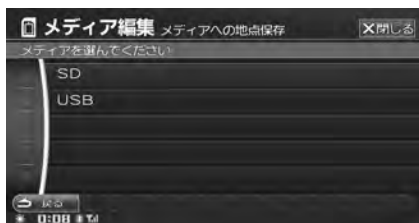
登録地点をメディアへコピーする

本機で設定した登録地点を、SD メモリーカード / USB メモリにコピーして保存することができます。

1 **メディアへの地点保存** にタッチします。

メディアへの地点保存画面が表示されます。

2 **SD** または **USB** にタッチします。



コピーを確認するメッセージが表示されます。

3 はい にタッチします。

コピーが開始されます。

- SD メモリーカード / USB メモリに登録地点が保存されます。

- ▶ 登録地点保存用のフォルダが SD メモリーカード / USB メモリ内に自動的に作成されます。
フォルダ名: NAVDATDR フォルダ - POIX フォルダ
地点ファイル拡張子: .poix
- ▶ 作成したファイルの削除とファイル名の変更はパソコンから行うことができます。但し拡張子 .poix を変更するとファイルが認識されなくなりますので、拡張子の変更は行わないでください。尚、ファイル名に使用できる文字は半角英数字のみになります。
- ▶ メディア内に同一登録地点が存在する場合は、上書き保存されます。
- ▶ 登録地点をメディアへコピーしている途中で他の画面に移動した場合、コピー処理はキャンセルされます。
- ▶ 本機で登録した登録地点は、アルパインナビゲーション NVE-N555 シリーズや、NVA-HD55 シリーズで使用することはできません。

【メディアからの地点追加】……………③

登録地点をメディアからコピーする

SD メモリーカード / USB メモリに保存した地点を、本機の HDD にコピーすることができます。

1 **メディアからの地点追加** にタッチします。

メディアからの地点追加画面が表示されます。

2 **SD** または **USB** にタッチします。

コピーを確認するメッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチします。

コピーが開始されます。

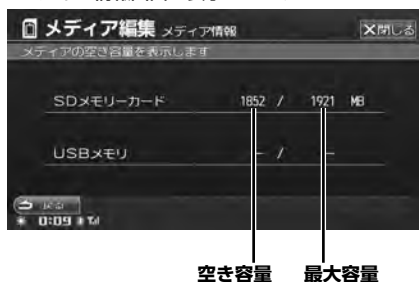
- SD メモリーカード / USB メモリの登録地点が本機の登録地点に追加されます。

- ▶ 本機の登録地点の最大数、700 ケ所を超えた場合は、地点のコピーは行われません。
- ▶ 本機とメディアに同一地点のデータが存在した場合、その地点のデータはコピーされません。

【メディア情報】……………④

メディア情報を見る

SD メモリーカード / USB メモリの容量を見ることが出来ます。

1 **メディア情報** にタッチします。
メディア情報画面が表示されます。

【SD 初期化】……………⑤

SD メモリーカードを初期化する

初期化を行うと SD メモリーカードの情報がすべて消去されます。

何らかの原因により SD メモリーカードが正常に動作しなくなった場合や本機で SD メモリーカードを認識しない場合、本機で SD メモリーカードの初期化を行ってください。一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。

1 **SD 初期化** にタッチします。
確認メッセージが表示されます。2 **はい** にタッチします。
SD メモリーカードの初期化が行われます。

画質調整

画面のコントラストや明るさなど、お好みに合わせて調整することができます。

モードによって設定できる項目は異なりますが、設定操作は共通です。

画質調整操作

次の手順は画質調整の共通操作になります。設定項目の詳細は、それぞれの項目を参照してください。

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **設定・編集** にタッチします。



設定・編集画面が表示されます。

- 3 **画質調整** にタッチします。



画質調整画面が表示されます。

- 4 調整したいモードにタッチします。



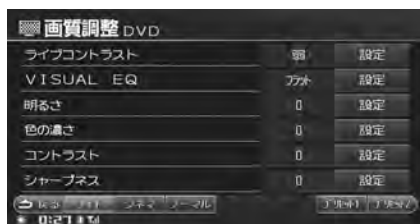
それぞれのモードの設定画面が表示されます。

- **モードによって、設定できる項目が異なります。**

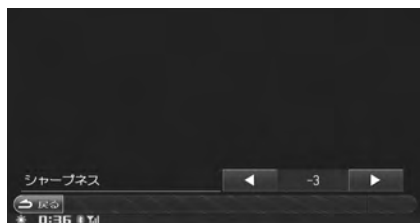
- **ナビゲーション** : 明るさ / コントラスト
- **オーディオ** (映像ソース) : ライブコントラスト / VISUAL EQ / 明るさ / 色の濃さ / コントラスト / シャープネス
- **フロントカメラ**、**リアカメラ**、**ルームカメラ** / **サイドカメラ** : ライブコントラスト / 明るさ / 色の濃さ / コントラスト

- ▶ **オーディオ** は映像ソースを再生中のみ設定することができます。
- ▶ **フロントカメラ** **リアカメラ** **サイドカメラ** は、それぞれの接続が「あり」の場合のみ表示され、設定することができます(「フロントカメラを接続する」316ページ、「リアカメラを接続する」318ページ、「汎用カメラを接続する」318ページ参照)。

- 5 設定する項目の **設定** にタッチします。



- 6 ◀ または ▶ にタッチして画質を調整します。

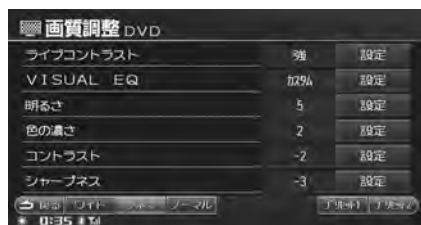


7 さらに別の項目を調整するには、 にタッチし、手順5～6を繰り返します。

オーディオ（映像）モードを調整している場合は手順8に進みます。
オーディオモード以外のモードを調整している場合は手順9に進みます。

- ▶ オーディオ（映像）モード調整時は、調整した値を記憶（ブリセット）することができます（「画質調整値の記憶 / 呼び出し」332ページ参照）。

8 ワイド シネマ ノーマルのいずれかにタッチして、画面モードを切りかえます。



- ワイド** : 標準映像を水平方向に均等に広げ、画面いっぱいに表示します。
 - シネマ** : 標準映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。画面の上下が少しカットされます。
 - ノーマル** : 通常のテレビ放送の比率（4：3）で表示します。映像は中央に映ります。
- ・初期設定値は「ワイド」です。

9 調整が終了したら にタッチして画質調整画面を終了します。

■ 映像ソース操作スイッチからの操作

映像ソースの操作スイッチからも同様に操作することができます。

1 画面設定 にタッチします。 <表示例>



画質調整画面が表示されます。

- ・以降の操作は上記手順5に進みます。

◇ 映像の表示輝度を調整する

画面の明るすぎる部分や暗すぎる部分の明るさを自動的に調整し、自然な明るさに補正します（初期設定値は「弱」）。

設定項目：ライブコントラスト
設定値：OFF/弱/強

◇ VISUAL EQ モードを選ぶ（メーカー設定）

色々な映像に応じて、モードを選ぶことができます。

設定項目：VISUAL EQ
設定値：フラット（OFF）/ ナイトモード / ソフト / シャープネス / ハイコントラスト
フラット（OFF）：工場出荷時設定
ナイトモード：暗いシーンが中心の映画に最適
ソフト：CG、アニメーションの映画に最適
シャープネス：映像がくっきりしていない古い映画に最適
ハイコントラスト：最新の映画に最適

- ▶ お好みで映像の明るさや色の濃さを調整した場合は、カスタムと表示されます。

◇ 映像の明るさを調整する

設定項目：明るさ
設定値：- 15 ~ + 15
- 15 ~ + 15 の間で明るさを調整します。
・最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。
・初期設定値は「0」。

- ▶ VISUAL EQ でナイトモード～ハイコントラストのいずれかを選択している場合、「ディスプレイの明るさを設定する」（315ページ）でオートに設定していれば、車内の明るさに連動して映像の明るさが自動的に調整されます。

◇ 映像の色の濃さを調整する

設定項目：色の濃さ
設定値：- 15 ~ + 15
- 15 ~ + 15 の間で色の濃さを調整します。
・最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。
・初期設定値は「0」。

- ▶ 色の濃さの調整は、映像モード時（ナビゲーション除く）のみ可能です。

◇ 映像コントラストを調整する

設定項目：コントラスト

設定値：－ 15 ～＋ 15

－ 15 ～＋ 15 の間でコントラストの調整をします。

- 最大値時は「HIGH」、最小値時は「LOW」と表示します。
- 初期設定値は「0」。

- ▶ 「ディスプレイの明るさを設定する」(315 ページ) でオートに設定していれば、車内の明るさに連動して映像のコントラストが自動的に調整されます。

◇ 映像画質を調整する

設定項目：シャープネス

設定値：－ 5 ～＋ 5

－ 5 ～＋ 5 の間で画質の調整をします。

- 最大値時は「HARD」、最小値時は「SOFT」と表示します。
- 初期設定値は「0」。

- ▶ 映像画質の調整は、映像モード時（ナビゲーション除く）のみ可能です。

◇ 画質調整値の記憶 / 呼び出し

オーディオ（映像）モード調整時、お好みで調整した「ガンマ値 / 映像の明るさ / 色あい / 濃さ / 画質 / コントラスト」を記憶することができます。また、記憶した調整値を呼び出します。

- 1** 「表示輝度 / 映像の明るさ / 濃さ / 画質 / コントラスト」(331 ～ 332 ページ) を調整後、**プリセット 1** または **プリセット 2** にタッチし続けます。
調整した設定値が記憶されます。

- 2** 設定値を呼び出すには、**プリセット 1** または **プリセット 2** にタッチします。

音量調整

本機の各種音量を調整することができます。

音量調整操作

次の手順は音量調整の共通操作になります。

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **設定・編集** にタッチします。
設定・編集画面が表示されます。
- 3 **音量調整** にタッチします。



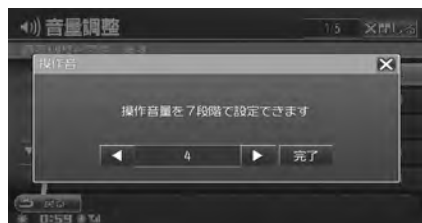
音量調整画面が表示されます。

- 4 調整したいモードにタッチします。



それぞれのモードの設定画面が表示されます。

- 5 **◀** または **▶** にタッチして音量を調整します。



- 6 **完了** または **✕** にタッチすると設定画面に戻ります。

操作音を調整する

スイッチを押した時の操作音の音量を設定します（初期設定値は「4」）。

設定項目：操作音
設定値：OFF、1～7

案内音量を調整する

ナビゲーション案内音声の音量を調整します。音声をOFFにすることもできます（初期設定値は「4」）。

設定項目：ガイド音声
設定値：OFF、1～7

案内音量を確認する

- 1 **音量調整** にタッチします。



調整した音量で、案内音量が出力されます。

着信音量を設定する

着信音量を 11 段階で設定できます（初期設定値は「4」）。

設定項目：着信音量
設定値：1～11

通話音量を設定する

受話音量 / 送話音量を 11 段階で設定できます（初期設定値は受話音量は「4」、送話音量は「6」）。

設定項目：受話音量 / 送話音量
設定値：1～11

音質調整

車室内では、再生するメディアやお聴きになる音楽の種類、車のボディタイプなどさまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

音質に関する設定はタブを切りかえることで 3 種類の画面から設定を行うことができます。それぞれの設定について詳しくは、該当ページを参照してください。

- ▶ まず最初にお使いになるスピーカーの設定をすることをお勧めします。「スピーカーを設定する」(350 ページ)を参照してください。

<基本設定画面>



<詳細設定 1 画面>



<詳細設定 2 画面>



マルチチャンネルについて

本機は、内蔵で最大 5.1ch のマルチチャンネルの設定が可能です。ドルビーデジタルや DTS サウンドをより正確に再現するには下記調整を行ってください。

1 スピーカーを設定する (350 ページ)



2 スピーカー出力レベルを設定する (351 ページ)



3 サブウーファーレベルを調整する (336 ページ)



4 マルチチャンネル再生 / ステレオ再生を切りかえる (336 ページ)



5 音像を調整する (349 ページ)



6 迫力のある大音量再生を楽しむ (349 ページ)

音質調整画面を表示する

2 通りの方法で音質調整画面を表示することができます。

■ メニュー スイッチから表示する

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。

- 2 **設定・編集** にタッチします。



設定・編集画面が表示されます。

- 3 **音質調整** にタッチします。



音質調整画面が表示されます。

■ ソース / ・ POWER スイッチから表示する

- 1 **ソース / ・ POWER** を押します。
AV ソースメニュー画面が表示されます。

- 2 **音質調整** にタッチします。



音質調整画面が表示されます。

基本設定画面の表示
(336 ページ)



- ① (336 ページ)
② (336 ページ)
③ (337 ページ) ④ (337 ページ)

基本設定画面の表示

1 音質調整画面で **基本設定** タブにタッチします。

- 「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。

基本設定画面が表示されます。

【◀ または ▶】 …… ① マルチチャンネル再生 / ステレオ再生を切りかえる

ドルビーデジタルや DTS サウンドをより正確に再現するには「マルチチャンネル」に設定してください。

1 「再生モード」の ▶ または ▶ にタッチして、マルチチャンネル、またはステレオを選びます。



マルチチャンネル：
マルチチャンネルで再生します。

ステレオ：

マルチチャンネル音源を、スピーカー数に関係なく強制的にステレオ音声にダウンミックスさせて出力します。「スピーカーを設定する」(350 ページ) で「Small」または「Large」に設定されている全てのスピーカーから出力されます。

- ▶ マルチチャンネル音声の DVD などを再生していて後部座席で音声聞き取りにくい場合は「ステレオ」に設定してください。
- ▶ 「マルチチャンネル」に設定時にステレオ音声再生した場合、スピーカーの設定に関わらずセンタースピーカーから音声出力されません。
- ▶ 本設定は詳細設定 1 画面、詳細設定 2 画面からも操作することができます。

【◀ または ▶】 …… ② サブウーファー出力レベルの調整

「スピーカーを設定する」(350 ページ) でサブウーファー ON に設定した場合のみ、出力レベルの調整が表示され、設定することができます(初期設定値は「0」)。

1 「サブウーファーレベル」の ▶ または ▶ にタッチして、出力レベルを調整します。



設定値 : 0 ~ 15

- ▶ 本設定は詳細設定1画面、詳細設定2画面からも操作することができます。

【 FAD./BAL. 】 ③

バランス / フェダーの設定

前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます（初期設定値は、FADER：0、BALANCE：0J）。

- 1 **FAD./BAL.** にタッチします。
FAD./BAL. 調整画面が表示されます。

- 2 バランスポイントエリア内のお好みのポイントにタッチします。



BALANCE : L15 ~ R15
FADER : R15 ~ F15

- 3 **戻る** にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 微調整するときは、**▲フロント ▼リア ◀左 ▶右** にタッチしてください。
- ▶ 初期設定値「FADER 0、BALANCE 0」に戻すには、**センター** にタッチします。
- ▶ 本設定は詳細設定1画面、詳細設定2画面からも操作することができます。

【 DEFEAT ON または DEFEAT OFF 】

..... ④

DEFEAT（ディフィート）の ON/OFF

ON に設定すると、MX を OFF、EQ を初期設定状態に戻します。OFF にすると、設定した値に戻ります（初期設定値は「OFF」）。

- 1 **DEFEAT ON または DEFEAT OFF** にタッチします。

- 現在のディフィートの状態によって表示が異なります。

DEFEAT ON 表示 : ディフィートが ON の時。

DEFEAT OFF 表示 : ディフィートが OFF の時。

設定画面が表示されます。

- 2 **ON または OFF** にタッチします。

- ▶ DEFEAT を ON に設定すると **EASY SETUP**、**Media Xpander**、**BASS MAX EQ**、**Parametric EQ** はトーンダウンしてタッチできなくなります。
- ▶ 本設定は詳細設定1画面、詳細設定2画面からも操作することができます。

車種専用サウンドセットアップ EASY SETUP

EASY SETUP 機能は、お客様の車室内の環境に合わせた最適な音響空間を設定・再現することができます（初期設定値は、「OFF」）。

本機では「車種専用設定」と「詳細設定」のどちらかを選んで設定することができます。

「車種専用設定」では、あらかじめ本機に用意されているデータベースより車種を選択することで設定できます。「詳細設定」では、車種カテゴリー / ハンドル位置 / 搭載スピーカーの種類や大きさ / シート素材を選択して設定します。

- ▶ EASY SETUP の設定は、下記項目に反映されます。
 - Media Xpander
 - Parametric EQ
 - T.CORR
 - X-OVER（サブウーファーあり設定時のみ）
 - スピーカー設定
 - スピーカー出力レベル
- また、BASS MAX EQ の設定が解除されます。

車種専用設定

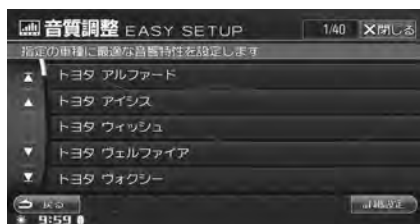
1 音質調整画面で **基本設定** タブにタッチします。

- 「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。

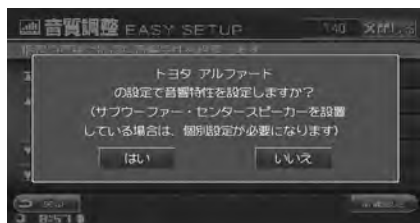
基本設定画面が表示されます。

2 **EASY SETUP** にタッチします。

3 一覧からお客様の車種にタッチします。



4 メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。



基本設定画面に戻ります。

- ▶ ディフイットが ON のときは、操作を受けつけません。
- ▶ 対応車種については 430 ページの車種一覧を参照してください。
- ▶ 設定した車種は、ドライブインフォ画面と地図画面の自車マーク (マーク 3 設定時) に反映されます (「ドライブインフォ画面を表示する」124 ページ、「自車マーク表示を設定する」306 ページ参照)。
- ▶ 「音響特性を設定中」と表示されているときは電源を OFF にしないでください。
- ▶ 車種専用設定はステレオシステムの設定データです。サブウーファーやセンタースピーカーを接続している場合は、それぞれ設定を行ってください。

詳細設定

1 音質調整画面で **基本設定** タブにタッチします。

- 「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。

基本設定画面が表示されます。

2 **EASY SETUP** にタッチします。

3 **詳細設定** にタッチします。

- リモコン操作の場合は **完了** を押してください。

4 一覧からお客様の車種にタッチします。



- ▶ 設定した車種は、ドライブインフォ画面と地図画面の自車マーク (マーク 3 設定時) に反映されます (「ドライブインフォ画面を表示する」124 ページ、「自車マーク表示を設定する」306 ページ参照)。

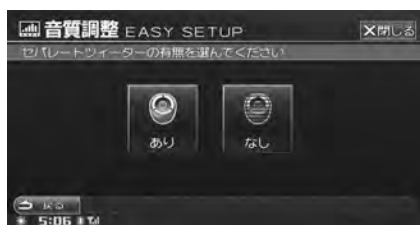
5 お客様のドライバーズシートの位置にタッチします。



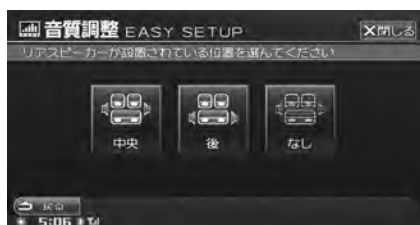
- 6 お客様のフロントスピーカーのサイズにタッチします。



- 7 ツィーターの有無を選んでタッチします。



- 8 リアスピーカーの設置位置を選んでタッチします。



- 9 サブウーファーの有無を選んでタッチします。



- 10 センタースピーカーの有無を選んでタッチします。



- 11 シートの材質を選んでタッチします。



- お車のシートに皮製の生地が使われている場合は **レザー** に、クロス地の場合は **モケット** に、皮とクロスの両方を使用している場合は **ハーフレザー** にタッチしてください。

- 12 設定内容を確認し、**完了** にタッチします。



設定画面に戻ります。

- ▶ スピーカーのサイズ、シートタイプは必ず選択してください。
- ▶ フロントスピーカーのサイズ、ツィーターの有無、シートタイプについてご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ▶ ディフィートが ON のときは、操作を受けつけません。

MX モードの設定

MX (Media Xpander) は、FM/CD/MP3 などメディアごとにボーカルや各楽器の音を際立たせ、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます (初期設定値は、「OFF」)。
ここでは CD の設定画面を例にして説明します。

1 音質調整画面で **基本設定** タブにタッチします。

- 「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。

基本設定画面が表示されます。

2 **Media Xpander** にタッチします。 Media Xpander 設定画面が表示されます。

3 「ALL MX OFF/ON」の **ON** または **OFF** にタッチします。



- 「ON」に設定する場合は、手順 4 へ進みます。
「OFF」に設定する場合は、操作を終了します。

4 レベルを変更する場合は、**OFF** のいずれかにタッチします。



- 現在再生しているモード (メディア) のレベルを設定できます。
- 設定できるレベルはメディアごとに異なります。

5 **戻る** にタッチすると設定画面に戻ります。

メディア	レベル			
	OFF	1	2	3
DVD/DTS-CD	OFF	MOVIE	MOVIE	DVD MUSIC
CD	OFF			
COMPRESS MEDIA	OFF			
FM	OFF			
AM	OFF	—	—	—
外部入力 / 外部ビデオ / ゲーム	OFF	圧縮+マイク	MUSIC	MOVIE
地上デジタルテレビ	OFF			

- MP3、WMA、AAC、iPod、HDD AUDIO、SD、USB は「COMPRESS MEDIA」に割り当てられます。
- DVD ビデオ、DVD オーディオ、DVD-VR、5.1 Music Disc (DTS-CD) は「DVD」に割り当てられます。
- 初期設定値は OFF になります。

FM

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生します。

CD

豊富な情報量を活かしたメリハリのある音を再生します。

COMPRESS MEDIA

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生します。

DVD

MOVIE : 映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生します。

MUSIC : ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生します。

- ▶ 手順 3 の操作で **OFF** にタッチすると、すべてのメディアで「OFF」となります。
- ▶ 手順 4 の操作で **OFF** にタッチすると、再生しているモードのみ OFF になります。
- ▶ MX レベルは 1 → 2 → 3 の順で効果が大きくなります。
- ▶ AM ラジオは、「ON」に設定できません。
- ▶ ディフューズが ON のときは、操作を受けつけません。
- ▶ MX は、マルチチャンネル音源および Dolby Pro Logic II が ON となっている音源には無効です。
- ▶ CD 録音中に視聴している音は本機ハードディスクに録音した AAC であるため、COMPRESS MEDIA に割り当てられます。

イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ **BASS MAX EQ**

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、お好みの音質に設定できます（初期設定値は、「FLAT」）。

1 音質調整画面で **基本設定** タブにタッチします。

- 「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。

基本設定画面が表示されます。

2 **BASS MAX EQ** にタッチします。
BASS MAX EQ 設定画面が表示されます。

3 設定したいジャンルにタッチします。



設定値 : FLAT、POPS、ROCK、NEWS、
JAZZ、ELECTRICAL DANCE、
HIP HOP、EASY LISTENING、
COUNTRY、CLASSICAL

4 にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ ディフイットが ON のときは、操作を受けつけません。
- ▶ BASS MAX EQ 設定時は、Parametric EQ の設定は解除されます。
- ▶ BASS MAX EQ は、マルチチャンネル音源および Dolby Pro Logic II が ON となっている音源には無効です。
- ▶ 右側画面に表示されている EQ カーブはイメージです。

イコライザーカーブの設定 Parametric EQ

Parametric EQ (パラメトリック EQ) は、中心周波数、Q (帯域幅)、レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うことができます。「周波数帯域と音質について」(393 ページ) も調整の際の参考にしてください。

1 音質調整画面で **詳細設定 1** タブにタッチします。

- 「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。

詳細設定 1 画面が表示されます。

2 **Parametric EQ** にタッチします。
Parametric EQ 設定画面が表示されます。

- EASY SETUP が設定されている場合は、設定されているイコライザーカーブが表示されます。

3 **チャンネル** にタッチし、調整するチャンネルを選びます。または設定したいチャンネルのエリアにタッチします。



- **チャンネル** にタッチした場合、タッチすると同時にチャンネルが切りかわります（チャンネル 1 ～チャンネル 9）。

4 「周波数」の ◀ または ▶ にタッチして周波数を調整します。

設定値 : チャンネル 1 20Hz ~ 100Hz
 チャンネル 2 63Hz ~ 315Hz
 チャンネル 3 125Hz ~ 500Hz
 チャンネル 4 250Hz ~ 1kHz
 チャンネル 5 500Hz ~ 2kHz
 チャンネル 6 1kHz ~ 4kHz
 チャンネル 7 2kHz ~ 7.2kHz
 チャンネル 8 5.8kHz ~ 12kHz
 チャンネル 9 9kHz ~ 20kHz

5 「Q 調整」の ◀ または ▶ にタッチしてバンド幅を調整します。

設定値 : 1/2/3

6 「レベル」の ▲ または ▼ にタッチしてレベルを調整します。

設定値 : -7 ~ +7

7 さらに別のチャンネルを設定するには、手順 **3 ~ 6** を繰り返し、すべてのチャンネルを設定します。

8 調整した設定値を記憶するには、**プリセット 1** **プリセット 2** **プリセット 3** のいずれかにタッチし続けます。

- ▶ **フラット** にタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。
- ▶ ディフューザーが ON のときは、操作を受け付けません。
- ▶ 隣り合うチャンネルの周波数を超えて設定することはできません。
- ▶ Parametric EQ 設定時は、BASS MAX EQ の設定は解除されます。
- ▶ Parametric EQ は、マルチチャンネル音源および Dolby Pro Logic II が ON となっている音源には無効です。

イコライザーカーブを呼び出す

記憶したイコライザーカーブを呼び出します。

1 音質調整画面で **詳細設定 1** タブにタッチします。

- 「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。

詳細設定 1 画面が表示されます。

2 **Parametric EQ** にタッチします。

Parametric EQ 設定画面が表示されます。

3 **プリセット 1** **プリセット 2** **プリセット 3** のいずれかにタッチします。

タッチしたスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。

タイムコレクションの設定

音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。

- ディスクに記録されている音声チャンネル数がマルチチャンネルの場合、また、Dolby Pro Logic II が有効の音源の場合、20.0ms まで調整することができます (MOVIE MODE)。ディスクに記録されている音声チャンネル数が 2ch の場合、9.9ms まで (6ch 合計 20ms まで) 調整することができます (NORMAL MODE)。
- ▶ 「再生モード」がマルチチャンネルとなっている場合のみ、MOVIE MODE となります (「マルチチャンネル再生 / ステレオ再生を切りかえる」336 ページ参照)。
- ▶ タイムコレクション設定を行うまえに、「タイムコレクション (時間補正) について」(344 ページ) を参照してください。
- ▶ 「スピーカーを設定する」(350 ページ) の設定によって、調整できるスピーカーが異なります。
- EASY SETUP でリアスピーカー / サブウーファー / センタースピーカーを「なし」に設定している場合は、タイムコレクションの設定画面に表示されません。

1 音質調整画面で **詳細設定 1** タブにタッチします。

- 「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。

詳細設定 1 画面が表示されます。

2 **T.CORR** にタッチします。

Time Correction 調整画面が表示されます。

- EASY SETUP が設定されている場合は、設定されているタイムコレクションの値が表示されます。

3 **補正時間** または **補正距離** にタッチして、補正する時のモードを選びます。



タッチする毎にタッチスイッチ表示と補正モードが切りかわります。

補正時間 : 時間補正値で調整します。

単位は ms。

補正距離 : リスニングポジションと各スピーカーまでの距離で調整します。

単位は cm。

▶ 時間差表 (345 ページ) を参照してください。

4 フロント / リアスピーカーの ◀ または ▶ にタッチして、時間補正値または距離を調整します。



5 サブウーファー / センタースピーカーの ▲ または ▼ にタッチして、時間補正値または距離を調整します。

6 調整した設定値を記憶するには、**プリセット1** **プリセット2** **プリセット3** のいずれかにタッチし続けます。

• MOVIE MODE、NORMAL MODE それぞれでプリセット 3 つずつ (プリセット 1 ~ 3) 記憶することができます。

▶ 初期設定値「0.0」に戻すには、**フラット** にタッチします。

時間補正値を呼び出す

記憶した時間補正値を呼び出します。

1 音質調整画面で **詳細設定 1** タブにタッチします。

• 「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。

詳細設定 1 画面が表示されます。

2 **T.CORR** にタッチします。

3 **プリセット1** **プリセット2** **プリセット3** のいずれかにタッチします。

タッチしたスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。

タイムコレクション（時間補正）について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正値の算出方法について説明します。

1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定します。

2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出します。

$L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$

3 スピーカーごとに算出した距離を音速（343m/s 気温 20℃）で割り、1000 をかけます。

その値が各スピーカーの時間補正値となります。

● 具体例

下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

（条件）：

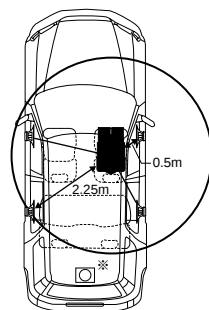
一番遠いスピーカー～リスニングポジション：2.25m

フロント右側スピーカー～リスニングポジション：0.5m

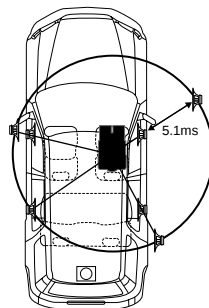
（算出）： $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

補正時間 = $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1 \text{ (ms)}$

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正値に 5.1（ms）を与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは 1.75m の差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。

右前スピーカーに 5.1ms の時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

<時間差表>

ms	cm	ms	cm	ms	cm	ms	cm
0.0	0.0	5.0	170.0	10.0	340.0	15.0	510.0
0.1	3.4	5.1	173.4	10.1	343.4	15.1	513.4
0.2	6.8	5.2	176.8	10.2	346.8	15.2	516.8
0.3	10.2	5.3	180.2	10.3	350.2	15.3	520.2
0.4	13.6	5.4	183.6	10.4	353.6	15.4	523.6
0.5	17.0	5.5	187.0	10.5	357.0	15.5	527.0
0.6	20.4	5.6	190.4	10.6	360.4	15.6	530.4
0.7	23.8	5.7	193.8	10.7	363.8	15.7	533.8
0.8	27.2	5.8	197.2	10.8	367.2	15.8	537.2
0.9	30.6	5.9	200.6	10.9	370.6	15.9	540.6
1.0	34.0	6.0	204.0	11.0	374.0	16.0	544.0
1.1	37.4	6.1	207.4	11.1	377.4	16.1	547.4
1.2	40.8	6.2	210.8	11.2	380.8	16.2	550.8
1.3	44.2	6.3	214.2	11.3	384.2	16.3	554.2
1.4	47.6	6.4	217.6	11.4	387.6	16.4	557.6
1.5	51.0	6.5	221.0	11.5	391.0	16.5	561.0
1.6	54.4	6.6	224.4	11.6	394.4	16.6	564.4
1.7	57.8	6.7	227.8	11.7	397.8	16.7	567.8
1.8	61.2	6.8	231.2	11.8	401.2	16.8	571.2
1.9	64.6	6.9	234.6	11.9	404.6	16.9	574.6
2.0	68.0	7.0	238.0	12.0	408.0	17.0	578.0
2.1	71.4	7.1	241.4	12.1	411.4	17.1	581.4
2.2	74.8	7.2	244.8	12.2	414.8	17.2	584.8
2.3	78.2	7.3	248.2	12.3	418.2	17.3	588.2
2.4	81.6	7.4	251.6	12.4	421.6	17.4	591.6
2.5	85.0	7.5	255.0	12.5	425.0	17.5	595.0
2.6	88.4	7.6	258.4	12.6	428.4	17.6	598.4
2.7	91.8	7.7	261.8	12.7	431.8	17.7	601.8
2.8	95.2	7.8	265.2	12.8	435.2	17.8	605.2
2.9	98.6	7.9	268.6	12.9	438.6	17.9	608.6
3.0	102.0	8.0	272.0	13.0	442.0	18.0	612.0
3.1	105.4	8.1	275.4	13.1	445.4	18.1	615.4
3.2	108.8	8.2	278.8	13.2	448.8	18.2	618.8
3.3	112.2	8.3	282.2	13.3	452.2	18.3	622.2
3.4	115.6	8.4	285.6	13.4	455.6	18.4	625.6
3.5	119.0	8.5	289.0	13.5	459.0	18.5	629.0
3.6	122.4	8.6	292.4	13.6	462.4	18.6	632.4
3.7	125.8	8.7	295.8	13.7	465.8	18.7	635.8
3.8	129.2	8.8	299.2	13.8	469.2	18.8	639.2
3.9	132.6	8.9	302.6	13.9	472.6	18.9	642.6
4.0	136.0	9.0	306.0	14.0	476.0	19.0	646.0
4.1	139.4	9.1	309.4	14.1	479.4	19.1	649.4
4.2	142.8	9.2	312.8	14.2	482.8	19.2	652.8
4.3	146.2	9.3	316.2	14.3	486.2	19.3	656.2
4.4	149.6	9.4	319.6	14.4	489.6	19.4	659.6
4.5	153.0	9.5	323.0	14.5	493.0	19.5	663.0
4.6	156.4	9.6	326.4	14.6	496.4	19.6	666.4
4.7	159.8	9.7	329.8	14.7	499.8	19.7	669.8
4.8	163.2	9.8	333.2	14.8	503.2	19.8	673.2
4.9	166.6	9.9	336.6	14.9	506.6	19.9	676.6
						20.0	680.0

X-OVER の設定

HPF(ハイパスフィルター)/LPF(ローパスフィルター)を設定することで好みの音響空間を再現することができます。

- ▶ X-OVER 設定を行うまえに、「X-OVER について」(347 ページ)を参照してください。

1 音質調整画面で **詳細設定 1** タブにタッチします。

- 「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。

詳細設定 1 画面が表示されます。

2 **X-OVER** にタッチします。 X-OVER 設定画面が表示されます。

3 **チャンネル** にタッチし、調整するチャンネルを選びます。



- タッチすることによってチャンネルが切りかわります。
フロント HPF → リア HPF → サブウーファー LPF → フロント HPF
HPF: 設定した周波数より上の周波数帯域を出力します。
LPF: 設定した周波数より下の周波数帯域を出力します。
- 「スピーカーを設定する」(350 ページ) の設定によって、調整できるチャンネルが異なります。

4 「周波数」の **◀** または **▶** にタッチして、カットオフ周波数(クロスオーバーポイント)を選びます。

設定値: 20Hz ~ 200Hz

5 「スロープ」の **◀** または **▶** にタッチして、HPF または LPF のスロープを調整します。

設定値: 0/6/12/18/24 dB/oct

6 「レベル」の **▲** または **▼** にタッチして、出力レベルを調整します。

設定値: -12 ~ 0 dB

7 さらに別のチャンネルを設定するには、手順 3 ~ 6 を繰り返し、すべてのチャンネルを設定します。

8 調整した設定値を記憶するには、**プリセット 1** **プリセット 2** **プリセット 3** のいずれかにタッチし続けます。

- ▶ **フラット** にタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。
- ▶ スピーカーが OFF モードの時は、そのスピーカーの X-OVER は設定できません。「スピーカーを設定する」(350 ページ)を参照してください。
- ▶ 調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。

X-OVER の調整値を呼び出す

記憶した X-OVER の調整値を呼び出します。

1 音質調整画面で **詳細設定 1** タブにタッチします。

- 「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。
- 詳細設定 1 画面が表示されます。

2 **X-OVER** にタッチします。 X-OVER 設定画面が表示されます。

3 **プリセット 1** **プリセット 2** **プリセット 3** のいずれかにタッチします。



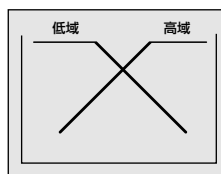
X-OVER について

本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ デバイディング ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

各チャンネルの HPF (ハイパスフィルター) /LPF (ローパスフィルター) の調整、スロープ (フィルター特性の減衰の傾き)、レベルを設定します。

接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

	カットオフ周波数帯域 (1/3 オクターブステップ)		スロープ調整		レベル 調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
サブウー ハー LPF	—	20Hz ~ 200Hz	—	0(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ 12dB
リア HPF	20Hz ~ 200Hz	—	0(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ 12dB
フロント HPF	20Hz ~ 200Hz	—	0(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ 12dB



(実際の表示とは異なります。)

- ▶ HPF (ハイパスフィルター) はある周波数より下の音域 (低域) をカットして、高域の成分を通すフィルターです。
- ▶ LPF (ローパスフィルター) はある周波数より上の音域 (高域) をカットして、低域の成分を通すフィルターです。
- ▶ スロープとは周波数が 1 オクターブ高くまたは低くなったとき、信号が何 dB 減衰するかを表す値です。
- ▶ スロープの数値が大きいほど傾きは急になります。
- ▶ スロープを 0(OFF) にすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。ツイーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。
- ▶ 同じチャンネル内で HPF と LPF の周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPF と LPF の周波数を超える調整はできません。

■ X-OVER (クロスオーバーネットワーク) はなぜ必要か？

スピーカーは一つの振動板で可聴帯域すべてをフラットに再生することが理想です。しかし、耳で聞こえる音の周波数は 20Hz ~ 20kHz 位と言われ、一つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。そこでクロスオーバーを使用しスピーカーを各周波数帯域 (低域、中域、高域など) に別けて各スピーカーの能力に見合った再生周波数に分割します。クロスオーバーには低音域を再生するための「ローパスフィルター (LPF)」と高音域を再生するための「ハイパスフィルター (HPF)」があります。この LPF/HPF を利用することで信号に対して忠実な再生ができるようになります。

■ スロープ調整について

- 例えば、HPF を調整した場合、その周波数より低い周波数をまったく再生しないわけではありません。スロープを設定することで、特定の周波数より低くなればなるほど、出力 (音量) が低くなっていくという減衰特性を調整します。
- フィルターのスロープ特性は 6dB、12dB、18dB、24dB/oct. を内蔵しており、スロープの数値が大きいほど、傾きが急となり隣の帯域からの音の混ざりもなく、狙った帯域だけを再生できますが、各スピーカー間のつながりが悪くなる場合や歪みが発生する場合もありますので、各スピーカー間の音を聴きながら調整してください。
- フルレンジスピーカーを使用している場合、スロープ設定は 0 にします。

■ 調整のコツ

注意

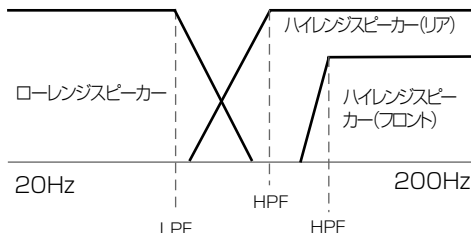
- 接続しているスピーカーの推奨クロスオーバー周波数にあわせて調整してください。スピーカーの推奨クロスオーバーを必ず確認してください。推奨クロスオーバー範囲外の調整は、スピーカー破損の原因となります。弊社製品のクロスオーバー周波数推奨値については、スピーカーの説明書を参照してください。クロスオーバー推奨値以外のご使用により製品の破損 / 故障等が生じても、責任は負いかねますのでご注意ください。

■ 設定例

例えば、

- ・サブウーファー：20Hz～80Hz
 - ・フロント/リアスピーカー：80Hz以上
- とします。

本機側の調整は、サブウーファーのLPFを63Hzまたは80Hz、フロント/リアスピーカーのHPFはそれぞれ80Hzまたは100Hzを目安とし、次にスロープを設定、そしてスピーカー全体の音のバランスを聴きながら出力レベルの調整を行います。後は、実際に試聴しながら、繰り返し周波数やスロープの調整などをお好みに合わせて行い最も最適な調整を探します。



Dolby Pro Logic IIを使う (Dolby 設定)

2チャンネルで録音された音楽信号にプロロジック処理を行い、DOLBY PRO LOGIC II サラウンドとして楽しむことができます (初期設定値は「OFF」)。

1 音質調整画面で **詳細設定 2** タブにタッチします。

- 「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。

詳細設定 2 画面が表示されます。

2 **Dolby 設定** にタッチします。

Dolby Pro Logic II モード設定画面が表示されます。

3 「Dolby Pro Logic II モード」のお好みのモードにタッチします。



- OFF : Dolby Pro Logic II 機能を OFF にします。
- Music : 音楽再生に適しています。
- Movie : 映画再生に適しています。
- Panorama : フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して包み込みを大きくしています。

4 **戻る** にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 本設定は DVD、DVD-VR、DTS-CD、CDDA、CD-ROM (圧縮オーディオ) モード時の 2ch 音声のみ有効です。
- ▶ CD 録音中に視聴している音は本機ハードディスクに録音した AAC であるため、Dolby Pro Logic II 対象外です。

音像を調整する BI-PHANTOM (Dolby 設定)

臨場感ある音声を再現するには、センタースピーカーをリスニングポジションの真正面に置かなくてはなりません。この機能が仮想的に、センタースピーカーの音を両サイドに振り分けることにより、センタースピーカーが真正面にあるような音像を作り出すことができます（初期設定値は「OFF」）。

1 音質調整画面で **詳細設定 2** タブにタッチします。

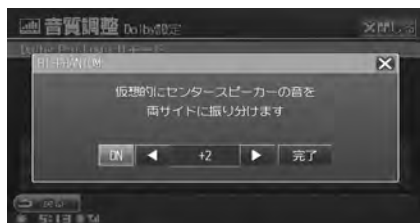
- 「音質調整画面を表示する」（335 ページ）参照。
詳細設定 2 画面が表示されます。

2 **Dolby 設定** にタッチします。 Dolby Pro Logic II モード設定画面が表示されます。

3 **BI-PHANTOM** にタッチします。



4 **ON** にタッチした後、**◀** または **▶** にタッチしてレベルを調整します。



5 **完了** または **✕** にタッチすると設定画面に戻ります。

- レベルは -5 ~ +5 まで調整でき、レベルが大きくなると、音像はセンタースピーカーの位置から両サイドに移ります。

- ▶ BI-PHANTOM が ON 状態で OFF に設定するには、**ON** にタッチします。
- ▶ OFF に設定すると、BI-PHANTOM 機能は OFF になります。

迫力のある大音量再生を楽しむ (リスニングモード) (Dolby 設定)

ドルビーデジタルでは通常の音量で十分な迫力が楽しめるように「ダイナミックレンジ」が圧縮されています。この圧縮を解除することにより、更に迫力のある「映画館のようなエネルギー感」のある音を楽しむことができます（初期設定値は「STD」）。

1 音質調整画面で **詳細設定 2** タブにタッチします。

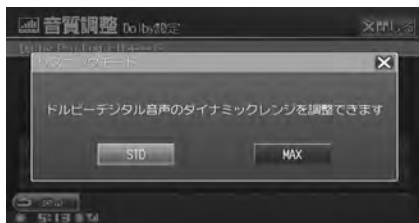
- 「音質調整画面を表示する」（335 ページ）参照。
詳細設定 2 画面が表示されます。

2 **Dolby 設定** にタッチします。 Dolby Pro Logic II モード設定画面が表示されます。

3 **リスニングモード** にタッチします。



4 **STD** または **MAX** にタッチします。



STD : 通常の音量で迫力のある音を楽しむときに設定します。

MAX : 大音量で迫力のある音を楽しむときに設定します。

スピーカーを設定する

お使いになるスピーカーの再生周波数帯域に応じて本機を設定することができます。この操作を行う前に、各スピーカー（サブウーファー以外）の再生周波数帯域を調べて低音再生が可能かを確認してください（80Hz 以下が目安です）。

1 音質調整画面で **詳細設定 2** タブにタッチします。

- 「音質調整画面を表示する」（335 ページ）参照。

詳細設定 2 画面が表示されます。

2 **スピーカー設定** にタッチします。

3 ◀ または ▶ にタッチして、接続しているスピーカーを「OFF」「Small」「Large」のいずれかに設定します。



OFF : スピーカーを接続していない場合

Small : 低減 (80Hz 以下) が再生できない
スピーカーを接続している場合

Large : 低減 (80Hz 以下) が再生できる
スピーカーを接続している場合

サブウーファーは「ON」または「OFF」に設定
します。

- フロントスピーカーは「OFF」設定はありません。

4 サブウーファーを ON に設定した場合は、「PHASE」の ▶ または ▶ にタッチして位相を切りかえます。

お好みの音が得られる方を選んでください。

5 ◀ 戻る にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ X-OVER の設定を行う場合は、フロント / リアスピーカーを「Large」に設定してください。「Small」に設定すると 100Hz 固定の HPF が設定されるため、X-OVER で設定した HPF と二重に適用され、一部の周波数の音が再生されなくなります。
- ▶ フロントスピーカーまたはリアスピーカーが必ず Large になるように設定されます。
- ▶ モノラル録音の DVD 再生時、センタースピーカーが Small / Large 設定時はセンタースピーカーから音声が出力され、センタースピーカー OFF 時はフロントスピーカーから音声出力されます。

スピーカー出力レベルを設定する

「スピーカーを設定する」(前項目)で設定したスピーカーの出力レベルを調整します(初期設定値はいずれも「0dB」)。

- 1 音質調整画面で **詳細設定 2** タブにタッチします。
 ・「音質調整画面を表示する」(335 ページ) 参照。
 詳細設定 2 画面が表示されます。

- 2 **スピーカー出力レベル** にタッチします。
 スピーカー出力レベル調整画面が表示されます。

- 3 各スピーカーの音量が同じ大きさになるように調整します。
テストトーン にタッチします。



テストトーンが各スピーカーから順に 2 秒ずつ出力されます。

- 4 各スピーカーからテストトーンが鳴っている時に、**◀** または **▶** にタッチしてそれぞれの音量が同じになるように出力レベルを調整します。
 ・各スピーカーは -6dB ~ +6dB の範囲で調整を行うことができます。
 ・フロントスピーカーを基準に調整を行ってください。

- 5 **戻る** にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 「スピーカーを設定する」(前項目)で OFF に設定したスピーカーは、本設定を行うことはできません。
- ▶ ディスクが挿入されている時と、地上デジタルテレビを視聴中は、テストトーンを出力することはできません。

ソース間の音量レベルを調整する

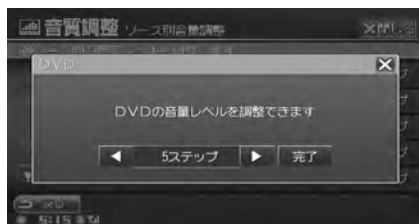
ソース毎に基準となる音量レベルを調整します(初期設定値はいずれも「0 ステップ」)。

- 1 **ソース別音量調整** にタッチします。
 ソース別音量調整画面が表示されます。
- 2 音量を調整したいソースにタッチします。



音量調整画面が表示されます。

- 3 **◀** または **▶** にタッチして音量を調整します。



- ・ -14 ~ +14 の範囲で調整を行うことができます。

- 4 **完了** または **×** にタッチすると音質調整画面に戻ります。

- 5 全てのソースの調整が完了したら **戻る** にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ CD 録音中に視聴している音は「圧縮 AUDIO」で調整します。

画像ビューアー機能

好きな画像を閲覧したり、壁紙として表示することができます。

- ▶ 画像ビューアー機能使用時は、ナビの音声案内と案内映像の割り込みは行われません。

壁紙を表示する

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **画像ビューアー** にタッチします。



設定されている壁紙が表示されます。

- 画面表示を通常に戻すには

AV/・AUDIO OFF スイッチまたは **現在地** スイッチを押します。

操作画面の表示
(353 ページ)



① (353 ページ)

② (353 ページ)

③ (354 ページ、
355 ページ)

④ (355 ページ)

操作画面を表示する

- 壁紙表示中、画面にタッチします。
操作画面が表示されます。
 • しばらく（約 6 秒）操作しない場合は、元の画面に戻ります。

【 時計 1 時計 2 しない 】… ①

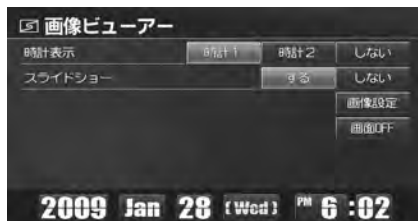
時計表示を設定する

- 時計 1 時計 2 しない のいずれかにタッチします。



時計 1 / 時計 2 : 壁紙に時計が表示されます。
しない : 壁紙に時計を表示しません。

<時計表示例>



【 する または しない 】… ②
スライドショー機能

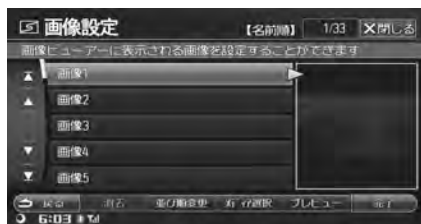
- 「スライドショー」の する にタッチします。
次々と画面表示を行うスライドショーが実行されます。
- スライドショーをやめるには、
しない にタッチします。

【 画像設定 】…………… ③

壁紙に表示する画像を設定する

1 **画像設定** にタッチします。
画像設定画面が表示されます。

2 画像にタッチして選択し、**完了** に
タッチします。



選択した画像が壁紙として表示されます。

- **メディア選択** にタッチして、選んだメディアから画像を本機 HDD にコピーすることができます。操作については、「画像ファイルをコピーする」(327 ページ)を参照してください。
- **消去** にタッチして画像を消去することができます。「イメージ画像を消去する」(354 ページ)を参照してください。
- **並び順変更** にタッチして、画像リストの並び順を変更することができます。「画像の並び順を変更する」(355 ページ)を参照してください。
- **プレビュー** にタッチして選択した画像のプレビュー画面を表示できます。「プレビュー画面を表示する」(355 ページ)を参照してください。

▶ 本機に元々登録されている画像は消去することはできません。

【 画像設定 】…………… ③

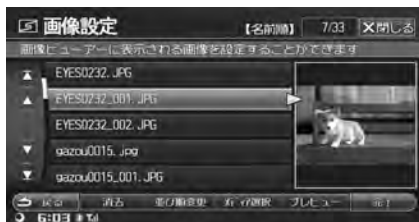
イメージ画像を消去する

本機にコピーした画像を消去することができます。

■ 画像を消去する

1 **画像設定** にタッチします。
画像設定画面が表示されます。

2 消去したい画像にタッチします。



- いずれかの画像にタッチすると画面右側に画像が表示されます。画像によって表示するまで時間がかかる場合があります。

3 **消去** にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

4 **はい** にタッチします。
選択した画像が消去されます。

■ すべての画像を消去する

1 **画像設定** にタッチします。
画像設定画面が表示されます。

2 いずれかの画像にタッチします。

3 **消去** にタッチし続けます。
確認のメッセージが表示されます。

4 **はい** にタッチします。
コピーした画像がすべて消去されます。

【 画像設定 】 ③

画像の並び順を変更する

本機に登録した画像の並び順を変更することができます。

1 **画像設定** にタッチします。

画像設定画面が表示されます。

2 **並び順変更** にタッチします。

タッチすることにより、本機に登録した画像の並び順が変更されます。

- **並び順変更** にタッチするたびに、本機に登録した画像が登録順、名前順、種類順に並べられます。
登録順：登録した順。
名前順：ファイルの名前順。
種類順：拡張子が BMP → JPG → PNG → GIF の順に並べられる。

【 画像設定 】 ③

プレビュー画面を表示する

選択した画像のプレビュー画面を表示します。
SD メモリーカード、USB メモリ内の画像のプレビュー画面も表示できます。

1 **画像設定** にタッチします。

画像設定画面が表示されます。

- ▶ SD メモリーカード / USB メモリ内の画像を見るには、**メディア選択** にタッチした後、**SD** または **USB** を選択してください。

2 **プレビュー** にタッチします。

画像を拡大表示するプレビュー画面を表示します。

■ プレビュー画面を操作する

1 **◀◀ ▶▶** にタッチします。

前後の画像を表示します。



2 **▶▶** にタッチします。

全ての画面を次々と表示するスライドショーを開始します。再度 **▶▶** にタッチすると、スライドショーが終了します。

3 **◀ 戻る** にタッチします。

プレビュー画面の表示を終了します。

- ▶ 選択した画像が表示されるまで、時間がかかる場合があります。

【 画面 OFF 】 ④

画面を消す

1 **画面 OFF** にタッチします。



壁紙表示が OFF になります。

- ▶ 壁紙表示 OFF を解除するには、再度画面にタッチします。
- ▶ 壁紙表示を OFF にしても、GPS による現在地測位は継続されています。
- ▶ 壁紙表示が OFF のときに電話の着信があった場合は、通話終了後、画面表示 OFF に戻ります。

設定・編集（通信編）

❖ 電話設定	358
電話接続方法を設定する	358
BLUETOOTH 携帯電話を本機に登録する	358
BLUETOOTH 機器の設定	360
通信機能の設定	363
接続先詳細設定	365
電話設定操作	367
電話設定	367
❖ いつも NAVI 設定	369
いつも NAVI 設定操作	369
いつも NAVI 設定	370

電話設定

電話機能に関する設定を行います。
まず、「携帯電話を接続する」(149 ページ) を参照してください。

電話接続方法を設定する

本機に携帯電話を接続する際、BLUETOOTH を使用するのか、通信ケーブルを使用するのかを設定します。

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **設定・編集** にタッチします。
設定・編集画面が表示されます。
- 3 **電話設定** にタッチします。



電話設定画面が表示されます。

- 4 **電話接続** にタッチします。



電話接続画面が表示されます。

- 5 **Bluetooth 接続** または **ケーブル接続** にタッチして選択します。

Bluetooth 接続：

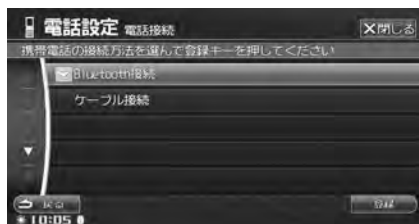
本機と携帯電話を BLUETOOTH で無線接続します。

ケーブル接続：

通信ケーブルを使用して本機と携帯電話を接続します。

- ▶ 通信ケーブル接続時のみ、**ケーブル接続** を設定することができます。

- 6 **登録** にタッチします。
選択した接続には マークが表示されます。



BLUETOOTH 携帯電話を本機に登録する

BLUETOOTH 対応携帯電話を最初に本機に接続する時に設定します。

- 「電話接続方法を設定する」(前項目) が「Bluetooth 接続」設定時のみ、本設定を行うことができます。

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **設定・編集** にタッチします。
設定・編集画面が表示されます。
- 3 **電話設定** にタッチします。
電話設定画面が表示されます。
- 4 **Bluetooth 設定** にタッチします。



Bluetooth 設定画面が表示されます。

5 Bluetooth 機器設定 にタッチします。

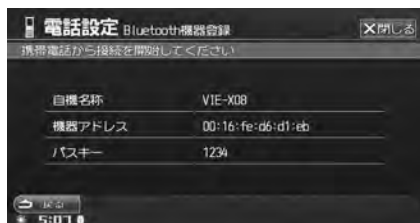


Bluetooth 機器設定画面が表示されます。

6 Bluetooth 1 ～ Bluetooth4 のいずれかにタッチして選択し、登録 にタッチします。



7 Bluetooth 機器登録画面が表示され (自機名称、機器アドレス、パスキー表示)、携帯電話からの接続待機状態になります。



- 以降は携帯電話からの操作になります。上記画面を表示させたまま手順 8 の操作に進みます。携帯電話の機器登録の操作方法については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

8 携帯電話で本機の自機名称を検索して認証します。

- 本機の自機名称は、初期設定は「VIE-X08」になります。自機名称を変更することもできます（「本機の自機名称を変更する」362 ページ参照）。

9 携帯電話にパスキーを入力して、本機を登録します。

本機画面に「登録が完了しました」とメッセージが表示され、BLUETOOTH 接続設定が終了します。

- パスキーの初期設定は「1234」です。パスキーを変更することもできます（「本機のパスキーを変更する」362 ページ参照）。

- BLUETOOTH 接続されると、画面下に  インジケータが表示されます。
- 携帯電話を置く場所によっては、障害物や電波の状態により音声にノイズののったり、通信が中断される場合があります。このような場合は、携帯電話を本機の近くや障害物のない場所に置くようにしてください。
- 本機は携帯電話を 4 台まで登録しておくことができます。実際に接続できるのはその中の 1 台になります。使用する携帯電話の切りかえは、「接続する BLUETOOTH 機器を変更する」（361 ページ）を参照してください。
- 携帯電話から設定する際、本機は「ハンズフリー機器」として設定してください。「ワイヤレス機器登録」と「ハンズフリー機器登録」の項目がある場合は、「ハンズフリー機器登録」を選択してください。
- 携帯電話によっては、登録時に接続するサービスを選択する必要がある場合があります。その場合は、「ハンズフリー」と「ダイヤルアップ (DUN)」を選択してください。
- 携帯電話の BLUETOOTH メニューに「接続待ち（接続待機）」の項目がある場合は、必ず「接続待ち（接続待機）」の状態にしてください。
- 携帯電話の BLUETOOTH メニューに「BLUETOOTH 電源」の項目がある場合は、必ず「BLUETOOTH 電源 ON」の状態にしてください。

BLUETOOTH 機器の設定

本機に登録してある BLUETOOTH 機器の設定を行います。

2 つの画面を例に説明しています。362 ページも参照してください。また、それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。

Bluetooth 機器
設定画面の表示
(360 ページ)



(361 ページ) (361 ページ) (361 ページ) (361 ページ)

Bluetooth 機器設定画面の表示

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **設定・編集** にタッチします。
設定・編集画面が表示されます。
- 3 **電話設定** にタッチします。



電話設定画面が表示されます。

- 4 **Bluetooth 設定** にタッチします。



Bluetooth 設定画面が表示されます。

- 5 **Bluetooth 機器設定** にタッチします。
Bluetooth 機器設定画面が表示されます。

- ▶ BLUETOOTH 機器設定は、BLUETOOTH 接続中に行うことができません。
BLUETOOTH 接続中に **Bluetooth 機器設定** にタッチすると、接続解除の確認のメッセージが表示されます。
はい にタッチしてください。
- ▶ 使用する携帯電話には  が表示されます。

【 消去 】 ①

BLUETOOTH 機器登録を消去する

本機に登録してある BLUETOOTH 携帯電話情報を消去します。すでに 4 台登録済みで新たな携帯電話を登録する場合には、不要な携帯電話情報を消去してください。

- 1 消去したい携帯電話にタッチして選択し、**消去** にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

- 2 **はい** にタッチします。

携帯電話名称が消去され、「未登録」と表示されます。

【 名称取得 】 ②

BLUETOOTH 機器情報を更新する

BLUETOOTH 携帯電話から情報を再取得して更新します。

- 1 機器情報を再取得したい携帯電話にタッチして選択し、**名称取得** にタッチします。

機器名称など、情報が更新されます。

【 情報 】 ③

BLUETOOTH 機器情報を表示する

BLUETOOTH 機器情報を表示します。

- 1 機器情報を表示したい携帯電話にタッチして選択し、**情報** にタッチします。

機器名称、機器アドレスが表示されます。



【 接続機器変更 】 ④

接続する BLUETOOTH 機器を変更する

接続する携帯電話を変更します。登録済みの携帯電話の中から選ぶことができます。

- 1 接続したい携帯電話にタッチして選択し、**接続機器変更** にタッチします。

本機に接続する携帯電話が変更されます。

**Bluetooth 自機情報編集画面の表示
(362 ページ)**



自機情報編集画面を表示する

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **設定・編集** にタッチします。
設定・編集画面が表示されます。
- 3 **電話設定** にタッチします。
電話設定画面が表示されます。
- 4 **Bluetooth 設定** にタッチします。



Bluetooth 設定画面が表示されます。

- 5 **Bluetooth 自機情報編集** にタッチします。
Bluetooth 自機情報編集画面が表示されます。

**【自機名称】…………… ⑤
本機の自機名称を変更する**

携帯電話でサーチした際に画面上に表示される本機の名称を変更します。

- 1 **自機名称** にタッチします。
自機名称入力画面が表示されます。

- 2 名称を入力し、**完了** にタッチします。



▶ 最大で英数記号 20 文字まで入力できます。

**【パスキー】…………… ⑥
本機のパスキーを変更する**

携帯電話で入力する本機のパスキーを変更します。

- 1 **パスキー** にタッチします。
パスキー入力画面が表示されます。
- 2 パスキーを入力し、**完了** にタッチします。



• パスキーは 4 ～ 8 桁で設定してください。

通信機能の設定

以下の機能を利用するには、通信設定を行う必要があります。

- いつも NAVI
- Gracenote データベースからのデータダウンロード
- 路線別地図データ配信

通信設定には、あらかじめ用意されている接続先を選ぶだけで簡単に設定できる「接続先を選んで登録する」と、新たな接続先を追加したり設定内容が変更できる「接続先を編集する」があります。

通常は「接続先を選んで登録する」の操作を行います。364 ページの操作は必要ありません。

独自にプロバイダを設定している方のみ、364 ページ以降の操作を行ってください。

- ▶ 本機能はインターネットを利用しています。通信を行うには各携帯電話会社のプロバイダを利用するか、インターネット接続サービスプロバイダと接続契約を行い設定する必要があります。この場合、別途インターネット接続サービスの利用料金が発生する場合があります。

接続先を選んで登録する

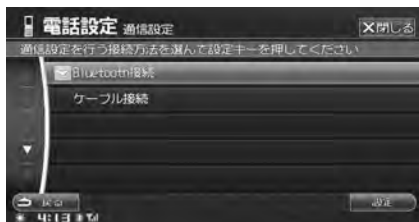
使用する携帯電話を選択するだけで、接続先の設定などが自動的に行われます。

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **設定・編集** にタッチします。
設定・編集画面が表示されます。
- 3 **電話設定** にタッチします。
電話設定画面が表示されます。
- 4 **通信設定** にタッチします。



通信設定画面が表示されます。

- 5 **Bluetooth 接続** または **ケーブル接続** にタッチして選び、**設定** にタッチします。



- Bluetooth 接続の場合は手順 6 に進んでください。ケーブル接続の場合は手順 7 に進んでください。

- ▶ 選択されている接続に  アイコンが表示されます。
- ▶ 通信ケーブルを接続していない場合は、**ケーブル接続** を選ぶことはできません。

- 6 登録されている携帯電話の中から、**設定** を行う携帯電話をタッチして選び、**設定** にタッチします。

- 7 表示されているリストから接続先をタッチして選択し、**登録** にタッチします。



選択した接続先が登録されます。

- 1  :
使用する携帯電話に設定されている接続先に表示されます。
- 2 B1 B2 B3 B4 :
ケーブル :
Bluetooth 1 ~ 4 の携帯電話に設定されていると、いずれかが青く表示されます。
ケーブル :
ケーブル接続の携帯電話に設定されていると緑色で表示されます。

接続先を編集する

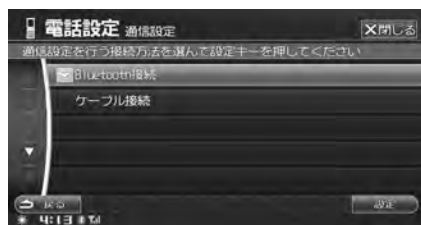
「接続先を選んで登録する」(前項目)で設定されている場合は、本操作は不要です。

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **設定・編集** にタッチします。
設定・編集画面が表示されます。
- 3 **電話設定** にタッチします。
電話設定画面が表示されます。
- 4 **通信設定** にタッチします。



通信設定画面が表示されます。

- 5 **Bluetooth 接続** または **ケーブル接続** にタッチして選び、**設定** にタッチします。



- Bluetooth 接続の場合は手順 6 に進んでください。ケーブル接続の場合は手順 7 に進んでください。

- 6 登録されている携帯電話の中から、設定を行う携帯電話をタッチして選び、**設定** にタッチします。

- 7 **新規接続先** または **詳細設定** にタッチします。



- 新規に接続先を追加する場合は、**新規接続先** にタッチします。通信設定の内容を変更する場合は、接続先を選択した後に **詳細設定** にタッチします。

- ▶ **新規接続先** にタッチして追加できる接続先は 3 件です。

- 8 接続先の編集を行います。



- 接続先編集操作については、「接続先詳細設定」(365 ページ) を参照してください。

- 9 編集が終了したら **完了** にタッチします。

入力した接続先が設定されます。

- 接続先名称、電話番号を入力していないと **完了** にタッチすることはできません。

- ▶ 登録した新規接続先を消去するには、消去したい新規接続先を選んで **消去** にタッチして、メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。
- ▶ 接続先設定内容を初期設定に戻す場合には、**初期値** にタッチしてメッセージが表示されたら **はい** にタッチします。

接続先詳細設定

接続先詳細設定は以下の画面で行います。それぞれのタッチスイッチ（操作方法）について詳しくは、該当ページを参照してください。



【 接続先名称 】…………… ①

接続先の名称を入力する

接続先の名称を入力します。ここで設定した名称が、通信設定リストに表示されます。

1 **接続先名称** にタッチします。

2 名称を入力します。



- 最大で全角 / 半角 32 文字まで入力できます。

3 **完了** にタッチします。

- ▶ 接続先名称は、「接続先を編集する」(364 ページ) で、「新規接続先」で作成した接続先のみ変更することができます。

【 電話番号 】…………… ②

電話番号を入力する

接続先の電話番号を入力します。

1 **電話番号** にタッチします。

2 電話番号を入力します。



- 15 文字まで入力できます。

3 **完了** にタッチします。

【ユーザー ID】 …………… ③

ユーザー ID を入力する

接続先との契約で登録されたユーザー ID を入力します。

1 **ユーザー ID** にタッチします。

2 ユーザー ID を入力します。



- 最大で英数記号 32 文字まで入力できます。

3 **完了** にタッチします。

【パスワード】 …………… ④

パスワードを入力する

接続先との契約で登録されたパスワードを入力します。

1 **パスワード** にタッチします。

2 パスワードを入力します。



- 最大で英数記号 32 文字まで入力できます。
- 入力したパスワードは*で表示されます。

3 **完了** にタッチします。

【回線交換 または パケット】 …………… ⑤

通信方式を指定する

通信方式を回線交換またはパケットから選択します。

1 「通信方式」の **回線交換** または **パケット** にタッチします。

- ▶ 「回線交換」に設定しても、パケットのみ対応のエリアにいるときは、回線接続できない場合があります。
- ▶ 接続先の電話番号や使用する携帯電話によっては、指定した通信方式とは違う通信方式で接続される場合があります。

【自動 または 手動】 … ⑥

DNS サーバーを指定する

DNS サーバーの IP アドレスを自動または手動で設定します。尚、DNS サーバーについては利用する接続先にご確認ください。

1 「DNS 設定」の **自動** または **手動** にタッチします。

- **自動** にタッチした場合は、以降の操作は必要ありません。

2 **DNS1** にタッチします。

3 IP アドレスを入力します。



- 0 ~ 255 の範囲で入力します。
- 最大 15 文字まで入力できます。

4 **完了** にタッチします。

5 **DNS2** にタッチし、同様に IP アドレスを入力します。

6 **完了** にタッチします。

電話設定操作

次の手順 **1** ～ **5** は、電話設定の共通操作になります。
本機は設定に関する説明が画面に表示されます。
下記に説明するように、画面表示に従って設定を行ってください。また、各項目について詳しくは該当ページを参照してください。

- メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。
- 設定・編集** にタッチします。



設定・編集画面が表示されます。

- 電話設定** にタッチします。

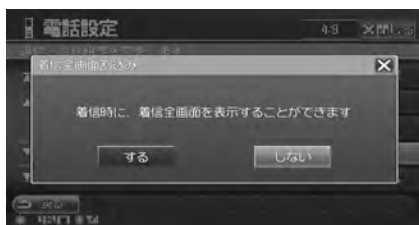


電話設定画面が表示されます。

- 設定したい項目にタッチします。



- 画面説明を読んで設定を行います。



- ✕ にタッチすると、手順 **4** の画面に戻ります。

電話設定

設定操作については「電話設定操作」(前項目)を参照してください。

着信全画面割込み

電話がかかってきた時に、着信全画面を自動で表示するかどうか設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目: 着信全画面割込み

設定値: する / しない

する: 着信全画面を自動で表示します。

しない: 名前や電話番号などを着信メッセージとして表示します。

- ▶ 「する」に設定していても、カメラ画面表示中は着信メッセージ表示となります。

着信・通話画面の情報を表示する

着信時または通話時に、画面に情報を表示するかどうか設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目: 着信・通話画面情報表示

設定値: する / しない

する: 相手の名前・電話番号を表示します。

しない: 相手の名前・電話番号を表示しません。
また、画像の表示も行いません。

自動着信を設定する

電話がかかってきた時に、自動的に電話を受けるかどうか設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目: 自動着信

設定値: する / しない

する: 着信があると自動的に電話を受けます。

しない: 手動で電話を受けます。

自動着信時間を設定する

自動着信設定時、何秒経過したら電話を受けるのかを5秒刻みで設定することができます（初期設定値は「10秒」）。

- 「自動着信を設定する」（前項目）を「する」に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。

設定項目：自動着信時間

設定値：5秒～20秒

1 ◀ または ▶ にタッチして着信時間を設定します。



2 完了 または ✕ にタッチすると設定画面に戻ります。

携帯電話画像取り込みを設定する

BLUETOOTH 接続時と FOMA でケーブル接続時、電話帳を本機に読み込む際に、電話帳に登録してある画像も取り込むかどうか設定します（初期設定値は「する」）。

設定項目：画像取り込み

設定値：する / しない

する：電話帳に登録してある画像も取り込み、通話画面にて表示します。

しない：電話帳に登録してある画像の取り込みを行いません。

- ▶ 携帯電話の機種によっては、画像取り込みを行えない場合があります。
- ▶ 本設定を「しない」に設定しても、電話帳読み込みの際の携帯電話からの電話帳送信の時間は、「する」の場合と変わりません。画像を取り込まずに短時間で電話帳読み込みを行いたい場合は、携帯電話側で画像を送信しないよう設定してください。
- ▶ 携帯電話より読み込んだ画像は、SD メモリーカードや USB メモリからコピーした画像とは別に扱われます。そのためメディア編集画面で操作する画像データには含まれず、最大ファイル数や容量にも含まれません。
- ▶ 取り込みできる画像データ
ファイル形式：BMP、JPG、PNG、GIF（プログレッシブ JPEG は非対応）
取り込みできる最大ファイル数：100
取り込みできる最大容量：50MB

いつも NAVI 設定

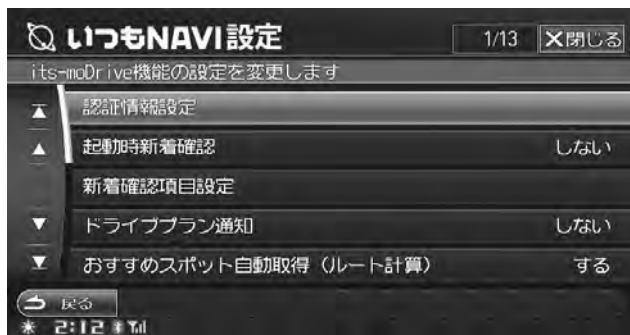
いつも NAVI 機能に関する設定を行います。

- ▶ いつも NAVI 設定を行うには、あらかじめ電話設定、通信設定、認証情報の入力が行われている必要があります。「いつも NAVI とは」(104 ページ)、「認証情報を入力する」(105 ページ) を参照してください。

いつも NAVI 設定操作

次の手順 **1** ～ **5** は、いつも NAVI 設定の共通操作になります。

本機は設定に関する説明が画面に表示されます。下記に説明するように、画面表示に従って設定を行ってください。また、各項目について詳しくは該当ページを参照してください。



- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。

- 2 **設定・編集** にタッチします。



設定・編集画面が表示されます。

- 3 **いつも NAVI** にタッチします。

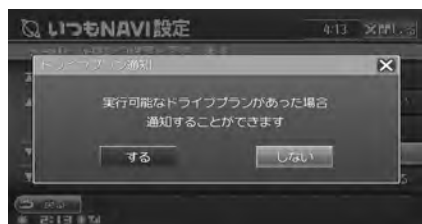


いつも NAVI 設定画面が表示されます。

- 4 設定したい項目にタッチします。



- 5 画面説明を読んで設定を行います。



- **X** にタッチすると、手順 4 の画面に戻ります。

いつも NAVI 設定

設定操作については「いつも NAVI 設定操作」(334 ページ) を参照してください。

認証情報設定

入力したいいつも NAVI 認証情報を変更することができます。

最初に本機に認証情報を入力する時は情報画面から行います。「認証情報を入力する」(105 ページ) を参照してください。

設定項目：認証情報設定 → ID/ パスワード

- ID とパスワードは、ユーザーズルームで設定した E-Mail/ パスワードと同じです。

- 1 **認証情報設定** にタッチします。
認証情報設定画面が表示されます。

- 2 **ID** にタッチします。



ID 入力画面が表示されます。

- 3 ID を入力し、**完了** にタッチします。



認証情報設定画面に戻ります。

- 4 **パスワード** にタッチします。
パスワード入力画面が表示されます。

- 5 パスワードを入力し、**完了** にタッチします。



- 入力したパスワードは*で表示されます。

- 6 **完了** にタッチします。

認証情報確認が行われます。

- 確認が完了すると設定画面に戻ります。いつもNAVI機能を使用することができるようになります。

- ▶ **完了** タッチ後、通信が開始され、通信費が発生します。通信費はお客様負担になりますのでご注意ください。

起動時に新着情報を確認する

その日最初の本機起動時に、新着情報の確認をするかどうか設定することができます（初期設定値は「しない」）。

設定項目：起動時新着確認

設定値：する / しない

する：本機起動時にサーバーに自動的に接続して新着情報の有無を確認し、新着情報があればダウンロードします。

しない：本機起動時に、新着情報の有無を確認しません。

- ▶ 「する」に設定した場合、更新可能な路線別地図データがあれば案内を行います（「路線別データを取得する」178ページ参照）。

新着情報取得時の項目を設定する

サーバーに接続して新着情報を確認する際に、どの項目について確認を行うか設定することができます。お知らせ・特集と、ドライブプランについて設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：新着確認項目設定 → お知らせ・特集取得 / ドライブプラン取得

設定値：する / しない

する：新着情報を確認し、新しい情報があればダウンロードします。

しない：新着情報の確認を行いません。

- 1 **新着確認項目設定** にタッチします。

- 2 **お知らせ・特集取得** または **ドライブプラン取得** にタッチします。



- 3 **する** または **しない** にタッチします。

実行可能なドライブプランを通知する

アルパインホームページ上でドライブプランを登録する際に実行日を設定しておく、本機の電源をONにした時に実行可能なドライブプランがあれば通知することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：ドライブプラン通知

設定値：する / しない

する：ドライブプラン通知を行います。

しない：ドライブプラン通知を行いません。



通知アイコン

ルート計算時におすすめスポットを自動で取得する

目的地を検索してルート走行開始時に、自動でおすすめスポットを取得するかどうか設定することができます（初期設定値は「しない」）。

設定項目：おすすめスポット自動取得（ルート計算）

設定値：する / しない

する：案内誘導開始時におすすめスポットを取得します。

しない：ルート走行開始時におすすめスポット取得を行いません。

一定時間毎におすすめスポットを自動で取得する

自動でおすすめスポットを取得するかどうか設定することができます（初期設定値は「しない」）。ルート案内中のみ、ルート周辺地点のおすすめスポットを取得します。

設定項目：おすすめスポット自動取得（一定時間）

設定値：する / しない

する：おすすめスポットを指定した時間間隔で自動取得します。

しない：おすすめスポット取得を行いません。

- ▶ おすすめスポットを取得する間隔は設定することができます。「おすすめスポット取得時間設定」（次項目）を参照してください。

おすすめスポット自動取得時間を設定する

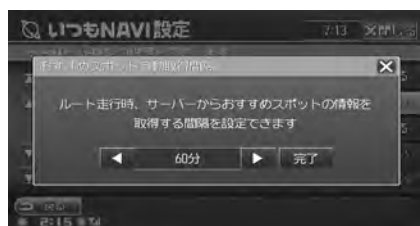
おすすめスポットを何分置きに取得するかを、10 分刻みで設定することができます（初期設定値は「60 分」）。「おすすめスポット自動取得（一定時間）」（前項目）が「する」設定時に、設定した時間間隔で自動的におすすめスポットを取得します。

設定項目：おすすめスポット自動取得間隔

設定値：10 分～90 分

1 **おすすめスポット自動取得間隔** にタッチします。

2 **◀ または ▶** にタッチして時間を設定します。



3 **完了** または **✕** にタッチすると設定画面に戻ります。

画像を取得する

サーバーから情報をダウンロードする時に、画像データを取得するかどうか設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：画像取得

設定値：する / しない

する：情報取得時に画像データを取得します。

しない：情報取得時に画像データを取得しません。

- ▶ 画像データを取得すると情報量が増えるため、ダウンロード時間・通信料が増加します。

お知らせ・特集を地図画面に表示する

お知らせ・特集を、地図画面（インジケーター）に表示することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：お知らせ・特集表示

設定値：する / しない

おすすめスポット割り込み案内を設定する

ルート走行中、おすすめスポットまでの距離や案内日時を判断して、自動的に案内が割り込み表示するよう設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：おすすめスポット割り込み案内

設定値：する / しない

する：おすすめスポットが割り込み表示します。

しない：おすすめスポット割り込み表示を行いません。

- ▶ おすすめスポットが割り込む間隔や、表示時間を設定することができます。「おすすめスポット割り込み表示時間を設定する」（373 ページ）、「おすすめスポット割り込み間隔を設定する」（373 ページ）を参照してください。

おすすめスポット割り込み表示時間を設定する

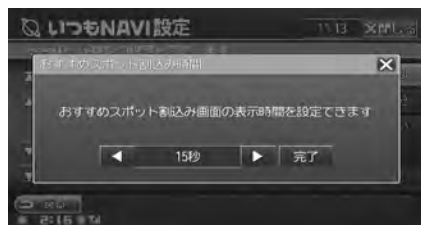
割り込み画面の表示時間を、5 秒間隔で設定することができます（初期設定値は「15 秒」）。

設定項目：おすすめスポット割り込み時間

設定値：10 秒～25 秒

1 **おすすめスポット割り込み時間** にタッチします。

2 ◀ または ▶ にタッチして時間を設定します。



3 **完了** または **✕** にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 本設定は、「おすすめスポット割り込み案内を設定する」（372 ページ）が「する」設定時に反映されます。

おすすめスポット割り込み間隔を設定する

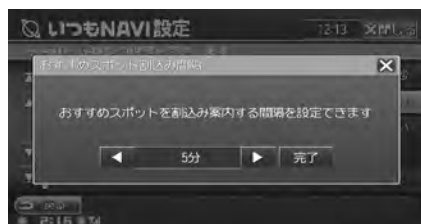
おすすめスポット割り込み案内が割り込む間隔を設定することができます（初期設定値は「7 分」）。

設定項目：おすすめスポット割り込み間隔

設定値：1 分 / 3 分 / 5 分 / 7 分

1 **おすすめスポット割り込み間隔** にタッチします。

2 ◀ または ▶ にタッチして時間を設定します。



3 **完了** または **✕** にタッチすると設定画面に戻ります。

- ▶ 本設定は、「おすすめスポット割り込み案内を設定する」（372 ページ）が「する」設定時に反映されます。
- ▶ おすすめスポットが密集している地域をルート走行すると、連続しておすすめスポットが割り込み案内される場合があります。そのような場合は、本設定で割り込み間隔の設定を行ってください。

おすすめスポットアイコンを地図上に表示する

取得したおすすめスポットアイコンを地図上に表示するかどうかが設定することができます（初期設定値は「する」）。

設定項目：おすすめスポットアイコン表示

設定値：する / しない

する：地図上におすすめスポットアイコンを表示します。

しない：地図上におすすめスポットアイコンを表示しません。

- ▶ おすすめスポットアイコンの見かたは、「おすすめスポットアイコンの情報を見る」（111 ページ）を参照してください。

リモコン操作（オプション）

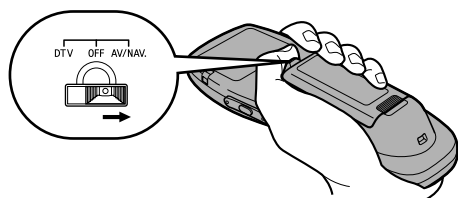
❖ リモコンを使いこなす	376
切りかえスイッチについて	376
ジョイスティックの倒し方	376
ジョイスティックの押し方	376
電池の出し入れ	377
❖ リモコン操作	378
基本操作例	378
ナビゲーション操作	380
ナビゲーションのリモコン操作例	381
電話操作	386
地上デジタルテレビ操作	387
DVD 操作	388
オーディオ操作	389

リモコンを使いこなす

本機はタッチ操作と同様に、別売リモコン RUE-4208 からでも操作を行うことができます。

切りかえスイッチについて

「AV/NAV.」側に切りかえてご使用ください。

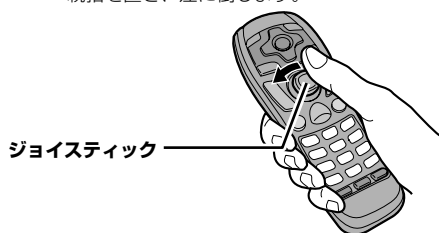


- ▶ 「OFF」に切りかえるとリモコン操作はできなくなります。
- ▶ 「DTV」側では使用しません。

ジョイスティックの倒し方

ジョイスティックは、スイッチを選んだり地図を動かしたりする重要な部分です。上下左右への動かし方を理解してください。

- 左に倒すときは、ジョイスティックの右側に親指を置き、左に倒します。



- 下に倒すときは、ジョイスティックの上側に親指を置き、手前に押し倒します。



ジョイスティックの押し方

- 1 「決定」と書かれた面（決定ボタン）に親指を置きます。



- 2 そのまま押し込みます。



- ▶ 慣れるまでは、電池を抜いてこれら操作を繰り返し、リモコン操作を理解されることをお勧めします。

（例）メニューボタンの押しかた

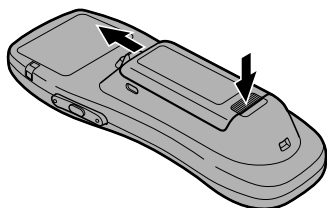


10 キーの押しかた

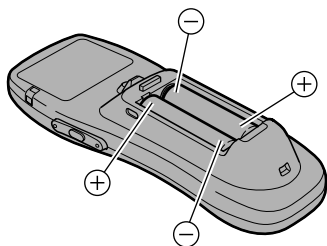


電池の出し入れ

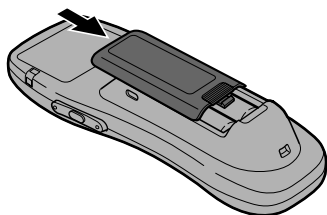
- 1** 下図のみぞの部分を押しながら前方へ押してフタをはずします。



- 2** 刻印されている電池の向きに合わせ、単 4 乾電池を 2 本入れます。



- 3** フタを置いてカチッと音がするところまで差し込みます。



取り扱い上のご注意

- リモコンは直射日光の当たるところには置かないでください。長時間放置すると変形や変色したり、故障の原因になります。
- ナビゲーションを長い期間使用しないときは、リモコンの電池を取り出してください。取り出した電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
- 乾電池は充電しないでください。液漏れの原因になります。
- 電池の液漏れが起こったときは、付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れかえてください。
- リモコン操作の感度が下がってきたときは、新しい電池と交換してください。
- 電池の交換は全部新しいものと入れかえてください。使用した電池を混ぜて使ったり、種類の違う電池を混ぜて使わないでください。

- ▶ リモコンを操作するときは、リモコンの先端をリモコン信号受信部に向けて（2m かつ上下左右 30 度以内）お使いください。
- ▶ リモコン信号受信部またはリモコン受光ユニットに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。



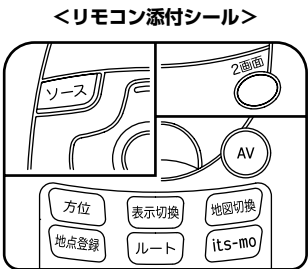
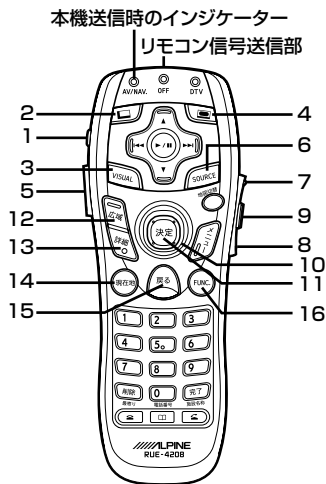
リモコン信号受信部

リモコン操作

モード切りかえスイッチを「AV/NAV.」側に切りかえてください（「切りかえスイッチについて」376 ページ参照）。

▶ リモコン添付の操作シールを貼ってお使いいただくと便利です。

基本操作例



1	①	本機の電源を ON/OFF します。
2	■ (ソース)	AV ソースメニュー画面が表示されます。
3	VISUAL	画面を切りかえます。(ナビゲーション画面→コミュニケーション画面→ドライブインフォ画面→オーディオ・ビジュアル画面→ナビゲーション画面)
4	■	マルチゲート画面に切りかえます。/ 現在の画面を終了し、元のモードに戻ります。
5	LIGHT	リモコンボタンの照光部分が点灯します。
6	SOURCE	オーディオ・ビジュアルモードを切りかえます。
7	VOLUME ▲	音量が大きくなります。
8	VOLUME ▼	音量が小さくなります。
9	MUTE	瞬時に音量が下がります。再度押すと元の音量に戻ります。
10	ジョイスティック	画面に表示される項目を選びます。
11	決定	選択した項目を決定します。
12	広域	リストを 5 件ずつ戻します。
13	詳細	リストを 5 件ずつ送ります。
14	現在地	現在地画面を表示します。
15	戻る	1 つ前の画面に戻ります。/  を決定します。
16	FUNC. (AV)	オーディオ・ビジュアル画面を表示します。押し続けるとオーディオ・ビジュアルモードを OFF にします。

▶ 括弧の中は、添付シールに印刷されているボタン名称です。

選択・決定操作について

選択されているスイッチには黄色の枠が表示されます。

枠が表示されていない時には下記の操作でスイッチ選択可能状態にします。

1 ジョイスティックをいずれかの方向に倒すか、ジョイスティックの **決定** を押します。

黄色の枠が表示されます。



2 ジョイスティックを倒します。

倒した方向のスイッチが選択されます。

3 ジョイスティックの **決定** を押します。

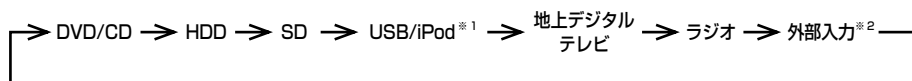
選択したスイッチが決定されます。

- ▶ 10 秒以上リモコン操作を行わないと、何も選択されていない状態になります。
- ▶ **戻る** はジョイスティックで選択することができません。リモコンの **戻る** を押してください。
- ▶ **X 閉じる** はジョイスティックで選択することができません。リモコンの **X 閉じる** を押してください。

オーディオ・ビジュアルソースを切りかえる

1 **SOURCE** を押します。

押すごとにオーディオ・ビジュアルソースが切りかわります。



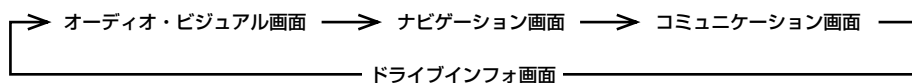
※ 1 USB メモリまたは iPod 接続時のみ。

※ 2 「外部機器を接続する」(312 ページ) で「なし」以外に設定した場合のみ。表示名称は設定による。

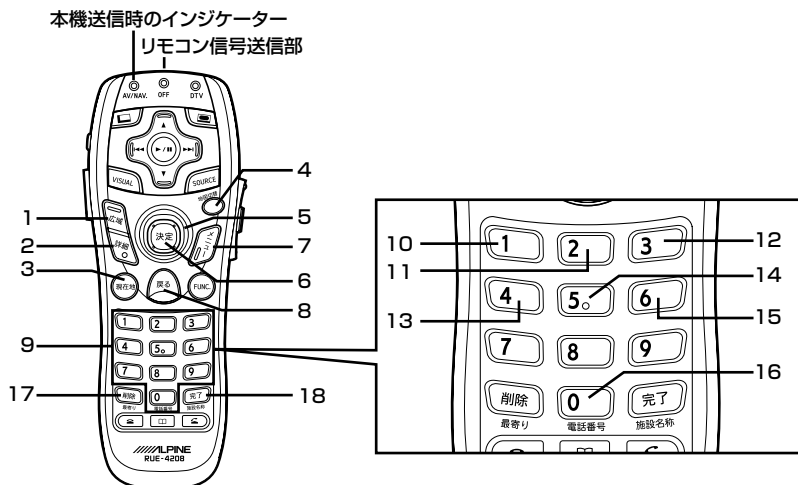
音声はそのまま映像ソースのみを切りかえる

1 **VISUAL** を押します。

押すごとに映像ソースが切りかわります。



ナビゲーション操作



1	広域	広い範囲の地図を表示します。
2	詳細	狭い範囲の地図を表示します。
3	現在地	現在地画面を表示します。 現在地画面では音声案内を出力し（ルート案内中のみ）、路線名 / 現在地名の表示切りかえを行います。長押しすると路線名 / 現在地名の表示切りかえのみを行います。
4	地図切替（2 画面）	2 画面表示時、操作対象画面を切りかえます。
5	ジョイスティック	メニューの選択や、地図の移動を行います。押し続けると高速でスクロールします。押し込むことで最速でスクロールします。
6	決定	メニューの決定や、地点の指定を行います。
7	メニュー	メニュー画面を表示します。
8	戻る	1 つ前の画面に戻ります。押し続けると自宅地点を表示します。
9	0 ～ 9	数字の 0 ～ 9 を入力します。
10	1（方位）	方位を切りかえます。
11	2（表示切替）	現在地画面上の操作スイッチを切りかえます（ナビ操作 / オーディオ操作 / 非表示）。
12	3（地図切換）	地図切換画面を表示します。
13	4（地点登録）	現在地画面で地点を登録し、地点登録画面を表示します。
14	5（ルート）	ルート画面を表示します（ルート設定時）。
15	6（its-mo）	地図上に表示される いつも NAVI スイッチに対応します。 いつも NAVI 表示時：いつも NAVI 画面が表示されます。 切断 表示時：通信を切断します。
16	0 / 電話番号	「電話番号から探す」画面を呼び出します。
17	削除 / 最寄り	入力した文字を 1 つ削除します。 / 「現在地周辺から探す」、「カーソル周辺から探す」または「ルート周辺から探す」（ルート走行中）画面を呼び出します。
18	完了 / 施設名称	数字入力を完了します。 / 「名称で探す」画面を呼び出します。

▶ 括弧の中は、添付シールに印刷されているボタン名称です。

ナビゲーションのリモコン操作例

ここではリモコンによるナビゲーション操作を、自宅登録などを例にして説明します。



 : 一つ前の画面に戻る

 : 操作をキャンセルする

自宅を登録する

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。



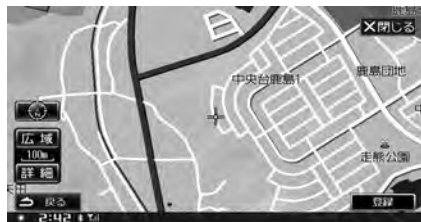
- 2 ジョイスティックで「行き先」を選び、**決定** を押します。
行き先画面が表示されます。



- 3 ジョイスティックで「自宅」を選び、**決定** を押します。



- 4 ジョイスティックを倒して地図をスクロールし、自宅にカーソルを合わせ **決定** を押します。



- 5 ジョイスティックで「登録」を選び、**決定** を押します。
自宅が登録されます。



ルートを引く

ここでは電話番号で地点を検索する手順を例に、リモコンでルートを引く操作を説明します。

- 1 下記のどちらかの方法で、電話番号から地点を検索します。

- ① **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。



• 手順 2 に進みます。

- ② **0/電話番号** を押します。
ダイレクト呼び出しボタンにより、電話番号入力画面が表示されます。



• 手順 4 に進みます。

- 2 ジョイスティックで「行き先」を選び、**決定** を押します。
行き先画面が表示されます。

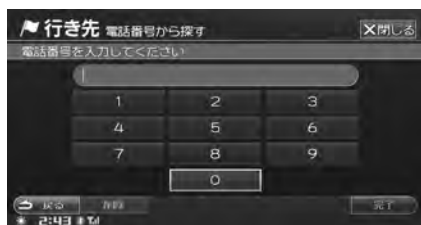


- 3 ジョイスティックで「電話番号」を選び、**決定** を押します。



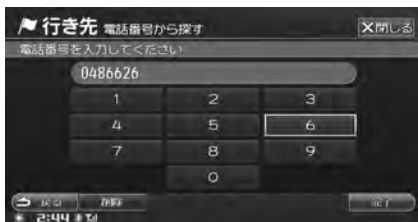
- 「電話番号」が表示されていない場合は **決定** をジョイスティックで選び **決定** を押します。

- 4 10 キーで電話番号を入力します。



- ジョイスティックで数字を選んで **決定** を押し、入力することもできます。
- **削除** を押すと、入力した数字を 1 つ削除します。

- 5 **完了** を押します。



- 個人宅の電話番号を入力した場合は、名字入力画面が表示されます。手順 6 に進んでください。
- 施設の電話番号を入力した場合は、検索地点の地図が表示されます。手順 7 に進んでください。

- 6 ジョイスティックで個人名を入力し、**完了** を押します。



- **削除** を押すと、入力した文字を 1 つ削除します。

7 ジョイスティックで「目的地」を選び、**決定** を押します。



「検索・スクロール後の画面」(41 ページ)を参照してください。

- 「登録」を選んで **決定** を押すと、検索した地点を登録します。
- 「経由地」を選んで **決定** を押すと、経由地として登録されます。
- 「最寄り検索」を選んで **決定** を押すと、カーソル地点周辺施設の検索を行います。案内地点周辺と同様の操作で検索することができます。「案内地周辺から探す」(70 ページ)を参照してください。
- ジョイスティック↑で地図スクロール画面に切りかわります。付近の地点を探すときにご使用ください。**決定** を押すと、上の画面に戻ります。

8 探索終了後、「全ルート」が表示されます。

ジョイスティックでルートを選び、**決定** を押します。

ルートは「推奨」「一般」「距離」「道幅」「別ルート」の計 5 ルートを同時に表示します。



9 ジョイスティックで「案内開始」を選び、**決定** を押します。



10 走行すると自転車位置画面を表示し、ルート案内を開始します。



- ▶ 施設を検索してからジャンル、地域、キーワードで絞り込む場合には、ジョイスティックを左右に倒してください。**ジャンル**、**地域**、**キーワード** が選択されます。



- ▶ 一部の空港や駅など施設入りロジストがある施設を検索した場合、タッチ操作では表示される入りロジストが、リモコン操作では表示されません。

設定を変更する

- 1 **メニュー** を押します。
メニュー画面が表示されます。



- 2 ジョイスティックで「設定・編集」を選び、**決定** を押します。

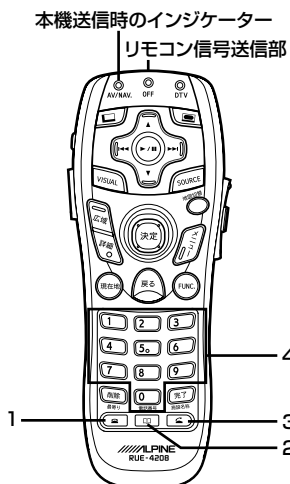


- 3 ジョイスティックで項目を選び、**決定** を押します。
選んだ項目の設定画面を表示します。



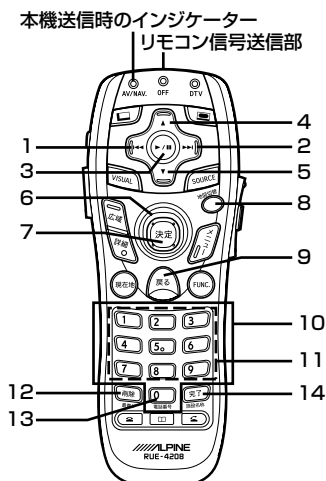
- 4 ジョイスティック↑↓で項目を選び、ジョイスティック←→で設定を変更し、**決定** を押します。

- **詳細** を押すと次のページに送ることができます。**広域** を押すと前のページに送ることができます。

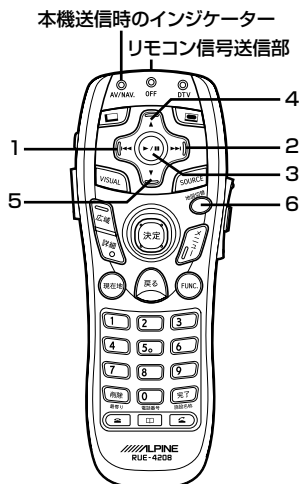


1		電話を切ります。
2		「電話帳」画面を表示します。
3		かかってきた電話を受けます。
4	10 キー	電話番号を入力します。

地上デジタルテレビ操作



1	◀◀	プリセットが1つずつダウンします。
2	▶▶	プリセットが1つずつアップします。
3	▶/	ホームモード / お出かけモードを切りかえます。押し続けるとお出かけスキャンを実行します。お出かけスキャン実行中に押すと、お出かけスキャンを中止します。
4	▲	チャンネルが1つずつアップします。押し続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。
5	▼	チャンネルが1つずつダウンします。押し続けると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。
6	ジョイスティック	メニューの項目を選択します。
7	決定	メニューの項目を決定します。
8	地図切替 (2画面)	データ放送操作画面で、表示されるタッチスイッチを選んで操作するか、データ放送画面に表示される項目を直接選んで操作するかの切りかえを行います。
9	戻る	前の画面に戻ります。
10	10 キー	データ放送操作画面の数字入力画面では、数字を入力します。
11	1 ~ 9	プリセット 1 ~ 9 の放送局を受信します。押し続けるとプリセットスイッチに放送局を記憶します。
12	削除 / 最寄り	プリセット 10 の放送局を受信します。押し続けるとプリセットスイッチに放送局を記憶します。
13	0	プリセット 11 の放送局を受信します。押し続けるとプリセットスイッチに放送局を記憶します。
14	完了 / 施設名称	プリセット 12 の放送局を受信します。押し続けるとプリセットスイッチに放送局を記憶します。

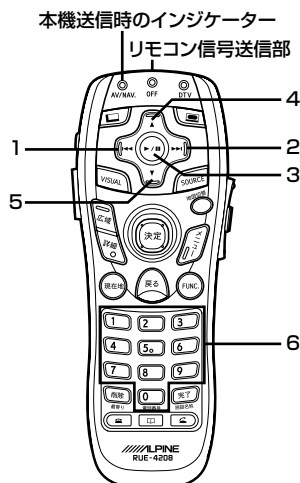


1	◀◀	映像の頭出しを行います。 押し続けると早戻しを行います。 • DVD オーディオ (VCAP モード) /DVD ビデオ /DVD-VR：再生中に押し続けると、2 倍速で早戻しをします。さらにその状態で押すと 8 倍速で早戻しをができます。もう一度押すと 32 倍速で早戻しをができます。 • DVD オーディオ (VOFF モード)：再生中または一時停止中に押し続けると 21 倍速で早戻しをができます。 • DVD ビデオ：一時停止中に押すとコマ戻し再生します。また、一時停止中に押し続けると 1/8 倍速でスローモーション再生します。さらにその状態でもう一度押すと 1/2 倍速になります。
2	▶▶	映像の頭出しを行います。 押し続けると早送りを行います。 • DVD オーディオ (VCAP モード) /DVD ビデオ /DVD-VR：再生中に押し続けると、2 倍速で早送りをします。さらにその状態で押すと 8 倍速で早送りをができます。もう一度押すと 32 倍速で早送りがができます。 • DVD オーディオ (VOFF モード)：再生中または一時停止中に押し続けると 21 倍速で早送りがができます。 • DVD ビデオ /DVD-VR：一時停止中に押すとコマ送り再生します。また、一時停止中に押し続けると 1/8 倍速でスローモーション再生します。さらにその状態でもう一度押すと 1/2 倍速になります。
3	▶/II	一時停止 / 再生を行います。
4	▲	DVD オーディオ (VCAP モード)：次の静止画を表示します。押し続けると Home Page を表示します。 DVD-VR：次のプログラム / プレイリストを選びます。
5	▼	DVD オーディオ (VCAP モード)：前の静止画を表示します。押し続けると Home Page を表示します。 DVD-VR：前のプログラム / プレイリストを選びます。
6	地図切替 (2画面)	メニュー画面で、表示されるタッチスイッチを選んで操作するか、メニュー画面に表示される項目を直接選んで操作するかの切りかえを行います。

▶ 括弧の中は、添付シールに印刷されているボタン名称です。

オーディオ操作

ラジオ操作



1	◀◀	チャンネルが1つずつダウンします。押し続けると連続して変化します（マニュアルモード）。自動的にチャンネルを探し出し、受信します（ディスタンスモードまたはローカルモード）。
2	▶▶	チャンネルが1つずつアップします。押し続けると連続して変化します（マニュアルモード）。自動的にチャンネルを探し出し、受信します（ディスタンスモードまたはローカルモード）。
3	▶/	バンドを切りかえます。 長押しするとオートメモリーを行います。
4	▲	プリセットが1つずつアップします。
5	▼	プリセットが1つずつダウンします。
6	10 キー	プリセットされている放送局を受信します。押し続けるとプリセットスイッチに放送局を記憶します。

CD/MP3/WMA/AAC 操作

1	◀◀	曲の頭出しを行います。押し続けると早戻しを行います。
2	▶▶	曲の頭出しを行います。押し続けると早送りを行います。
3	▶/	一時停止 / 再生を行います。
4	▲	次のフォルダーを選びます（MP3/WMA/AAC）。
5	▼	前のフォルダーを選びます（MP3/WMA/AAC）。

HDD オーディオ操作

1	⏮	曲の頭出しを行います。押し続けると早戻しを行います。
2	⏭	曲の頭出しを行います。押し続けると早送りを行います。
3	⏸/⏮	一時停止 / 再生を行います。
4	▲	プレイリスト / アーティスト / アルバム / ジャンル（最後にサーチで絞り込んだモード）を切りかえます。
5	▼	プレイリスト / アーティスト / アルバム / ジャンル（最後にサーチで絞り込んだモード）を切りかえます。

iPod/iPhone 操作

1	⏮	曲の頭出しを行います。押し続けると早戻しを行います。
2	⏭	曲の頭出しを行います。押し続けると早送りを行います。
3	⏸/⏮	一時停止 / 再生を行います。
4	▲	プレイリスト / アーティスト / アルバム / ジャンル / Podcast / 作曲家（最後にサーチで絞り込んだモード）を切りかえます。
5	▼	プレイリスト / アーティスト / アルバム / ジャンル / Podcast / 作曲家（最後にサーチで絞り込んだモード）を切りかえます。

その他

❖ 知っておきたい豆知識	392
地上デジタル放送について	392
周波数帯域と音質について	393
❖ 用語説明	394
❖ Q&A	396
❖ 故障かな？と思ったら	404
❖ 地図マーカー一覧	412
❖ 施設ジャンル一覧	413
❖ 言語コード一覧	415
❖ VICS 情報有料放送サービス契約約款	416
❖ マイクロソフトからの使用許諾契約書	418
❖ 路線別データ使用規約	419
❖ 交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください	420
❖ ⚠ 電波に関する注意事項	421
❖ 地図データについて	422
❖ 保証について / 規格	423
❖ お問い合わせ窓口	426
❖ 設定項目一覧	427
❖ ドライブインフォ / EASY SETUP 車種一覧	430
❖ 目的別索引	431
共通	431
ナビゲーション関係	431
オーディオ・ビジュアル関係	434
❖ 索 引	437
五十音順	437
アルファベット / 数字	443

知っておきたい豆知識

地上デジタル放送について

地上デジタル放送とは？

地上波の UHF 帯を使用して開始されたデジタル放送です。

2003 年 12 月より一部の地域で開始され、順次放送が開始されていきます。

地上デジタル放送の特長

- (1) デジタルハイビジョンの高画質^{*1}と CD 並みの高音質
- (2) 標準画質による多チャンネル放送
- (3) 多様なデータ放送、双方向機能を活かした番組への参加^{*2}
- (4) 移動体受信でもゴーストのない鮮明な映像が視聴可能
- (5) EPG による番組情報の確認
- (6) ワンセグ放送による移動体向けサービス^{*3}

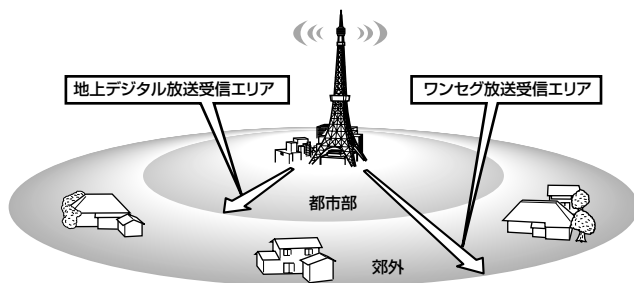
^{*1} 本機は、ハイビジョン出力には対応しておりません。

^{*2} 本機は、双方向サービスには対応しておりません。

^{*3} ワンセグ放送サービス開始時期は、それぞれの放送局で異なります。

地上デジタル放送とワンセグ放送の受信エリアについて

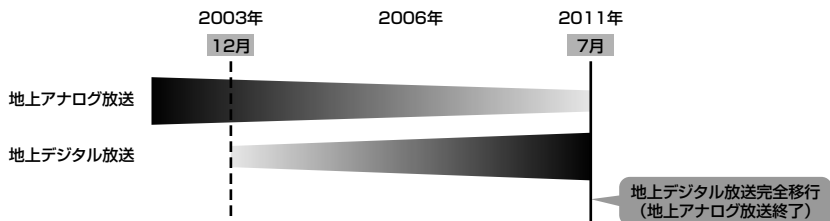
- 地上デジタル放送は、高画質・高音質で地域に密着したデータ放送などを楽しむことができます。
- ワンセグ放送受信エリアは、地上デジタル放送の受信エリアに比べて広く、郊外などでも安定した受信が可能です。



地上デジタル放送化のスケジュール

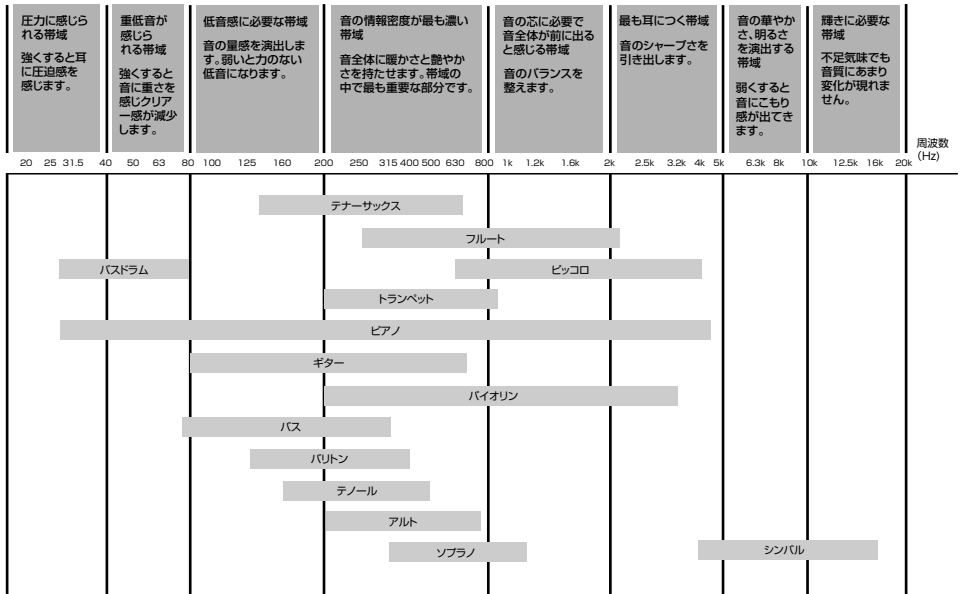
地上デジタル放送は 2003 年 12 月より、関東・中京・近畿の三大広域圏から開始され、2006 年 12 月までに全国都道府県庁所在地で放送が開始されています。

2011 年 7 月には地上デジタルテレビ放送に完全移行し、現在の地上アナログ放送を終了することが、国の施策として決定されています。



周波数帯域と音質について

一般的に周波数には次のような音質の特徴があり、各帯域を強調／減衰することによりさまざまな音質が楽しめます。調整の際の参考にしてください。



用語説明

MP3

MP3は「MPEG Audio Layer3」の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10サイズにすることができます。

WMA

正式には「Windows Media™ Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率（約半分）で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにCD同等の音質を保ちます。

AAC

AACは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。

本機ではiTunes® AACファイル（著作権保護されていない）のみ対応しています。

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率です。ビットレートが高いほど高音質になりますが、ファイルサイズも大きくなります。

サンプリングレート

データを1秒間に何回サンプリング（記録）するかを示す値のことです。たとえば、音楽CDは44.1kHzで、1秒間にデータを4万4100回サンプリング（記録）していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽CDやWAVEファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換することです。

ルートフォルダ

ファイルシステムの最上階層のフォルダ。全てのフォルダ／ファイルはルートフォルダに含まれています。

SDメモリーカード

フラッシュメモリーを記録媒体に使用する小型のメモリーカードで、著作権保護に対応しています。携帯電話や携帯音楽プレイヤー、デジタルカメラなどで利用されます。

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）

デジタル録音は、音質の劣化がとてもしないという特徴があります。著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音（コピー）することはデジタル録音機器によって規制されています。これをSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）といいます。

Gracenote 音楽認識サービス

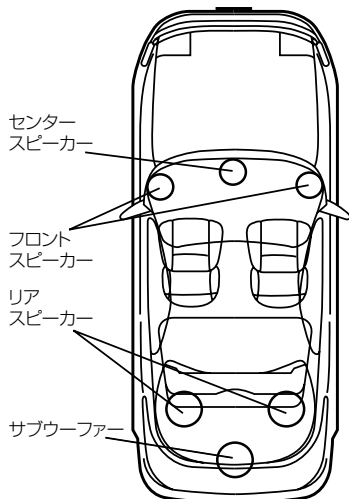
音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

視聴規制（パレンタルロック）

国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能です。DVDにより制限のしかたは異なり、まったく再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生します。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルはドルビーラボラトリーズが開発したデジタルオーディオ圧縮技術で、大量のオーディオデータを効率的にディスクに記録できるようにします。モノラル（1チャンネル）から5.1チャンネルのサラウンドサウンドにいたるすべてのオーディオ信号に適合しています。各チャンネルへの信号は完全に独立し、さらに高品質のデジタルサウンドのため音質の低下はまったくありません。



ドルビーデジタル / DTS を楽しむためのスピーカーレイアウト

DTS

DTS, Inc. が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTS サウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTS は 6 本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれる DTS サラウンドを楽しめます。

DTS は Digital Theater System の略。

Dolby PRO LOGIC II

Dolby PRO LOGIC II は、2 チャンネルソースを 5 チャンネルで全帯域再生します。それを行うのが、ソースにない音や音の色付けを加えることなく、オリジナル録音の空間的特質を引き出す先進的で高音質のマトリックスサラウンドデコーダです。

ワンセグ放送

地上デジタル放送は、1 つのチャンネルが 13 のセグメントに分割され、これらのセグメントをいくつか束ねて映像やデータ、音声などを送信しています。

ワンセグは、これら 13 セグメントのうち 1 つを使って、携帯電話や移動端末などに向けた簡易動画や音声などの地上デジタル放送です。

B-CAS カード

B-CAS カードは地上デジタルテレビジョン放送の各種放送サービスを受信するために必要となります。必ず B-CAS カードを受信機に挿入してください。

データ放送

データ放送は、映像や音声に加えて文字情報などのデータを放送するサービスです。ニュースや天気予報、その他暮らしに役立つ情報などを見ることができます。

物理チャンネル

地上デジタル放送は、UHF 帯の 13 ～ 62 チャンネルを使用します。この 13 ～ 62 チャンネルのチャンネルが、物理チャンネルです。

編成チャンネル

地上デジタル放送では 1 チャンネルの中で同時に複数の番組を放送することができ、複数の番組を放送するチャンネルは 3 桁の番号で表されます。この 3 桁のチャンネル番号が編成チャンネルです。

また、他地域の放送が受信できる場合など、3 桁のチャンネル番号が重複する場合があります。その場合は 4 桁目の番号（枝番）で区別されます。

Q&A

ビーコン情報については、別売のビーコンユニットを接続した場合の説明になります。

Q 自車位置ってなに？

A 現在、自分の車がいる場所のことです。どの画面からでも自車位置（自車位置画面）を表示できます。

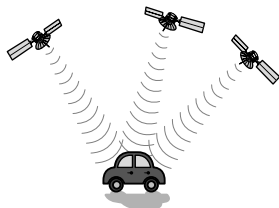
Q どうして自車位置（現在地）がわかるの？

A 自車位置は「GPS 信号とジャイロ / 車速センサー」を組み合わせたシステムで割り出します。

●GPS（グローバル・ポジショニング・システム）とは

高度 21000km の宇宙空間に浮かぶ 3 個以上の GPS 衛星の電波を受信して、自車位置を割り出すシステムです。

4 個以上の衛星を受信すると、3 次元測位（高度 / 経度 / 緯度）となり、3 個の場合は 2 次元（経度 / 緯度）となっております。この情報は、米国防総省によって管理されており、意図的に精度をかえる場合があります。

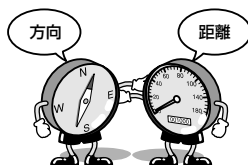


●高い精度で使い続けるために、次のような利用をお勧めします。

- ①ナビ画面で GPS 信号が受信できていることを確認してから走行する
- ②良好な信号が受信できるようにアンテナをきれいにする
- ③アンテナ、車速信号の接続に異常が無いか定期的に確認する
- ④やさしくていねいに扱う

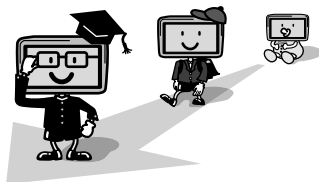
●ジャイロ / 車速センサーとは

ジャイロセンサーとは、航空機や船舶などの移動体の方向変化を計測するためのもので、カーナビゲーション用を使用する場合は車速センサーと共に用います。ジャイロセンサーで方向を、車速センサーで走行距離を検出して自車位置を算出します。



●使い始めの自車位置精度について

ジャイロ / 車速センサーは、その車の走行情報を蓄積しなければ本来の性能を発揮できません。今までの情報が無いシステムの取り付け直後、今までの情報が生かせないタイヤ交換直後などは、自車位置が正しく表示されないことがあります。そのまま走行を続けると、センサーの情報から算出した位置と GPS の位置の誤差量を学習して次第に精度が上がっていきます。

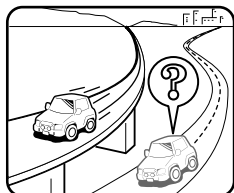


このシステムの場合、GPS 信号を受信できない場合でも測位が続けられますし、ジャイロセンサーだけの走行で表われる「すれの積み上げ」も発生しないメリットがあります。

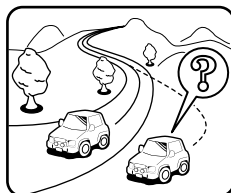
Q どうして自車位置がずれるの？

A 記憶されている車速信号情報は、車やタイヤの種類で違います。別の車に付けかえる / タイヤを履きかえる / タイヤローテーションを行うと、車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまうのです。このような場合は距離補正値を一度初期化して、再度、自動距離補正を行う必要があります（「距離を補正する」313ページ参照）。

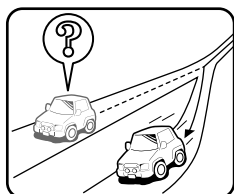
- GPS 衛星はアメリカの国防総省により管理されており、衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車位置マークがずれることがあります。多少の「ずれ」は、本機性能の限界も考えられます。また、GPS が受信できない場合や、次のようなときにも自車位置がずれることがあります。



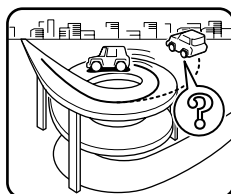
- 高速道路を走行している場合、その側道に自車位置マークがのるときがあります。またその逆もあります。



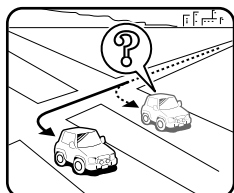
- 勾配の急な山岳等を走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



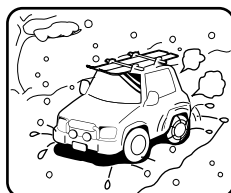
- 角度の小さな Y 字路や平行路を走行していると、他方の道路に自車位置マークがのる場合があります。



- 螺旋状の道路やヘアピンの道路などを走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



- 碁盤目状の道路を走行している場合、隣の道路に自車位置マークがのるときがあります。



- 雪道や舗装していない道路などの滑りやすい道路を走行しているとき、自車位置マークがずれることがあります。また、タイヤチェーン等を装着して走行している場合でも、自車位置マークがずれることがあります。

- 直線または、緩やかなカーブを長い距離走行した直後。
- 立体駐車場などで切り返しや旋回をした場合。
- 混雑や渋滞で低速発進や停止を繰り返した場合。

これらは故障ではないので、そのまましばらく走行を続ければ自動的に修正します。

ただし、高速道路と一般道路が重なっているときなどでは、自動的に修正できない場合があります。このようなときは、自車位置を修正してください（「自車位置を修正する」96ページ、319ページ参照）。

Q 画面上に表示された「十字カーソル」を消すには？

A 地図をスクロールしたときの「十字カーソル」を消すには、**現在地** スイッチを押して現在地画面に戻してください。

Q 止まっているのに、どうして自車位置が勝手に動き回るの？

A 車速の接続が正しいか確認してください。接続が正しいときは、スピードセンサーコード（車速信号線）にノイズが乗っている可能性があります。ナビの ACC やバッテリーコードにノイズサプレッサーを入れたり、スピードセンサーコードを車両配線から離してください。

Q 正しい案内がされなくなった

A 以下の事項を確認してください。

- タイヤを交換していませんか？
タイヤ交換後、記憶されている車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまう場合がありますが、走行すると自動で補正されます。それでもずれが生じる場合には、距離補正値の初期化を行ってください（「距離を補正する」313 ページ参照）。
- スピードセンサーコード（車速信号線）は、外れていませんか？
「車両情報を見る」（169 ページ）で確認し、お買い上げの販売店へご相談ください。
- GPS アンテナを確認する。
「車両情報を見る」（169 ページ）で確認し、お買い上げの販売店へご相談ください。

Q 音声案内が遅れるのは？

A 自車位置と現在地に誤差が生じるためです。

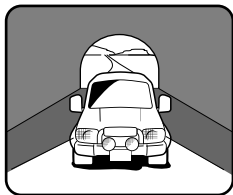
本機は距離係数などを学習し、自動補正を行いますので走行することにより自車位置精度が向上していきます。どうしても案内が遅れる場合には手動補正する必要があります（「距離を補正する」313 ページ参照）。

Q VICS レベル 3 情報の一部がいつのまにか表示されなくなった

A 道路交通情報をナビゲーションなどに的確に表示できるよう、VICS リンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。このため、道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況に変化をきたす場合は、VICS リンクの追加や変更を行っています。この結果、新しい VICS リンクにより情報の提供が行われると、ごく一部の地域ですが、変更前の VICS リンクでは情報が提供されなくなります。ただし情報提供サービスを維持するため、変更前の VICS リンクにも変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。そのため、地図ソフトの発売時期から 3 年間程度経過すると、地図画面上で渋滞情報（赤・橙・緑色の矢印等）などを表示できない場所が、徐々に出てきます。この現象は地図表示型（レベル 3）でのみ発生します。VICS リンクは随時更新されますので、出来るだけ新しい地図のご利用をお薦めします（本製品の道路単位は 2009 年 11 月版です）。

Q どうして GPS が受信できないの？

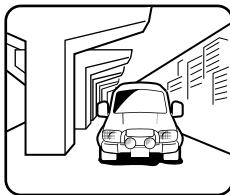
A GPS アンテナ近くで携帯電話などを使用したり、次のような場所では受信できないことがあります。



トンネルの中



高層ビル等の間



高架道路の下



樹木の間

- ルーフキャリアなど使用時には、GPS 衛星の電波がさえぎられて自車位置を測位できなくなることがあります。このようなときは、アンテナとルーフキャリアを離して設置してください。
- ナビ本体のアースの接続は確実でしょうか？
お買い上げの販売店へご相談ください。

Q ナビゲーションを高い精度で使うには？

A 使いはじめなどは、受信感度の良い状態で 100km 以上走行することをお勧めします。

Q VICS サービスの提供区域なのに受信されない

A VICS サービスの提供区域は、全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲です。ただし、そのサービスの提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

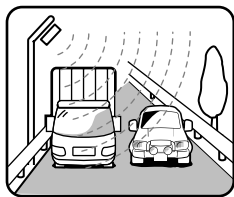
Q どうして FM 多重放送、VICS 放送が受信できないの？

A FM 多重放送は、FM 波のすきまに文字情報（見えるラジオ）や VICS 情報（広域ゾーン型）を盛り込みます。利用する場合は、情報を提供している放送局に周波数を合わせなければなりません。また、情報を取り込んでから表示しますので、受信状態になって直ちに表示されるわけではありません。受信しにくいときは、受信エリアの確認をしてください。

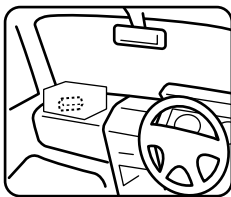
さらに VICS には、間欠極小ゾーンを対象とした「光ビーコン、電波ビーコン」があります。

この情報は、次のようなとき受信できないことがあります。

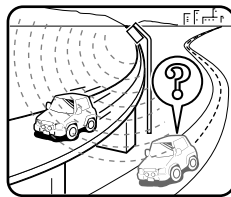
■ 電波 / 光ビーコンの受信について



大型車と並走

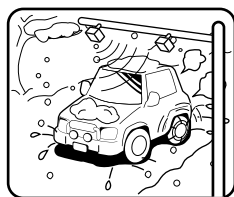


アンテナの上に物を置く

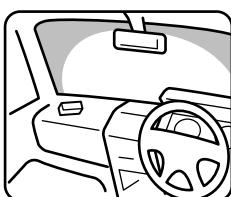


高速高架道路の下

※ 高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコンを受信してしまう場合があります。



雪などの悪天候



アンテナ受光部の汚れ
フロントガラスの汚れ

※ 電波 / 光ビーコンから信号が発信されていてもデータがない場合があります、このときはデータがない状態で上書きにするため前情報がなくなる場合があります。

Q VICS の渋滞情報ってなに？

A VICS の渋滞情報（レベル 3）は、地図上に渋滞地点や渋滞区間を「矢印」で提供します。方向は矢印で、混み具合は色（渋滞は赤）で表します（「渋滞・混雑 / 空き道表示」135 ページ参照）。

Q 今まで表示されていた VICS 情報が、ビーコンを受信したら消えてしまった

A 試験運用中等で、ビーコンによっては情報のない信号を出している場合があります。このような信号を受信すると、VICS 情報がない状態になり表示が消えますが不具合ではありません。次に情報のあるビーコンを受信することで、正常に表示されます。

Q ルートを外れたらどうするの？

A ルートの外れには「測位誤差」によるもの「運転ミス」によるものの二つがあります。ルートを走行中に自車位置が近接する道路に移動してしまうのが「測位誤差」によるものです。

この場合、そのまま走行を続ければ自車位置は「本来の道路」に戻ってきます。

案内している交差点で曲がれなかったときなどの間違いによるルートの外れは、リルート機能によって「新たなルート」を自動的に探し出してくれます（「ルートを再探索する」90 ページ参照）。

Q ルートを消すにはどうするの？

A ルートは目的地周辺で案内を終了しますが、目的地情報は残ります。また、目的地への接近が少ないといつまでも目的地への案内を続けます。

これらを消す場合は、ルートの消去を行ってください（「ルートを消去する」90 ページ参照）。

Q ルートは記憶できないの？

A ルートを記憶させることはできません。

Q ルート探索対象道路は？

A ルート探索対象道路は道幅が 5.5m より広い道路となります。

Q ルート探索のコツってなに？

A いろいろ使い方がありますが、周遊コース設定のコツをお教えます。

2 泊 3 日の旅行で出発地に戻ってくる場合は、以下の操作を行います。

1) 出発地（自車位置）を目的地に設定します（当然、コースは表われません）。

2) 立ち寄る地点を「経由地を設定する」（77 ページ）ですべて設定します。

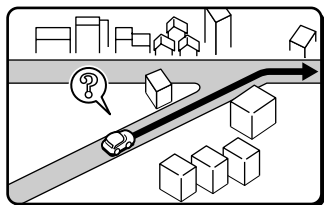
3) 自車位置から 2 泊 3 日のコースを確認します。

各経由地を宿泊地にしておけば、それぞれの日毎の走行距離を知ることができます。

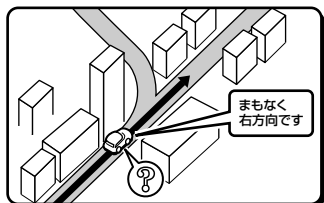
Q こんなルートは故障なの？

A ルート探索やルート案内において、次のような場合がありますが故障ではありません。

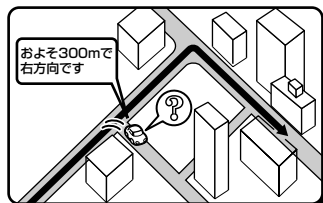
- 冬の閉鎖・歩行者天国・時間規制などで通行できない場合があります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートがかわらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高速優先であっても、高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- U ターンするルートを表示する場合があります。



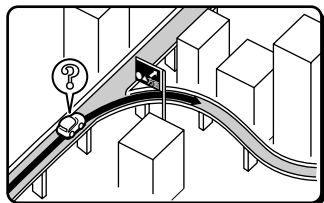
- 交差点で、案内されない場合があります。また、交差点名称が案内されない場合もあります。



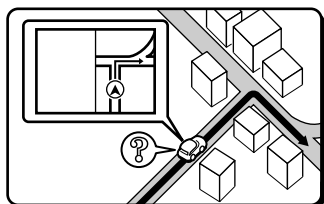
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。



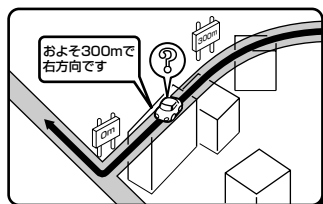
- 手前の交差点等で曲がったときなど音声案内される場合があります（案内ルートを外れた場合）。



- 高速 / 有料道路で方面案内が表示 / 案内されない場合があります。



- 交差点拡大図が実際の道路形状と異なる場合があります。



- 案内距離が実際の道路状況と異なる場合があります。

Q 思い通りのルートを引きくには？

A ナビが自動で設定したルート以外の道を通して目的地まで行きたい場合は、利用するインターチェンジ（IC）を変更したり、通りたいルート上に経由地を追加すると、その地点を通るルートに変更することができます。経由地は最大で5ヶ所まで指定できます（「インターチェンジ（IC）を指定する」77ページ、「経由地を設定する」77ページ参照）。

（手順）

目的地を設定してルートを引きく



5種類（5ルート）のルートを確認する（76ページ）



思い通りのルートがない

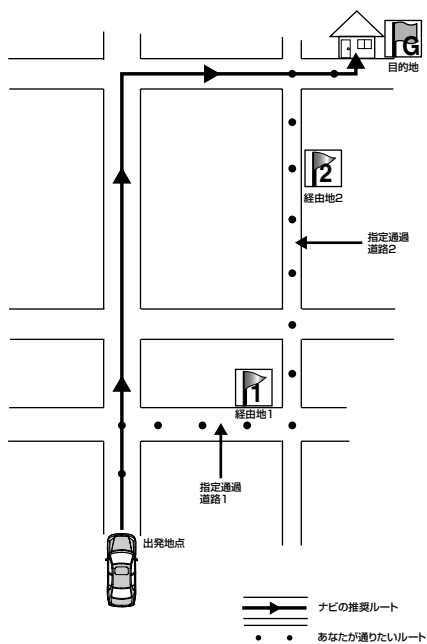


通りたい道路に経由地を追加する（77ページ）

または、インターチェンジを指定する（77ページ）



ルートが変更される



Q 時計（現在の時刻）が、ずれたら？

A 本機の時計表示はGPS情報から時間を算出しておりますので、時計表示がずれることはありません。ただし、長い期間GPSが受信されない状態が続いた場合は時計がずれることがあります。GPSが受信されると正常な時間表示に戻ります。GPSを受信しているにも関わらず、ずれている場合は、本機を点検に出してください。

Q バッテリーを外してもメモリーは消えないの？

A 地点情報、設定（サウンド調整、DVD初期設定は除く）、ルート学習・渋滞学習、録音データ、電話帳、コピーした画像などは消えません。

Q どうして夜画面がちらつくの？

A 電圧が低いとき、画面がちらつくことがあります。

Q 駐車場マークを消すにはどうするの？

A 駐車場マークには、ランドマークとVICS情報マークがあります。地域によっては駐車場マークが画面いっぱいに表示され、地図が見づらくなる場合があります。この場合は、以下の操作で駐車場マークを消してください。

- ランドマークを消す
「ランドマーク表示を設定する」（54ページ、301ページ）を「しない」にするか、ジャンル選択で駐車場を「しない」に設定してください。
- VICS情報マークを消す
「駐車場マークを表示する」（56ページ、303ページ）、「路上駐車場マークを表示する」（56ページ、303ページ）を「しない」に設定してください。

故障かな？と思ったら

操作のミスや勘違いを故障と間違えていませんか？



下の表をご覧ください。



お買い上げ店またはお近くのお問い合わせ窓口（426 ページ）までご相談ください。

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度イグニッションキーを OFF/ON してください。

それでも正常動作しない場合は以下の表を参照して処置を行ってください。

■ ナビゲーション関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が 50 度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を 50 度以下にする	
	結露している	しばらく（1 時間程度）放置し、乾いてから使う	
	正しく接続されていない	取付説明書を参照して正しく接続されているか確認するまた、コードなどが極端に折れ曲がっていないか確認する	
	内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった	本機をリセットする	27 ページ
画面がふらつく	電圧が低い	別売の電源リレーキット（KWR-403G）を使用しバッテリーから直にナビ本体の電源ラインに接続する	
走行しても地図が動かない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	25 ページ
正しく自車位置を測定できない	ACC が「OFF」になってから自車位置がかわった ・フェリーポートによる移動 ・駐車場のターンテーブルによる回転 ・レッカー車による移動等	GPS 信号受信状態（測位状態）でしばらく走行する	
自車位置マークが表示されない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	25 ページ
GPS 信号が受信できない	車載のテレビで 56 チャンネル（UHF）を受信しているとき	チャンネルを変更するか、または GPS アンテナと TV アンテナの距離を 20cm 以上離す	
	GPS 情報を利用できない状態である GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている	周囲に障害物がない所へ移動する 電話の使用をやめる	
	GPS を利用したレーダー探知機を使っている	本機の GPS アンテナと離してご使用ください	
自車位置の誤差が大きい	衛星の配置が悪い	GPS 衛星の電波を受信しやすい場所へ移動する	
	2 次元測位をしている		
	車速（スピードセンサーコード）が正しく接続されていない	取付説明書を参照して接続を確認してください	
データが保存できない	周囲の温度が 50 度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を 50 度以下にしてから保存する	

症状	原因	対処	参照ページ
タッチスイッチがブレーになり操作できない	パーキングブレーキコードが接続されていない 操作できないタッチスイッチにタッチした	取付説明書を参照して正しく接続する 車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。また、状況・設定などにより、操作できないスイッチがある場合があります	
案内音声が出力されない	案内の音量が小さく（音声 OFF に）なっている	音量を大きくする	333 ページ
案内音量が大きすぎる / 小さすぎる	案内音量が調整されていない	音量を調整する	333 ページ
イグニッションキーを ON の位置にしたあと、しばらく画面にムラがある	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがある	バックライトが温まれば、数分後には解消される	
画面が見にくい	画面のコントラスト、明るさ調整が不適正である	コントラスト、明るさを調整する	330 ページ
VICs レベル 1、2（文字表示型 / 図形表示型）が表示できない	VICs の情報として送出されていない	地区等により送出される情報は異なる	
	VICs の放送エリア外である	VICs の放送エリアに移動する	
	放送局の周波数が合っていない データの取り込みが完全ではない	受信可能な放送局に周波数を合わせる 更新データを受信するまで待つ	137 ページ
VICs レベル 3（渋滞、規制、駐車場）の表示ができない	「VICs 設定」でこれらの表示条件が表示しない設定になっている	「する」に設定する	302 ページ 303 ページ
	VICs の放送エリア外である	VICs の放送エリアに移動する	
VICs 渋滞が考慮探索されない	「アクティブルートサーチ」が「しない」の設定になっている	「する」に設定する	309 ページ
VICs 情報の表示が乱れる	電波や光の情報がうまく受信されない	情報を受信次第表示が更新されます	
VICs の時間が時刻と違う	時計ではなく、表示中の VICs 情報の提供時刻を示しています VICs 情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます	情報を受信次第更新されます	
いつも NAVI に接続できない	携帯電話の接続や通信設定、いつも NAVI の認証情報入力が行われていない	本機と携帯電話の接続、携帯電話を利用したインターネット接続設定、いつも NAVI 認証情報の入力を行う	149 ページ 363 ページ 105 ページ
汎用 RCA 入力カメラ接続時に、ドライブレインフォ画面にリアカメラ画面が表示されない	リバース線が正しく接続されていない	取付説明書を参照して接続を確認してください	
有料道路に目的地 / 経由地を設定できない	付近の一般道路に目的地 / 経由地が設定されている	目的地 / 経由地の属性を「有料」に変更する	89 ページ

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げの販売店に問い合わせてください。

■ オーディオ・ビジュアル関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が 50 度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を 50 度以下にする	
	結露している	しばらく（1 時間程度）放置し、乾いてから使う	
映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする	電波が弱い	他の場所に車を移動して再確認する	
	バッテリー電圧が低下している	バッテリー電圧 / バッテリー液量 / バッテリー液比重および配線を確認する（負荷状態で 11 ボルトを下回ると誤動作の原因となります）	
映像が出ない	モード切りかえがご覧になりたいソースになっていない	ご覧になりたいソースにタッチして切りかえる	194 ページ
	パーキングブレーキコードを接続していない	パーキングブレーキコードを接続しパーキングブレーキをかける	
	パーキングブレーキをかけていない		
映像が出ないまたは動きが悪い	車室内の温度が低い	車室内の温度を常温にする	
映像に斑点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、自動車などからの影響	妨害電波を受けない場所に車を移動する	
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください	
映像が二重三重になる。またはゆれる	近くの山やビルで電波が反射している	他の場所に車を移動する	
低温時に電源を ON にした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるもの	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください。	
電源を ON にした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるもの	故障ではありません。しばらくすると安定します。	
音が出ない	音量の調整不良	音量スイッチを押して確認する	195 ページ
片側のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが外れている	スピーカーコードの接続を確認する	
サブウーファークから音が出ない	音量の調整不良	左右音量調整をして確認する	337 ページ
	スピーカーの設定が Small になっていない	「スピーカーを設定する」の設定を Small にする	350 ページ
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない	放送、ディスクを変更して確認する	
CD/DVD が入らない	すでに 1 枚入っていて 2 枚目を入れようとしている	すでに入っている CD/DVD を取り出してから、お好みの CD/DVD を入れる	28 ページ
CD/DVD の再生ができない	結露している	しばらく放置してから使用する	
	CD/DVD に大きなキズやソリがある	他の CD/DVD を入れる	
	CD/DVD がひどく汚れている	クリーニングする	
ディスクの再生が始まらない / 音が飛び / 音が歪む / 早送り / 早戻しができない	車内温度が 50℃以上である	車内温度を常温まで下げてから、演奏させる	
	ディスクに傷が付いている	他のディスクを再生してみる	
	ディスクがひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応のディスクでない		
	結露している	しばらく放置してから使用する	

症状	原因	対処	参照ページ
映像も音も出ない	オーディオ・ビジュアルモードがOFFになっている	AV OFF モードを解除する	195 ページ
	接続コードの接続が不完全	各接続コードの接続を確認する	
DVD 初期設定において、暗証番号を正しく入力できない / 暗証番号を忘れてしまった	DVD の暗証番号が違う	DVD 初期設定の内容を初期値に戻して、設定した暗証番号を消去する	246 ページ
CD-R/CD-RW / DVD-R/DVD-RW / DVD+R/DVD+RW が再生できない	クローズセッション(ファイナライズ)処理を行っていない	クローズセッション (ファイナライズ処理) を行い、再度、試してみる	
MP3/WMA/AAC が再生されない	書き込みに失敗している / 対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMA/AAC について」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う。	196 ページ
HDD の再生が始まらない / 音が飛ぶ / 音が歪む / 早送り・早戻しができない	HDD に録音されていない	音楽を録音する	259 ページ
	録音状態が良くない	他の音楽データを再生してみる	
SD メモリーカードが入らない	すでに別の SD メモリーカードが入っている	SD メモリーカードを取り出してから入れ直す	28 ページ 29 ページ
	SD メモリーカードの入れ方が間違っている	本書を参照し、正しく入れ直す	28 ページ
SD メモリーカードの再生が始まらない / 音が飛ぶ / 音が歪む / 早送り・早戻しができない	SD メモリーカードが壊れている	他の SD メモリーカードを再生してみる	
	SD メモリーカードの端子部がひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
SD メモリーカードを取り出した後、ディスプレイが閉じない	本機対応の音楽データではない	SD メモリーカードを取り出し後、しばらく待ってからディスプレイを閉じる操作を行う	29 ページ
	破損している SD メモリーカードを挿入した		
放送局が受信できない / 雑音が入る	アンテナが接続されていない(ラジオ)	アンテナが確実に接続されているか確認する (ラジオ)	
	放送局の周波数 (チャンネル) が合っていない	周波数 (チャンネル) を正しく合わせる	220 ページ
	周りに障害物などがあり、受信状態が良くない	見通しが良いところに移動する	
自動的に放送局が選べない	電波の弱い地域にいる	手動で受信する	220 ページ
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送用のアンテナが接続されていない。	添付の地上デジタル放送用のアンテナを接続する。	
	B-CAS カードが正しく挿入されていない。	B-CAS カードを挿入する。	
	放送が行われていない。	他のチャンネルを選ぶ。	
映像にブロックノイズが出る	電波状態が悪い(地上デジタルテレビ)	場所を移動する	
	アンテナが外れている(地上デジタルテレビ)	アンテナの接続を確認する	
映像に字幕が出ない	字幕の設定が「OFF」になっている(地上デジタルテレビ)	字幕を設定する	206 ページ
	字幕情報のない番組を視聴している(地上デジタルテレビ)	字幕情報のある番組を視聴する	
映像がモザイク状になる	電波状態が悪い(地上デジタルテレビ)	他の場所に車を移動する	

症状	原因	対処	参照ページ
iPod が再生しない / iPod の音が出ない	iPod が認識されていない	iPod をリセットする。 iPod のリセットについては、iPod 側のユーザーズガイドを参照してください	

■ 表示メッセージ（システム）

メッセージ	原因	対処	参照ページ
液晶パネルの熱保護のためディスプレイの電源を OFF します 車内の温度が下がれば画面は自動的に復帰します	車内温度が高すぎる。	車内温度を常温まで下げる。	
HDD のカバーが開いています 閉じてからご使用ください	HDD のカバーが開いている。	HDD のカバーが閉じていることを確認する。	
HDD の温度異常が発生しました 一部使用できない機能があります	ハードディスク内の温度が異常に高い、または低いため。	常温になるまで、しばらく待つ。	
HDD が読めません システムをリセットします	なんらかの原因で HDD にアクセスエラーが発生した。	自動的に再起動がかかります。	
HDD が読めません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	なんらかの原因で HDD にアクセスできなくなった。	お問い合わせ窓口にご相談ください。	426 ページ
DVD ドライブにアクセスできません システムをリセットします	なんらかの原因で DVD メカにアクセスエラーが発生した。	自動的に再起動がかかります。	
DVD ドライブにアクセスできません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	なんらかの原因で DVD メカにアクセスできなくなった。	お問い合わせ窓口にご相談ください。	426 ページ
異常が発生しました [開 / 閉] スイッチを押してください	ディスプレイのメカに異常が発生した。	開 / 閉 / TILT スイッチを押してください。	
ETC カードが車載器を確認してください	ETC カードの異常が発生した。	ETC カードの抜き差しを実施してください。	
セットアップされていません	接続されている ETC のセットアップが未完了の場合に表示される。	販売店にてセットアップを行ってください。	
走行中は安全のため操作できません	走行中にメニュー操作を行った。	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。	

■ 表示メッセージ（ナビゲーション関係）

メッセージ	原因	対処	参照ページ
ルート計算できませんでした 目的地を幹線道路付近にセットしてください	目的地を指示したとき、周辺に道路がなくルート探索ができない。	付近の主要道路にカーソルを合わせ、再度目的地を指示する。	
これより広域の地図では VICS 情報を表示できません	10m ~ 1km スケールの地図を表示中に 2km スケールの地図にした。	地図スケールを 1km 以下の詳細な地図に切りかえる。	49 ページ
情報受信につつき しばらくお待ちください	FM 多重放送や VICS 情報を受信していない。	しばらくしてもメッセージを表示する場合は選局し直してください。	

メッセージ	原因	対処	参照ページ
情報がありません	FM 多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していない。	他の放送局を選局する。	
登録地点がありません	地点を登録していない状態、または登録地点を消去した後に登録地点から地図を検索しようとした。または SD メモリーカード / USB メモリに地点をコピーしようとした。	地点を登録してから検索、または SD メモリーカード / USB メモリに地点をコピーする。	94 ページ
認証キーが間違っています	入力した認証キーが間違っている。	認証キーを再度確認してください。	
ディスクシリアル No が間違っています	入力した地図更新ディスクのディスクシリアル No が間違っている。	お手元のディスクシリアル No を再度確認してください。	
データの読み込みに失敗しました メディアを確認してください	地図更新ディスクのデータ読み込みに異常が発生した。	一度ディスクの抜き差しを行い、再度更新を行う。	
携帯電話を確認してください	携帯電話が正しく接続されていない。	携帯電話の接続と、「電話設定」の携帯電話接続方法を確認してください。	149 ページ、 358 ページ
通信できません 通信設定で接続先を登録してください	通信設定が正しく設定されていない。	携帯電話の「通信設定」を確認してください。	363 ページ
いつも NAVI 情報を取得できませんでした	携帯電話が正しく接続されていない。もしくは通信設定が正しく設定されていない。	携帯電話の接続と、「電話設定」の携帯電話接続方法を確認してください。 携帯電話の「通信設定」を確認してください。	149 ページ、 358 ページ、 363 ページ
情報を取得できませんでした	携帯電話が正しく接続されていない。もしくは通信設定が正しく設定されていない。	携帯電話の接続と、「電話設定」の携帯電話接続方法を確認してください。 携帯電話の「通信設定」を確認してください。	149 ページ、 358 ページ、 363 ページ
近くにご提案できるスポットはありません	カーソル / 案内地点 / 経路 / 自車周辺におすすめスポットがない。	再度地域を選択する。	
該当するキーワードはありません	名称検索からキーワード絞込みを行う時、キーワードがヒットしなかった。	キーワードを再度入力し直しても地図が呼び出せないときは、他の方法で地図を呼び出す。	
該当する電話番号はありません	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかった。	電話番号を再度入力し直しても地図が呼び出せないときは、他の方法で地図を呼び出す。	
該当する郵便番号はありません	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかった。	郵便番号を再度入力し直しても地図が呼び出せないときは、他の方法で地図を呼び出す。	
該当するデータはありません	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかった。	マップコードを再度入力し直しても地図が呼び出せないときは、他の方法で地図を呼び出す。	

メッセージ	原因	対処	参照ページ
この緯度経度は検索できません	緯度経度で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	緯度経度を再度入力し直しても地図が呼び出せないときは、他の方法で地図を呼び出す。	
該当する施設はありません	該当のジャンルがない都道府県を選択した。	別の都道府県を選択して地図を呼び出す。または他の方法で地図を呼び出す。	
自宅を登録してください	自宅が登録されていない状態で、自宅の地図を呼び出そうとした。	自宅を登録してから、自宅の地図を呼び出す。	

■ 表示メッセージ（オーディオ・ビジュアル関係）

メッセージ	原因	対処	参照ページ
USB の接続を確認してください	接続エラー。	一度本機から USB メモリを外し、再接続する。	30 ページ
iPod との通信ができません 接続を確認してください	通信エラー。	一度本機から iPod/iPhone を外し、再接続する。	29 ページ
ディスクを確認してください	ディスクが汚れている、または裏返しになっている。	汚れている場合はクリーニングを行う。裏返しになっている場合は正しい向きで挿入する。	28 ページ
	再生可能なディスクではない。	別なディスクを試す。	
エラーが発生しました ディスクをイジェクトしてください	DVD メカエラー。	ディスクをイジェクトする。	28 ページ
B-CAS カードが挿入されていません	B-CAS カードが奥までしっかり入っていない／前後逆向きに入っている／表裏逆向きに入っている。	添付の B-CAS カードを正しく挿入する。それでも直らないときは、B-CAS カードのテストを行ってください。 ・テストに成功した場合アルパインインフォメーションセンターへお問い合わせください。 ・テストに失敗した場合 B-CAS カスタマーセンターへお問い合わせください。	200 ページ、 215 ページ
この B-CAS カードは使用できません	B-CAS カードが故障している、または交換の必要がある。	添付の B-CAS カードを正しく挿入する。	200 ページ
B-CAS カードの交換が必要です		それでも直らないときは、B-CAS カスタマーセンターへお問い合わせください。	200 ページ
B-CAS カードに必要な情報がありません	B-CAS カードが故障している、または使用できない B-CAS カードが挿入されている。	添付の B-CAS カードを正しく挿入する。	200 ページ
B-CAS カードのセキュリティ情報にエラーを検出しました		それでも直らないときは、B-CAS カスタマーセンターへお問い合わせください。	200 ページ
この B-CAS カードでは視聴できません	B-CAS カードが対応していない受信方式のチャンネルを選局した。	受信可能なチャンネルを選ぶ。	
有料放送のため視聴できません	有料放送を受信している。	本機では、有料放送には対応していないため、受信可能なチャンネルを選ぶ。	
データを取得できません	データ放送において閲覧対象のコンテンツが取得できない。	再選局を行う。	

メッセージ	原因	対処	参照ページ
双方向サービスには対応していません	データ放送受信時に双方向サービス対応のコンテンツ操作を行っている。	双方向サービスには対応していないため、双方向サービスではないデータ放送コンテンツを選ぶ。	
受信できません	周波数チャンネルが検出できない／周波数チャンネルが検出でき 3 桁チャンネル番号も存在するが放送が終了している／プリセットしているチャンネルが無くなった／データ放送が受信できない／存在しないチャンネルを受信しようとした。	受信可能なチャンネルを選ぶ。	
ワンセグ放送がありません	ワンセグ放送を行っていないチャンネルでワンセグ放送を受信しようとした。	受信可能なチャンネルを選ぶ。	
ワンセグ放送のみ受信可能です	受信状態が悪く、フルセグ放送は視聴できない状態であるが、ワンセグ放送であれば視聴可能であるチャンネルを視聴した。	ワンセグ放送を視聴する。 フルセグ放送が視聴可能な場所へ移動する。	
未対応のサービスです	本機で対応できないサービスを受信しようとした。	受信可能なチャンネルを選ぶ。	
放送チャンネルではありません	放送用のチャンネルではないチャンネルを受信しようとした。	受信可能なチャンネルを選ぶ。	
このチャンネルは放送を休止しています	定常サービス / 臨時サービスにおいて、CH は存在しているが、番組が放送されていないチャンネルを受信しようとした。	受信可能なチャンネルを選ぶ。	
受信できませんでした	ホームスキャン／お出かけスキャン完了後に、受信可能な放送局が全く無かった場合に表示される。	地上デジタルテレビ放送が受信可能な場所へ移動して、再度スキャンを実施する。	
登録に失敗しました	書き込みエラーなどの原因で、プリセット登録に失敗した。	お問い合わせ窓口にご相談ください。	426 ページ
このチャンネルは登録できません	緊急警報放送（EWS）をプリセット登録しようとした。	緊急警報放送（EWS）を登録することはできません。	
チューナーの異常高温を検出しました 地上デジタル TV の表示ができません 車内の温度が下がるまでお待ちください	車内温度が高すぎる。	車内温度を常温まで下げる。	
走行中は音声をお楽しみください	走行中に地上デジタルテレビ、DVD、VTR、iPod/iPhone（ビデオファイル再生時）を見ようとした。	車を安全な場所へ移動し、停車後パーキングブレーキを引いてからお楽しみください。	

操作中、画面にはいろいろなメッセージが表示されます。メッセージには、現在の状態を知らせたり、次の操作をガイドしたりするもののほか、上記のようなエラーメッセージを表示する場合があります。上記のエラーメッセージが表示された場合は、「処置」の内容をよくお読みになり、その指示に従ってください。

地図マーク一覧

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	病院		交差点		公園
	学校		冬期規制区間		動物園
	郵便局		商業施設		植物園
	消防署		ホテル		水族館
	警察署		銀行		遊園地、テーマパーク
	都道府県庁		工場、工場敷地		博物館
	市役所、区役所		教会		図書館
	町村役場		神社		美術館
	官公署（特定記号無）		寺		ガソリンスタンド
	インターチェンジ、ランプ		墓地		カー用品店
	サービスエリア		温泉		国防施設（自衛隊、米軍など）
	パーキングエリア		海水浴場		JRA 競馬場、ウイNZ
	ジャンクション		スキー場		レジャー一般
	ランプ出口		ゴルフ場		バス停
	料金所（スマート IC 含む）		運動施設（スタジアムなど）		事故多发地点記号
	駐車場		城、城跡		路上パーキングメーター
	飛行場		キャンプ場		その他施設
	港、フェリー発着場		山		
	マリーナ、ヨットハーバー		史跡、名所		

▶ 情報検索精度について

電話番号検索および 50 音検索などは、電話番号登録時の登録内容によっては、周辺地域による検出になる場合があります。

本機に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があります。使用に際しては、実際の道路状況、および交通規制に従ってください。

本機は、天変地異による規制には対応しておりません。該当する地域周辺を走行される場合は、警察・交通情報センター等にご確認ください。

▶ 地図データベースについて

地図データベース上、最終更新されたものを使用していますが、地域によっては最終更新日が古い場所も存在し、現在の状況と異なる場合があります。

▶ 交差点拡大図に表示される地図マークは、形状が異なる場合があります。

施設ジャンル一覧

ジャンル検索または周辺施設検索のときに使用できる施設ジャンルの一覧表です。実際に表示されるメニューの順序とは異なります。

タグ表示	ジャンル名	タグ表示	ジャンル名	タグ表示	ジャンル名
食事	ファーストフード	食事	ビザ	買物	おもちゃ
	ファミリーレストラン		カレー		文房具
	ステーキ・ハンバーグ		中華ファミレス		家具・インテリア
	焼肉・ホルモン		中華料理		ベビー用品
	すきやき		餃子・しゅうまい		薬局・薬店
	しゃぶしゃぶ		広東料理		化粧品
	ジンギスカン		四川料理		めがね・コンタクト
	とんかつ		上海料理		くつ
	牛丼		北京料理		かばん
	牛たん		ラーメン		時計
	鳥料理		韓国料理		宝石・貴金属
	かに料理		朝鮮料理		パン
	かき料理		台湾料理		ケーキ・菓子
	ぶぐ料理		インド料理		酒
	うなぎ		その他各国料理		食料品
	魚料理		持ち帰り弁当		特産物
	ちゃんこ		持ち帰り寿司		朝市
	もつ鍋		持ち帰りうなぎ料理		地酒
	すきやき		折詰弁当		伝統工芸品
	しゃぶしゃぶ		仕出し弁当		民芸品
	和食ファミレス		コーヒーショップ		みやげ品
	京料理		コーヒー専門店		贈答品店
	小料理		喫茶店		園芸店
	日本料理		甘味処		花屋
	懷石料理		インターネットカフェ		手芸品
	割ぼう・料亭		マンガ喫茶		リサイクルショップ
	てんばら		カラオケ喫茶		パソコンショップ
	おでん		居酒屋・バー・スナック		釣り具・釣り餌
	串揚げ・串かつ		その他飲食店		自転車
	郷土料理	買物	コンビニ		オートバイ
	沖縄料理		デパート		楽器店
	沖縄そば		ショッピングセンター・モール		レンタルショップ
	仕出し料理		地下街		市場
	お茶漬・おにぎり		スーパーマーケット		チケット販売
	屋形船		ドラッグストア		その他買い物
	寿司屋		ディスカウントストア	車	ガソリンスタンド
	回転寿司		100 円ショップ		駐車場
	持ち帰り寿司		日用雑貨		カー用品店
	うどん・そば屋		ホームセンター		カーディーラー
	お好み焼		スポーツ用品		中古車販売・買取
	たこ焼		衣料品		自動車整備工場
	もんじゃ焼		家電		JAF
	洋食ファミレス		携帯電話ショップ		ロードサービス
	ステーキ・ハンバーグ		CD・ビデオレンタル		交通情報センター
	フランス料理		CD・ビデオ		運転免許センター
	イタリア料理		書店		運転代行サービス
	スパゲティ専門店				洗車業

その他

タグ表示	ジャンル名
車	レンタカー
	その他車
交通	JR 駅
	私鉄駅
	地下鉄駅
	空港
	港
	フェリーターミナル
	道の駅
	IC
	SA・PA
観光宿泊	ホテル
	ビジネスホテル
	旅館
	民宿
	ペンション
	公共の宿
	ブティックホテル
	祭事
	名所・旧跡
	城・城跡
	生物観察スポット
	花の名所
	音の名所
	ビュースポット
	観光スポット
	百選
	観光船
	遊覧飛行機
	リフト・ロープウェイ
	果実狩り
	牧場・農場・農園
	工場見学
	巡礼めぐり
	観光案内
趣味娯楽	遊園地
	水族館
	動物園
	サファリパーク
	植物園
	温泉
	サウナ・健康センター
	キャンプ場
	海水浴場・海岸
	海洋・海浜公園
	レジャー公園
	公園・緑地
	ボウリング場
	映画館
	ゲームセンター
	カラオケ
	釣り
	パチンコ・スロット

タグ表示	ジャンル名
趣味娯楽	競馬場・WINS
	競艇・競輪・
	オートレース場
	その他レジャー
文化	美術館
	博物館
	資料館
	図書館
	ホール・劇場
	プラネタリウム
	神社
	寺
	教会
	その他文化施設
スポーツ	スキー場
	スケート場
	ゴルフ場
	ゴルフ練習場
	プール
	テニスコート
	陸上競技場
	野球場
	体育館
	武道館・道場
	サーキット場
	オフロード場
	マウンテンバイクコース
	サイクリングコース
	スノーモービル
	フィールドアーチェリー
	マリンスポーツ
公共	マリナー・
	ヨットハーバー
	スポーツクラブ
	スポーツ教室
	その他スポーツ
	役所
	裁判所
	法務局
	税務署
	保健所
	社会保険事務所
	大使館・領事館
	警察署
	交番・駐在所
	トイレ
	マスコミ
	郵便局
	その他公共施設
	病院一般
	病院（総合病院）
	病院（内科）
	病院（外科）

タグ表示	ジャンル名
公共	病院（胃腸科・消化器科）
	病院（眼科）
	病院（皮膚科）
	病院（小児科）
	病院（耳鼻咽喉科）
	病院（歯科）
	病院（産婦人科）
	動物病院
	その他病院・医療機関
	都市銀行
	地方銀行
	信用金庫
	証券会社
	その他金融機関
	大学・短大
	高校・高専
	中学校
	小学校
	幼稚園
	保育園
	学童保育所・児童館
	予備校
	コンピューター学校
	自動車学校
	その他学校・教育施設
	塾・進学教室
	そろばん教室
	幼児教室
	英会話・外国語スクール
	パソコン教室
	カルチャーセンター
	音楽・ピアノ教室
	ダンス教室
	着付教室
	書道教室
	華道教室
	その他教養施設
その他	美容院
	理容店
	ペット
	クリーニング
	写真・カメラ
	結婚式場
	葬祭
	霊園・墓地
	住宅展示場
	エステティック
	不動産
	高齢者福祉施設

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、以下のコード番号から数字を入力して選択することができます。

記号	コード	言語
AA	6565	アフガル語
AB	6566	アブハジア語
AF	6570	アフリカーンス語
AM	6577	アムハラ語
AR	6582	アラビア語
AS	6583	アッサム語
AY	6589	アイマラ語
AZ	6590	アゼルバイジャン語
BA	6665	バシキール語
BE	6669	ベラルーシ語
BG	6671	ブルガリア語
BH	6672	ビハーリー語
BI	6673	ビスラマ語
BN	6678	ベンガル語、 バングラ語
BO	6679	チベット語
BR	6682	ブルトン語
CA	6765	カタロニア語
CO	6779	コルシカ語
CS	6783	チェコ語
CY	6789	ウェールズ語
DA	6865	デンマーク語
DE	6869	ドイツ語
DZ	6890	ブータン語
EL	6976	ギリシャ語
EN	6978	英語
EO	6979	エスペラント語
ES	6983	スペイン語
ET	6984	エストニア語
EU	6985	バスク語
FA	7065	ペルシャ語
FI	7073	フィンランド語
FJ	7074	フィジー語
FO	7079	フェロー語
FR	7082	フランス語
FY	7089	フリジア語
GA	7165	アイルランド語
GD	7168	スコットランド ゲール語
GL	7176	ガルシア語
GN	7178	グアラニ語
GU	7185	グジャラート語
HA	7265	ハウサ語
HI	7273	ヒンディー語
HR	7282	クロアチア語
HU	7285	ハンガリー語
HY	7289	アルメニア語
IA	7365	国際語

記号	コード	言語
IE	7369	国際語
IK	7375	Inupiak 語
IN	7378	インドネシア語
IS	7383	アイスランド語
IT	7384	イタリア語
IW	7387	ヘブライ語
JA	7465	日本語
JL	7473	イディッシュ語
JW	7487	ジャワ語
KA	7565	グルジア語
KK	7575	カザフ語
KL	7576	グリーンランド語
KM	7577	カンボジア語
KN	7578	カンナダ語
KO	7579	韓国語
KS	7583	カシミール語
KU	7585	クルド語
KY	7589	キルギス語
LA	7665	ラテン語
LN	7678	リンガラ語
LO	7679	ラオス語
LT	7684	リトアニア語
LV	7686	ラトビア語、 レト語
MG	7771	マダガスカル語
MI	7773	マオリ語
MK	7775	マケドニア語
ML	7776	マラヤーラム語
MN	7778	モンゴル語
MO	7779	モルダビア語
MR	7782	マラータ語
MS	7783	マレー語
MT	7784	マルタ語
MY	7789	ミャンマー語
NA	7865	ナウル語
NE	7869	ネパール語
NL	7876	オランダ語
NO	7879	ノルウェー語
OC	7967	プロバンス語
OM	7977	(アフアン) オロモ 語
OR	7982	オリヤー語
PA	8065	パンジャブ語
PL	8076	ポーランド語
PS	8083	パシュトー語
PT	8084	ポルトガル語
QU	8185	ケチュア語
RM	8277	ラエティ=ロマン語

記号	コード	言語
RN	8278	キルンディ語
RO	8279	ルーマニア語
RU	8285	ロシア語
RW	8287	キニヤルワンダ語
SA	8365	サンスクリット語
SD	8368	シンド語
SG	8371	サンゴ語
SH	8372	セルビアクロアチア 語
SI	8373	シンハラ語
SK	8375	スロバキア語
SL	8376	スロベニア語
SM	8377	サモア語
SN	8378	ショナ語
SO	8379	ソマリ語
SQ	8381	アルバニア語
SR	8382	セルビア語
SS	8383	シスワティ語
ST	8384	セストゥ語
SU	8385	スダ語
SV	8386	スウェーデン語
SW	8387	スワヒリ語
TA	8465	タミール語
TE	8469	テルグ語
TG	8471	タジク語
TH	8472	タイ語
TI	8473	ティグリニャ語
TK	8475	トルクメン語
TL	8476	タガログ語
TN	8478	セツワナ語
TO	8479	トンガ語
TR	8482	トルコ語
TS	8483	ツォンガ語
TT	8484	タタール語
TW	8487	トウイ語
UK	8575	ウクライナ語
UR	8582	ウルドゥー語
UZ	8590	ウズベク語
VI	8673	ベトナム語
VO	8679	ボラビュク語
WO	8779	ウォロフ語
XH	8872	コサ語
YO	8979	ヨルバ語
ZH	9072	中国語
ZU	9085	ズール語

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上の VICS サービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK - FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応FM受信機(VICS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができます。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応FM受信機を購入することにより、第4条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ない困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

■ 別表

視聴料金 315 円 (うち消費税 15 円) ただし、車載機購入価格に含まれております。
--

マイクロソフトからの使用許諾契約書

下記の使用許諾書をよくお読みのうえ、本ナビゲーションを正しくお使いください。

■ 使用許諾契約書

本ナビゲーションには、アルパイン株式会社（以下「ALPINE」）のソフトウェアに加え、Microsoft 社（以下「MS」）製 Microsoft® Windows® Automotive が OS を使用したソフトウェア（以下「本ソフトウェア」）が含まれています。本ソフトウェアはコンピューターソフトウェア Microsoft® Windows® Automotive 並びに、それに関連した媒体、印刷物、「オンライン」、電子文書を含むこともあります。本ソフトウェアは無体財産権に関する法律、条約により国際的に保護されており、本ソフトウェアは許諾されるものであり、販売されるものではありません。お客様が本契約書の条項に同意されない場合、本ソフトウェアを使用複製することはできません。本契約は、お客様に以下のことを許諾致します。

- お客様は、本ナビゲーションにおいてのみ本ソフトウェアを使用することができます。
- 本ソフトウェアは提供時の現状のままで、そこに含まれるあらゆる瑕疵とともに提供されるものであり、品質、性能、正確性その他不適切な取扱に伴う危険について何ら保証致しません。お客様が本ソフトウェアを使用する際支障をきたすことや、また、本ソフトウェアが第三者の無体財産権を侵害していないことについても何ら保証致しません。
- 法律の許す限りにおいて、本ソフトウェアの使用から生ずるいかなる損害（間接損害、特別損害、結果損害、偶発損害）についても、一切責任を負わないものとします。
- 本ソフトウェアに音声認識 および 音声制御機能が含まれている場合、お客様は音声認識 および 音声制御機能は本質的には統計的な手法であること、音声認識、制御の際の誤りはその過程上本質的に存在すること、その音声認識 および 音声制御機能の誤りに起因するあらゆる損害の法的責任はお客様にあること承諾されたものとします。
- お客様が、本ソフトウェアにつき、リバースエンジニアリング、逆コンパイルその他解析作業を行なうことは禁じられます。但し、法律が明示的に許諾する範囲においてはこの限りではありません。
- 別途契約書が提示されない限り、本ソフトウェアのバージョンアップ品または付属品についても本契約が適用されるものとします。
- お客様に、復元または再インストールのためのソフトウェアが別媒体によって提供された場合、お客様は、提供されたソフトウェアを、復元または再インストールのためにのみ使用できるものとします。
- バージョンアップソフトウェアが別媒体や WEB からのダウンロード、もしくは他の手段で本ナビゲーションと別に提供された場合、お客様は提供されたソフトウェアを一部複製し、既存のソフトウェアの代わりとして、本ナビゲーションにインストールできます。また、そのアップグレードソフトウェアは添付の仕様許諾契約書の追加条項も含めた使用許諾契約書に従って使用できるものとします。
- お客様が、この使用許諾契約書の条項と条件を厳守されない場合は、他のいかなる権利も失うことなく、この使用許諾契約書の契約を終わらせることができます。契約終結時、お客様はソフトウェアの全ての複製と部品を壊すこととなります。
- 本ソフトウェア、添付の印刷物、その複製物に含まれる全ての権利や無体財産権（画像、写真、アニメーション、ビデオ、オーディオ、音楽、テキスト、ソフトウェアに組み込まれている「アプレット」も含めて）、は、各コンテンツのオーナーの財産であり、著作権法あるいは無体財産権に関する法律と条約によって保護されています。この使用許諾契約書は、お客様にこのようなコンテンツを使用権を許諾していません。特にこの使用許諾契約書のもとで認められない全ての権利は、ALPINE と MS によって留保されます。ソフトウェアを通じてアクセスできるオンラインサービスの使用は、そのようなサービスに関連して使用のための各条項で管理されています。このソフトウェアが電子形式のみで提供されるドキュメンテーションが含まれている場合は、そのような電子ドキュメンテーションを一部のみ複製印刷できます。
- 本使用許諾契約書では、ALPINE、MS の登録商標やサービス商標の使用権利を許可しません。
- 製品や本使用許諾書に関してのお問い合わせは、本ナビゲーションの取扱説明書に記載されているアルパインインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- お客様は、本契約に基づいて、本ソフトウェアの使用の権利を譲渡できるものとします。ただし、譲受者は本使用許諾契約書の条項と条件に同意することを条件とします。また、本ソフトウェアがバージョンアップしている際は、以前のバージョン含めたものも含め譲渡し、本ナビゲーションと分けての譲渡することはできません。
- 本ソフトウェアはアメリカ合衆国で製品化されたものを含んでいます。お客様は、アメリカ合衆国の輸出管理規制およびアメリカ合衆国その他の政府が発する輸出地に関する規制等、本ソフトウェアに適用される輸出に関する国際的、国内的規制を遵守することに同意されたものとします。

路線別データ使用規約

本使用規定（「本規定」）は、アルパイン株式会社が提供する「高速道配信」サービスにより配信される「地図データ」（「本データ」）の提供元である株式会社ゼンリン（「弊社」）とお客様間の、本データの使用許諾条件を定めたものです。本データのダウンロード前に必ずお読みください。なお、お客様が本データをダウンロードされた場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

1. 弊社は、お客様に対し、お客様自身が管理使用するアルパイン株式会社製「VIE-X08S/VIE-X088 シリーズ」（「機器」）1台に限り、本データを以下のいずれかの方法によりインストールし、機器の取扱説明書（「取説」）および本規定の定めに従い使用することを許諾します。なお、お客様は、本データの機器へのインストールを一部でも開始した場合は、本データをインストールする機器を変更できないものとします。
「パソコン経由でのインストール」
 - (1) お客様自身が管理使用するパソコン1台に限り、本データをダウンロード（複製）する。
 - (2) 上記(1)に従いパソコンにダウンロード（複製）した本データを、SDメモリーカードにコピー（複製）する。
 - (3) 上記(2)に従いSDメモリーカードにコピー（複製）した本データを、当該SDメモリーカードを機器に挿入し、機器にコピー（複製）する。「携帯電話経由でのインストール」

お客様自身が管理使用する携帯電話を通じて本データをダウンロードし、機器にコピー（複製）する。
2. お客様は、本データのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本データを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
3. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本データの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属し、お客様は、本データに関して、本規定で許諾される権利以外の一切の権利を有しないこと。
 - (2) 本データおよび本データを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、すべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本データの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
 - (3) 本データに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任は、弊社の故意または重過失による場合を除き、お客様が直接被った現実かつ通常の損害の賠償に限られ、また、機器の対価としてお客様がアルパイン株式会社またはその販売代理店に対して現実に支払った金額を限度とすること。なお、この規定は、本データに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。
 - (4) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
4. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本データの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信することまたは同時に2台以上の機器で使用する。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本データ（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本データをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) その他本データについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください

この取扱説明書では、安全にかかわる注意事項を、その危険の大きさの程度に応じて、次のように分類して記載しています。



その危険を回避できなかった場合に、死亡又は重傷を負う可能性のあるもの

- **運転者は、走行中に操作をしないでください。**
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- **操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。**
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。
- **運転中は、画面を注視しないでください。**
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- **常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。**
本商品に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索、音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- **一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。**
一方通行表示は全ての一方通行道路について表示されているわけではありません。
また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。
- **本商品を救急施設などへの誘導用には使用しないでください。**

電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：アルパイン株式会社 インフォメーションセンター



一般電話から 0570-006636

※ 全国どこからでも市内料金でお問合わせ頂けます。

※ 一般電話からご利用頂けます。携帯電話等からは、誠に恐れ入りますが下記番号までおかけください。

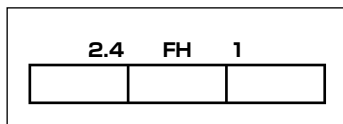
携帯電話、IP 電話、光電話等から 048-662-6636

FAX でのお問合わせ 048-662-6676

※ 営業時間は、上記番号いずれも 9：30～12：00、13：00～17：30 となります（土日、祝日、弊社休業日は除く）

※ お電話でのお問合わせは混雑が予想されますので、FAX でのお問合わせをお勧め致します。

ホームページアドレス <http://www.alpine.co.jp>



2.4 FH 1
① ② ③

- ① 「2.4」GHz 帯を使用する無線設備を表します
- ② 「FH」変調方式を表します
- ③ 「1」想定される与干渉距離（約 10 m）を表します

地図データについて

収録データについて

■ 収録データの補足説明

- ※ 1 「個人宅電話番号・名称データ」による「電話番号」検索は公開「電話番号」及び公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域により格差がありますがデータ収録内で全国平均 91% の精度でのピンポイント検索が可能です。なお、検索された物件の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。また、電話番号非公開訪問先宅（データ収録外物件）については入力電話番号「局番」周辺の位置検出となります。
- ※ 2 「住所検索データ」による「住所」検索は住所の整備状況により一部検索出来ない住所があります。また、検索された住所の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。尚、住所データは事業所および施設の住所データも含みます。
- ※ 3 「50 音データ」及び「タウンページ電話番号データ」によるピンポイント検索は、全国平均 99% の精度でのピンポイント検索が可能です。また、国土地理院発行地図の番号未掲載や電話番号登録時の状況により周辺地域による位置検出となる場合があります。なお、収録されているデータは 2009 年 12 月時のタウンページデータです。
- ※ 4 市街地カバー面積は、収録地域によって全域をカバーしていない場合があります。

地図・情報について

このアルパインナビゲーションシステムの「地図」は「全国デジタル道路地図データベース」と「交通規制データベース」をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報（高速道路・有料道路は 2009 年 12 月までに、国道・都道府県は 2009 年 9 月現在までに）を網羅し、作成したものです。

本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては、実際の道路状況および交通規制に従ってください。

地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。

抜け道データは、昭文社「マップル渋滞ぬけみちデータ」（2010 年 1 月）に基づき作成しています。

■ 地図版権について

- このナビゲーションに搭載されている地図の内容の一部または全部の複製を禁じます。
- ©2007 財団法人日本デジタル道路地図協会
- この地図作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図を使用しています。（測量法第 30 条に基づく成果使用承認 平 20 業使、第 204-290 号）
- この地図作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第 44 条に基づく成果使用承認 07-173）
- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTER が作成したものを使用しています。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。（予測データ提供元：NTT データ、予測の元となる情報：JARTIC/VICS センター）

© 2009 MBA, Inc.

© 2010 ZENRIN CO.,LTD.

© 2009 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2009 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2010 ALPINE ELECTRONICS, INC.

個人宅電話番号・名称データについて

個人宅電話番号・名称データは、(株)ダイケイのテレデータ（おおむね 2009 年 10 月までに収集されたデータ）を使用しております。

- ※ 個人情報保護に関する基本方針、およびナビゲーション地図に搭載されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページを御覧ください。

<http://www.alpine.co.jp/>

保証について / 規格

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げの日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いときは、保証書記載（裏面）に従い修理させていただきますので、お買い上げ店、または「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品は、製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げのお店または「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 修理によって登録内容が消去される場合があります。修理を依頼する前には、必ず登録している内容の控えを取ってください。

■ 規格 / 付属品

ナビゲーション部	受信周波数	1575.42 ± 1MHz
	受信感度	- 130dBm
GPS アンテナ部	本体部外形寸法	26.0mm (幅) × 12.9mm (高さ) × 26.0mm (奥行)
	重量	20g
モニター部	画面サイズ	VIE-X088 : 8 型 VIE-X08S : 7 型
	表示方式	透過型 TN 液晶
	駆動方式	TFT アクティブマトリクス
	画素数	1,152,000 画素
	有効画素数	99.99%以上
	使用光源	LED バックライト方式
	受信周波数	AM : 522 ~ 1629kHz FM : 76.0 ~ 90.0MHz
ラジオ・チューナー部	実用感度	AM : 22.5 μ V FM : 0.8 μ V (75 Ω) : 9.3dBf (新 IHF)
	ステレオセパレーション	FM : 45dB 以上
	SN 比	FM : 80dB 以上
	イメージ妨害比	FM : 80dB 以上
	IF 妨害比	FM : 80dB 以上
DVD/CD 部	方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
	量子化ビット数	1 ビット
	チャンネル数	DVD5.1 チャンネル / CD2 チャンネル (ステレオ)
	ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
	高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
	チャンネルセパレーション	90dB (1kHz) 以上
	ワウフラッター	測定限界以下
	信号システム	NTSC
	水平解像度	500 本以上
	画像出力レベル	1Vp-p (75 Ω)
	画像 SN 比	DVD : 70dB
	音声 SN 比	95dB
	周波数特性	5 ~ 20kHz

HDD 部	出力レベル	1000mV/10kΩ
	再生信号圧縮方式	AAC
SD メモリーカード部	出力レベル	1000mV/10kΩ
	再生信号圧縮方式	MP3、WMA、AAC
USB メモリ部	ファイルシステム	FAT 12/16/32
	再生信号圧縮方式	MP3、WMA、AAC
	周波数特性*	15Hz ~ 20kHz(±1dB)
	供給電圧	500mA
地上デジタルテレビ・チューナー部	受信周波数	473.143 ~ 767.143MHz
	受信チャンネル	UHF13 ~ 62チャンネル
	受信感度	-85dBm
総合	電源電圧	DC14.4V(動作範囲:11 ~ 16V)マイナスアース
	音声出力レベル	プリアウト:2V/10kΩ(最大)
	動作温度範囲	-20°C ~ +60°C
	外形寸法	VIE-X08S: 178mm(幅)×100mm(高さ)×181.8mm(奥行) VIE-X088: 197mm(幅)×124.4mm(高さ)×184.9mm(奥行) ・ノーズ部:197mm(幅)×124.4mm(高さ)×41.4mm(奥行) ・筐体部:178mm(幅)×100mm(高さ)×143.5mm(奥行)
	重量	VIE-X08S: 約 3.2kg VIE-X088: 約 3.5kg
	付属品	取扱説明書、取付説明書、クイックガイド、保証書類一式、取付部品一式(取付説明書参照)

※ 周波数特性はエンコーダソフト/ビットレートにより異なる場合があります。

- 本機は、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby,ドルビー, Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks & DTS Digital Surround and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルパイン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。
- 本製品の BLUETOOTH ソフトウェア・スタックは株式会社東芝が開発した BLUETOOTH® Stack for Embedded Systems Spec 1.2 を搭載しております。お客様は本ソフトウェアを改変し、またはリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、有償、無償に関わらず第三者に販売、頒布、貸与、譲渡等、あるいは再使用許諾することはできません。
- Windows Media および Windows は、米国及びその他の国で登録されている Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson から実施許諾されています。
- 本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com> にアクセスしてください。
- iPod は米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- 「Made for iPod」とは、iPod 専用接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

- 「Works with iPhone」とは、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとしてデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
 - アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
 - SDメモリーカード™ はパナソニック株式会社、米 SanDisk 社、株式会社東芝の商標です。
 - エコ運転支援機能は、Pivot 社（www.pivotjp.com）製の e-drive 機能の判断方式を使用しています。
 - VIE-X08S、VIE-X088 は  アピカル社の技術を使用しています。
 - QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
 - マップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
 - FOMA は NTT ドコモの登録商標です。
 - キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
 - Uni-Type™ は、株式会社リムコーポレーションと千葉大学工学部との共同研究によって開発されたユニバーサルデザインの書体です。
 - Uni-Type™ は、株式会社リムコーポレーションの登録商標です。
 - 「いつも NAVI」は、株式会社ゼンリンデータコムドライバー向け WEB サービスとなります。
 - 本製品には、株式会社 ACCESS の NetFront Browser DTV Profile BML Edition を搭載しています。
 - ACCESS、NetFront は株式会社 ACCESS の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
 - その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。
- ▶ 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ▶ 液晶パネルは、非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ窓口

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成 22 年 3 月 1 日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL：0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
(一部回線が繋がらない場合があります。)
＜携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用＞
TEL：048-662-6636

- 電話受付時間 9：30～12：00 13：00～17：30
(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。
FAX：048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス (株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北區宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス (株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

設定項目一覧

◇ 各種設定項目

設定種別	タブ	項目	参照先
各種設定	地図表示	ランドマーク表示	54 ページ、 301 ページ
		ランドマーク表示 ジャンル	54 ページ、 301 ページ
		軌跡表示	55 ページ、 301 ページ
		軌跡情報を消去	55 ページ、 301 ページ
		渋滞・混雑表示	55 ページ、 302 ページ
		空き道表示	55 ページ、 302 ページ
		渋滞推測(渋滞・混雑) 表示	55 ページ、 302 ページ
		渋滞推測(空き道) 表示	56 ページ、 302 ページ
		VICS 駐車場マーク 表示	56 ページ、 303 ページ
		規制マーク表示	56 ページ、 303 ページ
		VICS 提供道路	56 ページ、 303 ページ
		路上駐車場マーク 表示	56 ページ、 303 ページ
		渋滞線明滅表示	303 ページ
		地図色切換	304 ページ
		地図色昼 / 夜切換	304 ページ
		行政界色分け	304 ページ
		誘導方向表示	304 ページ
		ビル立体表示	305 ページ
		3D ランドマーク 表示	305 ページ
		冬期規制アイコン 表示	305 ページ
		細街路オート スケール	305 ページ
		走行連動地図切換	305 ページ
		高速・有料モード 地図	306 ページ
		自動ハイウェイ モード	306 ページ
		スクロール方面表示	306 ページ
		施設文字	306 ページ
		自車マーク	306 ページ
	案内誘導	県境案内	306 ページ
		合流案内	306 ページ
		踏み切り案内	307 ページ
		事故多発警告案内	307 ページ

設定種別	タブ	項目	参照先
各種設定	案内誘導	残距離音声案内	307 ページ
		到着予想時刻 音声案内	307 ページ
		到着予想時刻 速度設定	307 ページ
		リアルジャンクショ ンガイド	307 ページ
		詳細案内図表示	307 ページ
		方面看板表示	308 ページ
		レーンガイド表示	308 ページ
		ナビ案内画面割込み	308 ページ
		料金所ゲート案内	308 ページ
		車両情報	308 ページ
		英語表示案内	309 ページ
	経路	アクティブルート サーチ	309 ページ
		短縮時間	309 ページ
		アクティブルート サーチ 案内音声 割込み	309 ページ
		抜け道探索	309 ページ
		スマート IC 利用	310 ページ
		時間曜日規制考慮	310 ページ
		フェリー使用	310 ページ
		迂回エリア考慮	310 ページ
		迂回距離 一般道	310 ページ
		迂回距離 有料・ 高速	310 ページ
		冬期閉鎖区間考慮	310 ページ
		ルート学習	310 ページ
		ルート学習結果を 消去	311 ページ
	VICS	渋滞学習	311 ページ
		渋滞学習結果を 消去	311 ページ
		情報保持時間	311 ページ
		情報割込み	311 ページ
		割込み時間	311 ページ
		オーディオモード 画面への割込み	311 ページ
	AV	HDD 自動録音	312 ページ
		録音ビットレート	312 ページ
		外部接続機器選択	312 ページ
	その他	アートワーク自動取 得	312 ページ
		時計表示	313 ページ
		アニメーション表示	313 ページ
		距離補正	313 ページ

設定種別	タブ	項目	参照先
各種設定	その他	タッチパネル補正	314 ページ
		モニター自動 CLOSE	314 ページ
		ディマー設定	315 ページ
		夜用明るさ調整	315 ページ
		夜用照光明るさ 調整	315 ページ
		リアビジョン映像出 力	315 ページ
		リモコン	315 ページ
		ドライビインフォ	316 ページ
		フロントカメラ接続	316 ページ
		フロントカメラ ガイド調整	316 ページ
		フロントカメラ 速度連動表示	317 ページ
		フロントカメラ 地点連動表示	317 ページ
		リアカメラ接続	318 ページ
		汎用カメラ接続	318 ページ
		リアカメラガイド 調整	318 ページ
		自車位置修正	319 ページ
		スキン変更	319 ページ
		全設定項目初期化	320 ページ
		全情報初期化	320 ページ

◇ 地点編集項目

設定種別	項目	参照先
地点編集	登録地点	322 ページ
	特別地点	323 ページ
	迂回地点	324 ページ
	カメラ表示地点	325 ページ

◇ メディア編集項目

設定種別	項目	参照先
メディア編集	画像ファイルのコピー	327 ページ
	メディアへの地点保存	328 ページ
	メディアからの地点追加	329 ページ
	メディア情報	329 ページ
	SD 初期化	329 ページ

◇ 画質調整項目

設定種別	項目	参照先
画質調整	ナビゲーション	330 ページ
	オーディオ	330 ページ
	フロントカメラ	330 ページ
	リアカメラ	330 ページ
	ルームカメラ	330 ページ
	サイドカメラ	330 ページ

◇ 音量調整項目

設定種別	項目	参照先
音量調整	操作音	333 ページ
	ガイド音声	333 ページ
	着信音量	333 ページ
	受話音量	333 ページ
	送話音量	333 ページ

◇ いつも NAVI 項目

設定種別	項目	参照先
いつも NAVI	認証情報設定	370 ページ
	起動時新着確認	371 ページ
	新着確認項目設定	371 ページ
	ドライブプラン通知	371 ページ
	おすすめスポット 自動取得（ルート計算）	372 ページ
	おすすめスポット 自動取得（一定時間）	372 ページ
	おすすめスポット 自動取得間隔	372 ページ
	画像取得	372 ページ
	お知らせ・特集表示	372 ページ
	おすすめスポット 割込み案内	372 ページ
	おすすめスポット 割込み時間	373 ページ
	おすすめスポット 割込み間隔	373 ページ
	おすすめスポット アイコン表示	373 ページ

◇ 電話設定項目

設定種別	項目	参照先
電話設定	電話接続	358 ページ
	Bluetooth 設定	358 ～
		362 ページ
	通信設定	363 ～
		366 ページ
	着信全画面割込み	367 ページ
	着信・通話画面情報表示	367 ページ
	自動着信	367 ページ
	自動着信時間	368 ページ
	画像取り込み	368 ページ

◇ 音質調整項目

設定種別	タブ	項目	参照先
音質調整	基本設定	EASY SETUP	337 ページ
		Media Xpander	340 ページ
		BASS MAX EQ	341 ページ
		再生モード*	336 ページ
		サブウーファー レベル*	336 ページ
		FAD./BAL.*	337 ページ
		DEFEAT*	337 ページ
	詳細設定 1	Parameteric EQ	341 ページ
		T.CORR	342 ページ
		X-OVER	346 ページ
	詳細設定 2	Dolby 設定	348 ~ 349 ページ
		スピーカー設定	350 ページ
		スピーカー出力 レベル	351 ページ
		ソース別音量調整	351 ページ

※ 詳細設定 1 / 詳細設定 2 画面でも表示されます。

ドライブインフォ /EASY SETUP 車種一覧

メーカー名	車名
トヨタ	アルファード
トヨタ	アイシス
トヨタ	ウィッシュ
トヨタ	ヴェルファイア
トヨタ	ヴォクシー
トヨタ	エスティマ
トヨタ	ノア
トヨタ	ハイエース
トヨタ	ハリアー
トヨタ	プリウス
トヨタ	マークX
トヨタ	マークX ジオ
ホンダ	インサイト
ホンダ	エリシオン
ホンダ	オデッセイ
ホンダ	ステップ ワゴン
ホンダ	ストリーム
ホンダ	フィット
ホンダ	フリード
ニッサン	エクストレイル
ニッサン	エルグランド
ニッサン	セレナ
ニッサン	ルークス
マツダ	アクセラスポーツ
マツダ	MPV
マツダ	ビアンテ
マツダ	プレマシー
ミツビシ	アウトランダー
ミツビシ	RVR
ミツビシ	ギャラン フォルティス
ミツビシ	ギャラン フォルティス スポーツバック
ミツビシ	デリカ D : 5
ミツビシ	ランサーエボリューション X
スバル	インプレッサ
スバル	エクシーガ
スバル	レガシィ B4
スバル	レガシィ ツーリングワゴン
スズキ	パレット SW
スズキ	ワゴン R スティングレー
ダイハツ	タントカスタム
ダイハツ	ムーブカスタム
—	セダン*
—	ステーションワゴン*
—	RV *
—	クーペ*
—	軽自動車*
—	コンバーチブル*
—	ハッチバック*
—	ミニバン*

※ ドライブインフォの設定時のみ選択可能です。EASYSETUP では表示 / 設定できません。

目的別索引

共通

共通

	目的	項目	参照ページ
準備	本体スイッチについて知りたい	各部の名称と操作	22 ページ
	タッチスイッチについて知りたい	各部の名称と操作	23 ~ 25 ページ
	電源を入れたい / 切りたい	電源の ON/OFF	27 ページ
	本機をリセットしたい	リセットする	27 ページ
	ディスプレイの角度を調整したい	ディスプレイの角度を調整する	27 ページ
	ディスクや SD メモリーカードを出し入れしたい	DVD、CD、SD メモリーカードの出し入れ	28 ページ
	iPod/iPhone を接続したい	iPod/iPhone の接続	29 ページ
	USB メモリを接続したい	USB メモリの接続	30 ページ
	音量を調整したい	音量調整操作	333 ページ
画面表示について	マルチゲート画面について知りたい	マルチゲート画面の操作	31 ページ
	ドライブレインフォ画面について知りたい	ドライブレインフォ画面の操作	125 ページ
	ナビゲーション画面を表示したい	ナビゲーション画面を表示する	43 ページ
	オーディオ・ビジュアル画面を表示したい	オーディオ・ビジュアルソースを切りかえる	194 ページ
	画面を消したい	画面を消す	355 ページ
	画質を調整したい	画質調整操作	330 ページ

ナビゲーション関係

地図に関して

	目的	項目	参照ページ
地図の表示について	地図画面の見方を知りたい	画面の見かた	40 ページ
	地図記号について知りたい	地図マーク一覧	412 ページ
	現在地が知りたい	現在地画面を表示する	43 ページ
	現在地付近の地図を見たい	地図をスクロールする	43 ページ
	地図の縮尺を切りかえたい	縮尺を切りかえる	49 ページ
	市街地図の表示に切りかえたい	市街地図について	49 ページ
	地図の向きをかえたい	方位を切りかえる	50 ページ
	画面を 2 分割して表示させたい	地図表示を切りかえる	51 ページ
	ナビ画面とオーディオ・ビジュアル画面を同時に表示させたい	マルチゲート画面の操作	31 ページ
	インジケータバーの表示について知りたい	インジケータ表示について	53 ページ
	地図を立体的に表示させたい	方位を切りかえる	50 ページ
	立体的な施設マークを表示させたい	3D ランドマークを表示する	305 ページ
	施設（コンビニ・ガソリンスタンドなど）のマークを表示させたい / 消したい	ランドマーク表示を設定する	301 ページ
	走行中は建物より道路を強調した地図を表示したい	走行中の地図表示を切りかえる	305 ページ
	高速道路走行中は、高速道路を強調した地図を表示したい	高速 / 有料道路モード地図設定	306 ページ
	地図の色をかえたい	地図色を切りかえる	304 ページ

	目的	項目	参照ページ
地図の呼び出しについて	施設の名称を入力して呼び出したい	施設を名称で探す	62 ページ
	ジャンルを指示して施設を呼び出したい	施設をジャンルで探す	63 ページ
	電話番号を入力して呼び出したい	電話番号から探す	65 ページ
	郵便番号を入力して呼び出したい	郵便番号から探す	72 ページ
	住所を入力して呼び出したい	住所を 50 音で探す	73 ページ
	住所を検索して呼び出したい	住所リストから探す	68 ページ
	インターチェンジや駅を検索して呼び出したい	路線別で探す	69 ページ
	登録した地点から呼び出したい	登録地点から探す	67 ページ
	以前の目的地から呼び出したい	目的地履歴から探す	67 ページ
	マップコードを入力して呼び出したい	マップコードから探す	74 ページ
	緯度経度を入力して呼び出したい	緯度経度から探す	74 ページ
	現在地の近くにある施設を呼び出したい	現在地周辺の施設を探す	65 ページ
	案内ルートの近くにある施設を呼び出したい	ルート周辺から探す	71 ページ
	目的地の近くにある施設を呼び出したい	案内地周辺から探す	70 ページ
	自宅に帰りたい	自宅へ帰る	69 ページ

目的地案内に関して

	目的	項目	参照ページ
目的地案内を開始する前に	目的地を決めたい	目的地を設定する	75 ページ
	ルートを選びたい	ルートの探索結果画面	76 ページ
目的地案内を開始する前、または目的地案内中に	目的地までのルートを知りたい	案内中のルートを確認する	84 ページ
	目的地に到着する時間を知りたい	到着情報の表示	81 ページ
	経由地を設定したい	経由地を設定する	77 ページ
	通るインターチェンジ (IC) を指定したい	インターチェンジ (IC) を指定する	77 ページ
	区間ごとのルートをかえたい	条件を変更する	89 ページ
	表示されているルートをかえたい	5 ルートから選択する	90 ページ
	音声案内の音量をかえたい	案内音量を調整する	333 ページ
	料金所の手前で金額を知りたい	料金案内	82 ページ
	音声案内を確認したい	音声案内	80 ページ
	高速道路の分岐を立体的に表示したい	交差点・高速分岐案内	78 ページ
	曲がる交差点を立体的に表示したい	交差点・高速分岐案内	78 ページ
	進む車線を知りたい	レーン (車線) ガイド表示	79 ページ
	目的地を消去して案内を中止したい	ルートを消去する	90 ページ
	ルート全体を表示させたい	全ルートを表示する	86 ページ
	常に最適なルートに変更したい	アクティブルートサーチ	91 ページ

VICS

	目的	項目	参照ページ
VICS について	FM 多重放送を表示させたい	FM 多重情報を見る	138 ページ
	VICS 情報を表示させたい	VICS 情報を見る	139 ページ
	割り込み情報を表示させたい	VICS 割り込み情報を見る	140 ページ
	駐車場情報を見たい	駐車場情報を見る	142 ページ
	VICS 記号について知りたい	VICS 道路交通情報マーク一覧	145 ページ

その他

目的		項目	参照ページ
便利な機能	自宅を登録したい	特別地点を登録する	97 ページ
	リスト画面を操作したい	リスト画面の切りかえ方	35 ページ
	覚えておきたい地点を登録したい	地点を登録する	94 ページ
	迂回する地点を登録したい	迂回地点を登録する	96 ページ
	走行状態を知りたい	ドライブインフォ画面を表示する	124 ページ
	電話をかけたい	電話をかける	154 ページ
	ハンズフリー電話の音量を調整したい	通話音量を調整する	159 ページ
	ナビに記録した情報を消去したい	本機を初期化する	320 ページ
	ETC について知りたい	ETC について	180 ページ
	フロントカメラ / リアカメラを操作したい	カメラ操作	182 ページ
わからなくてお困りのとき	画面のメッセージがわからない	表示メッセージ (ナビゲーション関係)	408 ページ
	故障かどうかわからない	故障かな?と思ったら	404 ページ
	ナビゲーションについてもっとよく知りたい	Q&A	396 ページ

オーディオ・ビジュアル関係

オーディオについて

	目的	項目	参照ページ
ラジオの使い方について	ラジオを聴きたい	ラジオを聴く	219 ページ
	放送局を探したい	放送局を探す	220 ページ
	放送局を記憶させたい	放送局を手動で記憶する	221 ページ
	交通情報を聴きたい	交通情報を受信する	222 ページ
CD の使い方について	CD を聴きたい	再生する	250 ページ
	聴きたい曲を探したい	再生リストサーチ	253 ページ
	聴きたい曲が何番目に入っているかわからない	曲のイントロだけを聴く（スキャン）	252 ページ
	今聴いている曲を繰り返し再生したい	繰り返し聴く（リピート）	251 ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く（ミックス）	251 ページ
	MP3/WMA/AAC を聴きたい	再生する	250 ページ
MP3/WMA/AAC について	聴きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい	聴きたい曲を探す	253 ページ
	聴きたい音楽ファイルを探したい	曲のイントロだけを聴く（スキャン）	252 ページ
	今聴いている音楽ファイルを繰り返し再生したい	繰り返し聴く（リピート）	251 ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く（ミックス）	251 ページ
	MP3/WMA/AAC について知りたい	MP3/WMA/AAC について	196 ページ
	HDD AUDIO を聴きたい	再生する	261 ページ
HDD AUDIO の使い方について	聴きたい曲やアルバムを選びたい	聴きたい曲（ファイル）を選ぶ	261 ページ
		聴きたい曲を探す	264 ページ
	聴きたい曲を探したい	曲のイントロだけを聴く（スキャン）	263 ページ
	今聴いている曲を繰り返し再生したい	繰り返し聴く（リピート）	263 ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く（ミックス）	263 ページ
	HDD AUDIO に曲やアルバムを録音したい	HDD へ録音する	259 ページ
	よく聴く曲を登録したい	HDD の曲をプレイリストに登録する	275 ページ
	曲名やアルバム名を変更したい	録音曲の名称を変更する	270 ページ
	曲の順番を並べかえたい	演奏順を変更する	269 ページ
	曲やアルバムを消去したい	録音曲を消去する	269 ページ
	タイトル情報を取得したい	タイトル情報を取得する	269 ページ
	HDD AUDIO について知りたい	HDD をご使用になる前に	256 ページ

SD メモリーカード /USB メモリについて

	目的	項目	参照ページ
SD メモリーカード /USB メモリの使い方について	音楽データを再生したい	再生する	278 ページ、294 ページ
	画像データを見たい	画像ビューアー操作	352 ページ
	登録地点をコピーしたい	登録地点をメディアにコピーする	328 ページ
		登録地点をメディアからコピーする	329 ページ
	画像を本機にコピーしたい	画像ファイルをコピーする	327 ページ

DVD について

	目的	項目	参照ページ
DVD について	DVD を見たい	再生する	228 ページ
	見たい場面を探したい	見たい映像を探す	236 ページ
	他のアングルにかえたい	アングルの切りかえ	241 ページ
	他の言語にかえたい	音声言語の切りかえ	240 ページ
		サブタイトル (字幕言語) 切りかえ	241 ページ
	今見ている場面を繰り返し再生したい	繰り返し見る (リピート)	233 ページ
	DVD メニューを表示したい	メニューを表示する	234 ページ
	言語をかえたい	優先する音声を切りかえる	243 ページ
		字幕の言語を切りかえる	243 ページ
		メニューの言語を切りかえる	242 ページ
	視聴制限を設定したい	視聴制限を設定する	244 ページ
	画面のサイズを切りかえたい	画面サイズを切りかえる	245 ページ

地上デジタルテレビについて

	目的	項目	参照ページ
地上デジタルテレビについて	地上デジタルテレビを見たい	地上デジタルテレビを表示する	203 ページ
	ワンセグ放送を見たい	地上デジタル放送とワンセグ放送を切りかえる	204 ページ
	データ放送を見たい	データ放送を見る	208 ページ
	番組表を見たい	番組表を操作する	209 ページ
	緊急情報を見たい	緊急警報放送 (EWS) を受信する	212 ページ

iPod/iPhone について

	目的	項目	参照ページ
iPod/iPhone について	iPod/iPhone を再生したい	再生する	281 ページ
	聴きたい曲や見たい映像を選びたい	聴きたい曲 / 見たい映像を選ぶ	282 ページ
	聴きたい曲やアルバムを探したい	聴きたい曲を探す	284 ページ
	見たい映像を探したい	見たい映像を探す	291 ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて再生する シャッフル (M.I.X.)	283 ページ
	今聴いている曲を繰り返し再生したい	繰り返し再生する (リピート)	283 ページ

外部機器について

	目的	項目	参照ページ
外部機器について	外部機器 (VTR など) の映像を見たい	外部機器操作	296 ページ

別売リモコン操作について

	目的	項目	参照ページ
別売リモコン操作について	リモコンを使う準備をする	リモコンを使いこなす	376 ページ
	リモコンで操作する	リモコン操作	378 ページ

音の調整に関して

	目的	項目	参照ページ
音の調整について	メディアに合った音質にしたい	MX モードの設定	340 ページ
	自分の車に合った音質にしたい	車種専用サウンドセットアップ EASY SETUP	337 ページ
	イコライザーを調整したい	イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ BASS MAX EQ	341 ページ
		イコライザーカーブの設定 Parametric EQ	341 ページ
	音のバランスを調整したい	バランス / フェダーの設定	337 ページ
	音の到達時間差を調整したい	タイムコレクションの設定	342 ページ
	Dolby Pro Logic II を使いたい	Dolby Pro Logic II を使う（Dolby 設定）	348 ページ
	使用するスピーカーを設定したい	スピーカーを設定する	350 ページ
	オーディオ・ビジュアルソースの音量を調整したい	オーディオ音量の調整	195 ページ

その他

	目的	項目	参照ページ
オーディオ・ビジュアルソースについて	オーディオ・ビジュアルソースを OFF にしたい	オーディオ・ビジュアルソースを OFF にする	195 ページ
	ソースを切りかえたい	オーディオ・ビジュアルソースを切りかえる	194 ページ
わからなくてお困りのとき	画面のメッセージがわからない	表示メッセージ（オーディオ・ビジュアル関係）	410 ページ
	故障がどうかわからない	故障かな？と思ったら	406 ページ

索引

五十音順

あ

アーティストから検索する	265, 287
アートワーク自動取得	312
明るさ	184, 315, 331
空き道表示	55, 135, 302
アクティブルートサーチ	91, 309
アクティブルートサーチ案内音声割込み	309
圧縮フォーマットについて	196
アニメーション表示	313
アルバムから検索する	265, 287
アングルの切りかえ	241
案内音量を調整する	333
案内開始	76
案内地周辺から探す	70
案内地点マーク	84
案内道路情報	84
案内表示	78
案内ポイント	42
案内誘導設定	306

い

行き先画面	61, 62
行き先スイッチ	22, 24
行き先を決める	61
イコライザーカーブ	341
イコライザー特性	341
一時停止	230, 251, 262, 282
位置情報	102
一般	47, 89
一般駐車場	143
一般道	89
いつも NAVI 設定	369
いつも NAVI について	104
緯度経度から探す	74
イルミ連動	304
色の濃さ	184, 331
インジケーター表示について	53
インターチェンジ (IC) を指定する	77

う

迂回	89
迂回エリア	97
迂回エリア考慮	310
迂回距離	310
迂回地点	96
迂回地点編集	324

え

営業時間考慮	66
英語案内	82
英語表示案内	309
エコガイド	124, 128
エコガイドトーン出力設定	316
エコドライブインジケーター	53
エコノミー運転	124
エコ判定	128
エコ・標高情報初期化	316
演奏順を変更する	269

お

応答保留	152
オーディオ音量の調整	195
オーディオ・ビジュアルソース	
メイン画面を表示する	194
オーディオ・ビジュアルソースを OFF にする	195
オーディオ・ビジュアルソースを切りかえる	194
オーディオブックを検索する	288
オーディオモード画面への割込み	311
オートメモリー	220
お客様登録	104, 171
お知らせ・特集	119
お知らせ・特集表示	372
おすすめスポット	107
おすすめスポットアイコン	111
おすすめスポットアイコン表示	373
おすすめスポットアイコンリスト	111
おすすめスポット案内回数	113
おすすめスポット自動取得 (一定時間)	372
おすすめスポット自動取得間隔	372
おすすめスポット自動取得 (ルート計算)	371
おすすめスポット履歴	111, 112
おすすめスポット割込み案内	372
おすすめスポット割込み間隔	373
おすすめスポット割込み時間	373
お出かけスキャン	204
お出かけモード	204
お問い合わせ窓口	426
音楽ファイルサーチモード	291
音質調整	334
音声案内	80
音声言語	242
音声言語の切りかえ	240
オンライン認証	173
音量調整	333
音量調整操作	333
音量を調整する	28, 195, 333

か

カーソルマーク	41
開 / 閉 / TILT スイッチ	22
回線交換	366
ガイド調整	316, 318
ガイド表示	184, 187
外部機器	296
外部接続機器選択	312
外部入力	296
各種設定	299
各部の名称	22
画質調整	330
画質調整値の記憶 / 呼び出し	332
画像取得	372
画像取り込み	368
画像ビューアー	352
画像ファイルのコピー	327
カメラ	182
カメラ画質を調整する	183
カメラ表示地点	95
カメラ表示地点編集	325
画面	22
画面 OFF	355
画面サイズ	245
簡易図形表示型	132
カントリーコード	243

き

キーワード	63
規格	423
機器アドレス	359
聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ	250, 261
聴きたい曲を選ぶ	282
聴きたい曲を探す	253, 264, 284
規制考慮	76
規制マーク表示	56, 136, 303
軌跡表示	55, 301
起動時新着確認	371
基本情報	99
給油量	126
行政界色分け	304
共通タッチスイッチ	25
曲順を変えて聴く (ミックス)	251, 263
曲順を変えて再生する (M.I.X.)	283
曲のイントロだけを聴く (スキャン)	252, 263
曲を検索する	266, 287
距離	47
距離補正	313
距離目安マーク	185
切りかえスイッチについて	376
緊急警報放送 (EWS)	212
緊急情報	140

く

繰り返し聴く (リピート)	251, 263
繰り返し再生する (リピート)	283
繰り返し見る (リピート)	233
クルージングマップ表示	51
グループ	157
グループ番号から探す	237
グループ名称	157
グループを選ぶ	157, 238

け

警告アイコン	82
携帯電話を接続する	149
経由地編集	87
経由地を設定する	77
経由地を変更する	87
経路設定	309
ケーブル接続	149, 358
領域設定	215
言語コード一覧	415
現在地画面	40
現在地周辺の施設を探す	65
現在地スイッチ	22, 25
県境案内	306
検索・スクロール後の画面	41
検索履歴	37
検索履歴の消去 / 全消去	37
厳選ジャンル	114
現レポート	91, 92

こ

広域	49
交差点・高速分岐案内	78
更新状況	176
更新情報	177
更新履歴	177
高速入口案内図	78
高速分岐案内	79
高速・有料モード地図	306
交通情報	222
行程ガイド画面	52
行程ガイド表示	51
合流案内	82, 306
合流交差点	91, 92
コーション表示位置の調整	184
コーナー	126, 183, 187
故障かな?と思ったら	404
ことわり情報	140
コマ送り再生	230
コミュニケーション画面	34, 158
コントラスト	184, 332

サーチ画面	265
サービス一覧	210
サービス切換	207
再取得	269
再生可能フォーマット一覧 (SDメモリーカード)	7
再生可能フォーマット一覧 (USBメモリー)	8
再生可能フォーマット一覧 (ディスク)	4
再生する	228, 250, 261, 278, 281, 294
再生中止 (PRE STOP)	231
再生停止	231
再生リストサーチ	253, 267, 290
再探索	90
最適ルート	91
サイドカメラ	188
細街路オートスケール	305
サウンド設定	190
索引	437
作曲者から検索する	288
サブウィンドウレベル	336
サブタイトル (字幕言語) の切りかえ	241
サブタイトル (字幕) 表示機能	224
差分更新	171, 172
差分データ	171
差分配信	175
サウンド	245
残距離音声案内	307

シークモード	220
市街地図	49
時間差表	345
時間短縮ルート	91
時間補正	344
時間曜日規制考慮	310
自機名称	359, 362
事故多発警告案内	307
事故多発地点案内	82
自車位置修正	96, 319
自車位置マーク	40
自車マーク	306
システム情報	170
施設ジャンル一覧	413
施設マーク一覧	53
施設文字	306
自宅へ帰る	69
自宅を登録する	45
視聴制限	224, 235, 244
自動距離補正設定	313
自動着信	367
自動着信時間	368
自動で放送局を選ぶ	203
自動ハイウェイモード	306

シネマ	331
字幕言語	241, 243
車種専用サウンドセットアップ	337
車種タイプ選択	316
車速	129
車速を設定する	307
シャッフル	283
車両種別	308
車両情報	169, 170, 308
車両情報を設定する	308
シャープネス	331, 332
ジャンルから検索する	265, 285
ジャンルで探す	63
住所リストから探す	68
住所を 50 音で探す	73
渋滞学習	311
渋滞学習結果を消去	311
渋滞・混雑表示	55, 302
渋滞推測機能について	55, 302
渋滞推測表示 (空き道)	56, 302
渋滞推測表示 (渋滞・混雑)	55, 302
渋滞線明滅表示	303
周波数帯域と音質について	393
周辺迂回	89
周遊	88
縮尺を切りかえる	49
受信状態表示	202
手動距離補正值	313
手動で放送局を選ぶ	203
主要道更新	171
受話音量	159, 333
ジョイスティックの押し方	376
ジョイスティックの倒し方	376
紹介文	109
条件変更	89
詳細	49
詳細案内図表示	307
詳細情報画面の操作	64
詳細情報	58, 109
詳細情報画面	64, 102, 118
情報	168
情報アイコン	194
情報画面の操作	139
情報の確認	168
情報保持時間	311
情報割込み	311
初期化する	320
初期設定を行う	201
初期値	213, 246
新着確認項目設定	371
新ルート	91, 92

す

推奨	47, 89
推薦コメント	109, 110
推薦人情報	109
スキャン	252, 263
スキン変更	319
スクリーン設定	245
スクロール	43
スクロール方面表示	306
図形情報	139
スケールバー	49
スケール表示	40
ステレオ	245
ステレオ再生	336
スピーカー出力レベル	351
スピーカー設定	350
全ての曲をミックス再生する (M.I.X.)	283
スマート IC 利用	310
スマートインターチェンジ	310
スライドショー	353
スローモーション再生	230

せ

静止 (一時停止)	230
接続解除	150
接続機器変更	361
接続先名称	365
接続状態アイコン	106
設定項目一覧	427
設定・編集	297
全国地図データ更新	171
全情報初期化	320
全設定項目初期化	320
全ルート	86

そ

走行距離	126
走行連動地図切換	305
操作音を調整する	333
送話音量	159, 333
ソース / POWER スイッチ	22, 23
ソース別音量調整	351
その他設定	313

た

タイトル情報を取得	269
タイトル番号から探す	237
タイトル編集	221
タイムコレクション	342
ダイレクトアップ / ダウン機能	267, 290
ダイレクトサーチ機能	266, 289
ダウンミックス	245
タッチパネル補正	314
建物情報	58

探索結果画面	76
探索条件	89
短縮距離	91
短縮時間	91, 309
短縮ダイヤル	157, 164

ち

地域設定	214
地上 D	204, 210
地上デジタルテレビ設定	211
地上デジタルテレビを表示する	203
地上デジタル放送	204, 212
地上デジタル放送について	392
地図切換画面	53
地図差分更新	172
地図情報	57
地図色切換	304
地図色昼 / 夜切換	304
地図データについて	422
地図データの更新	171
地図表示型	133
地図表示切換スイッチ	40
地図表示設定	53, 301
地図表示を切りかえる	51
地図マーク一覧	412
地点周辺取得	108
地点情報画面	98
地点情報を確認・変更する	98
地点登録画面	95
地点編集	321
地点を登録する	94
着信音量を設定する	333
着信全画面割込み	367
着信・通話画面情報表示	367
着信履歴	154, 161
チャプターの頭出し	229
チャプター番号から探す	236
注意警戒情報	140
駐車場条件	308
駐車場情報	135, 142
調光センサー	22
直線誘導線	42

つ

通信機能の設定	363
通信ケーブル	149
通信設定	363
通信方式	366
通話音量	159
通話音量を設定する	333
通話全画面	159

て

ディスクジェクトスイッチ	23
ディスクについて	4
ディスタンスモード	220
ディスプレイの角度を調整する	27
ディフィート	337
デフォルメ 3D 交差点拡大図	78
ディマー設定	315
ディマー連動	304
データベースについて	256
データ放送	208
テストトーン	351
デバイス名	156
デモ走行	86
天気情報	121
天気情報履歴	122
電源の ON/OFF	27
電池の出し入れ	377
電話接続方法を設定する	358
電話設定	358, 367
電話帳	155, 157, 163
電話帳読み込み	155, 156
電話番号から探す	65
電話を受ける	151
電話をかける	154
電話を切る	153

と

冬期規制アイコン表示	305
冬期閉鎖区間	76
冬期閉鎖区間考慮	310
到着情報	81
到着予想時刻音声案内	307
到着予想時刻速度設定	307
道路強調 (昼)	304
道路強調 (夜)	304
登録地点から探す	67
登録地点編集	322
トーン発信	160
特別地点	97
特別地点編集	323
時計表示	313, 353
トップ	126, 183, 187
トップメニュー	234
ドライブインフォ	124
ドライブインフォの設定	316
ドライブプラン	116
ドライブプラン通知	371
トラックの頭出し	229
トラック番号から探す	236

な

ナビ案内画面割込み	308
ナビゲーション画面を表示する	43
ナビ操作 / オーディオ操作切りかえスイッチ	44

に

認証情報	105, 177
認証情報設定	370
認証について	171, 173, 175

ぬ

抜け道探索	309
抜け道ルート	92
抜け道ルート探索	92

ね

燃費情報	126
------	-----

の

ノースアップ	50
ノーマル	331

は

バージョン情報	169
ハードディスク情報	169
ハイウェイモード表示	80
背景	319
パケット	366
パスキー	359, 362
パスワード	175, 366
バック	126, 183
発信履歴	155, 162
パノラマ	126, 183, 187
早送り・早戻しする	229, 251, 262, 282
バランス	337
パレンタル	235, 244
番組詳細情報	207
番組表	209
番号入力	155
パンスキャン	245
ハンズフリー電話	148
バンド	219
バンド切替	219
汎用カメラ接続	318

ひ

ビーコン図形情報	140
ビーコン文字情報	140
ビデオアイコン	280
ビデオファイルサーチモード	289
ビデオファイルを検索する	291
標高	128, 316
表示マーク	185, 188

表示メッセージ (オーディオ・ビジュアル関係)	410
表示メッセージ (システム)	408
表示メッセージ (ナビゲーション関係)	408
標準 (昼)	304
標準 (夜)	304
ビル立体表示	305

ふ

ファイルサーチ	254
ファイルの規格について	196
フェダー	337
フェリー航路	81
フェリー使用	310
フォルダを選ぶ	253
踏み切り案内	82, 307
プリセット	204
プリセットスイッチ	221
プリセットモード	220
プレイリストサーチ	237
プレイリスト番号から探す	237
プレイリスト編集	273
プレイリストを選ぶ	238
プレイリストを検索する	266, 285
フレーム	319
レビュー	355
プログラムサーチ	237
プログラム番号から探す	237
プログラムを選ぶ	238
フロントカメラ	186
フロントカメラガイド線について	188
フロントカメラガイド調整	316, 317
フロントカメラ接続	316
フロントカメラ速度連動表示	317
フロントカメラ地点連動表示	317
フロントビジュアル	191
分岐交差点	91, 92

へ

ページ送り / 戻し	238
別ルート	47
ヘディングアップ	50

ほ

方位マーク	50
方位を切りかえる	50
方向誘導線	80
放送局自動選局	212
放送局を探す	220
放送局を手動で記憶する	221
方面看板	80
方面看板表示	308
ボーナスグループ	246
ボーナスコード	246

ホームスキャン	201, 213
ホームモード	204
ホームモードスキャン	213
保証について	423
補正距離	343
補正時間	343
本体スイッチ	22

ま

マーク情報	100
マップコードから探す	74
マニュアルモード	220
マルチアングル機能	224
マルチ音声機能	224
マルチゲート画面	31
マルチストーリー機能	224
マルチチャンネル再生	336
マルチチャンネルについて	335

み

右画面	54
見たい映像を選ぶ	282
見たい映像を探す	236, 291
道幅	47, 89
ミックス	251, 263
ミュート	195

め

名称取得	361
名称で探す	62
名称変更	270
メディアからの地点追加	329
メディア情報	329
メディアへの地点保存	328
メディア編集	326
メニュー	234
メニュー画面	35, 231
メニュー言語	242
メニュー スイッチ	22, 24

も

モード切換	206, 240
目的地案内方法	78
目的地設定・ルート探索について	60
目的地履歴から探す	67
目的地を設定する	75
目的別索引	431
文字情報	139
文字・数字の入力方法	36
文字スーパー	211
文字表示型	132
モニター自動 CLOSE	314
最寄り検索	41

ゆ

ユーザー ID	366
ユーザーズルーム	104, 171
誘導方向表示	304
郵便番号から探す	72
郵便番号設定	215

よ

用語説明	394
よく行く地点	70
横加速度	129
夜用明るさ調整	315
夜用照光明るさ調整	315

ら

ライブコントラスト	331
ランドマーク情報	57
ランドマーク表示	54, 301
ランドマーク表示ジャンル	54, 301

り

リアカメラ	182
リアカメラガイド線について	184
リアカメラガイド調整	318
リアカメラ接続	318
リアビジュアル	191
リアビジョン	190
リアビジョン映像出力	315
リアル 3D 交差点拡大図	78
リアルジャンクションガイド	79, 307
リスト画面	35
リスニングモード (Dolby 設定)	349
リセット	27
リセットスイッチ	22
リダイヤル	158
リピート	233, 251, 263, 283
リモコン	315, 376
リモコン信号受信部	377
リモコンセンサー	22
リモコン操作	378
料金案内	82
料金所ゲート案内	308
リルート	90

る

ルート案内画面	42
ルート学習	310
ルート学習結果を消去	311
ルート画面を表示する	84
ルート周辺から探す	71
ルート周辺取得	107
ルート消去	90
ルート情報 (案内道路情報)	84
ルート表示	42

ルートブラウザ	85
ルートを確認する	84
ルートを選択する	76
ルートを探索する	75
ルートを引く	46
ルームカメラ	188

れ

レーンガイド表示	308
レーン (車線) ガイド表示	79
レターボックス	245
レベル 1 (文字表示型)	132
レベル 2 (簡易図形表示型)	132
レベル 3 (地図表示型)	133

ろ

ローカルモード	220
録音曲編集	268
録音について	258
録音ビットレート	312
録音モードの設定	257
路上駐車場マーク表示	56, 303
路線別データの更新 (主要道更新)	171
路線別で探す	69

わ

ワイド	331
割込み時間	311
ワンセグ放送	204

アルファベット / 数字

■ アルファベット

A

AAC とは?	196
AV/AUDIO OFF スイッチ	22, 23
AV 設定	312

B

B-CAS ID 情報表示	215
B-CAS カード	200
B-CAS カード挿入口	23
B-CAS カードをテストする	215
BASS MAX EQ	341
BI-PHANTOM (Dolby 設定)	349
Bluetooth 機器設定	360
Bluetooth 自機情報編集	362
Bluetooth 接続	149, 358
Bluetooth 設定	358

D	DEFEAT (ディフィート)..... 337	Q	Q&A..... 396
	DNS 設定 366		QR コード 64
	Dolby Pro Logic II (Dolby 設定)..... 348	S	
	DVD/CD 挿入口 23		SA・PA 情報 143
	DVD オーディオ再生モード..... 246		SD メモリーカード 278
	DVD 情報表示 225		SD メモリーカード挿入口..... 23
	DVD 設定 239		SD メモリーカードについて..... 7
	DX SEEK (ディスタンスモード) 220		SD メモリーカードを初期化..... 329
E			SEEK (ローカルモード) 220
	EASY SETUP 337		STD 349
	ETC 180	T	
	ETC ユーザー情報 181		T.CORR 342
	ETC 料金表示 180		Time Correction 342
	ETC 料金履歴 180	U	
	ETC レーン表示 79, 180		USB メモリ..... 294
F			USB メモリについて 8
	FAD.BAL. 337		USB メモリの接続 30
	FM 多重情報 138	V	
G			VCAP 246
	GPS 受信状況 126		VICS 132
	GPS 情報 169		VICS 交通情報システム 132
	Gracenote 音楽認識サービス..... 256		VICS 情報 139
H			VICS 設定 311
	HDD 自動録音 312		VICS タイムスタンプ 134
	HPF 346		VICS 駐車場情報 142
I			VICS 駐車場マーク表示 56, 303
	IC 変更 77		VICS 提供道路 56, 303
	iPod/iPhone について 9		VICS 道路交通情報マーク 145
	iPod/iPhone の接続 29		VICS 割り込み情報 140
L			VIDEO 246
	Layout Change 32		VISUAL EQ 331
	LPF 346		VOFF 246
M		W	
	M.I.X. 251, 263, 283		WMA とは? 196
	MAX..... 349	X	
	Media Xpander..... 340		X-OVER 346
	MP3 とは? 196	■ 数字	
	MUTE スイッチ 44, 195		10 キー 234, 236, 237
	MX 340		1 画面表示 51
P			1/ 左画面 54
	P. モード切換 220		2 画面表示 51
	Parametric EQ 341		3D 角度調整 50
	Podcast を検索する 287		3D マップ表示 50
	PRE STOP..... 231		3D ランドマーク表示 305
			5.1ch 335
			5 ルート 47, 90

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

[illegible]

[illegible]

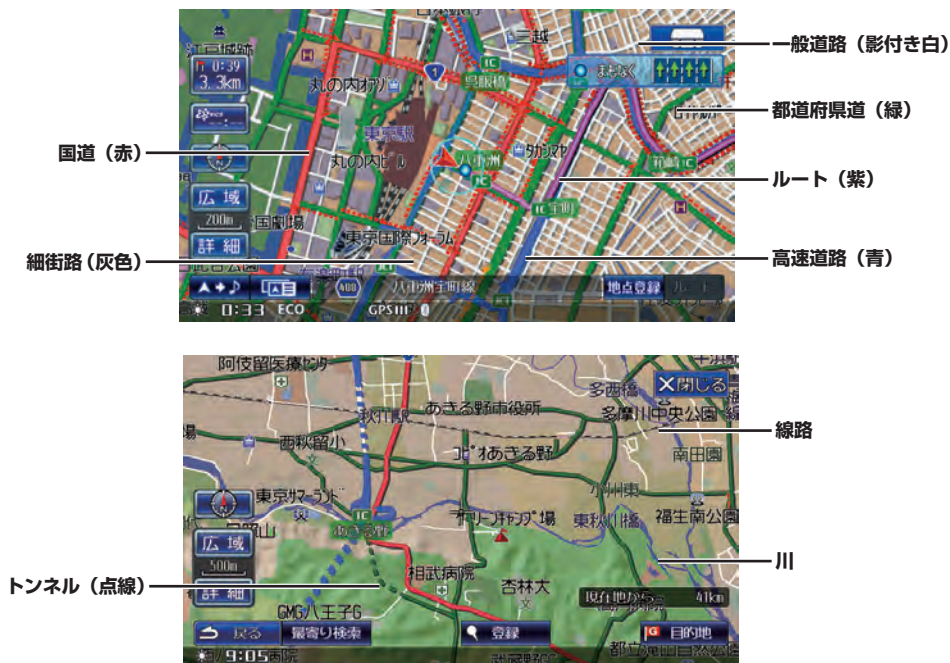
[illegible]

[illegible]

[illegible]

地図画面の見かた

■ 地図画面（地図色：標準（昼の場合））



■ VICS レベル 3・渋滞混雑表示（実線矢印）



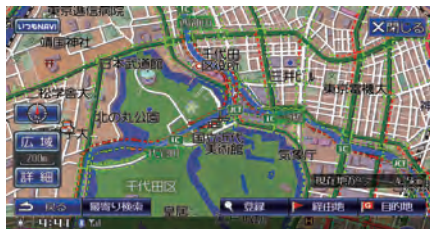
■ VICS レベル 3・規制マーク / 駐車場マーク表示



■ VICS レベル 3 表示（行程ガイド画面）



■ 渋滞推測表示（破線矢印）



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転



本書はやさしく取扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページが
バラバラになってしまう場合があります。
やさしい扱いをお願いします。

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL：0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
＜携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用＞
TEL：048-662-6636
- 電話受付時間 9：30～12：00 13：00～17：30
(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。
FAX：048-662-6676
- ナビゲーションをお買い上げのお客様には、ユーザー登録をして頂くと、アルパインホームページ上から E-mail でのお問い合わせができます。どうぞご活用ください。
- アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp>
FAQ (よくあるご質問) <http://faq.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介します。



アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Japan

68-12150Z71-A (Y-712)